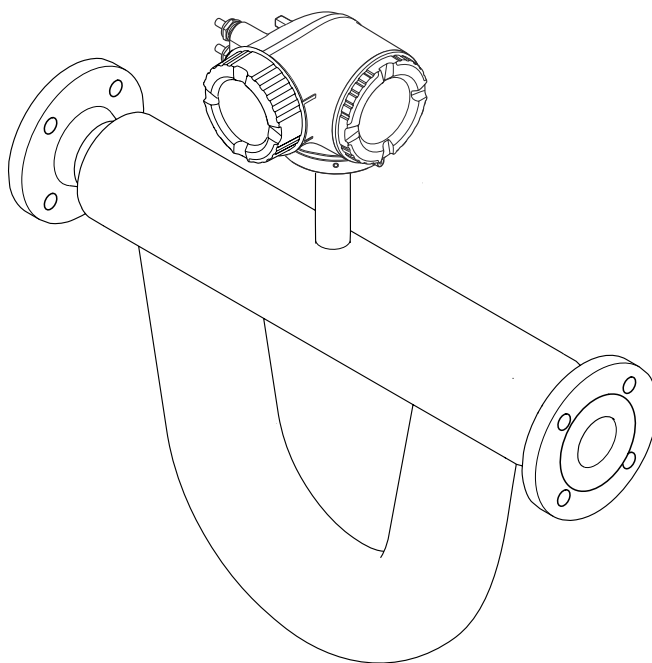


取扱説明書

Proline Promass Q 300

コリオリ流量計
PROFIBUS PA



- 本書は、本機器で作業する場合に、いつでもすぐに手に取れる安全な場所に保管してください。
- 要員やプラントが危険にさらされないように、「安全上の基本注意事項」セクション、ならびに作業手順に関して本書に規定されている、その他の安全注意事項をすべて熟読してください。
- 当社は、事前の予告なしに技術仕様を変更する権利を有するものとします。本書に関する最新情報および更新内容については、当社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

目次

1	本説明書について	6		
1.1	本文の目的	6		
1.2	シンボル	6		
1.2.1	安全シンボル	6		
1.2.2	電気シンボル	6		
1.2.3	通信関連のシンボル	6		
1.2.4	工具シンボル	7		
1.2.5	特定情報に関するシンボル	7		
1.2.6	図中のシンボル	7		
1.3	関連資料	8		
1.4	登録商標	8		
2	安全上の注意事項	9		
2.1	要員の要件	9		
2.2	指定用途	9		
2.3	労働安全	10		
2.4	操作上の安全性	10		
2.5	製品の安全性	10		
2.6	IT セキュリティ	10		
2.7	機器固有の IT セキュリティ	10		
2.7.1	ハードウェア書き込み保護による アクセス保護	11		
2.7.2	パスワードによるアクセス保護	11		
2.7.3	Web サーバー経由のアクセス	12		
2.7.4	サービスインタフェース (CDI- RJ45) 経由のアクセス	12		
3	製品説明	13		
3.1	製品構成	13		
4	受入検査および製品識別表示	14		
4.1	受入検査	14		
4.2	製品識別表示	14		
4.2.1	変換器の銘板	15		
4.2.2	センサ銘板	16		
4.2.3	機器のシンボル	17		
5	保管および輸送	18		
5.1	保管条件	18		
5.2	製品の運搬	18		
5.2.1	吊金具なし機器	18		
5.2.2	吊金具付き機器	19		
5.2.3	フォークリフトによる運搬	19		
5.3	梱包材の廃棄	19		
6	取付け	20		
6.1	取付要件	20		
6.1.1	取付位置	20		
6.1.2	環境およびプロセスの要件	22		
6.1.3	特別な設置方法	24		
6.2	計測機器の取付け	27		
6.2.1	必要な工具	27		
6.2.2	計測機器の準備	28		
6.2.3	機器の取付け	28		
6.2.4	変換器ハウジングの回転	28		
6.2.5	表示モジュールの回転	29		
6.3	設置状況の確認	29		
7	電気接続	31		
7.1	電気の安全性	31		
7.2	接続要件	31		
7.2.1	必要な工具	31		
7.2.2	接続ケーブルの要件	31		
7.2.3	端子の割当て	34		
7.2.4	使用可能な機器プラグ	34		
7.2.5	機器プラグのピンの割当て	34		
7.2.6	シールドおよび接地	34		
7.2.7	機器の準備	35		
7.3	計測機器の接続	36		
7.3.1	変換器の接続	36		
7.3.2	リモートディスプレイと操作モジ ュール DKX001 の接続	39		
7.4	電位平衡	39		
7.4.1	要件	39		
7.5	特別な接続方法	40		
7.5.1	接続例	40		
7.6	ハードウェアの設定	43		
7.6.1	機器アドレスの設定	43		
7.6.2	初期設定の IP アドレスの有効化	43		
7.7	保護等級の保証	44		
7.8	配線状況の確認	44		
8	操作オプション	46		
8.1	操作オプションの概要	46		
8.2	操作メニューの構成と機能	47		
8.2.1	操作メニューの構成	47		
8.2.2	操作指針	48		
8.3	現場表示器を使用した操作メニューへのア クセス	49		
8.3.1	操作画面表示	49		
8.3.2	ナビゲーション画面	51		
8.3.3	編集画面	53		
8.3.4	操作部	55		
8.3.5	コンテキストメニューを開く	55		
8.3.6	ナビゲーションおよびリストから 選択	57		
8.3.7	パラメータの直接呼び出し	57		
8.3.8	ヘルプテキストの呼び出し	58		
8.3.9	パラメータの変更	58		
8.3.10	ユーザーの役割と関連するアクセ ス権	59		
8.3.11	アクセスコードによる書き込み保 護の無効化	59		
8.3.12	キーパッドロックの有効化/無効化	60		

8.4	ウェブブラウザを使用した操作メニューへのアクセス	60	10.6.14	非満管検出の設定	116
8.4.1	機能範囲	60	10.7	高度な設定	117
8.4.2	必須条件	61	10.7.1	計算されたプロセス変数	118
8.4.3	機器の接続	62	10.7.2	センサの調整の実施	119
8.4.4	ログイン	64	10.7.3	積算計の設定	125
8.4.5	ユーザーインターフェース	65	10.7.4	表示の追加設定	127
8.4.6	Web サーバーの無効化	66	10.7.5	WLAN 設定	130
8.4.7	ログアウト	66	10.7.6	設定管理	132
8.5	操作ツールによる操作メニューへのアクセス	67	10.7.7	機器管理のためのパラメータを使用	133
8.5.1	操作ツールの接続	67	10.8	シミュレーション	134
8.5.2	FieldCare	70	10.9	不正アクセスからの設定の保護	137
8.5.3	DeviceCare	71	10.9.1	アクセスコードによる書き込み保護	137
8.5.4	SIMATIC PDM	72	10.9.2	書き込み保護スイッチによる書き込み保護	139
9	システム統合	73	11	操作	141
9.1	デバイス記述 (DD) ファイルの概要	73	11.1	機器ロック状態の読取り	141
9.1.1	現在の機器バージョンデータ	73	11.2	操作言語の設定	141
9.1.2	操作ツール	73	11.3	表示部の設定	141
9.2	機器マスターファイル (GSD)	73	11.4	測定値の読取り	141
9.2.1	製造者固有 GSD	74	11.4.1	「測定した変数」 サブメニュー	142
9.2.2	プロファイル GSD	74	11.4.2	積算計	153
9.3	旧型モデルとの互換性	75	11.4.3	「入力値」 サブメニュー	154
9.3.1	自動識別 (初期設定)	75	11.4.4	出力値	155
9.3.2	手動設定	75	11.5	プロセス条件への機器の適合	157
9.3.3	GSD ファイルの変更またはコントローラの再起動なしでの機器の交換	75	11.6	積算計リセットの実行	157
9.4	旧型モデルの GSD モジュールの使用	76	11.7	測定値の履歴を表示	158
9.4.1	旧型モデルの CONTROL_BLOCK モジュールの使用	76	12	診断およびトラブルシューティング	162
9.5	サイクリックデータ伝送	78	12.1	一般トラブルシューティング	162
9.5.1	ブロックモデル	78	12.2	発光ダイオードによる診断情報	164
9.5.2	モジュールの説明	78	12.2.1	変換器	164
10	設定	86	12.3	現場表示器の診断情報	165
10.1	設置状況および配線状況の確認	86	12.3.1	診断メッセージ	165
10.2	機器の電源投入	86	12.3.2	対処法の呼び出し	167
10.3	FieldCare 経由の接続	86	12.4	ウェブブラウザの診断情報	167
10.4	ソフトウェアによる機器アドレスの設定	86	12.4.1	診断オプション	167
10.4.1	PROFIBUS ネットワーク	86	12.4.2	対策情報の呼び出し	168
10.5	操作言語の設定	86	12.5	FieldCare または DeviceCare の診断情報	168
10.6	計測機器の設定	87	12.5.1	診断オプション	168
10.6.1	タグ名の設定	88	12.5.2	対策情報の呼び出し	169
10.6.2	システムの単位の設定	89	12.6	診断情報の適応	170
10.6.3	測定物の選択および設定	92	12.6.1	診断動作の適応	170
10.6.4	通信インターフェイス設定	93	12.7	診断情報の概要	173
10.6.5	アナログ入力の設定	95	12.7.1	センサの診断	173
10.6.6	I/O 設定の表示	96	12.7.2	電子部の診断	181
10.6.7	電流入力の設定	97	12.7.3	設定の診断	198
10.6.8	ステータス入力の設定	98	12.7.4	プロセスの診断	212
10.6.9	電流出力の設定	99	12.8	未処理の診断イベント	225
10.6.10	パルス/周波数/スイッチ出力の設定	102	12.9	診断リスト	225
10.6.11	リレー出力の設定	109	12.10	イベントログブック	226
10.6.12	現場表示器の設定	112	12.10.1	イベントログの読み出し	226
10.6.13	ローフローカットオフの設定	115	12.10.2	イベントログブックのフィルタリング	227

12.10.3 診断イベントの概要	227
12.11 機器のリセット	228
12.11.1 「機器リセット」パラメータの機能 範囲	229
12.12 機器情報	229
12.13 ファームウェアの履歴	231
13 メンテナンス	232
13.1 メンテナンス作業	232
13.1.1 外部洗浄	232
13.2 測定機器およびテスト機器	232
13.3 当社サービス	232
14 修理	233
14.1 一般的注意事項	233
14.1.1 修理および変更コンセプト	233
14.1.2 修理および変更に関する注意事項	233
14.2 スペアパーツ	233
14.3 Endress+Hauser サービス	233
14.4 返却	233
14.5 廃棄	234
14.5.1 機器の取外し	234
14.5.2 機器の廃棄	234
15 アクセサリ	235
15.1 機器固有のアクセサリ	235
15.1.1 変換器用	235
15.1.2 センサ用	236
15.2 サービス関連のアクセサリ	236
15.3 システムコンポーネント	236
16 技術データ	238
16.1 アプリケーション	238
16.2 機能とシステム構成	238
16.3 入力	239
16.4 出力	241
16.5 電源	246
16.6 性能特性	248
16.7 取付け	252
16.8 環境	253
16.9 プロセス	254
16.10 構造	256
16.11 操作性	259
16.12 合格証と認証	263
16.13 アプリケーションパッケージ	266
16.14 アクセサリ	268
16.15 補足資料	268
索引	271

1 本説明書について

1.1 本文の目的

本取扱説明書には、機器のライフサイクルの各段階（製品識別表示、納品内容確認、保管、設置、接続、操作、設定からトラブルシューティング、メンテナンス、廃棄まで）において必要とされるあらゆる情報が記載されています。

1.2 シンボル

1.2.1 安全シンボル

 危険

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、大けが、爆発、火災を引き起こす恐れがあります。

 警告

潜在的に危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、大けが、爆発、火災を引き起こす恐れがあります。

 注意

潜在的に危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷または中程度のけがを負う恐れがあります。

 注記

潜在的に有害な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品や周囲のものを破損する恐れがあります。

1.2.2 電気シンボル

シンボル	意味
	直流
	交流
	直流および交流
	接地接続 オペレータを保護するために、接地システムを使用して接地された接地端子
	電位平衡接続（PE：保護接地） その他の接続を行う前に接地端子の接地接続が必要です。 接地端子は機器の内側と外側にあります。 ■ 内側の接地端子：電位平衡を電源ネットワークに接続します。 ■ 外側の接地端子：機器とプラントの接地システムを接続します。

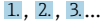
1.2.3 通信関連のシンボル

シンボル	意味
	ワイヤレス ローカル エリア ネットワーク（WLAN） ローカルネットワークを介した無線通信

1.2.4 工具シンボル

シンボル	意味
	マイナスドライバ
	六角レンチ
	スパナ

1.2.5 特定情報に関するシンボル

シンボル	意味
	許可 許可された手順、プロセス、動作
	推奨 推奨の手順、プロセス、動作
	禁止 禁止された手順、プロセス、動作
	ヒント 追加情報を示します。
	資料参照
	ページ参照
	図参照
	注意すべき注記または個々のステップ
	一連のステップ
	操作・設定の結果
	問題が発生した場合のヘルプ
	目視確認

1.2.6 図中のシンボル

シンボル	意味
1, 2, 3, ...	項目番号
	一連のステップ
A, B, C, ...	図
A-A, B-B, C-C, ...	断面図
	危険場所
	安全場所（非危険場所）
	流れ方向

1.3 関連資料

-  関連する技術資料の概要については、以下を参照してください。
- デバイスビューワー (www.endress.com/deviceviewer) : 銘板のシリアル番号を入力します。
 - Endress+Hauser Operations アプリ : 銘板のシリアル番号を入力するか、銘板のマトリクスコードをスキャンしてください。

ご注文の機器バージョンに応じて、以下の関連資料が用意されています。

資料タイプ	資料の目的および内容
技術仕様書 (TI)	機器の計画支援 本資料には、機器に関するすべての技術データが記載されており、本機器用に注文可能なアクセサリやその他の製品の概要が示されています。
簡易取扱説明書 (KA)	初回の測定を迅速に行うための手引き 簡易取扱説明書には、受入検査から初期調整までに必要なすべての情報が記載されています。
取扱説明書 (BA)	参考資料 取扱説明書には、機器ライフサイクルの各種段階（製品の識別、受入検査、保管、取付け、接続、操作、設定からトラブルシューティング、メンテナンス、廃棄まで）において必要とされるあらゆる情報が記載されています。
機能説明書 (GP)	使用するパラメータの参考資料 この資料には、各パラメータの詳細な説明が記載されています。本説明書は、全ライフサイクルにわたって本機器を使用し、特定の設定を行う人のために用意されたものです。
安全上の注意事項 (XA)	各種認定に応じて、危険場所で電気機器を使用するための安全上の注意事項も機器に付属します。安全上の注意事項は取扱説明書の付随資料です。  機器に対応する安全上の注意事項 (XA) の情報が銘板に明記されています。
機器固有の補足資料 (SD/FY)	関連する補足資料に記載される指示を常に厳守してください。補足資料は、機器資料に付随するものです。

1.4 登録商標

PROFIBUS®
PROFIBUS Nutzerorganisation e.V.(PROFIBUS User Organization), Karlsruhe, Germany
の登録商標です。

2 安全上の注意事項

2.1 要員の要件

設置、設定、診断、およびメンテナンスを実施する要員は、以下の要件を満たさなければなりません。

- ▶ 訓練を受けて、当該任務および作業に関する資格を取得した専門作業員であること。
- ▶ 施設責任者の許可を得ていること。
- ▶ 各地域/各国の法規を熟知していること。
- ▶ 作業を開始する前に、取扱説明書、補足資料、ならびに証明書（用途に応じて異なります）の説明を読み、内容を理解しておくこと。
- ▶ 指示に従い、基本条件を遵守すること。

オペレータ要員は、以下の要件を満たさなければなりません。

- ▶ 施設責任者からその作業に必要な訓練および許可を得ていること。
- ▶ 本資料の説明に従うこと。

2.2 指定用途

アプリケーションおよび測定物

本書で説明する計測機器は、液体および気体の流量測定にのみ使用することを目的としたものです。

ご注文の機器バージョンに応じて、爆発性¹⁾、可燃性、毒性および酸化性の測定物を測定することもできます。

危険場所、サニタリアプリケーション、または圧力によるリスクが高い場所で使用する計測機器の銘板には、それに関連する特別なラベルが貼付されています。

最適な条件下で計測機器を運転できるよう、以下の点に注意してください。

- ▶ 本計測機器を使用する場合は必ず、銘板に明記されたデータならびに取扱説明書や補足資料に記載された一般条件に従ってください。
- ▶ ご注文の機器が防爆仕様であるかどうかを銘板で確認してください（例：防爆認定、压力容器安全）。
- ▶ 本計測機器は、接液部材質の耐食性を十分に確保できる測定物の測定にのみ使用してください。
- ▶ 規定された圧力および温度の範囲内に保ってください。
- ▶ 指定された周囲温度範囲を超えないようにしてください。
- ▶ 環境の影響による腐食から計測機器を恒久的に保護してください。

不適切な用途

指定用途以外での使用は、安全性を危うくする可能性があります。不適切な使用や指定用途以外での使用に起因する損傷について、製造者は責任を負いません。

警告

腐食性または研磨性のある流体、あるいは周囲条件による破損の危険

- ▶ プロセス流体とセンサ材質の適合性を確認してください。
- ▶ プロセス内のすべての接液部材質の耐食性を確認してください。
- ▶ 規定された圧力および温度の範囲内に保ってください。

注記

不明な場合の確認：

- ▶ 特殊な流体および洗浄液に関して、Endress+Hauser では接液部材質の耐食性確認をサポートしますが、プロセスの温度、濃度、または汚染レベルのわずかな変化によって耐食性が変わる可能性があるため、保証や責任は負いかねます。

1) IO-Link 計測機器には適用されません。

残存リスク

注意

高温または低温火傷に注意してください。使用する測定物および電子機器部が高温/低温になる場合、それに伴い機器の表面も高温/低温になる可能性があります。

- ▶ 適切な接触保護具を取り付けてください。

2.3 労働安全

機器で作業する場合：

- ▶ 各国の規制に従って、必要な個人用保護具を着用してください。

2.4 操作上の安全性

機器が損傷する可能性があります。

- ▶ 本機器は、適切な技術条件およびフェールセーフ条件下でのみ操作してください。
- ▶ 施設作業には、機器を支障なく操作できるようにする責任があります。

機器の改造

機器を無断で改造することは、予測不可能な危険を引き起こす可能性があるため、禁止されています。

- ▶ 変更が必要な場合は、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

修理

操作上の安全性と信頼性を保証するために、以下の点にご注意ください。

- ▶ 機器の修理は、明確に許可された場合にのみ実施してください。
- ▶ 電気機器の修理に関する各地域/各国の規定を遵守してください。
- ▶ 純正のスペアパーツおよびアクセサリのみを使用してください。

2.5 製品の安全性

本機器は、最新の安全要件に適合するように GEP (Good Engineering Practice) に従って設計され、テストされて安全に操作できる状態で工場から出荷されます。

本機器は一般的な安全基準および法的要件を満たします。また、機器固有の EU 適合宣言に明記された EU 指令にも準拠します。Endress+Hauser は機器に CE マークを添付することにより、機器の適合性を保証します。

2.6 IT セキュリティ

取扱説明書の指示に従って製品を設置および使用した場合にのみ、当社の保証は有効です。本製品には、設定が誤って変更されないよう、保護するためのセキュリティ機構が備えられています。

製品および関連するデータ伝送の追加的な保護を提供する IT セキュリティ対策を、事業者自身が自社の安全基準に従って講じる必要があります。

2.7 機器固有の IT セキュリティ

ユーザー側の保護対策をサポートするため、本機器はさまざまな特定機能を提供します。この機能はユーザー設定が可能であり、適切に使用すると操作の安全性向上が保証されます。最も重要な機能の概要が以下のリストに示されています。

機能/インタフェース	工場設定	推奨
ハードウェア書き込み保護スイッチによる書き込み保護 → 図 11	無効	リスク評価に従って個別に設定する
アクセスコード (Web サーバーのログインや FieldCare の接続にも適用) → 図 11	無効 (0000)	カスタマイズされたアクセスコードを設定中に割り当てる
WLAN (表示モジュールの注文オプション)	有効	リスク評価に従って個別に設定する
WLAN セキュリティモード	有効 (WPA2-PSK)	変更しないでください。
WLAN パスフレーズ (パスワード) → 図 11	シリアル番号	設定時に個別の WLAN パスフレーズを割り当てる
WLAN モード	アクセスポイント	リスク評価に従って個別に設定する
Web サーバー → 図 12	有効	リスク評価に従って個別に設定する
CDI-RJ45 サービスインタフェース → 図 12	–	リスク評価に従って個別に設定する

2.7.1 ハードウェア書き込み保護によるアクセス保護

書き込み保護スイッチ（メイン電子モジュール上の DIP スイッチ）により、現場表示器、ウェブブラウザ、または操作ツール（例：FieldCare、DeviceCare）を介した機器パラメータへの書き込みアクセスを無効にすることができます。ハードウェア書き込み保護が有効になっている場合は、パラメータの読み取りアクセスのみ可能です。

機器の納入時には、ハードウェア書き込み保護が無効になっています。→ 図 139

2.7.2 パスワードによるアクセス保護

機器パラメータへの書き込みアクセス、または WLAN インターフェイスを介した機器へのアクセスを防ぐため、各種のパスワードを使用できます。

- ユーザー固有のアクセスコード
現場表示器、ウェブブラウザ、または操作ツール（例：FieldCare、DeviceCare）を介した機器パラメータへの書き込みアクセスを防止します。アクセス権は、ユーザー固有のアクセスコードを使用して明確に管理されます。
- WLAN のパスワード
ネットワークキーにより、オプションとして注文可能な WLAN インターフェイスを介した操作ユニット（例：ノートパソコンまたはタブレット端末）と機器の接続が保護されます。
- インフラモード
機器がインフラモードで動作する場合、WLAN パスフレーズは事業者側で設定した WLAN パスフレーズと一致します。

ユーザー固有のアクセスコード

変更可能なユーザー固有のアクセスコードを使用して、現場表示器、ウェブブラウザ、または操作ツール（例：FieldCare、DeviceCare）を介した機器パラメータへの書き込みアクセスを防止できます。（→ 図 137）。

機器の納入時には、機器のアクセスコードは未設定で 0000（オープン）となっています。

WLAN のパスワード：WLAN アクセスポイントとして動作

オプションとして注文可能な WLAN インターフェイスを介した操作部（例：ノートパソコンまたはタブレット端末）と機器の接続（→ 図 68）は、ネットワークキーにより保護されます。ネットワークキーの WLAN 認証は IEEE 802.11 規格に適合します。

機器の納入時には、ネットワークキーは機器に応じて事前設定されています。これは、**WLAN のパスワード** パラメータ (→ 図 131) の **WLAN 設定** サブメニュー で変更することが可能です。

インフラモード

機器と WLAN アクセスポイントの接続は、システム側の SSID とパスフレーズによって保護されています。アクセスするには、システム管理者にお問い合わせください。

パスワードの使用に関する一般的注意事項

- 機器とともに支給されたアクセスコードとネットワークキーは、安全上の理由から設定中に変更する必要があります。
- アクセスコードとネットワークキーの決定および管理を行う場合は、安全なパスワードを生成するための一般規則に従ってください。
- ユーザーにはアクセスコードとネットワークキーを管理して慎重に取り扱う責任があります。
- アクセスコードの設定やパスワード紛失時の対処法などの詳細については、「アクセスコードを介した書き込み保護」セクションを参照してください。→ 図 137

2.7.3 Web サーバー経由のアクセス

本機器には Web サーバーが内蔵されており、ウェブブラウザを使用して操作/設定を行うことができます → 図 60。接続は、サービスインタフェース (CDI-RJ45) または WLAN インタフェースを介して確立されます。

機器の納入時には、Web サーバーが使用可能な状態になっています。必要に応じて (例：設定完了後)、**Web サーバ 機能** パラメータを使用して Web サーバーを無効にすることができます。

機器およびステータス情報は、ログインページで非表示にできます。これにより、情報への不正アクセスを防ぐことができます。

 機器パラメータの詳細については、以下を参照してください。
資料「機能説明書」。

2.7.4 サービスインタフェース (CDI-RJ45) 経由のアクセス

機器はサービスインタフェース (CDI-RJ45) を介してネットワークに接続できます。機器固有の機能により、ネットワーク内での機器の操作の安全性が保証されます。

IEC/ISA62443 または IEEE など、国内および国際的な安全委員会によって規定された関連する工業規格やガイドラインの使用を推奨します。これには、アクセス権の割り当てといった組織的なセキュリティ方法や、ネットワークセグメンテーションなどの技術的手段が含まれます。

 **Ex de** 認証付き変換器はサービスインタフェース (CDI-RJ45) を介して接続することができません。

「変換器 + センサ 認証」のオーダーコード、オプション (Ex de) : BA、BB、C1、C2、GA、GB、MA、MB、NA、NB BB、C2、GB、MB、NB

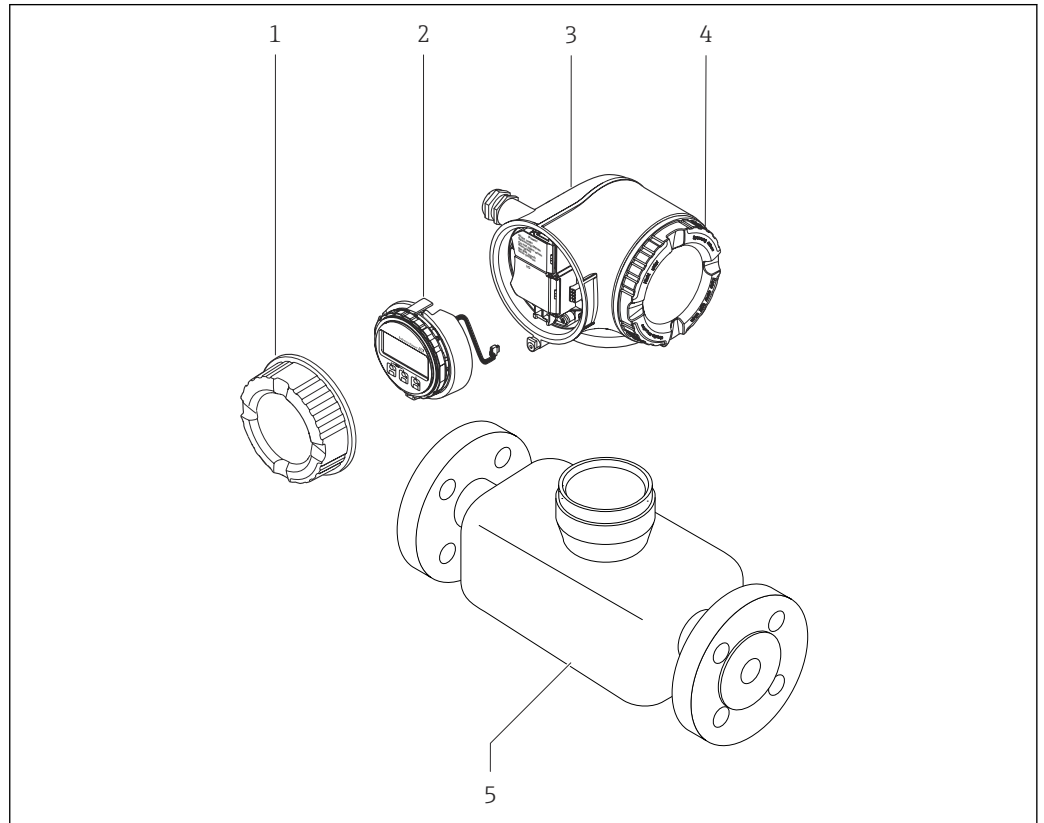
3 製品説明

本機器は変換器とセンサから構成されます。

本機器は一体型です。

変換器とセンサが機械的に一体になっています。

3.1 製品構成



A0029586

1 機器の主要コンポーネント

- 1 端子部カバー
- 2 表示モジュール
- 3 変換器ハウジング
- 4 表示部のカバー
- 5 センサ

4 受入検査および製品識別表示

4.1 受入検査

納品時：

1. 梱包に損傷がないか確認します。
 - ↳ すぐに製造者にすべての損傷を報告してください。
損傷したコンポーネントは取り付けないでください。
2. 納品書を使用して納入品目を確認します。
3. 銘板のデータと納品書に記載された注文仕様を比較します。
4. 技術仕様書やその他の必要な関連資料（例：証明書）がすべてそろっていることを確認します。

 1 つでも条件が満たされていない場合は、製造者にお問い合わせください。

4.2 製品識別表示

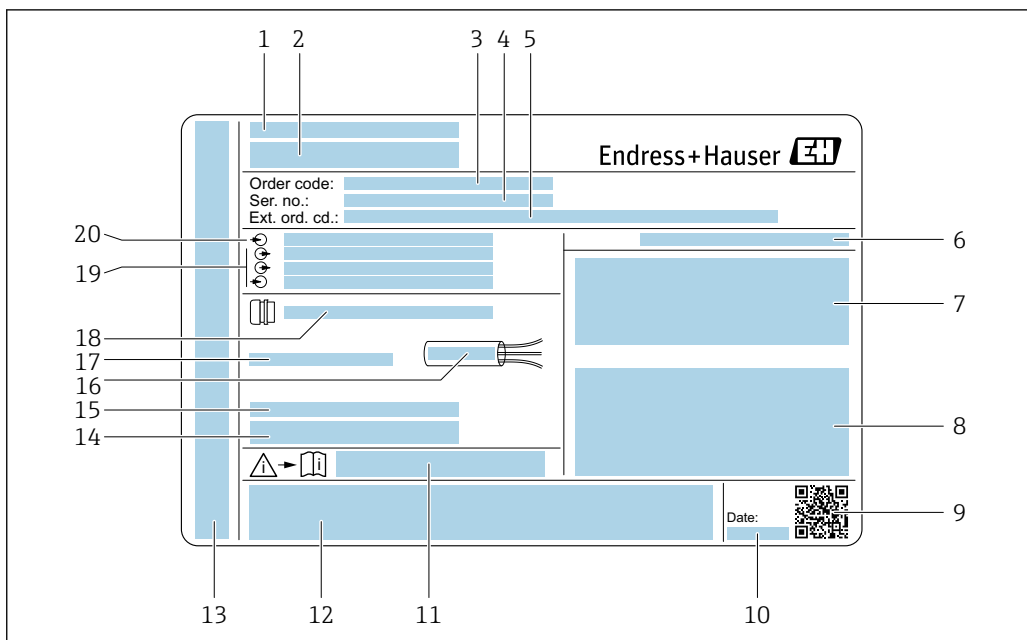
機器は、次の方法で識別できます。

- 銘板
- 納品書に記載されたオーダーコード（機器仕様コードの明細付き）
- 銘板に記載されているシリアル番号をデバイスビューワー（www.endress.com/deviceviewer）に入力します。機器に関するすべての情報が表示されます。
- 銘板のシリアル番号を Endress+Hauser Operations アプリに入力するか、Endress+Hauser Operations アプリで銘板のデータマトリクスコードをスキャンすると、機器に関するすべての情報が表示されます。

関連技術資料の範囲の概要に関しては、以下を参照ください。

- 「本機器のその他の標準資料」および「機器関連の補足資料」セクション
- デバイスビューワー：銘板のシリアル番号を入力してください（www.endress.com/deviceviewer）。
- Endress+Hauser Operations アプリ：銘板のシリアル番号を入力するか、銘板のデータマトリクスコードをスキャンしてください。

4.2.1 変換器の銘板



A0029192

図 2 変換器銘板の例

- 1 製造者所在地/認証保有者
- 2 変換器名
- 3 オーダーコード
- 4 シリアル番号
- 5 拡張オーダーコード
- 6 保護等級
- 7 認定用スペース：危険場所用
- 8 電気接続データ：使用可能な入力/出力
- 9 2-D マトリクスコード
- 10 製造日：年、月
- 11 安全関連の補足資料の資料番号
- 12 認定および認証用スペース（例：CE マーク、RCM tick）
- 13 接続および電子部コンパートメントの保護等級用スペース（危険場所用）
- 14 工場出荷時のファームウェアのバージョン（FW）および機器リビジョン（Dev.Rev.）
- 15 特注品の追加情報用スペース
- 16 ケーブルの許容温度範囲
- 17 許容周囲温度（ T_a ）
- 18 ケーブルグラウンドの情報
- 19 使用可能な入力/出力、電源電圧
- 20 電気接続データ：電源電圧

4.2.2 センサ銘板

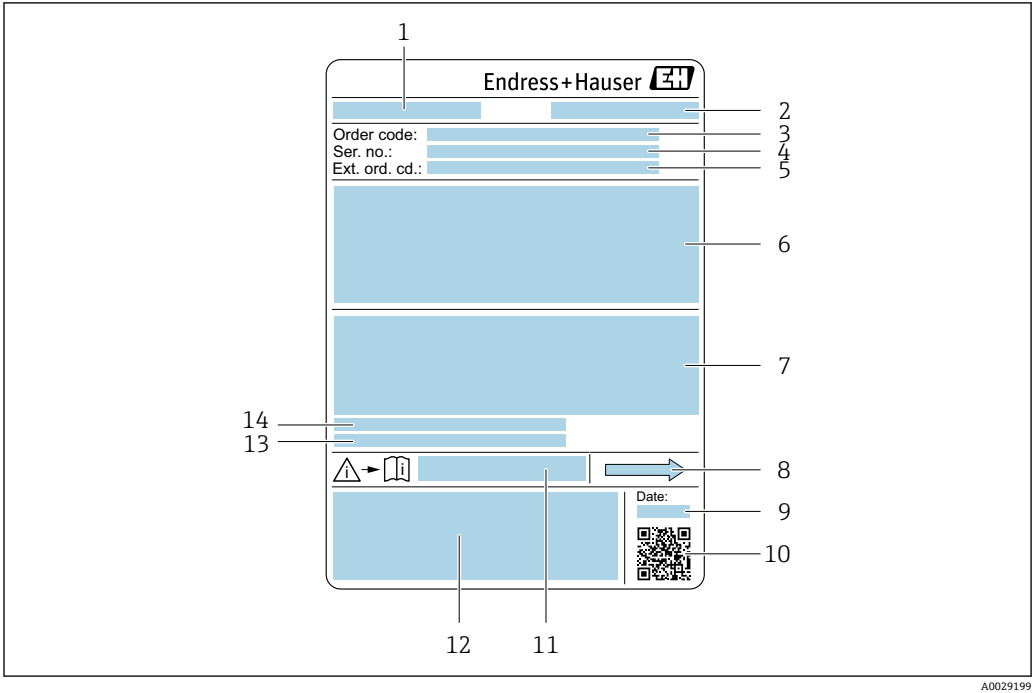


図 3 センサ銘板の例

- 1 センサ名
- 2 製造者所在地/認証保有者
- 3 オーダーコード
- 4 シリアル番号 (Ser. no.)
- 5 拡張オーダーコード (Ext. ord. cd.)
- 6 センサ呼び口径、フランジ呼び口径/定格圧力、センサ試験圧力、流体温度範囲、計測チューブおよびマニホールドの材質、センサ固有の情報 (例: センサハウジングの圧力範囲、密度仕様 (高精度密度校正))
- 7 防爆認定、欧州圧力機器指令、保護等級の情報
- 8 流れ方向
- 9 製造日: 年、月
- 10 2-D マトリクスコード
- 11 安全関連の補足資料の資料番号
- 12 CE マーク、RCM マーク
- 13 表面粗さ
- 14 許容周囲温度 (T_a)

i オーダーコード

機器の追加注文の際は、オーダーコードを使用してください。

拡張オーダーコード

- 機器タイプ (製品ルートコード) と基本仕様 (必須仕様コード) を必ず記入します。
- オプション仕様 (オプション仕様コード) については、安全および認定に関する仕様のみを記入します (例: LA)。その他のオプション仕様も注文する場合、これは # 記号を用いて示されます (例: #LA#)。
- 注文したオプション仕様に安全および認定に関する仕様が含まれない場合は、+ 記号を用いて示されます (例: XXXXXX-ABCDE+)。

4.2.3 機器のシンボル

シンボル	意味
	警告 危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して適切な対処を怠った場合、死亡、重傷、爆発などの重大事故が発生する可能性があります。潜在的な危険のタイプを特定し、それを回避するには、計測機器の関連資料を参照してください。
	資料参照 対応する機器関連文書の参照指示
	保護接地端子 その他の接続を行う前に、接地接続する必要がある端子

5 保管および輸送

5.1 保管条件

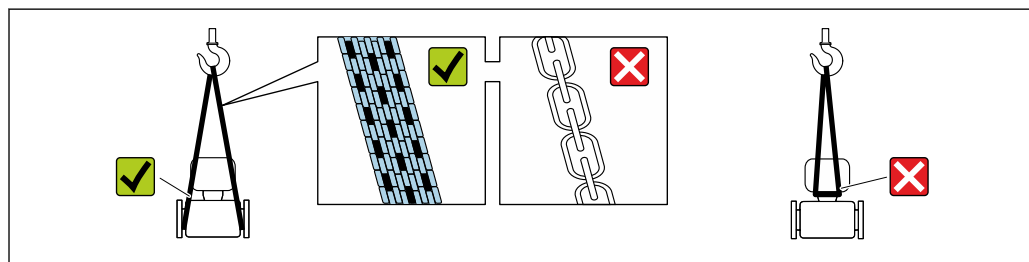
保管する際は、次の点に注意してください。

- ▶ 衝撃を防止するため、納品に使用された梱包材を使って保管してください。
- ▶ プロセス接続部に取り付けられている保護カバーまたは保護キャップは外さないでください。これは、シール面の機械的な損傷と計測チューブ内の汚染を防止するために必要です。
- ▶ 直射日光があたらないようにしてください。表面温度が高くなりすぎないようにしてください。
- ▶ 乾燥した、粉塵のない場所に保管してください。
- ▶ 屋外に保管しないでください。

保管温度 → 253

5.2 製品の運搬

納品に使用された梱包材を使って、機器を測定現場まで運搬してください。



A0029252

i プロセス接続部に取り付けられている保護カバーまたはキャップは外さないでください。これは、シール表面の機械的な損傷と計測チューブ内の汚染を防止するために必要です。

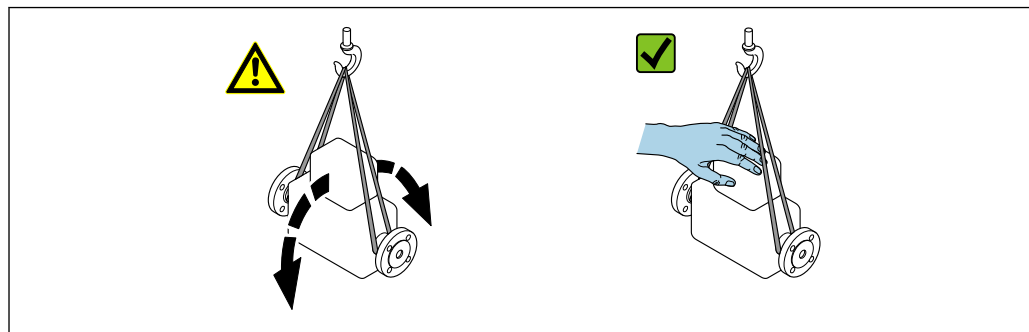
5.2.1 吊金具なし機器

⚠ 警告

機器の重心は、吊り帯の吊り下げポイントより高い位置にあります。

機器がずり落ちると負傷する恐れがあります。

- ▶ 機器がずり落ちたり、回転したりしないようにしっかりと固定してください。
- ▶ 梱包材に明記された質量（貼付ラベル）に注意してください。



A0029214

5.2.2 吊金具付き機器

注意

吊金具付き機器用の特別な運搬指示

- ▶ 機器の運搬には、機器に取り付けられている吊金具またはフランジのみを使用してください。
- ▶ 機器は必ず、最低でも 2 つ以上の吊金具で固定してください。

5.2.3 フォークリフトによる運搬

木箱に入れて運搬する場合は、フォークリフトを使用して縦方向または両方向で持ち上げられるような木箱の床構造となっています。

5.3 梱包材の廃棄

梱包材はすべて環境にやさしく、100% リサイクル可能です。

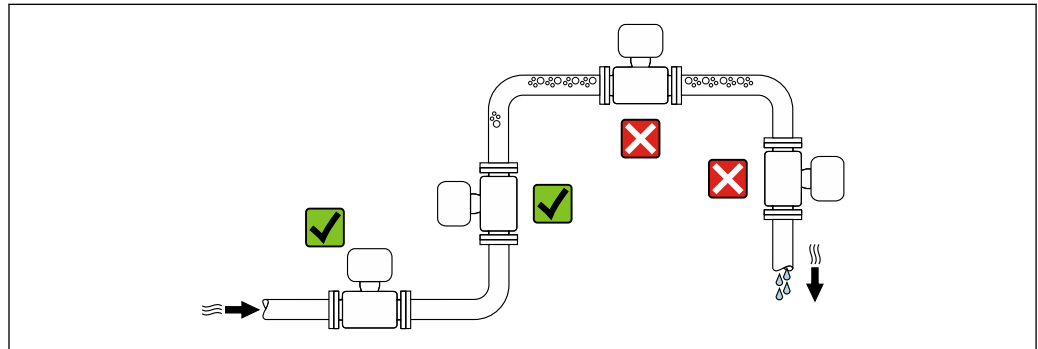
- 機器の外装
EU 指令 2002/95/EC (RoHS) に準拠するポリマー製ストレッチフィルム
- 梱包材
 - ISPM 15 基準に準拠して処理された木枠、IPPC ログによる確認証明付き
 - 欧州包装ガイドライン 94/62/EC に準拠する段ボール箱、リサイクル可能、RESY マークによる確認証明付き
- 輸送用資材および固定具
 - 使い捨てプラスチック製パレット
 - プラスチック製ストラップ
 - プラスチック製粘着テープ
- 充填材
紙製緩衝材

6 取付け

6.1 取付要件

6.1.1 取付位置

設置場所



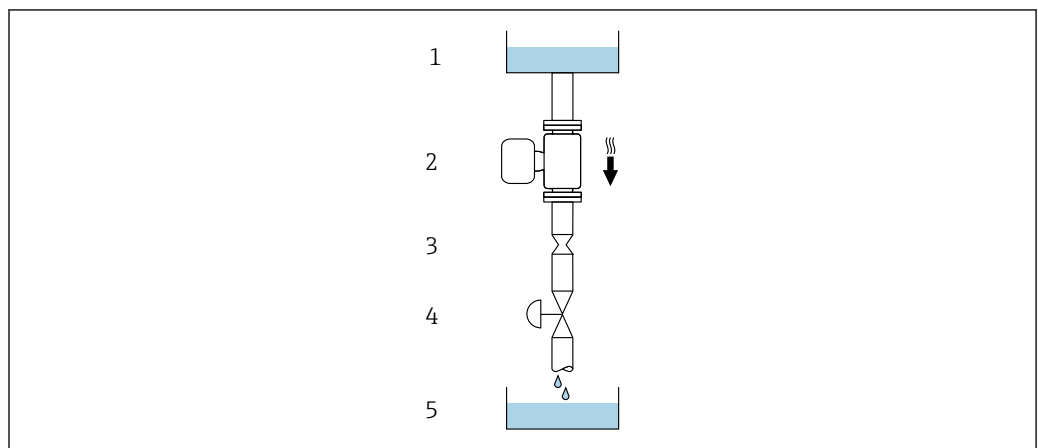
A0028772

測定管内の気泡溜まりによる測定誤差を防止するため、以下の配管位置には取付けないでください。

- 配管の最も高い位置
- 下向き垂直配管の開放出口の直前

下り配管への設置

ただし、次の設置方法をとることにより、開放型の垂直配管への取付けも可能です。呼び口径より断面積の小さな絞り機構あるいはオリフィスプレート設けることにより、測定中に計測チューブ内が空洞状態になることを防止できます。



A0028773

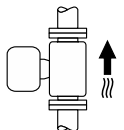
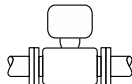
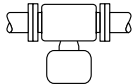
図 4 下り配管への設置（例：バッチアプリケーション用）

- 1 供給タンク
- 2 センサ
- 3 オリフィスプレート、絞り機構
- 4 バルブ
- 5 充填容器

呼び口径		Ø オリフィスプレート、絞り機構	
[mm]	[in]	[mm]	[in]
25	1	14	0.55
50	2	28	1.10
80	3	50	1.97
100	4	65	2.60

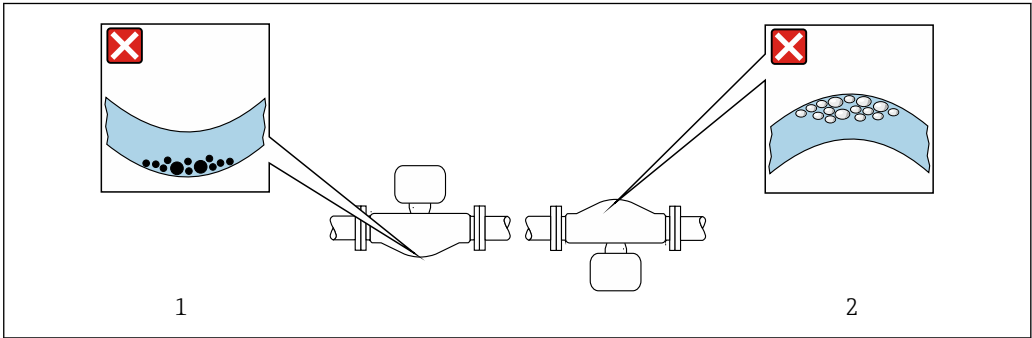
取付方向

センサの銘板に表示された矢印の方向が、流れ方向（配管を流れる測定物の方向）に従ってセンサを取り付ける際に役立ちます。

取付方向			推奨
A	垂直方向	 A0015591	✓✓✓ ¹⁾
B	水平方向、変換器が上向き	 A0015589	✓✓✓ ²⁾ 例外： → ☒ 5, ☒ 21
C	水平方向、変換器が下向き	 A0015590	✓✓✓ ³⁾ 例外： → ☒ 5, ☒ 21
D	水平方向、変換器が横向き	 A0015592	✓✓✓ → ☒ 24 ⁴⁾

- 1) 確実に自己排水するためには、この取付方向を推奨します。
- 2) プロセス温度が低いアプリケーションでは、周囲温度も低くなる場合があります。これは、変換器の最低周囲温度を守るための推奨の取付方向です。
- 3) プロセス温度が高いアプリケーションでは、周囲温度も高くなる場合があります。これは、変換器の最大周囲温度を守るための推奨の取付方向です。
- 4) 不均一な測定物には推奨されません。

計測チューブが弓形のセンサを水平取付する場合は、液体の特性に考慮した位置にセンサを設置してください。



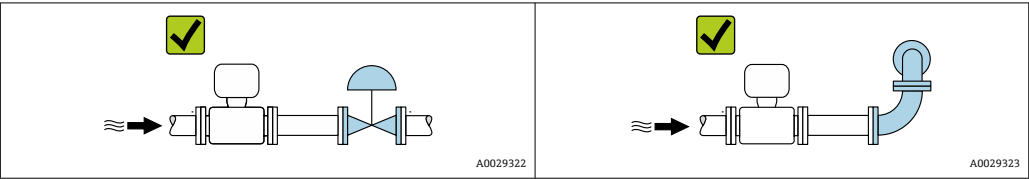
A0028774

☒ 5 弓形計測チューブセンサの取付方向

- 1 固形分を含む液体には、この取付方向は避けてください。固形分が堆積する恐れがあります。
- 2 気泡が発生する恐れのある液体には、この取付方向は避けてください。気泡が滞留する恐れがあります。

上流側/下流側直管長

キャピテーションが発生しない限り、流れの乱れを生じさせる障害物（バルブ、エルボ、チーズなど）に特別な予防措置をとる必要はありません → 図 22。



取付寸法

 機器の外形寸法および取付寸法については、技術仕様書の「構造」セクションを参照してください。

6.1.2 環境およびプロセスの要件

周囲温度範囲

機器	■ -40～+60 °C (-40～+140 °F) ■ 「試験、証明」のオーダーコード、オプション JP : -50～+60 °C (-58～+140 °F)
現場表示器の視認性	-20～+60 °C (-4～+140 °F) 温度が許容温度範囲外の場合、表示部の視認性が悪化する可能性があります。

 周囲温度と測定物温度の依存関係 → 図 254

- ▶ 屋外で使用する場合：
特に高温地域では直射日光は避けてください。

静圧

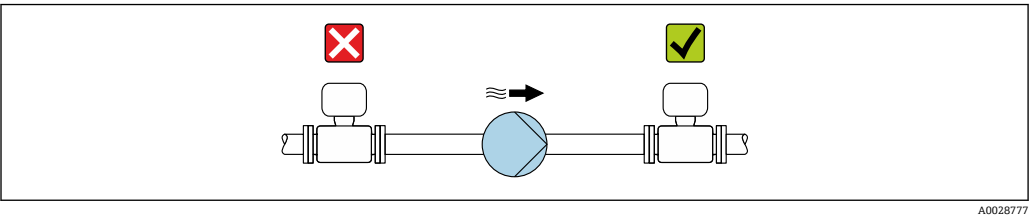
キャピテーションが発生しないようにすることや、液体に混入したガスが発泡しないようにすることが重要です。

使用圧力が蒸気圧を下回った場合に、キャピテーションは発生します。

- 沸点の低い液体において（例：炭化水素、溶剤、液化ガス）
- 吸引ラインにおいて
- ▶ キャピテーションやガスの発泡を防止するため、静圧を十分に高く維持してください。

従って、最適な設置場所は以下のようになります。

- 垂直配管の最下点
- ポンプの下流側（真空になる恐れがありません）



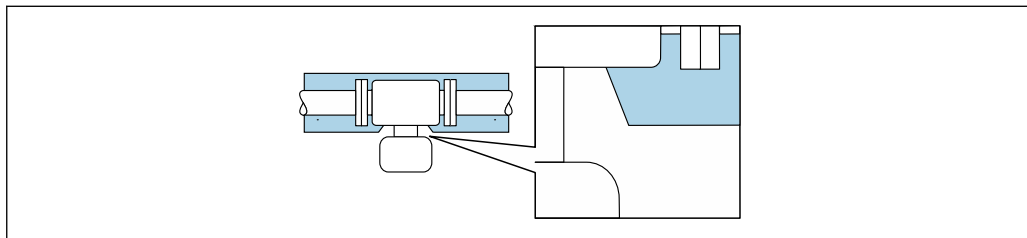
断熱

一部の流体においては、センサから変換器への放射熱を低く抑えることが重要です。必要な断熱を設けるために、さまざまな材質を使用することができます。

注記

断熱により電子機器部が過熱する恐れがあります。

- ▶ 推奨の取付方向：水平取付、変換器ハウジングは下向き
- ▶ 変換器ハウジングを断熱しないでください。
- ▶ 変換器ハウジング下端の許容最高温度：80 °C (176 °F)
- ▶ 伸長ネックを覆わない断熱について：最適な放熱を保証するために、伸長ネックを断熱しないことをお勧めします。



A0034391

図 6 伸長ネックを覆わない断熱

i 低温バージョン：通常は、変換器ハウジングを断熱する必要はありません。断熱材が用意されている場合は、断熱材向けの規則と同じものが適用されます。

ヒーティング

注記

周囲温度の上昇により電子モジュールが過熱する恐れがあります。

- ▶ 変換器の許容最高周囲温度に注意してください。
- ▶ 流体温度に応じて、機器取付方向の要件を考慮してください。

注記

ヒーティング時の過熱の危険

- ▶ 変換器ハウジング下端の温度は 80 °C (176 °F) を超えないようにしてください。
- ▶ 変換器ネック部分で十分な対流が起きていることを確認してください。
- ▶ 爆発性雰囲気中使用する場合は、機器固有の防爆資料の指示に従ってください。温度表の詳細については、別冊の機器の「安全上の注意事項」(XA) を参照してください。
- ▶ 適切なシステムデザインでも過熱を抑制できない場合は、プロセス診断「830 周囲温度が高すぎる」および「832 基板温度が高すぎる」を確認してください。

ヒーティングオプション

センサで熱損失が発生してはならない流体の場合は、次のヒーティングオプションを利用することが可能です。

- 電気ヒーティング（例：電気バンドヒーターの使用）²⁾
- 温水または蒸気を利用した配管
- スチームジャケット

振動

計測システムの動作信頼性は、プラントの振動による影響を受けません。

2) 並列電気バンドヒーターの使用が一般的に推奨されます（双方向の電気の流れ）。単線式ヒーターケーブルを使用する場合は、特別な考慮が必要です。追加情報については、EA01339D「電気トレースヒーティングシステムの設置要領書」を参照してください。

6.1.3 特別な設置方法

排液性

垂直方向に設置すると、計測チューブから液体を完全に排出して付着を防止することができます。

サニタリ適合性



- サニタリアプリケーションに設置する場合は、「認証と認定」の「サニタリ適合性」セクションを参照してください。→ 264
- 「ハウジング」のオーダーコード、オプション B 「ステンレス、サニタリ」の機器の場合、端子部カバーを密閉するには、手でしっかりと締めてから、さらに 45° (15 Nm に相当) 締め付けてください。

破裂板

プロセス関連の情報：→ 255



測定物が漏れる危険性があります。

圧力のかかった測定物が漏れることにより、負傷したり、物質的損害がもたらされる可能性があります。

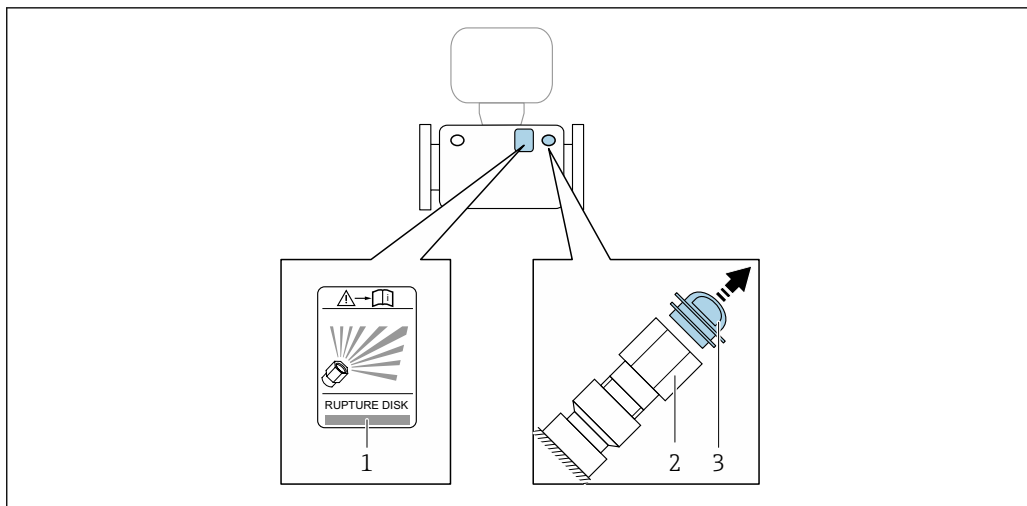
- ▶ 破裂板が作動した場合に、要員に危険が及んだり損傷したりしないよう、予防措置を講じてください。
- ▶ 破裂板ラベルの情報に注意してください。
- ▶ 破裂板の機能や作動が機器の設置により妨げられないように注意してください。
- ▶ スチームジャケットは使用しないでください。
- ▶ 破裂板を取り外したり、破損させたりしないでください。

破裂板の位置はその横に取り付けられたラベルに示されています。

輸送用ガードを取り外す必要があります。

既存の接続ノズルは洗浄または圧力を監視するためのものではなく、破裂板の取付位置として機能します。

破裂板が故障した場合、漏れた測定物を排出するための排出管を破裂板の雌ねじにねじ込むことができます。



A0030346

- 1 破裂板ラベル
- 2 1/2" NPT 雌ねじ付き破裂板 (対辺距離 1")
- 3 輸送用ガード

 寸法については、「技術仕様書」の「構造」セクション（アクセサリ）を参照してください。

ゼロ検証およびゼロ調整

すべての計測機器は、最新技術に従って校正が実施されています。校正は、基準条件下で行われています→ 248。そのため、現場でのゼロ調整は、通常は必要ありません。

ゼロ調整が推奨されるのは、次のような特別な場合のみです。

- 低流量でも最高の測定精度が要求される場合
- 過酷なプロセス条件または動作条件の場合（例：非常に高いプロセス温度、非常に高粘度の流体）
- 低圧のガスアプリケーションの場合

 低流量時に最高レベルの測定精度を得るには、運転中の機械的応力からセンサが保護されるように設置する必要があります。

代表的なゼロ点を取得するには、次の点を確認してください。

- 調整中に機器内に流れが生じないこと
- プロセス条件（例：圧力、温度）が代表的なものであり、安定していること

以下のプロセス条件下では、検証および調整を実行できません。

- 気泡
システムが媒体で十分に洗い流されていることを確認してください。繰り返し洗い流すと、気泡を取り除くことができます。
- 熱循環
温度差がある場合（例：計測チューブ入口と出口部分の間）、機器内の熱循環によりバルブが閉じていても誘起流が発生する可能性があります。
- バルブの漏れ
バルブに気密性がないと、ゼロ点を決定するときに流れを十分に防ぐことができません。

これらの条件が避けられない場合は、工場出荷時のゼロ点設定のままにしておくことを推奨します。

ピッチ角とロール角

機器を液体の密度測定に使用する場合は、設置の際にピッチ角とロール角を考慮する必要があります。

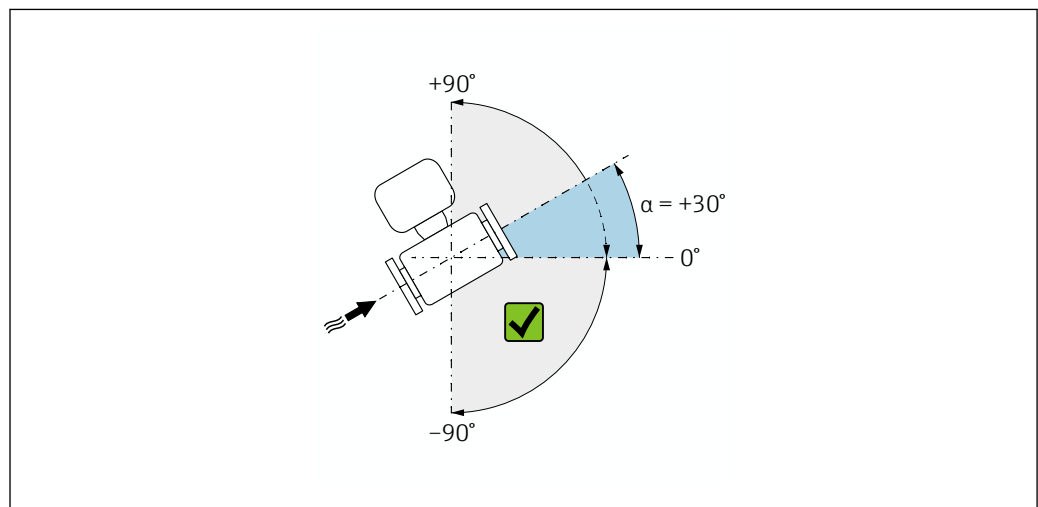
i 正確に測定するためには、設定中にピッチ角とロール角を ($\pm 10^\circ$ の許容誤差で) 決定し、**設置のピッチ角** パラメータ ($\rightarrow$ 図 120) および **設置のロール角** パラメータ ($\rightarrow$ 図 120) に入力する必要があります。

b 密度測定の詳細については、機器の個別説明書を参照してください。 $\rightarrow$ 図 269

ピッチ角

技術的に関連したピッチ角は灰色で表示された角度 = $-90^\circ \sim +90^\circ$ です。

例 (青) : ピッチ角 $\alpha = +30^\circ$ での機器の設置



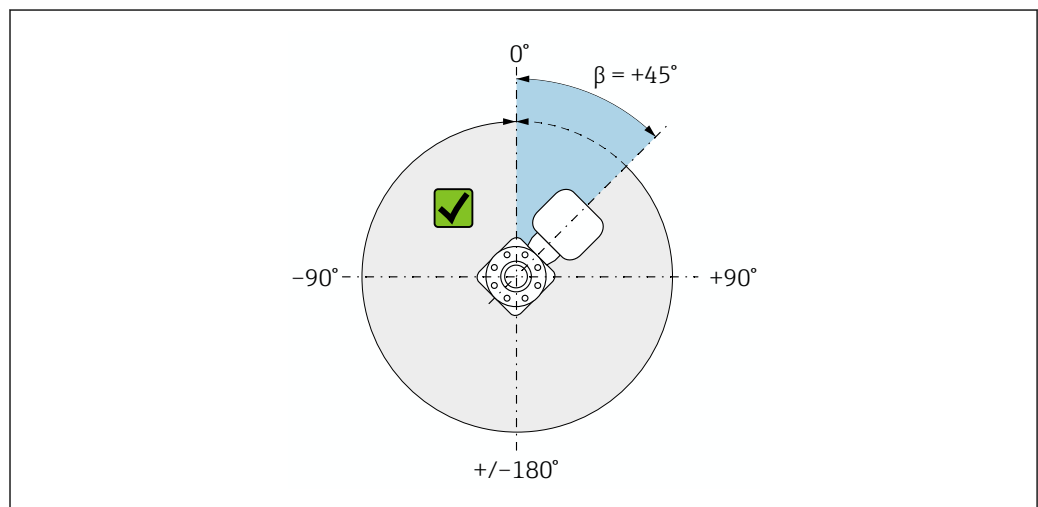
A0040032

図 7 左から右への流れ方向の側面図

ロール角

技術的に関連したロール角は灰色で表示された角度 = $-180^\circ \sim +180^\circ$ です。

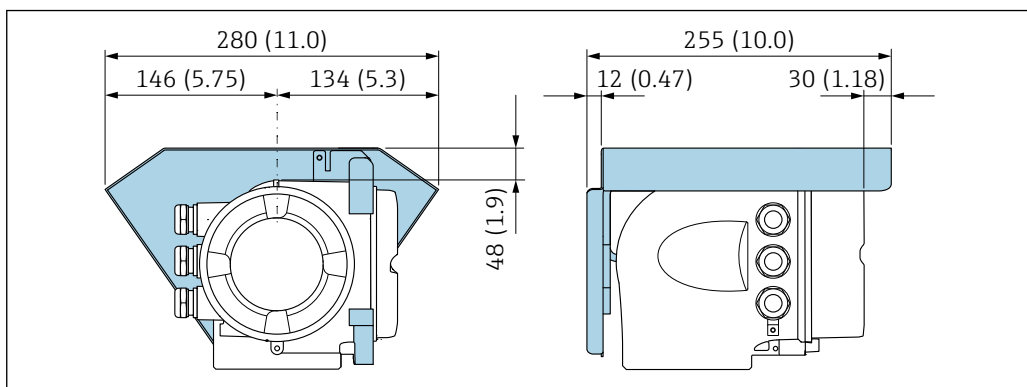
例 (青) : ロール角 $\alpha = +45^\circ$ での機器の設置



A0040033

図 8 流れ方向の上面図

日除けカバー



A0029553

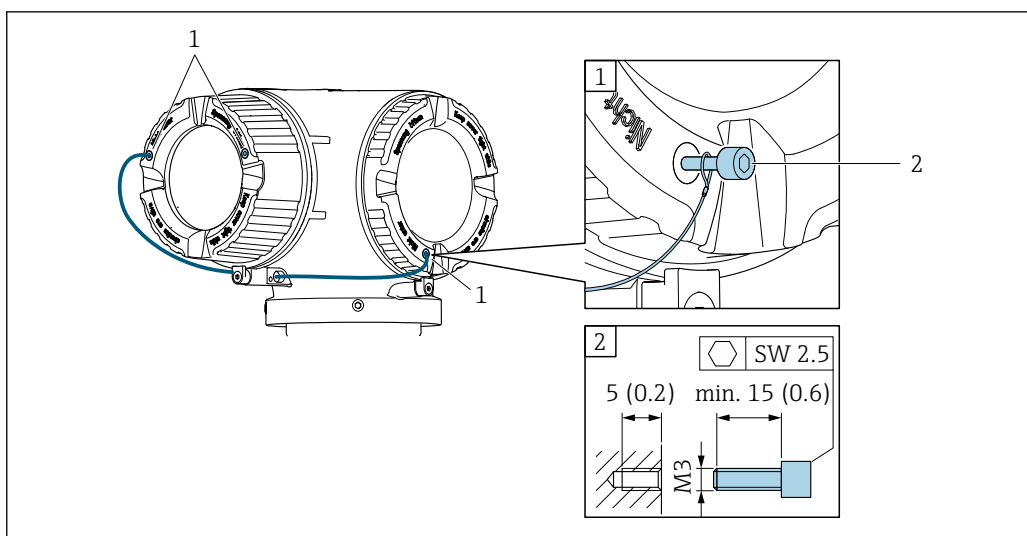
図 9 単位 mm (in)

カバーロック

注記

オーダーコード「ハウジング」のオーダーコード、オプション L「鋳造、ステンレス」: 変換器ハウジングのカバーには、カバーをロックするための穴が用意されています。現場でユーザー側が用意するネジとチェーンまたはケーブルを使用してカバーをロックすることが可能です。

- ▶ ステンレス製のケーブルまたはチェーンの使用を推奨します。
- ▶ 保護コーティングされている場合は、ハウジングの塗装を保護するために熱収縮チューブの使用を推奨します。



A0029800

- 1 固定ネジ用のカバー穴
- 2 カバーをロックするための固定ネジ

6.2 計測機器の取付け

6.2.1 必要な工具

センサ用

フランジおよびその他のプロセス接続の場合：適切な取付工具を使用してください。

6.2.2 計測機器の準備

1. 残っている輸送梱包材をすべて取り除きます。
2. センサから保護カバーまたは保護キャップをすべて取り外します。
3. 電子部のカバーに付いているステッカーをはがします。

6.2.3 機器の取付け

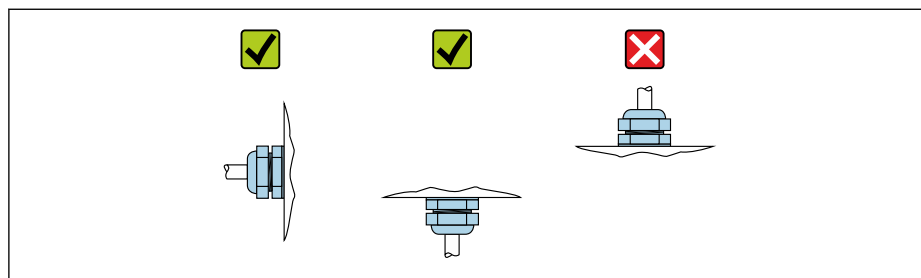
⚠ 警告

プロセスの密閉性が不適切な場合、危険が及ぶ可能性があります。

- ▶ ガasketの内径がプロセス接続や配管と同等かそれより大きい確認してください。
- ▶ シールに汚れや損傷がないことを確認してください。
- ▶ シールを正しく固定してください。

1. センサの銘板に表示された矢印の方向が、測定物の流れ方向と一致していることを確認します。
2. 電線口が上を向かないように機器を取り付けるか、変換器ハウジングを回転させます。

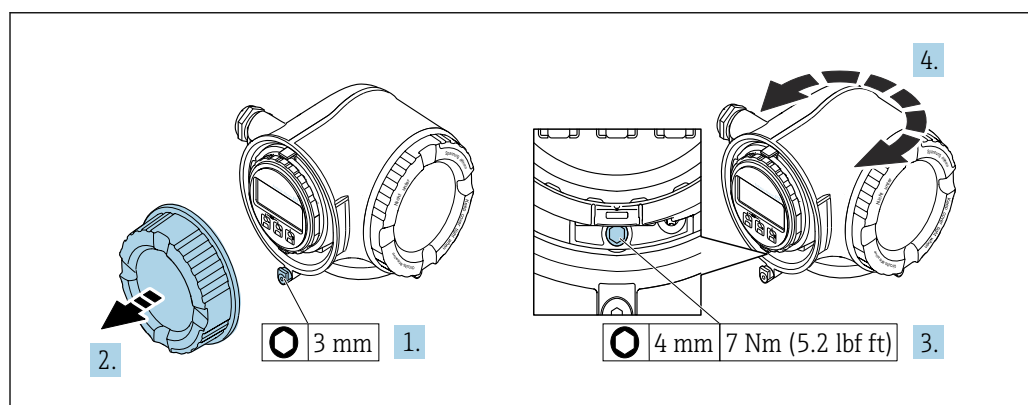
→



A0029263

6.2.4 変換器ハウジングの回転

端子部や表示モジュールにアクセスしやすくするため、変換器ハウジングを回転させることが可能です。

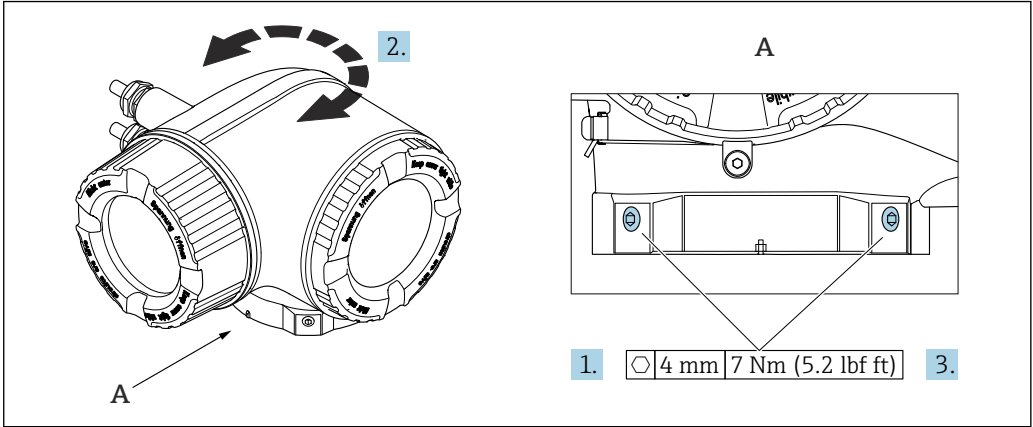


A0029993

図 10 非防爆バージョンハウジング

1. 機器バージョンに応じて、端子部蓋の固定クランプを緩めます。
2. 端子部蓋を外します。
3. 固定ネジを緩めます。
4. ハウジングを必要な位置に回転させます。
5. 固定ネジを締め付けます。
6. 端子部蓋を取り付けます。

7. 機器バージョンに応じて、端子部蓋の固定クランプを取り付けます。



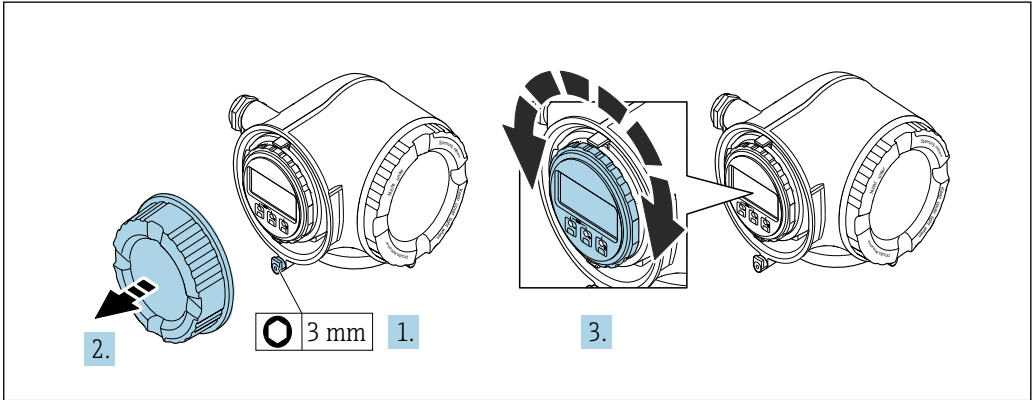
A0043150

11 防爆ハウジング

1. 固定ネジを緩めます。
2. ハウジングを必要な位置に回転させます。
3. 固定ネジを締め付けます。

6.2.5 表示モジュールの回転

表示モジュールを回転させて、表示部の視認性と操作性を最適化することが可能です。



A0030035

1. 機器バージョンに応じて、端子部カバーの固定クランプを緩めます。
2. 端子部カバーを外します。
3. 表示モジュールを必要な位置に回転させます（両方向に最大 $8 \times 45^\circ$ ）。
4. 端子部カバーを取り付けます。
5. 機器バージョンに応じて、端子部カバーの固定クランプを取り付けます。

6.3 設置状況の確認

機器は損傷していないか？（外観検査）	☐
計測機器が測定点の仕様に対応しているか？ 例： ▪ プロセス温度 → 254 ▪ 圧力（技術仕様書の「P-T レイティング」セクションを参照） ▪ 周囲温度 ▪ 測定範囲	☐

センサの正しい取付方向が選択されているか？ → 図 21 ■ センサタイプに応じて ■ 測定物温度に応じて ■ 測定物特性に応じて（気泡、固形分が含まれる）	☐
センサの矢印が測定物の流れ方向と一致しているか？ → 図 21	☐
タグ名とそれに対応する銘板は正しいか（外観検査）？	☐
機器が雨水および直射日光から適切に保護されているか？	☐
固定ネジや固定クランプがしっかりと締め付けられているか？	☐

7 電気接続

警告

帯電部！電気接続に関する作業が不適切な場合、感電の危険性があります。

- ▶ 機器の電源を容易に切ることができるように、断路装置（スイッチまたは電源ブレーカ）を設定します。
- ▶ 機器のヒューズに加えて、最大 10 A の過電流保護ユニットをプラント設備に組み込んでください。

7.1 電気の安全性

適用される各国の規制に準拠

7.2 接続要件

7.2.1 必要な工具

- 電線管接続口用：適切な工具を使用
- 固定クランプ用：六角レンチ 3 mm
- 電線ストリッパー
- より線ケーブルを使用する場合：電線端スリーブ用の圧着工具
- ケーブルを端子から外す場合：マイナスドライバ $\leq 3 \text{ mm}$ (0.12 in)

7.2.2 接続ケーブルの要件

ユーザー側で用意する接続ケーブルは、以下の要件を満たす必要があります。

外部接地端子用の保護接地ケーブル

導体断面積 $< 2.1 \text{ mm}^2$ (14 AWG)

ケーブルラグを使用すると、より大きな断面積の接続が可能になります。

接地インピーダンスは 2Ω 以下でなければなりません。

許容温度範囲

- 設置する国/地域に適用される設置ガイドラインを順守する必要があります。
- ケーブルは予想される最低温度および最高温度に適合しなければなりません。

電源ケーブル（内部接地端子用の導体を含む）

一般的な接続ケーブルをご使用いただけます。

信号ケーブル

-  取引計量の場合、すべての信号線をシールドケーブル（錫メッキ銅編組線、光被覆率 $\geq 85 \%$ ）にする必要があります。ケーブルシールドを両側に接続してください。

PROFIBUS PA

シールド付きツイストペアケーブル。ケーブルタイプ A が推奨です。

-  <https://www.profibus.com> の「PROFIBUS Installation Guidelines」を参照してください。

Ethernet-APL

シールド付きツイストペアケーブル。ケーブルタイプ A が推奨です。

 <https://www.profibus.com> の Ethernet-APL のホワイトペーパーを参照してください。

電流出力 0/4～20 mA（HART を除く）

一般的な接続ケーブルをご使用いただけます。

パルス / 周波数 / スイッチ出力

一般的な接続ケーブルをご使用いただけます。

リレー出力

一般的な接続ケーブルをご使用いただけます。

電流入力 4～20 mA

一般的な接続ケーブルをご使用いただけます。

ステータス入力

一般的な接続ケーブルをご使用いただけます。

ケーブル径

- 提供されるケーブルグラント：
M20 × 1.5、Ø 6～12 mm (0.24～0.47 in) ケーブル用
- スプリング端子：より線およびスリーブ付きより線に最適
導体断面積 0.2～2.5 mm² (24～12 AWG)

接続ケーブルの要件 – 分離型ディスプレイと操作モジュール DKX001

オプションで使用可能な接続ケーブル

ケーブルは注文オプションに応じて納入されます。

- 機器のオーダーコード：「ディスプレイ；操作」のオーダーコード **030**、オプション **O**
または
- 機器のオーダーコード：「ディスプレイ；操作」のオーダーコード **030**、オプション **M**
および
- DKX001 のオーダーコード：「ケーブル」のオーダーコード **040**、オプション **A、B、D、E**

標準ケーブル	2 × 2 × 0.34 mm ² (22 AWG) 共通シールド付き PVC ケーブル (2 ペア、ペア撚り)
難燃性	DIN EN 60332-1-2 に準拠
耐油性	DIN EN 60811-2-1 に準拠
シールド	錫メッキ銅編組線、光学的カバー ≥ 85 %
静電容量：コア/シールド	≤ 200 pF/m
L/R	≤ 24 μH/Ω
使用可能なケーブル長	5 m (15 ft)/10 m (35 ft)/20 m (65 ft)/30 m (100 ft)
動作温度	固定位置に取り付けた場合：-50～+105 °C (-58～+221 °F)；ケーブルを自由に移動できる場合：-25～+105 °C (-13～+221 °F)

標準ケーブル - ユーザー固有のケーブル

以下の注文オプションの場合は、機器にケーブルが付属しないため、ユーザー側で用意する必要があります。

DKX001 のオーダーコード : 「ケーブル」 のオーダーコード **040**、オプション **1** 「なし、ユーザー側で用意、最大 300 m」

以下の最小要件を満たす標準ケーブルは、危険場所 (Zone 2, Class I, Division 2 および Zone 1, Class I, Division 1) においても接続ケーブルとして使用可能 :

標準ケーブル	4 線式 (2 ペア)、共通シールド付きペア撚り、最小ケーブル断面積 0.34 mm ² (22 AWG)
シールド	錫メッキ銅編組線、光学的カバレッジ ≥ 85 %
ケーブルインピーダンス (ペア)	最小 80 Ω
ケーブル長	最大 300 m (1000 ft)、最大ループインピーダンス 20 Ω
静電容量 : コア/シールド	最大 1000 nF、Zone 1, Class I, Division 1 の場合
L/R	最大 24 μH/Ω、Zone 1, Class I, Division 1 の場合

7.2.3 端子の割当て

変換器：電源電圧、入力/出力

入出力の端子の割当ては、注文した個別の機器バージョンに応じて異なります。機器固有の端子の割当ては、端子部カバーに貼付されたラベルに明記されています。

電源電圧		入力/出力 1		入力/出力 2		入力/出力 3	
1 (+)	2 (-)	26 (B)	27 (A)	24 (+)	25 (-)	22 (+)	23 (-)
機器固有の端子の割当て：端子カバーに貼付されたラベルシール							

 分離型ディスプレイと操作モジュールの端子の割当て → 39

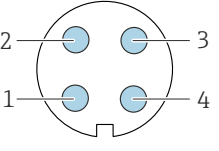
7.2.4 使用可能な機器プラグ

 危険場所では機器プラグを使用できません。

「入力；出力 1」のオーダーコード、オプション GA「PROFIBUS PA」

オーダーコード 「電気接続」	電線管接続口/コネクタ	
	2	3
L, N, P, U	コネクタ M12 × 1	-

7.2.5 機器プラグのピンの割当て

	ピン	割当て		コード	プラグ/ソケット
	1	+	PROFIBUS PA +	A	プラグ
	2		接地		
	3	-	PROFIBUS PA -		
	4		割当てなし		

7.2.6 シールドおよび接地

フィールドバスシステムの最適な電磁適合性（EMC）は、システムコンポーネント、特に配線をできるだけ完全にシールドした場合にのみ保証されます。可能な限り全体をシールドしてください。シールド率は 90 % が理想的です。

1. 最適な電磁適合性を確保するためには、シールドをできるだけ基準接地に接続することが重要です。
2. 防爆のため、接地を省略することを推奨します。

両方の要件を満たすために、フィールドバスシステムは通常は 3 種類のシールド方法に対応しています。

- 両端をシールドする
- キャパシタ端子を備えたフィールド機器において給電側の一端だけをシールドする
- 給電側の一端だけをシールドする

ほとんどの場合、給電側の一端だけをシールドしたケーブルを挿入すると最も良い電磁適合性が得られます（フィールド機器にキャパシタ端子がない場合）。EMC 干渉が存在する場合に操作を制限されないようにするには、入力配線に関する適切な措置を講じる

必要があります。本機ではこれらの措置が考慮されており、NAMUR NE21 に準拠した操作の耐干渉性が保証されます。

1. 設置に際しては、各国の設置要件およびガイドラインに従ってください。
2. 個々の接地点間の電位差が大きい場合は、シールドの 1 点のみを直接基準接地に接続してください。
3. 電位平衡のないシステムでは、フィールドバスシステムのケーブルシールドを、フィールドバス電源ユニットや安全バリアなどの片側のみに接地する必要があります。

注記

電位平衡のないシステムの場合は、ケーブルシールドの多重接地により電源周波数均等化電流が生じます。

バスケーブルシールドが損傷する恐れがあります。

- ▶ バスケーブルシールドは、現場接地端子または保護接地端子のどちらかに一端だけを接地してください。
- ▶ 接続されていないシールドは絶縁してください。

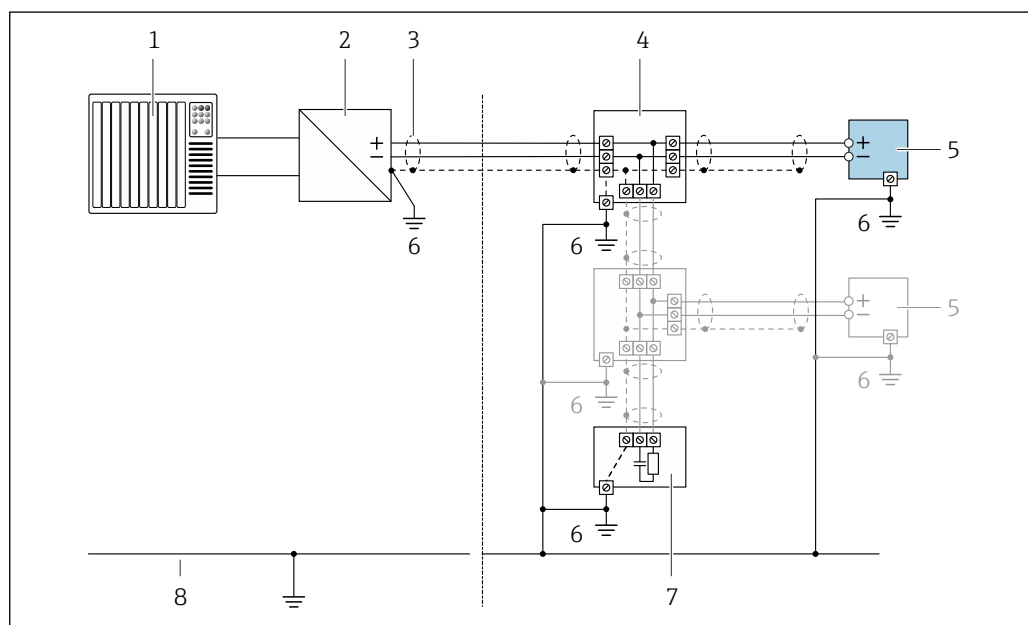


図 12 PROFIBUS PA の接続例

- 1 制御システム (例: PLC)
- 2 PROFIBUS PA セグメントカプラ
- 3 ケーブルシールド: EMC 要件を満たすために、ケーブルシールドの両端を接地してケーブル仕様に従ってください。
- 4 T ボックス
- 5 機器
- 6 接地
- 7 バスターミネータ
- 8 電位平衡導体

7.2.7 機器の準備

注記

ハウジングの密閉性が不十分な場合。

機器の動作信頼性が損なわれる可能性があります。

- ▶ 保護等級に対応する適切なケーブルグランドを使用してください。

1. ダミープラグがある場合は、これを取り外します。

2. 機器にケーブルグラウンドが同梱されていない場合：
接続ケーブルに対応する適切なケーブルグラウンドを用意してください。
3. 機器にケーブルグラウンドが同梱されている場合：
接続ケーブルの要件を遵守します。→ 図 31.

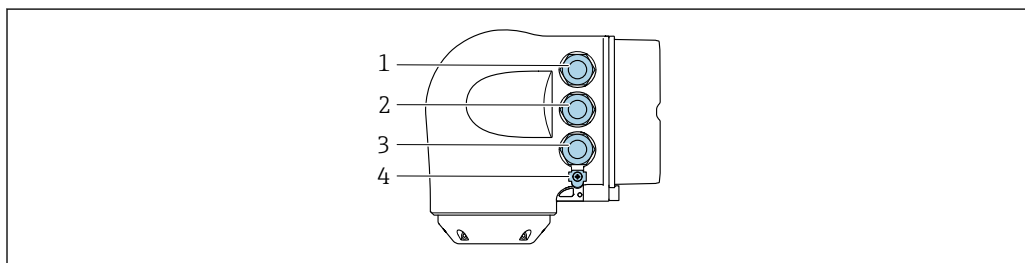
7.3 計測機器の接続

注記

接続を適切に行わないと、電気的安全性が損なわれます。

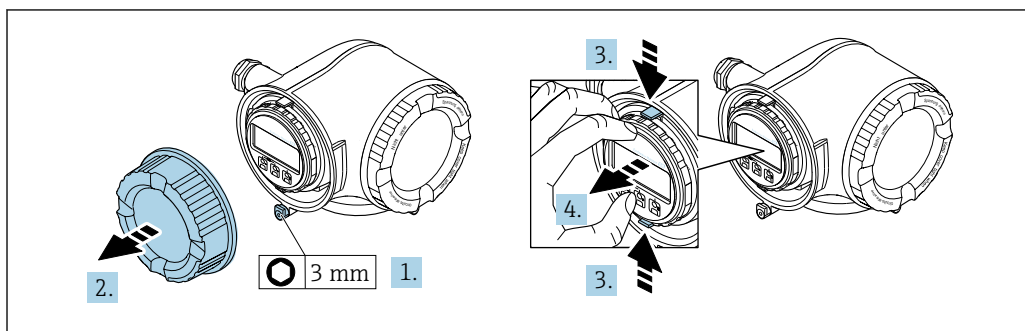
- ▶ 電気接続作業を実施できるのは、適切な訓練を受けた専門スタッフのみです。
- ▶ 適用される各地域/ 各国の設置法規を遵守してください。
- ▶ 各地域の労働安全規定に従ってください。
- ▶ 追加のケーブルを接続する前に、必ず保護接地ケーブルを接続します。Ⓢ
- ▶ 爆発性雰囲気中使用する場合は、機器固有の防爆資料の指示に従ってください。

7.3.1 変換器の接続



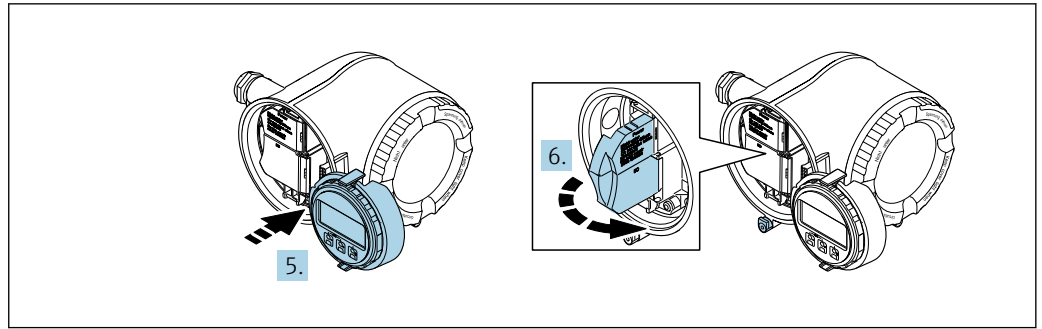
A0026781

- 1 電源用端子接続
- 2 入力/出力信号伝送用端子接続
- 3 入力/出力信号伝送用端子接続、またはサービスインタフェース経由 (CDI-RJ45) のネットワーク接続用端子；オプション：外部の WLAN アンテナ用接続またはリモートディスプレイと操作モジュール DKX001 用接続
- 4 保護接地 (PE)



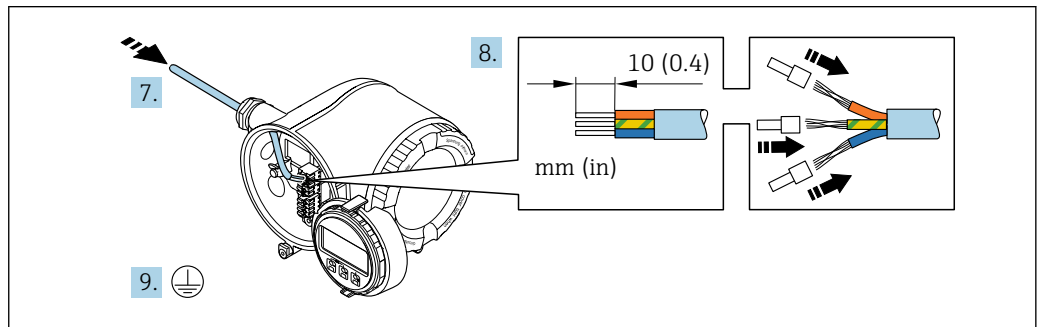
A0029813

1. 端子部カバーの固定クランプを緩めます。
2. 端子部カバーを外します。
3. 表示モジュールホルダのツメを同時に押し込みます。
4. 表示モジュールホルダを外します。



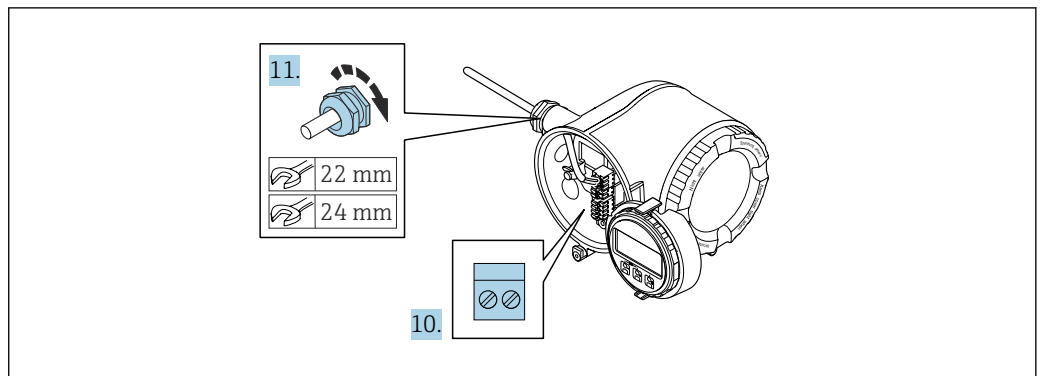
A0029814

5. 電子部コンパートメントの縁にホルダを取り付けます。
6. 端子部カバーを開きます。



A0029815

7. 電線管接続口からケーブルを挿入します。気密性を確保するため、電線管接続口のシールリングは外さないでください。
8. ケーブルおよびケーブル終端の被覆を剥がします。より線ケーブルを使用する場合は、棒端子も取り付けます。
9. 保護接地を接続します。

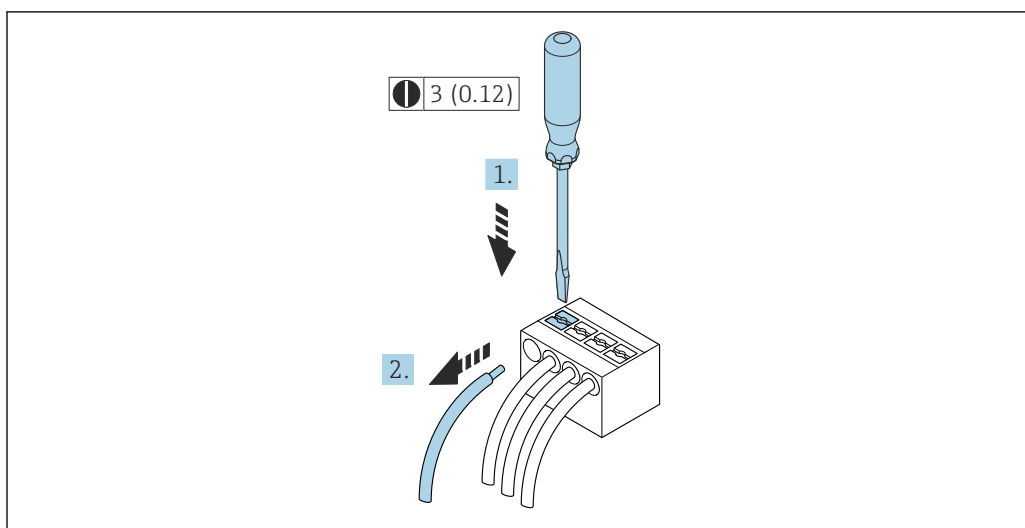


A0029816

10. 端子の割当てに従ってケーブルを接続します。
 - ↳ **信号ケーブルの端子の割当て**：機器固有の端子の割当ては、端子カバーの粘着ラベルに明記されています。
 - 電源接続の端子の割当て**：端子カバーの粘着ラベルまたは → 図 34
11. ケーブルグランドをしっかりと締め付けます。
 - ↳ これによりケーブル接続作業が完了します。
12. 端子カバーを閉じます。
13. 表示モジュールホルダをアンプ部に取り付けます。
14. 端子部蓋を取り付けます。
15. 端子部蓋の固定クランプをしっかりと固定します。

ケーブルの取外し

ケーブルを端子から外す場合：



A0029598

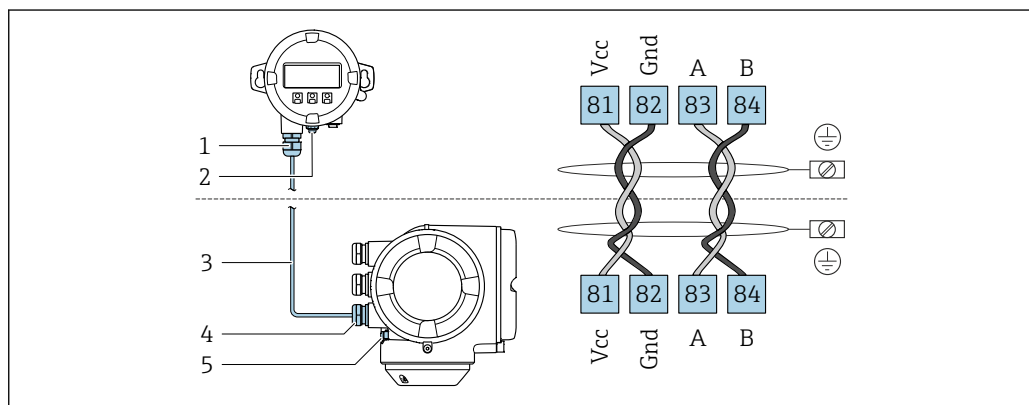
図 13 工学単位 mm (in)

1. マイナスドライバを使用して、2つの端子孔間のスロットを押し込みます。
2. 端子からケーブル端を取り外します。

7.3.2 リモートディスプレイと操作モジュール DKX001 の接続

i リモートディスプレイと操作モジュール DKX001 がオプションとして用意されています。→ 図 235..

- 分離ディスプレイと操作モジュール DKX001 は、次のハウジングの種類でのみ使用可能：「ハウジング」のオーダーコード：
 - オプション A「アルミニウム、コーティング」
 - オプション L「鋳物、ステンレス」
- リモートディスプレイと操作モジュール DKX001 を機器と同時に注文する場合、機器は必ずダミーカバー付きで納入されます。この場合は、変換器での表示または操作はできません。
- 後から注文した場合、リモートディスプレイと操作モジュール DKX001 は、既存の機器表示モジュールと同時に接続することはできません。1 つのディスプレイまたは操作ユニットしか同時に変換器に接続できません。



A0027518

- 1 リモートディスプレイと操作モジュール DKX001
- 2 電位平衡 (PE) 用の端子接続
- 3 接続ケーブル
- 4 計測機器
- 5 電位平衡 (PE) 用の端子接続

7.4 電位平衡

7.4.1 要件

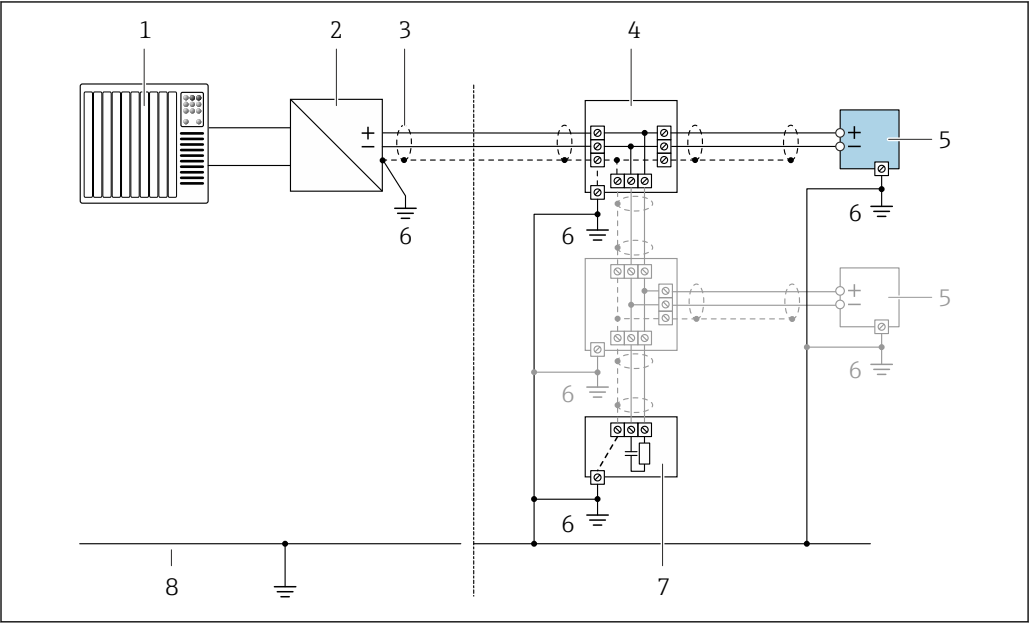
電位平衡に関して：

- 社内の接地コンセプトに注意してください。
- 配管材質や接地などの動作条件を考慮してください。
- 測定物、センサ、変換器を同じ電位に接続してください。
- 電位平衡接続には、断面積が 6 mm^2 (10 AWG) 以上の接地ケーブルとケーブルラグを使用してください。

7.5 特別な接続方法

7.5.1 接続例

PROFIBUS PA

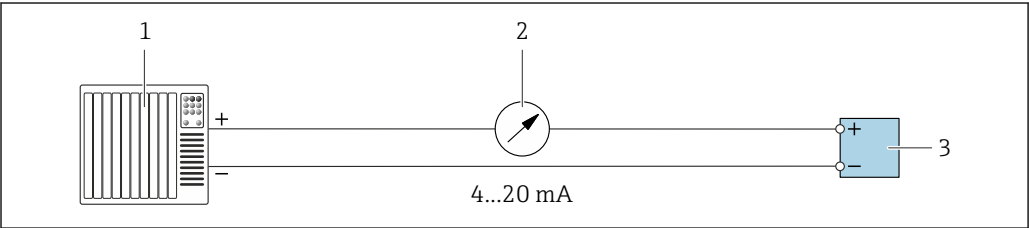


A0028768

図 14 PROFIBUS PA の接続例

- 1 制御システム（例：PLC）
- 2 PROFIBUS PA セグメントカプラー
- 3 一方の端にケーブルシールドが使用されています。EMC 要件を満たすために、ケーブルシールドの両端を接地してください。ケーブル仕様に従ってください。
- 4 T ボックス
- 5 機器
- 6 接地
- 7 バスターミネータ
- 8 アース線

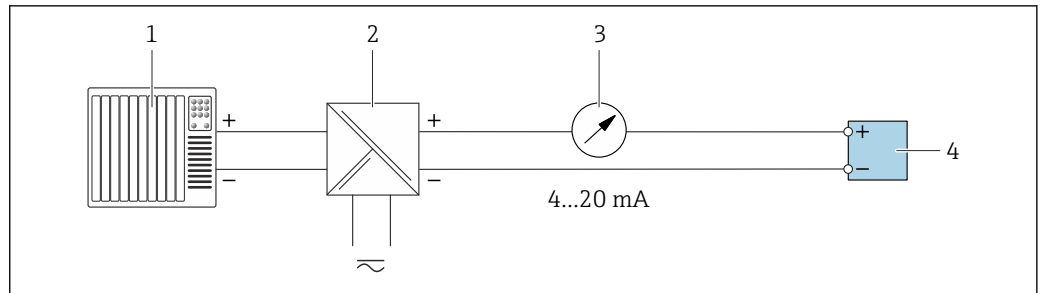
電流出力 4～20 mA



A0028758

図 15 4～20 mA 電流出力（アクティブ）の接続例

- 1 オートメーションシステム、電流入力付き（例：PLC）
- 2 アナログ表示器：最大負荷に注意
- 3 変換器

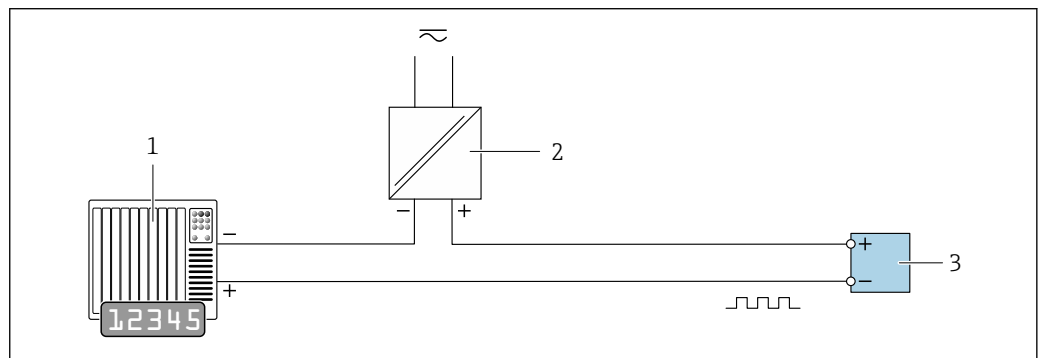


A0028759

図 16 4...20 mA 電流出力（パッシブ）の接続例

- 1 オートメーションシステム、電流入力付き（例：PLC）
- 2 電源用アクティブバリア（例：RN221N）
- 3 アナログ表示器：最大負荷に注意
- 4 変換器

パルス/周波数出力

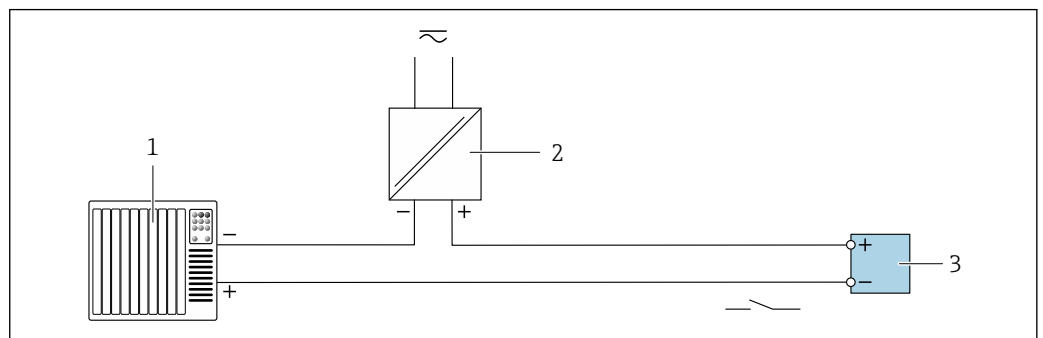


A0028761

図 17 パルス/周波数出力（パッシブ）の接続例

- 1 オートメーションシステム、パルス/周波数入力付き（例：PLC、10 kΩ プルアップ/プルダウン抵抗付き）
- 2 電源
- 3 変換器：入力値に注意 → 242

スイッチ出力

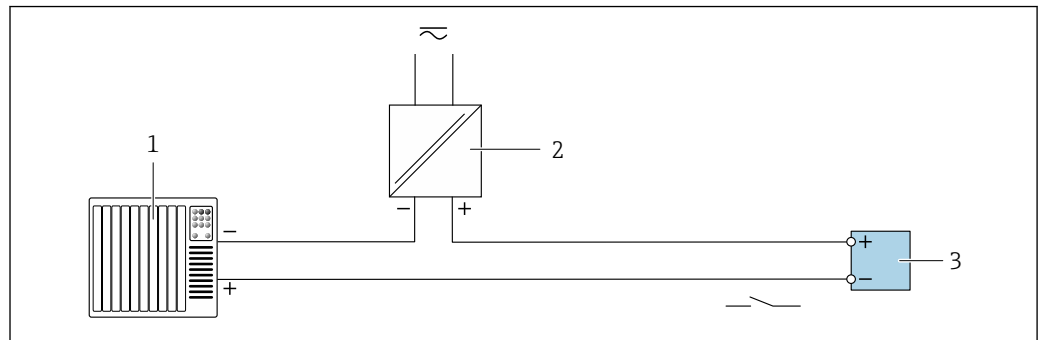


A0028760

図 18 スwitch出力（パッシブ）の接続例

- 1 オートメーションシステム、スイッチ入力付き（例：PLC、10 kΩ プルアップ/プルダウン抵抗付き）
- 2 電源
- 3 変換器：入力値に注意 → 242

リレー出力

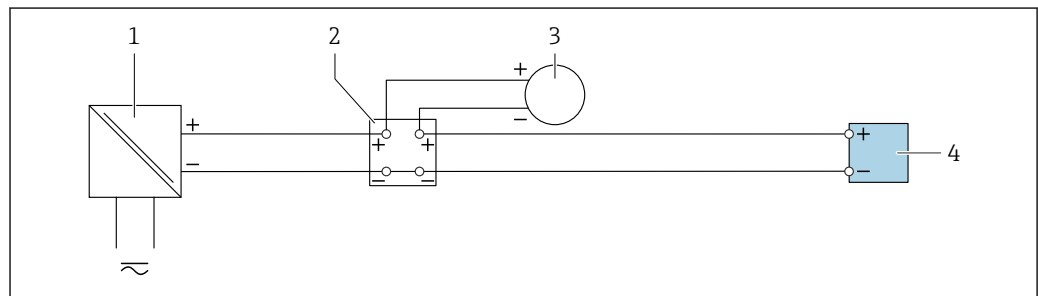


A0028760

図 19 リレー出力（パッシブ）の接続例

- 1 オートメーションシステム、リレー入力付き（例：PLC）
- 2 電源
- 3 変換器：入力値に注意 → 図 243

電流入力

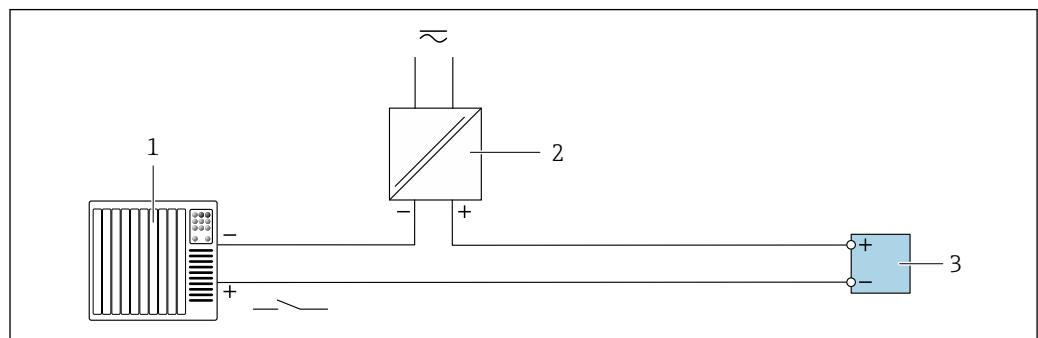


A0028915

図 20 4～20 mA 電流入力の接続例

- 1 電源
- 2 端子箱
- 3 外部機器（例：圧力または温度読み用）
- 4 変換器

ステータス入力



A0028764

図 21 ステータス入力の接続例

- 1 オートメーションシステム、ステータス出力付き（例：PLC）
- 2 電源
- 3 変換器

7.6 ハードウェアの設定

7.6.1 機器アドレスの設定

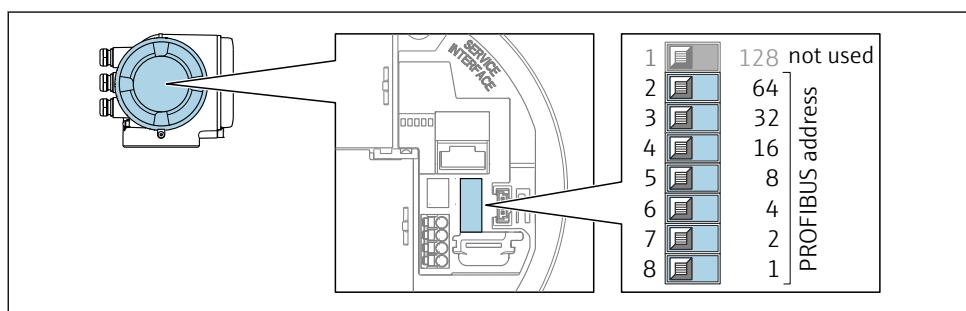
アドレスは PROFIBUS DP/PA 機器に対して必ず設定する必要があります。有効なアドレス範囲は、1 から 126 です。PROFIBUS DP/PA のネットワークでは、各アドレスは一度だけ割り当てることができます。アドレスが正しく設定されない場合、機器がマススタに認識されません。全ての機器は、機器アドレス 126 およびソフトウェアのアドレス指定方法で工場から出荷されます。

変換器ハウジングを開けると感電の危険性があります。

- ▶ ハウジングを開ける前に：
- ▶ 機器の電源を切ります。

ハードウェアアドレス指定

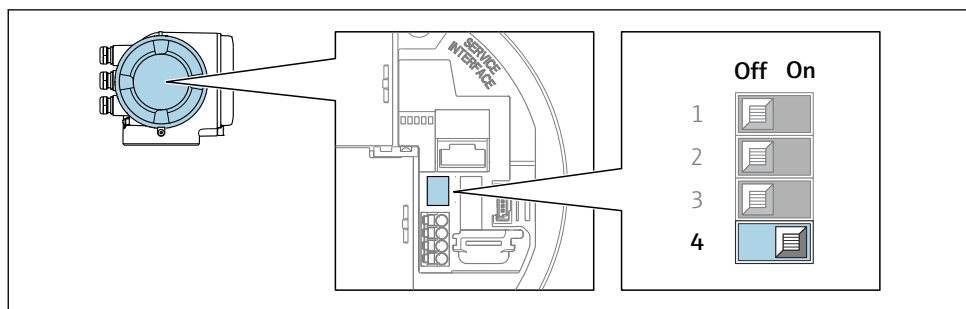
1.



A0029637

端子部の DIP スイッチを使用して必要な機器アドレスを設定します。

2.



A0029633

ソフトウェアのアドレス指定からハードウェアのアドレス指定に切り替える場合：DIP スイッチを **ON** に設定します。

↳ 機器アドレスの変更は 10 秒後に有効になります。機器が再起動されます。

ソフトウェアのアドレス指定

- ▶ ハードウェアのアドレス指定からソフトウェアのアドレス指定に切り替える場合：DIP スイッチ番号 4 を **OFF** に設定します。

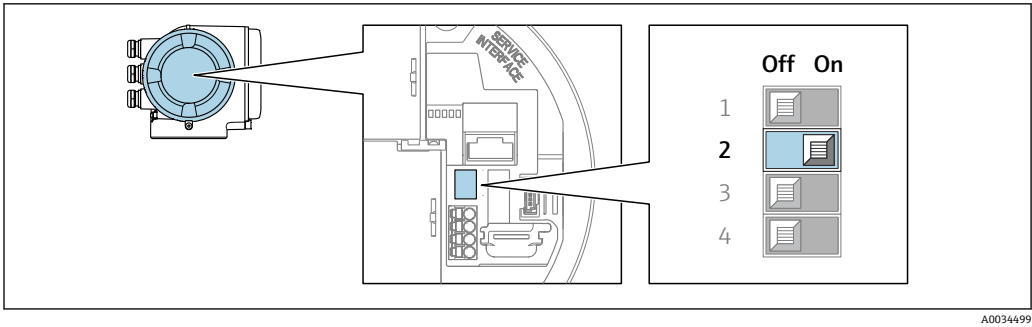
↳ デバイスアドレス パラメータ (→ 94) で設定した機器アドレスは 10 秒後に有効になります。機器はリスタートします。

7.6.2 初期設定の IP アドレスの有効化

DIP スイッチによる初期設定の IP アドレスの有効化

変換器ハウジングを開けると感電の危険性があります。

- ▶ ハウジングを開ける前に：
- ▶ 機器の電源を切ります。



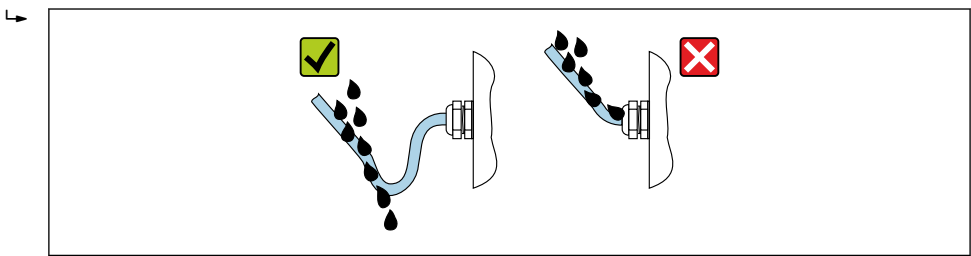
- 1.ハウジングの種類に応じて、ハウジングカバーの固定クランプまたは固定ネジを緩めます。
- 2.ハウジングの種類に応じて、ハウジングカバーのネジを緩めてカバーを取り外すか、またはカバーを開きます。必要に応じて、現場表示器をメイン電子モジュールから取り外します。
- 3.I/O 電子モジュールの DIP スイッチ番号 2 を **OFF** → **ON** に設定します。
- 4.逆の手順で変換器を再び取り付けます。
- 5.本機器を電源に再接続します。
 ↳ 機器を再起動すると、初期設定の IP アドレスが使用されます。

7.7 保護等級の保証

本計測機器は、保護等級 IP66/67、Type 4X エンクロージャ のすべての要件を満たしています。

保護等級 IP66/67、Type 4X エンクロージャ を保証するため、電気接続の後、次の手順を実施してください。

- 1.ハウジングシールに汚れがなく、適切に取り付けられているか確認してください。
- 2.必要に応じて、シールの乾燥、清掃、交換を行います。
- 3.ハウジングのネジやカバーをすべてしっかりと締め付けます。
- 4.ケーブルグランドをしっかりと締め付けます。
- 5.電線口への水滴の侵入を防ぐため：
 電線口の手前でケーブルが下方に垂れるように配線してください（「ウォータートラップ」）。



6. 付属のケーブルグランドが使用されていない場合、ハウジングの保護は保証されません。そのため、ハウジング保護に対応する適切なダミープラグに交換する必要があります。

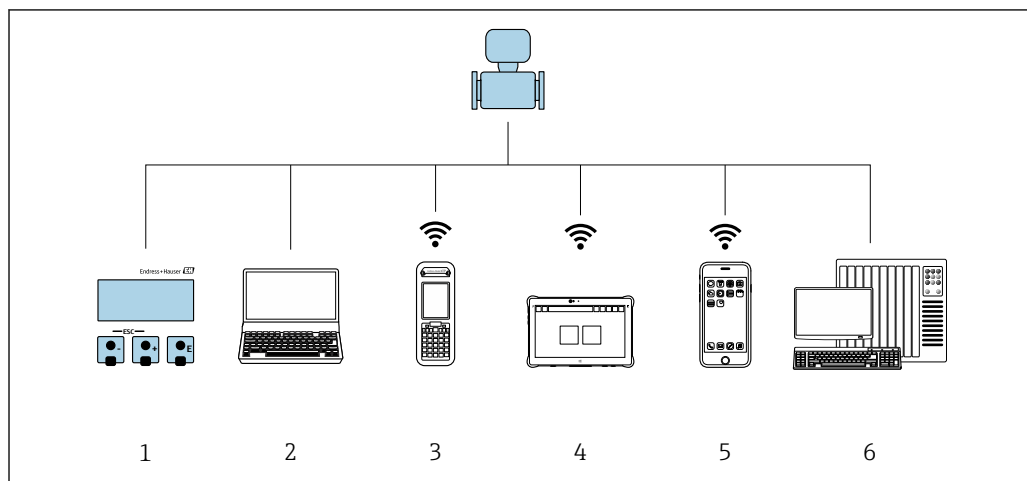
7.8 配線状況の確認

機器およびケーブルは損傷していないか？（外観検査）	☐
保護接地が正しく行われているか？	☐

使用するケーブルが要件を満たしているか？	☐
敷設されたケーブルに適度なたるみがあり、しっかりと接続されているか？	☐
すべてのケーブルグラウンドが取り付けられ、しっかりと固定され、密閉されているか？ケーブル経路に「ウォータートラップ」があるか？→ 図 44	☐
端子の割当ては正しいか？	☐
電源電圧が印加されている場合： 表示モジュールに適切な内容が表示されているか？	☐
未使用の電線口にダミープラグが挿入されており、輸送用プラグがダミープラグと交換されているか？	☐

8 操作オプション

8.1 操作オプションの概要



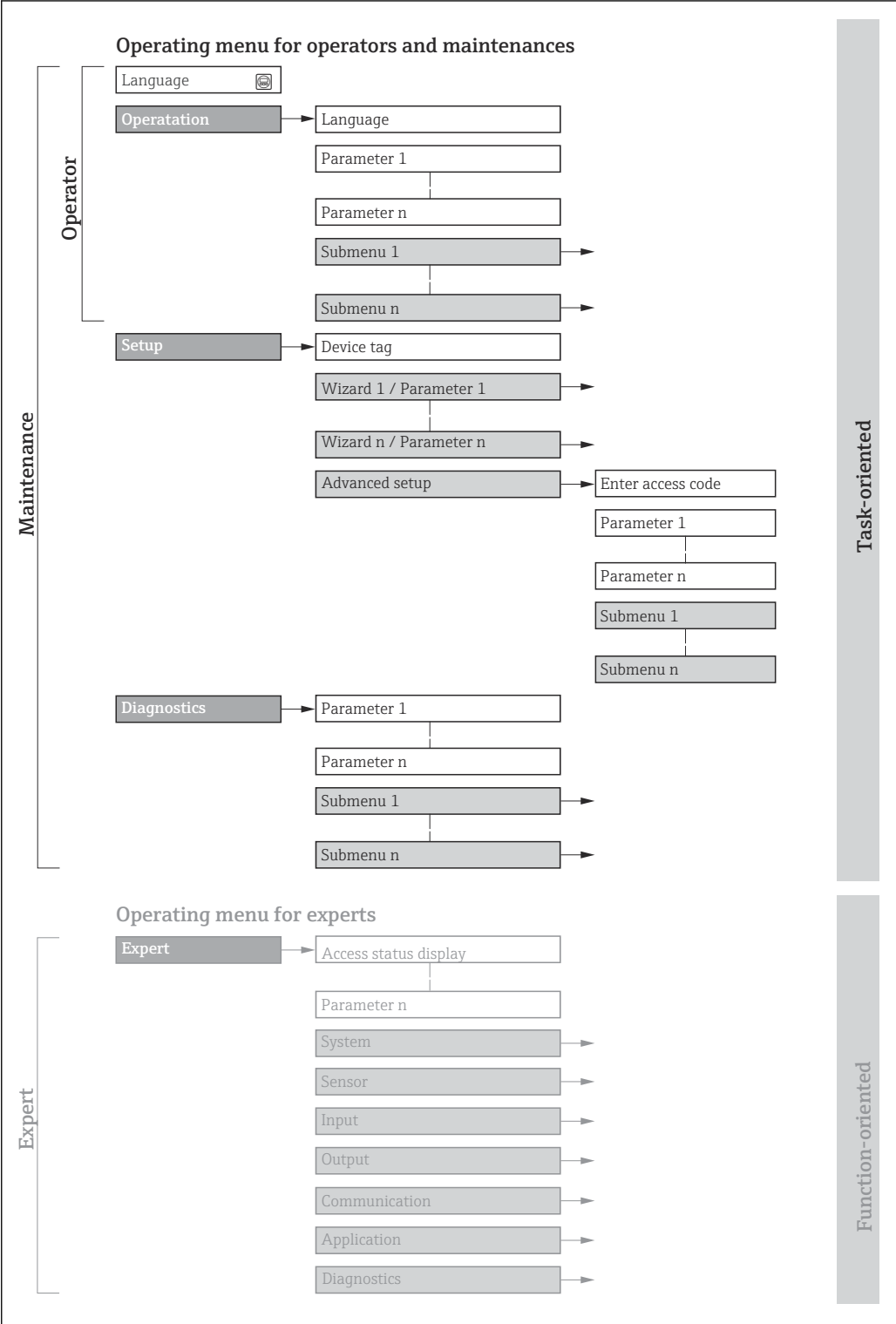
A0034513

- 1 表示モジュールによる現場操作
- 2 ウェブブラウザまたは操作ツール（例：FieldCare、DeviceCare、AMS Device Manager、SIMATIC PDM）
搭載のコンピュータ
- 3 Field Xpert SFX350 または SFX370
- 4 Field Xpert SMT70
- 5 携帯型ハンドヘルドターミナル
- 6 オートメーションシステム（例：PLC）

8.2 操作メニューの構成と機能

8.2.1 操作メニューの構成

 エキスパート用の操作メニューの概要については、機器に同梱されている機能説明書を参照してください。



22 操作メニューの概要構成

A0018237-JA

8.2.2 操作指針

操作メニューの個別の要素は、特定のユーザーの役割（例：オペレーター、メンテナンスなど）に割り当てられています。各ユーザーの役割には、機器ライフサイクル内の標準的な作業が含まれます。

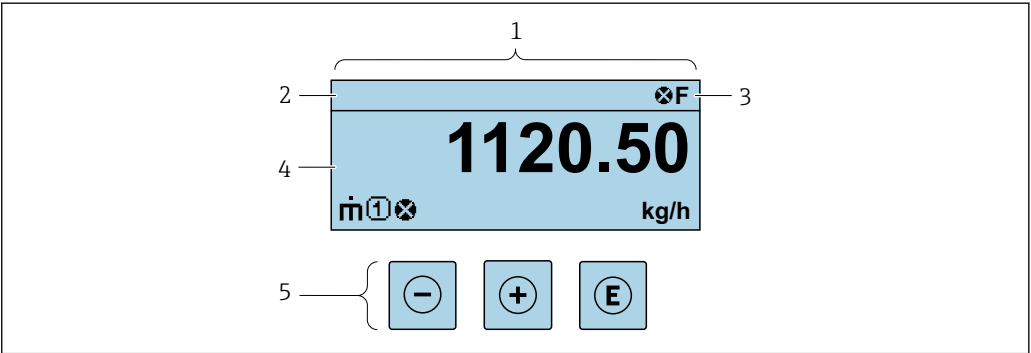
 カスタディトランスファーの場合、機器が流通し始めたり、または封印された後は、その操作が制限されます。

メニュー/パラメータ	ユーザーの役割と作業	内容/意味
Language	タスク指向	「オペレータ」、「メンテナンス」の役割 運転中の作業： ■ 操作画面表示の設定 ■ 測定値の読取り
操作		■ 操作言語の設定 ■ Web サーバー操作言語の設定 ■ 積算計のリセットおよびコントロール
設定		■ 操作画面表示の設定（例：表示形式、ディスプレイのコントラスト） ■ 積算計のリセットおよびコントロール
設定		「メンテナンス」の役割 設定： ■ 測定の設定 ■ 入力および出力の設定 ■ 通信インタフェースの設定 迅速な設定用のウィザード： ■ システム単位の設定 ■ 通信インタフェースの設定 ■ 測定物の設定 ■ I/O 設定の表示 ■ 入力の設定 ■ 出力の設定 ■ 操作画面表示の設定 ■ ローフローカットオフの設定 ■ 非満管検出および空検知の設定 高度な設定 ■ より高度にカスタマイズされた測定の設定（特殊な測定条件に対応） ■ 積算計の設定 ■ WLAN の設定 ■ 管理（アクセスコード設定、機器リセット）
診断		「メンテナンス」の役割 トラブルシューティング： ■ プロセスおよび機器エラーの診断と解消 ■ 測定値シミュレーション エラー検出、プロセスおよび機器エラー分析用のパラメータがすべて含まれます。 ■ 診断リスト 現在未処理の診断メッセージが最大 5 件含まれます。 ■ イベントログブック 発生したイベントメッセージが含まれます。 ■ 機器情報 機器識別用の情報が含まれます。 ■ 測定値 現在のすべての測定値が含まれます。 ■ Analog inputs アナログ入力の表示に使用 ■ データのログ サブメニュー（注文オプション「拡張 HistoROM」の場合） 測定値の保存と視覚化 ■ Heartbeat Technology 必要に応じた機器の機能検証および検証結果のドキュメント作成 ■ シミュレーション 測定値または出力値のシミュレーションに使用されます。

メニュー/パラメータ	ユーザーの役割と作業	内容/意味
エキスパート	機能指向	機器の機能に関してより詳細な知識が要求される作業： ■ 各種条件下における測定の設定 ■ 各種条件下における測定の最適化 ■ 通信インタフェースの詳細設定 ■ 難しいケースにおけるエラー診断
		すべての機器パラメータが含まれており、アクセスコードを使用してこれらに直接アクセスすることが可能です。メニュー構造は機器の機能ブロックに基づいています。 ■ システム 測定または測定値の通信に影響しない、高次の機器パラメータがすべて含まれます。 ■ センサ 測定の設定 ■ 出力 パルス/周波数/スイッチ出力の設定 ■ 入力 ステータス入力の設定 ■ 出力 アナログ電流出力およびパルス/周波数/スイッチ出力の設定 ■ 通信 デジタル通信インタフェースおよび Web サーバーの設定 ■ 機能ブロック（例：「アナログ入力」）のサブメニュー 機能ブロックの設定 ■ アプリケーション 実際の測定を超える機能（例：積算計）の設定 ■ 診断 機器シミュレーションおよび Heartbeat Technology 用、プロセスおよび機器エラーの検出と分析

8.3 現場表示器を使用した操作メニューへのアクセス

8.3.1 操作画面表示



- 1 操作画面表示
- 2 機器のタグ
- 3 ステータスエリア
- 4 測定値の表示範囲（最大 4 行）
- 5 操作部 → 55

ステータスエリア

操作画面表示のステータスエリアの右上に、次のシンボルが表示されます。

- ステータス信号 → 165
 - F: エラー
 - C: 機能チェック
 - S: 仕様範囲外
 - M: メンテナンスが必要
- 診断時の動作 → 166
 - ⊗: アラーム
 - ⚠: 警告
 - Ⓐ: ロック（機器はハードウェアを介してロック）
 - ↔: 通信（リモート操作を介した通信が有効）

表示エリア

表示エリアでは、各測定値の前に、説明を補足する特定のシンボルタイプが表示されます。

測定変数

↓

例 

測定チャンネル番号

↓



診断時の動作

↓


測定変数に対して診断イベントが発生している場合にのみ表示されます。

測定変数

シンボル	意味
	質量流量
	- 体積流量 - 基準体積流量
	- 密度 - 基準密度
	温度

 測定変数の数および形式は、**表示形式** パラメータ (→  113) で設定できます。

積算計

シンボル	意味
	積算計  測定チャンネル番号は、3つの積算計のどれが表示されているかを示します。

入力

シンボル	意味
	ステータス入力

測定チャンネル番号

シンボル	意味
	測定チャンネル 1~4  測定チャンネル番号は、同じ測定変数の種類に対して複数のチャンネルがある場合にのみ表示されます (例: 積算計 1~3)。

診断時の動作

シンボル	意味
	アラーム - 測定が中断します。 - 信号出力と積算計が設定されたアラーム状態になります。 - 診断メッセージが生成されます。
	警告 - 測定が再開します。 - 信号出力と積算計は影響を受けません。 - 診断メッセージが生成されます。

 診断時の動作は、診断イベントに付随するものであり、表示される測定変数に関係します。

8.3.2 ナビゲーション画面

サブメニューの場合

1

2

3

4

5

A0013993-JA

ウィザードの場合

1

2

3

4

5

A0013995-JA

1

2

3

4

5

ナビゲーション画面

現在位置までのナビゲーションパス

ステータスエリア

ナビゲーションの表示エリア

操作部 → 55

ナビゲーションパス

現在位置までのナビゲーションパスは、ナビゲーション画面の左上に表示され、以下の要素で構成されます。

- 表示シンボル：メニュー/サブメニューの場合：▶、ウィザードの場合：🔍
- 間にある操作メニューレベルの省略記号 (/../)
- 現在のサブメニュー、ウィザード、パラメータの名称

	表示シンボル	省略記号	パラメータ
	↓	↓	↓
例	▶	/../	表示

i メニューのアイコンの詳細については、「表示エリア」セクションを参照してください。→ 51

ステータスエリア

ナビゲーション画面のステータスエリアの右上端に、以下が表示されます。

- サブメニューの場合
 - パラメータへの直接アクセスコード（例：0022-1）
 - 診断イベントが発生している場合は、診断動作およびステータス信号
- ウィザードの場合
 - 診断イベントが発生している場合は、診断動作およびステータス信号

- i** 診断動作およびステータス信号に関する情報 → 165
- 直接アクセスコードの機能および入力に関する情報 → 57

表示エリア

メニュー

シンボル	意味
	操作 表示場所： ■ メニューの「操作」選択の横 ■ 操作メニューのナビゲーションパスの左側

	設定 表示場所： ■ メニューの「設定」選択の横 ■ 設定メニューのナビゲーションパスの左側
	診断 表示場所： ■ メニューの「診断」選択の横 ■ 診断メニューのナビゲーションパスの左側
	エキスパート 表示場所： ■ メニューの「エキスパート」選択の横 ■ エキスパートメニューのナビゲーションパスの左側

サブメニュー、ウィザード、パラメータ

シンボル	意味
	サブメニュー
	ウィザード
	ウィザード内のパラメータ  サブメニュー内のパラメータ用の表示シンボルはありません。

ロック

シンボル	意味
	パラメータのロック パラメータ名の前に表示される場合は、そのパラメータがロックされていることを示します。 ■ ユーザー固有のアクセスコードを使用 ■ ハードウェア書き込み保護スイッチを使用

ウィザード

シンボル	意味
	前のパラメータに切り替え
	パラメータ値を確定し、次のパラメータに切り替え
	パラメータの編集画面を開く

8.3.3 編集画面

数値エディタ

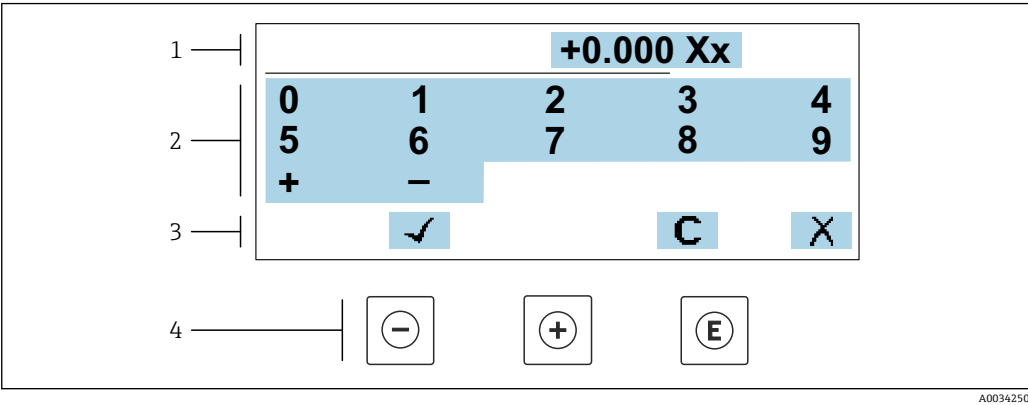


図 23 パラメータの値入力用（例：リミット値）

- 1 入力値表示エリア
- 2 入力画面
- 3 入力値の確定、削除または拒否
- 4 操作部

テキストエディタ

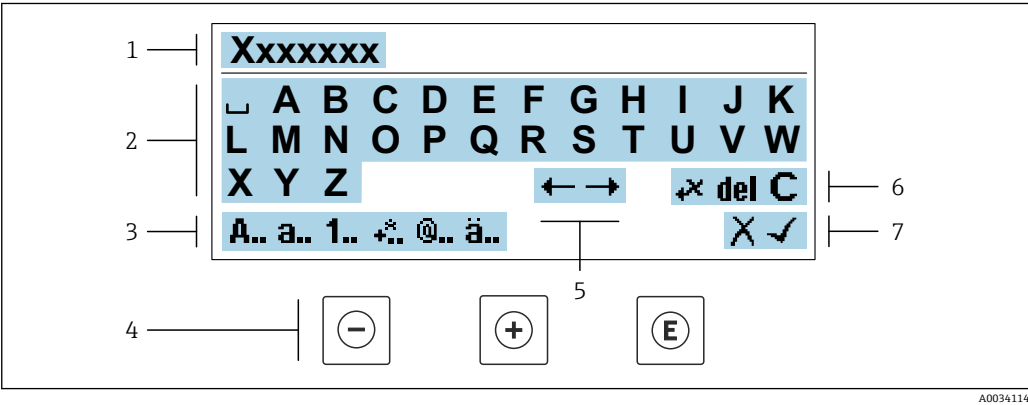


図 24 パラメータのテキスト入力用（例：機器のタグ）

- 1 入力値表示エリア
- 2 現在の入力画面
- 3 入力画面の変更
- 4 操作部
- 5 入力位置の移動
- 6 入力値の削除
- 7 入力値の拒否または確定

編集画面における操作部の使用方法

操作キー	意味
	- キー 入力位置を左に移動
	+ キー 入力位置を右に移動

操作キー	意味
	Enter キー ■ キーを短く押すと、選択が確定 ■ キーを2秒押すと、入力が確定される
	エスケープキーの組み合わせ（キーを同時に押す） 変更内容を確定せずに、編集画面を閉じる

入力画面

シンボル	意味
	大文字
	小文字
	数字
	句読点および特殊文字：= + - * / ² ³ ¼ ½ ¾ () [] < > { }
	句読点および特殊文字：' " ^ . , ; : ? ! % μ ° € \$ £ ¥ § @ # / \ ~ & _
	ウムラウト記号およびアクセサン記号

データ入力値の管理

シンボル	意味
	入力位置の移動
	入力値の拒否
	入力値の確定
	入力位置の左隣の文字を削除
	入力位置の右隣の文字を削除
	入力した文字をすべて削除

8.3.4 操作部

操作キー	意味
	- キー メニュー、サブメニュー内 選択リスト内の選択バーを上方へ移動 ウィザード内 前のパラメータに移動 テキストおよび数値エディタ内 入力位置を左に移動
	+ キー メニュー、サブメニュー内 選択リスト内の選択バーを下方へ移動 ウィザード内 次のパラメータに移動 テキストおよび数値エディタ内 入力位置を右に移動
	Enter キー 操作画面表示内 キーを短く押すと、操作メニューが開く メニュー、サブメニュー内 ■ キーを短く押した場合： ■ 選択したメニュー、サブメニュー、またはパラメータが開く ■ ウィザードが開始する ■ ヘルプテキストを開いている場合は、パラメータのヘルプテキストを閉じる ■ パラメータの位置でキーを2秒押した場合： ■ パラメータ機能のヘルプテキストがある場合は、これが開く ウィザード内 パラメータの編集画面を開き、パラメータ値を確定する テキストおよび数値エディタ内 ■ キーを短く押すと、選択が確定 ■ キーを2秒押すと、入力が確定される
	エスケープキーの組み合わせ（キーを同時に押す） メニュー、サブメニュー内 ■ キーを短く押した場合： ■ 現在のメニューレベルを終了し、上位レベルに移動 ■ ヘルプテキストを開いている場合は、パラメータのヘルプテキストを閉じる ■ キーを2秒押すと、操作画面表示に戻る（「ホーム画面」） ウィザード内 ウィザードを終了し、より高次のレベルに移動 テキストおよび数値エディタ内 変更を確定せずに、編集画面を終了
	- / Enter キーの組み合わせ（キーを同時に長押し） ■ キーパッドロックが有効な場合： ■ キーを3秒押すと、キーパッドロックの無効化 ■ キーパッドロックが無効な場合： ■ キーを3秒押すと、コンテキストメニューが開き、キーパッドロックを有効化するための選択項目などが表示される

8.3.5 コンテキストメニューを開く

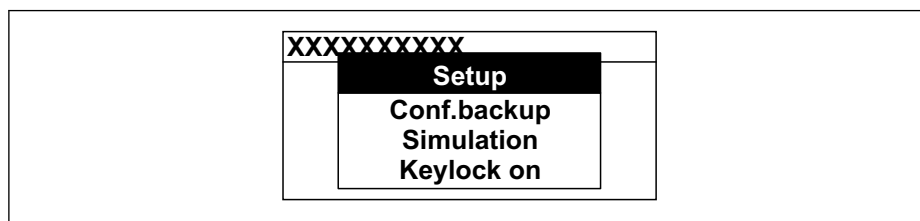
コンテキストメニューを使用すると、操作画面表示から簡単かつダイレクトに次のメニューを開くことができます。

- 設定
- データバックアップ
- シミュレーション

コンテキストメニューの呼び出しと終了

操作画面表示にします。

1.  および  キーを3秒以上押します。
↳ コンテキストメニューが開きます。



A0034608-JA

2.  +  を同時に押します。
↳ コンテキストメニューが閉じて、操作画面が表示されます。

コンテキストメニューによるメニューの呼び出し

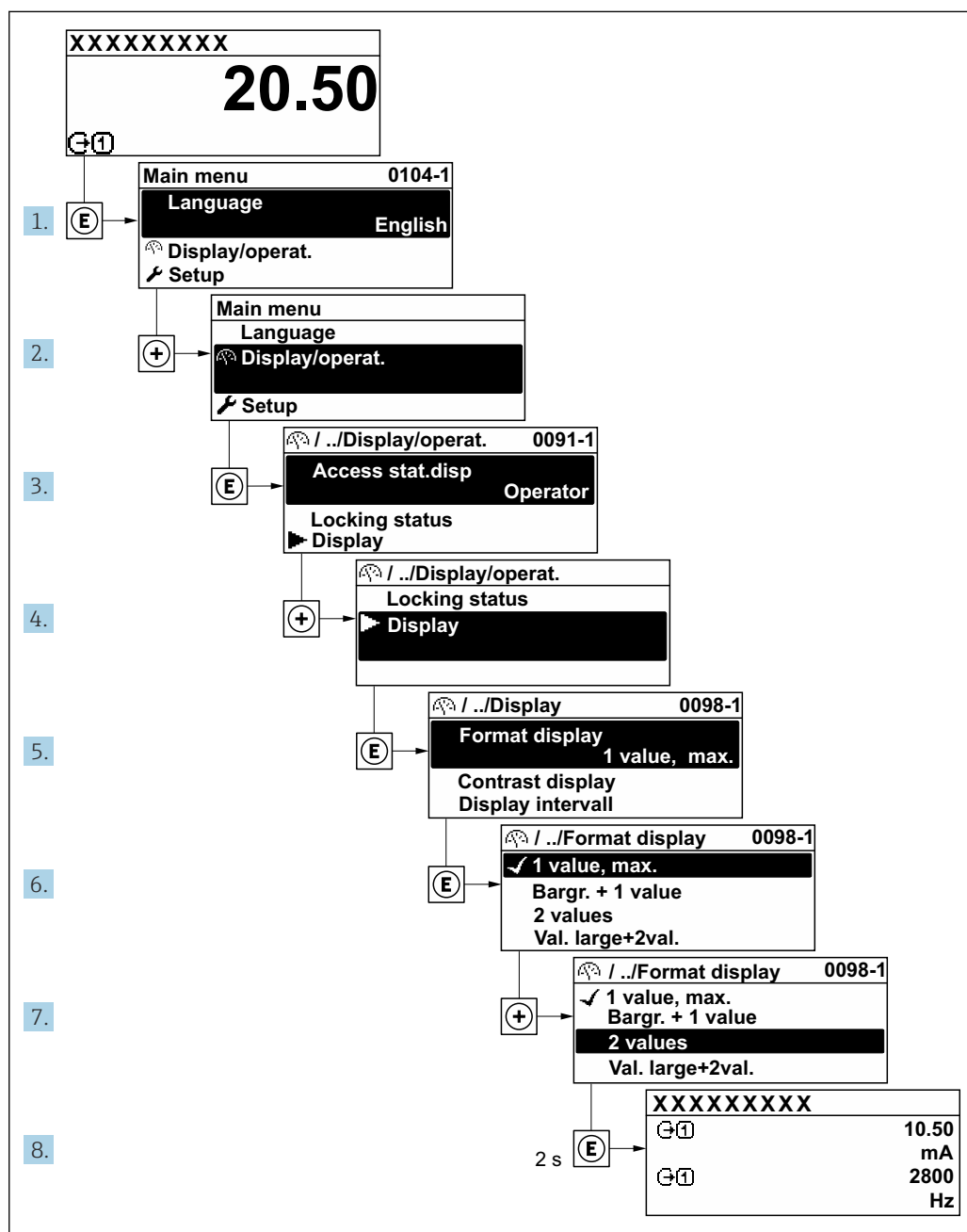
1. コンテキストメニューを開きます。
2.  を同時に押して、必要なメニューに移動します。
3.  を押して、選択を確定します。
↳ 選択したメニューが開きます。

8.3.6 ナビゲーションおよびリストから選択

各種の操作部を使用して、操作メニュー内をナビゲートすることができます。ナビゲーションパスはヘッダーの左側に表示されます。個々のメニューの前にアイコンが表示されます。このアイコンは、ナビゲーション中もヘッダーに表示されます。

 シンボルを含むナビゲーション画面および操作部の説明 → 51

例：表示する測定値の数を「2つの値」に設定



A0029562-JA

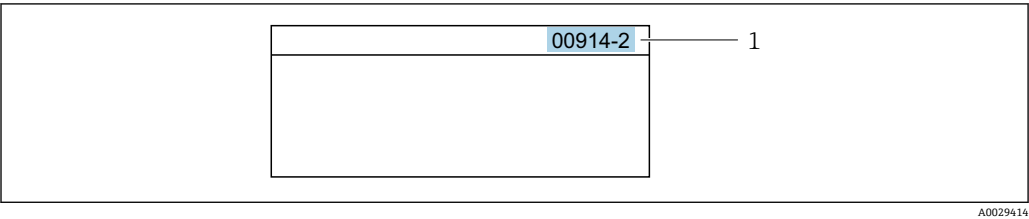
8.3.7 パラメータの直接呼び出し

各パラメータにパラメータ番号が割り当てられているため、現場表示器を介して直接パラメータにアクセスすることが可能です。このアクセスコードを**直接アクセス**パラメータに入力すると、必要なパラメータが直接呼び出されます。

ナビゲーションパス

エキスパート → 直接アクセス

直接アクセスコードは、5桁の数字（最大）とプロセス変数のチャンネルを識別するためのチャンネル番号から成ります（例：00914-2）。ナビゲーション画面では、これは選択したパラメータのヘッダーの右側に表示されます。



1 直接アクセスコード

- 直接アクセスコードを入力する際は、次のことに注意してください。
- 直接アクセスコードの最初のゼロは入力する必要がありません。
例：「00914」の代わりに「914」と入力
 - チャンネル番号を入力しなかった場合は、自動的にチャンネル 1 が開きます。
例：00914 を入力 → プロセス変数の割り当て パラメータ
 - 別のチャンネルに変えたい場合：直接アクセスコードで対応するチャンネル番号を入力します。
例：00914-2 を入力 → プロセス変数の割り当て パラメータ
-  個別のパラメータの直接アクセスコードについては、機器の機能説明書を参照してください。

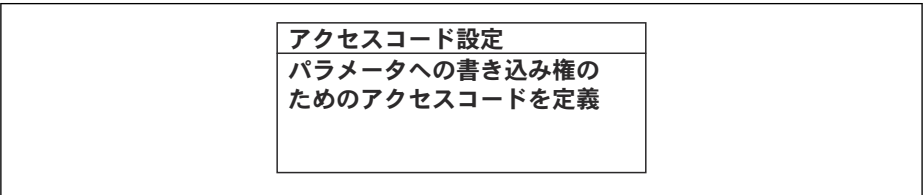
8.3.8 ヘルプテキストの呼び出し

一部のパラメータにはヘルプテキストが用意されており、ナビゲーション画面から呼び出すことが可能です。パラメータ機能の簡単な説明が記載されたヘルプテキストにより、迅速かつ安全な設定作業がサポートされます。

ヘルプテキストの呼び出しと終了

ナビゲーション画面で、パラメータの上に選択バーが表示されています。

1.  を 2 秒 間押します。
↳ 選択したパラメータのヘルプテキストが開きます。



 25 例：「アクセスコード入力」のヘルプテキスト

2.  +  を同時に押します。
↳ ヘルプテキストが閉じます。

8.3.9 パラメータの変更

- パラメータは数値エディタまたはテキストエディタを使用して変更できます。
- 数値エディタ：パラメータの値を変更（例：リミット値の指定）
 - テキストエディタ：パラメータのテキストを入力（例：タグ名称）
- 入力した値が許容される範囲を超える場合は、メッセージが表示されます。

アクセスコード入力 入力値が無効または範囲外 Min:0 Max:9999

A0014049-JA

 編集画面（テキストエディタと数値エディタで構成される）とシンボルの説明については → 図 53、操作部の説明については → 図 55 を参照してください。

8.3.10 ユーザーの役割と関連するアクセス権

ユーザー固有のアクセスコードをユーザーが設定した場合、「オペレータ」と「メンテナンス」の2つのユーザーの役割では、パラメータへの書き込みアクセスが異なります。これにより、現場表示器を介した機器設定の不正アクセスが保護されます。
→ 図 137

ユーザーの役割に対するアクセス権の設定

工場からの機器の納入時には、アクセスコードはまだ設定されていません。機器へのアクセス権（読み込み/書き込みアクセス権）には制約がなく、ユーザーの役割「メンテナンス」に対応します。

- ▶ アクセスコードを設定します。
 - ↳ ユーザーの役割「オペレータ」は、ユーザーの役割「メンテナンス」に追加して再設定されます。これら2つのユーザーの役割のアクセス権は異なります。

パラメータのアクセス権：ユーザーの役割「メンテナンス」

アクセスコードステータス	読み取りアクセス	書き込みアクセス
アクセスコードは未設定（工場設定）	✓	✓
アクセスコードの設定後	✓	✓ ¹⁾

- 1) アクセスコードの入力後、ユーザーには書き込みアクセス権のみが付与されます。

パラメータのアクセス権：ユーザーの役割「オペレータ」

アクセスコードステータス	読み取りアクセス	書き込みアクセス
アクセスコードの設定後	✓	— ¹⁾

- 1) アクセスコードが設定されても、特定のパラメータは常に変更可能です。これは、測定に影響を及ぼさないため、書き込み保護（アクセスコードによる書き込み保護）→ 図 137 から除外されます。

 ユーザーが現在、どのユーザーの役割でログインしているか、**アクセスステータス**パラメータに表示されます。ナビゲーションパス：操作 → アクセスステータス

8.3.11 アクセスコードによる書き込み保護の無効化

現場表示器のパラメータの前に 図 シンボルが表示されている場合、そのパラメータはユーザー固有のアクセスコードで書き込み保護されています。そのときは、現場操作による値の変更はできません。→ 図 137。

現場操作によるパラメータ書き込み保護は、各アクセスオプションを使用してユーザー固有のアクセスコードを**アクセスコード入力**パラメータに入力することにより無効にできます。

1. 図 を押すと、アクセスコードの入力プロンプトが表示されます。

2. アクセスコードを入力します。

- ➡ パラメータの前の  シンボルが消えます。それまで書き込み保護されていたすべてのパラメータが再び使用可能になります。

8.3.12 キーパッドロックの有効化/無効化

キーパッドロックを使用すると、現場操作によるすべての操作メニューへのアクセスを防ぐことができます。その結果、操作メニューのナビゲーションまたはパラメータの変更はできなくなります。操作画面表示の測定値を読み取ることだけが可能です。

キーパッドロックのオン/オフはコンテキストメニューで行います。

キーパッドロックのオン

-  キーパッドロックが自動的にオンになります。
 - 機器が表示部を介して 1 分以上操作されなかった場合
 - 機器をリスタートした場合

キーロックを手動で有効化：

1. 測定値表示の画面を表示します。
 - および  キーを 3 秒以上押します。
 - ➡ コンテキストメニューが表示されます。
2. コンテキストメニューで **キーロック オン** オプションを選択します。
 - ➡ キーパッドロックがオンになっています。

-  キーパッドロックが有効な場合に、操作メニューへのアクセスを試みると、**キーロック オン**というメッセージが表示されます。

キーパッドロックのオフ

- ▶ キーパッドロックがオンになっています。
 - および  キーを 3 秒以上押します。
 - ➡ キーパッドロックがオフになります。

8.4 ウェブブラウザを使用した操作メニューへのアクセス

8.4.1 機能範囲

Web サーバーが内蔵されているため、ウェブブラウザサービスインタフェース (CDI-RJ45) または WLAN インタフェースを介して機器の操作および設定を行うことが可能です。操作メニューの構造は現場表示器と同じです。測定値に加え、機器のステータス情報も表示されるため、機器の状態を監視するために使用できます。また、機器データの管理およびネットワークパラメータの設定が可能です。

WLAN 接続の場合は WLAN インタフェース (オプションとして注文可能) 付きの機器が必要：「ディスプレイ；操作」のオーダーコード、オプション G「4 行表示、バックライト；タッチコントロール+WLAN」。機器はアクセスポイントとして機能し、コンピュータまたは携帯型ハンドヘルドターミナルによる通信を可能にします。

-  Web サーバーの追加情報については、機器の個別説明書を参照してください。
➔  269

8.4.2 必須条件

コンピュータハードウェア

ハードウェア	インタフェース	
	CDI-RJ45	WLAN
インタフェース	コンピュータには RJ45 インタフェースが必要です。 ¹⁾	操作部には WLAN インタフェースが必要です。
接続	標準イーサネットケーブル	無線 LAN を介した接続
画面	推奨サイズ：≥12"（画面解像度に応じて）	

- 1) 推奨ケーブル：CAT5e、CAT6、または CAT7、シールドプラグ付き（例：YAMAICHI 製品；品番：Y-ConProfixPlug63/製品 ID：82-006660）

コンピュータソフトウェア

ソフトウェア	インタフェース	
	CDI-RJ45	WLAN
推奨のオペレーティングシステム	- Microsoft Windows 8 以上 - モバイルオペレーティングシステム： - iOS - Android  Microsoft Windows XP および Windows 7 に対応します。	
対応のウェブブラウザ	- Microsoft Internet Explorer 8 以上 - Microsoft Edge - Mozilla Firefox - Google Chrome - Safari	

コンピュータ設定

設定	インタフェース	
	CDI-RJ45	WLAN
ユーザー権限	TCP/IP およびプロキシサーバー設定が可能なユーザー権限（例：管理者権限）が必要です（IP アドレスやサブネットマスクの調整などが必要なため）。	
ウェブブラウザのプロキシサーバー設定	ウェブブラウザの設定「LAN にプロキシサーバーを使用する」を オフ にする必要があります。	
JavaScript	JavaScript を有効にする必要があります。  JavaScript を有効にできない場合：ウェブブラウザのアドレスバーに <code>http://192.168.1.212/servlet/basic.html</code> を入力します。ウェブブラウザですべての機能を備えた簡易バージョンの操作メニューが起動します。  新しいファームウェアのバージョンをインストールする場合：正確なデータ表示を可能にするため、ウェブブラウザの インターネットオプション で一時的なメモリ（キャッシュ）を消去します。	JavaScript を有効にする必要があります。  WLAN ディスプレイには、JavaScript のサポートが必要です。
ネットワーク接続	機器とのアクティブなネットワーク接続のみを使用してください。	
	その他のすべてのネットワーク接続（WLAN など）をオフにします。	他のネットワーク接続はすべてオフにします。

 接続の問題が発生した場合：→  162

機器：CDI-RJ45 サービスインターフェイス経由

機器	CDI-RJ45 サービスインターフェイス
機器	機器には RJ45 インターフェイスがあります。
Web サーバー	Web サーバーを有効にする必要があります。工場設定：オン  Web サーバーの有効化に関する情報 → 66

機器：WLAN インターフェイス経由

機器	WLAN インターフェイス
機器	機器には WLAN アンテナがあります。 ■ 内蔵の WLAN アンテナ付き変換器 ■ 外部の WLAN アンテナ付き変換器
Web サーバー	Web サーバーおよび WLAN を有効にする必要があります。工場設定：ON  Web サーバーの有効化に関する情報 → 66

8.4.3 機器の接続

サービスインタフェース（CDI-RJ45）経由

機器の準備

1. ハウジングの種類に応じて：
ハウジングカバーの固定クランプまたは固定ネジを緩めます。
2. ハウジングの種類に応じて：
ハウジングカバーを緩めて外すか、開きます。
3. 標準のイーサネット接続ケーブルを使用して、コンピュータを RJ45 プラグに接続します。

コンピュータのインターネットプロトコルの設定

以下は、機器の Ethernet 初期設定です。

機器の IP アドレス：192.168.1.212（工場設定）

1. 機器の電源をオンにします。
2. 標準のイーサネットケーブルを使用してコンピュータを RJ45 プラグに接続します → 67。
3. 2 つ目のネットワークカードを使用しない場合は、ノートパソコンのすべてのアプリケーションを閉じます。
 - ↳ E メール、SAP アプリケーション、インターネットまたは Windows Explorer などのアプリケーションにはインターネットまたはネットワーク接続が必要となります。
4. 開いているインターネットブラウザをすべて閉じます。
5. 表の記載に従って、インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティを設定します。

IP アドレス	192.168.1.XXX、XXX については 0、212、255 以外のすべての続き番号 → 例：192.168.1.213
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.212 または空欄

WLAN インタフェース経由

携帯端末のインターネットプロトコルの設定

注記

設定中に WLAN 接続が中断した場合、行った設定が失われる可能性があります。

- ▶ 機器の設定中は WLAN 接続が切断されないように注意してください。

注記

ネットワーク競合が発生しないよう、以下に注意してください。

- ▶ 同じモバイル端末からサービスインタフェース (CDI-RJ45) と WLAN インタフェースを介して機器に同時にアクセスしないようにしてください。
- ▶ 1つのサービスインタフェース (CDI-RJ45 または WLAN インタフェース) のみを有効にしてください。
- ▶ 同時通信が必要な場合：たとえば、192.168.0.1 (WLAN インタフェース) と 192.168.1.212 (CDI-RJ45 サービスインタフェース) など、異なる IP アドレス範囲を設定します。

モバイル端末の準備

- ▶ モバイル端末の WLAN を有効にします。

モバイル端末から機器への WLAN 接続の確立

1. モバイル端末の WLAN 設定において：

SSID (例：EH_Promass_300_A802000) を使用して機器を選択します。

2. 必要に応じて、WPA2 暗号方式を選択します。

3. パスワードを入力します。

工場出荷時の機器のシリアル番号 (例：L100A802000)

↳ 表示モジュールの LED が点滅します。これにより、ウェブブラウザ、FieldCare または DeviceCare を使用して機器を操作できるようになります。

 シリアル番号は銘板に明記されています。

 WLAN ネットワークを測定点に安全かつ迅速に割り当てるためには、SSID 名称の変更を推奨します。WLAN ネットワークとして表示されるため、新しい SSID 名称を測定点に明確に割り当てることができます (例：タグ名)。

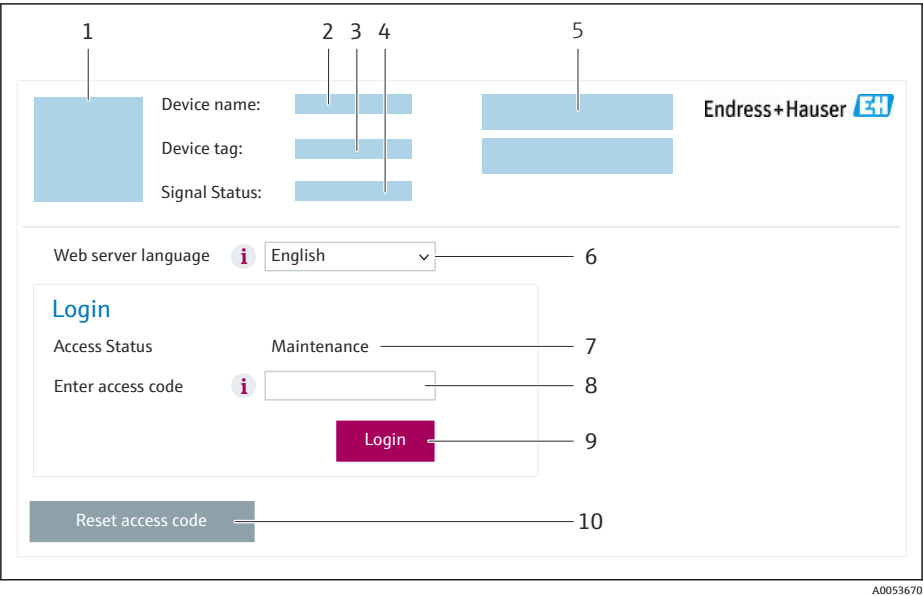
WLAN 接続の終了

- ▶ 機器の設定後：
モバイル端末と機器間の WLAN 接続を終了します。

ウェブブラウザの起動

1. コンピュータのウェブブラウザを起動します。

2. ウェブブラウザのアドレス行に Web サーバーの IP アドレス（192.168.1.212）を入力します。
➡ ログイン画面が表示されます。



- 1 機器の図
2 機器名
3 デバイスのタグ
4 ステータス信号
5 現在の測定値
6 操作言語
7 ユーザーの役割
8 アクセスコード
9 ログイン
10 アクセスコードのリセット (→ 134)

ログイン画面が表示されない、または、画面が不完全な場合 → 162

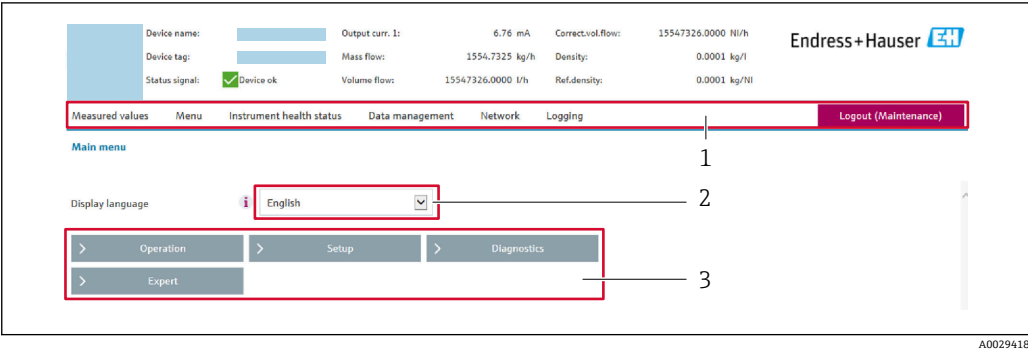
8.4.4 ログイン

1. 希望するウェブブラウザの操作言語を選択します。
2. ユーザー固有のアクセスコードを入力します。
3. **OK** を押して、入力内容を確定します。

アクセスコード	0000 (工場設定)、ユーザー側で変更可能
---------	------------------------

10 分間何も操作されなかった場合、ウェブブラウザは自動的にログイン画面に戻ります。

8.4.5 ユーザーインターフェース



- 1 機能列
- 2 現場表示器の言語
- 3 ナビゲーションエリア

ヘッダー

以下の情報がヘッダーに表示されます。

- 機器名
- デバイスのタグ
- 機器ステータスとステータス信号 → 168
- 現在の計測値

機能列

機能	意味
測定値	機器の測定値を表示
メニュー	■ 機器から操作メニューへのアクセス ■ 操作メニューの構成は現場表示器のものと同じです。  操作メニューの構成に関する詳細：機能説明書
機器ステータス	現在未処理の診断メッセージを優先度の高い順序で表示
データ管理	コンピュータと計測機器間のデータ交換： ■ 機器設定： ■ 機器からの読み込み設定 (XML 形式、設定の保存) ■ 機器への保存設定 (XML 形式、設定の復元) ■ ログブック - イベントログブックのエクスポート (.csv ファイル) ■ ドキュメント - ドキュメントのエクスポート： ■ バックアップ記録データのエクスポート (.csv ファイル、測定点設定のドキュメント作成) ■ 検証レポート (PDF ファイル、「Heartbeat 検証」アプリケーションパッケージの場合のみ使用可能) ■ システム統合用ファイル - フィールドバスを使用する場合は、システム統合用のデバイスドライバを機器からアップロードします。 PROFIBUS PA：GSD ファイル ■ ファームウェアアップデート - ファームウェアバージョンの更新
ネットワーク	機器との接続確立に必要なすべてのパラメータの設定および確認 ■ ネットワーク設定 (例：IP アドレス、MAC アドレス) ■ 機器情報 (例：シリアル番号、ファームウェアのバージョン)
ログアウト	操作の終了とログイン画面の呼び出し

ナビゲーションエリア

メニュー、関連するサブメニュー、およびパラメータは、ナビゲーションエリアで選択できます。

作業エリア

選択した機能と関連するサブメニューに応じて、このエリアでさまざまな処理を行うことができます。

- パラメータ設定
- 測定値の読み取り
- ヘルプテキストの呼び出し
- アップロード/ダウンロードの開始

8.4.6 Web サーバーの無効化

機器の Web サーバーは、必要に応じて **Web サーバ 機能** パラメータを使用してオン/オフできます。

ナビゲーション

「エキスパート」メニュー → 通信 → Web サーバ

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択
Web サーバ 機能	Web サーバーのオン/オフを切り替えます。	■ オフ ■ HTML Off ■ オン

「Web サーバ 機能」パラメータの機能範囲

選択項目	説明
オフ	■ Web サーバーは完全に無効になります。 ■ ポート 80 はロックされます。
HTML Off	Web サーバーの HTML バージョンは使用できません。
オン	■ すべての Web サーバー機能が使用できます。 ■ JavaScript が使用されます。 ■ パスワードは暗号化された状態で伝送されます。 ■ パスワードの変更も暗号化された状態で伝送されます。

Web サーバーの有効化

Web サーバーが無効になった場合、以下の操作オプションを介した **Web サーバ 機能** パラメータを使用してのみ再び有効にすることが可能です。

- 現場表示器を介して
- 「FieldCare」操作ツールを使用
- 「DeviceCare」操作ツールを使用

8.4.7 ログアウト

 ログアウトする前に、必要に応じて、**データ管理機能**（機器のアップロード設定）を使用してデータバックアップを行ってください。

1. 機能列で **ログアウト** 入力項目を選択します。
↳ ホームページにログインボックスが表示されます。
2. ウェブブラウザを閉じます。

3. 必要なくなった場合：

インターネットプロトコル（TCP/IP）の変更したプロパティをリセットします。
→ 図 62.

8.5 操作ツールによる操作メニューへのアクセス

操作ツールを使用する場合の操作メニュー構成は、現場表示器による操作と同じです。

8.5.1 操作ツールの接続

PROFIBUS PA ネットワーク経由

この通信インターフェイスは PROFIBUS PA 対応の機器バージョンに装備されています。

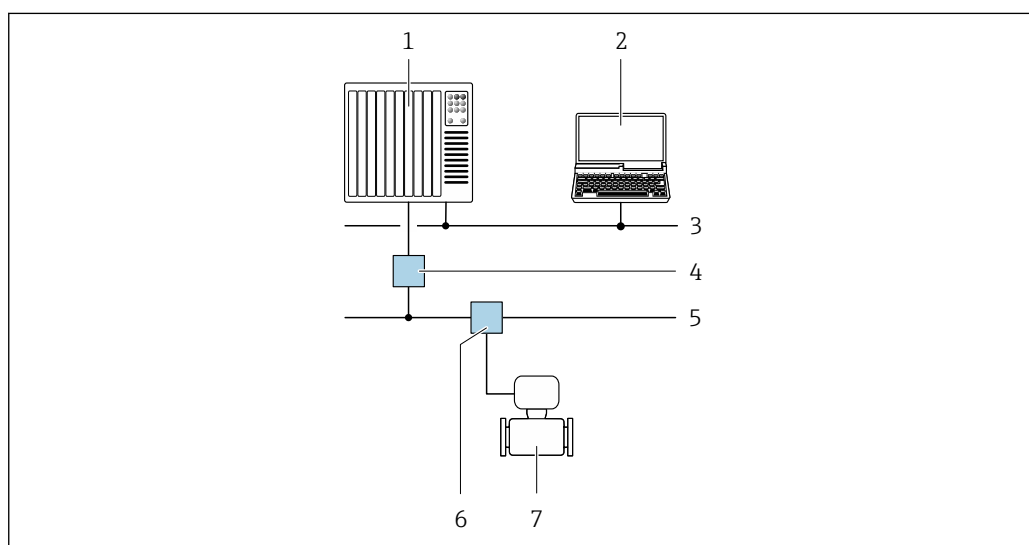


図 26 PROFIBUS PA ネットワークを介したリモート操作のオプション

- 1 オートメーションシステム
- 2 PROFIBUS ネットワークカード付きコンピュータ
- 3 PROFIBUS DP ネットワーク
- 4 PROFIBUS DP/PA セグメントカプラー
- 5 PROFIBUS PA ネットワーク
- 6 T ボックス
- 7 機器

サービスインタフェース

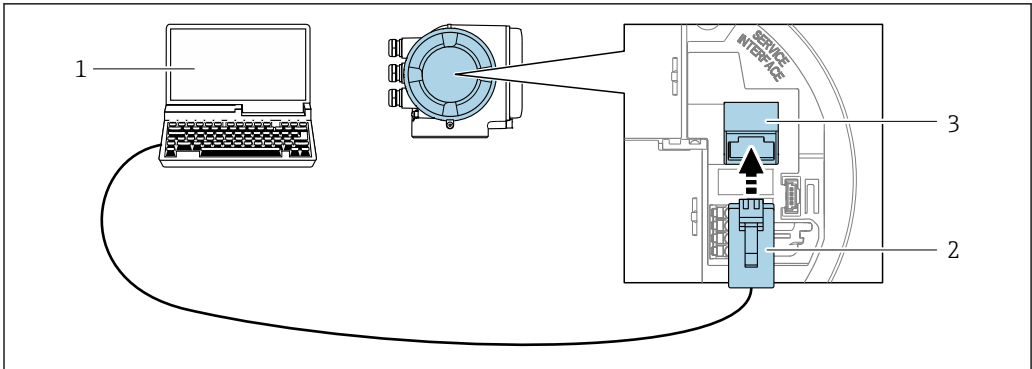
サービスインタフェース（CDI-RJ45）経由

ポイント・トゥー・ポイント接続を確立して、機器を現場で設定することが可能です。ハウジングを開いた状態で、機器のサービスインタフェース（CDI-RJ45）を介して直接接続が確立されます。

i 非危険場所で使用できる RJ45 から M12 プラグ用のアダプタがオプションで用意されています。

「アクセサリ」のオーダーコード、オプション **NB**：「アダプタ RJ45 M12（サービスインタフェース）」

このアダプタにより、サービスインタフェース（CDI-RJ45）と電線口に付いている M12 プラグが接続されます。機器を開けることなく、M12 プラグを介してサービスインタフェースとの接続を確立することが可能です。



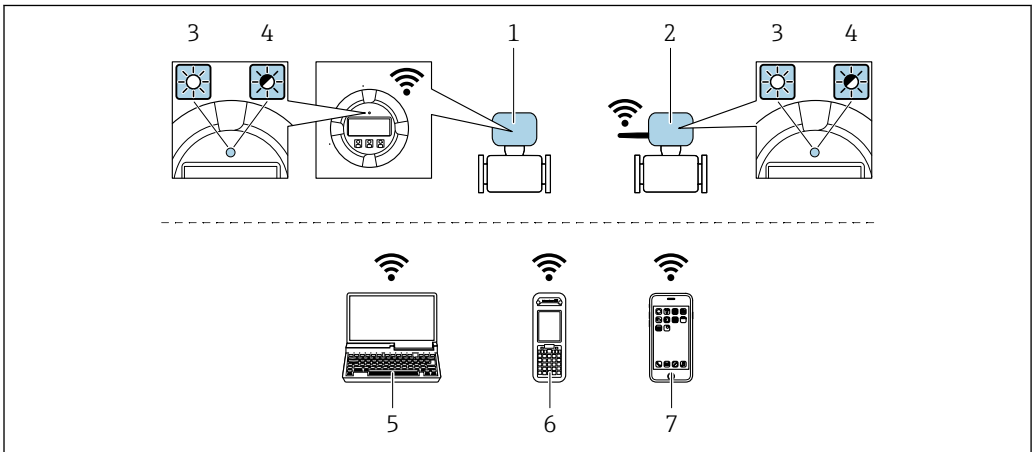
A0027563

図 27 サービスインタフェース (CDI-RJ45) 経由の接続

- 1 内蔵 Web サーバーにアクセスするためのウェブブラウザ (例 : Microsoft Internet Explorer、Microsoft Edge)、もしくは「FieldCare」操作ツール、COM DTM「CDI Communication TCP/IP」を使用する「DeviceCare」を搭載したコンピュータ
- 2 RJ45 プラグの付いた標準イーサネット接続ケーブル
- 3 内蔵された Web サーバーにアクセス可能な機器のサービスインタフェース (CDI-RJ45)

WLAN インタフェース経由

以下の機器バージョンでは、オプションの WLAN インタフェースが使用できます。
「ディスプレイ ; 操作」のオーダーコード、オプション G「4 行表示、バックライト ; タッチコントロール + WLAN」



A0034570

- 1 内蔵の WLAN アンテナ付き変換器
- 2 外部の WLAN アンテナ付き変換器
- 3 LED 点灯 : 機器の WLAN 受信が可能
- 4 LED 点滅 : 操作ユニットと機器の WLAN 接続が確立
- 5 WLAN インタフェース、および、機器の内蔵 Web サーバーにアクセスするためのウェブブラウザ (例 : Microsoft Internet Explorer、Microsoft Edge) または操作ツール (例 : FieldCare、DeviceCare) を搭載したコンピュータ
- 6 WLAN インタフェース、および、機器の内蔵 Web サーバーにアクセスするためのウェブブラウザ (例 : Microsoft Internet Explorer、Microsoft Edge) または操作ツール (例 : FieldCare、DeviceCare) を搭載した携帯型ハンドヘルドターミナル
- 7 スマートフォンまたはタブレット端末 (例 : Field Xpert SMT70)

機能	WLAN : IEEE 802.11 b/g (2.4 GHz)
暗号化	WPA2-PSK AES-128 (IEEE 802.11i に準拠)
設定可能な WLAN チャンネル	1~11
保護等級	IP67

使用可能なアンテナ	■ 内部アンテナ ■ 外部アンテナ（オプション） 設置場所の送受信状態が悪い場合  一度にアクティブになるアンテナは1つだけです。
範囲	■ 内部アンテナ：標準 10 m (32 ft) ■ 外部アンテナ：標準 50 m (164 ft)
材質（外部アンテナ）	■ アンテナ：ASA プラスチック（アクリロニトリルスチレンアクリレート）およびニッケルめっき真鍮 ■ アダプタ：ステンレスおよびニッケルめっき真鍮 ■ ケーブル：ポリエチレン ■ プラグ：ニッケルめっき真鍮 ■ アングルブラケット：ステンレス

携帯端末のインターネットプロトコルの設定

注記

設定中に WLAN 接続が中断した場合、行った設定が失われる可能性があります。

- ▶ 機器の設定中は WLAN 接続が切断されないように注意してください。

注記

ネットワーク競合が発生しないよう、以下に注意してください。

- ▶ 同じモバイル端末からサービスインタフェース（CDI-RJ45）と WLAN インタフェースを介して機器に同時にアクセスしないようにしてください。
- ▶ 1つのサービスインタフェース（CDI-RJ45 または WLAN インタフェース）のみを有効にしてください。
- ▶ 同時通信が必要な場合：たとえば、192.168.0.1（WLAN インタフェース）と 192.168.1.212（CDI-RJ45 サービスインタフェース）など、異なる IP アドレス範囲を設定します。

モバイル端末の準備

- ▶ モバイル端末の WLAN を有効にします。

モバイル端末から機器への WLAN 接続の確立

1. モバイル端末の WLAN 設定において：
SSID（例：EH_Promass_300_A802000）を使用して機器を選択します。
2. 必要に応じて、WPA2 暗号方式を選択します。
3. パスワードを入力します。
工場出荷時の機器のシリアル番号（例：L100A802000）
↳ 表示モジュールの LED が点滅します。これにより、ウェブブラウザ、FieldCare または DeviceCare を使用して機器を操作できるようになります。

 シリアル番号は銘板に明記されています。

 WLAN ネットワークを測定点に安全かつ迅速に割り当てるためには、SSID 名称の変更を推奨します。WLAN ネットワークとして表示されるため、新しい SSID 名称を測定点に明確に割り当てることができます（例：タグ名）。

WLAN 接続の終了

- ▶ 機器の設定後：
モバイル端末と機器間の WLAN 接続を終了します。

8.5.2 FieldCare

機能範囲

Endress+Hauser の FDT (Field Device Technology) ベースのプラントアセット管理ツールです。システム内のすべてのスマートフィールド機器を設定できるため、管理作業に役立ちます。ステータス情報を使用することにより、各機器のステータスと状態を容易かつ効果的にチェックできます。

アクセス方法：

- PROFIBUS PA プロトコル →  67
- CDI-RJ45 サービスインタフェース →  67
- WLAN インタフェース →  68

標準機能：

- 伝送器パラメータ設定
- 機器データの読み込みおよび保存（アップロード/ダウンロード）
- 測定点の文書化
- 測定値メモリ（ラインレコーダ）およびイベントログブックの視覚化



- 取扱説明書 BA00027S
- 取扱説明書 BA00059S



DD ファイルの入手先 →  73

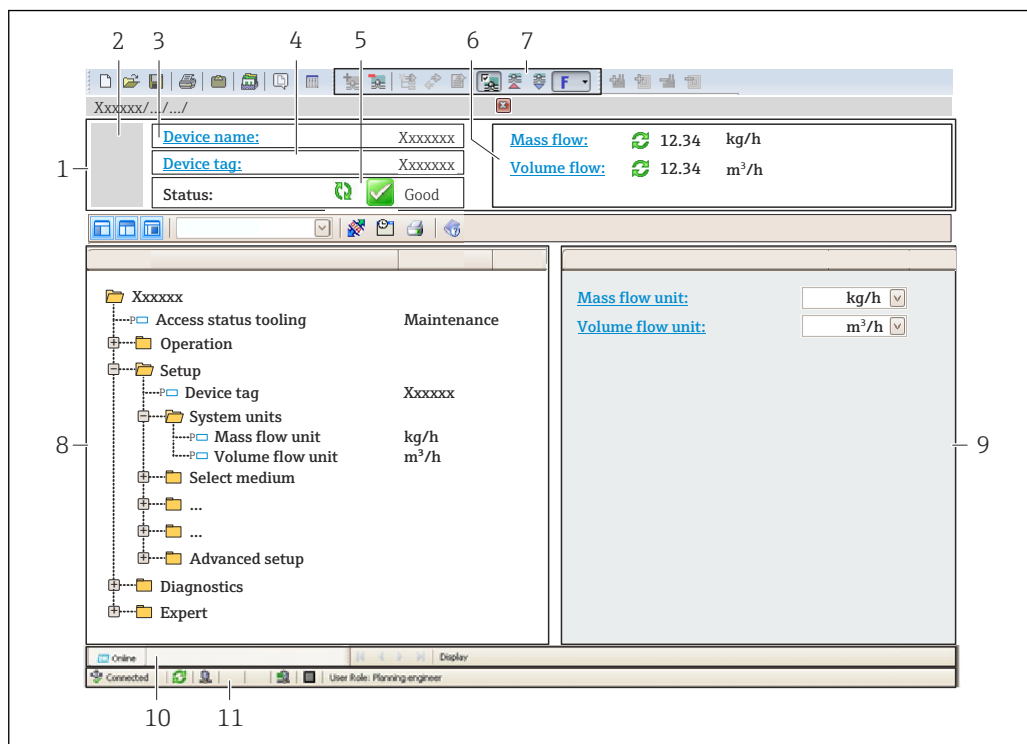
接続の確立

1. FieldCare を開始し、プロジェクトを立ち上げます。
2. ネットワークで：機器を追加します。
↳ **機器追加**ウィンドウが開きます。
3. リストから **CDI Communication TCP/IP** を選択し、**OK** を押して確定します。
4. **CDI Communication TCP/IP** を右クリックして、開いたコンテキストメニューから **機器追加**を選択します。
5. リストから目的の機器を選択し、**OK** を押して確定します。
↳ **CDI Communication TCP/IP（設定）**ウィンドウが開きます。
6. 機器アドレスを **IP アドレス**フィールドに入力し（192.168.1.212）、**Enter** を押して確定します。
7. 機器のオンライン接続を確立します。



- 取扱説明書 BA00027S
- 取扱説明書 BA00059S

ユーザインタフェース



A0021051-JA

- 1 ヘッダー
- 2 機器の図
- 3 機器名
- 4 機器のタグ
- 5 ステータスエリアとステータス信号 → 168
- 6 現在の測定値の表示エリア
- 7 編集ツールバー：保存/読み込み、イベントリスト、文書作成などの追加機能を使用できます。
- 8 ナビゲーションエリアと操作メニュー構成
- 9 作業エリア
- 10 動作エリア
- 11 ステータスエリア

8.5.3 DeviceCare

機能範囲

Endress+Hauser 製フィールド機器の接続および設定用ツール。

専用の「DeviceCare」ツールを使用すると、Endress+Hauser 製フィールド機器を簡単に設定できます。デバイスタイプマネージャ (DTM) も併用すると、効率的で包括的なソリューションとして活用できます。

 イノベーションカタログ IN01047S

 DD ファイルの入手先 → 73

8.5.4 SIMATIC PDM

機能範囲

Siemens 製の標準化されたベンダー非依存型プログラムであり、PROFIBUS PA プロトコルを介してインテリジェントフィールド機器の操作、設定、メンテナンス、診断を実行できます。



DD ファイルの入手先 → 73

9 システム統合

9.1 デバイス記述（DD）ファイルの概要

9.1.1 現在の機器バージョンデータ

ファームウェアのバージョン	01.01.zz	■ 説明書の表紙に明記 ■ 変換器の銘板上に明記 ■ ファームウェアのバージョン 診断 → 機器情報 → ファームウェアのバージョン
ファームウェアのバージョンのリリース日付	2018 年 11 月	---
製造者 ID	0x11	製造者 ID 診断 → 機器情報 → 製造者 ID
機器タイプ ID	0x156D	機器タイプ 診断 → 機器情報 → 機器タイプ
プロファイルバージョン	3.02	---

 機器の各種ファームウェアバージョンの概要 → 231

9.1.2 操作ツール

以下の表には、個々の操作ツールに適した DD ファイルとそのファイルの入手先情報が記載されています。

操作ツール： PROFIBUS プロトコル	DD ファイルの入手先
FieldCare	■ www.endress.com → ダウンロードエリア ■ USB メモリ (Endress+Hauser お問い合わせください) ■ DVD (Endress+Hauser お問い合わせください)
DeviceCare	■ www.endress.com → ダウンロードエリア ■ CD-ROM (Endress+Hauser お問い合わせください) ■ DVD (Endress+Hauser お問い合わせください)
SIMATIC PDM (シーメンス社)	www.endress.com → ダウンロードエリア

9.2 機器マスターファイル（GSD）

フィールド機器をバスシステムに統合するために、PROFIBUS システムは出力データ、入力データ、データ形式、データ容量、サポートされた伝送速度といった機器パラメータの記述を必要とします。

これらのデータは、通信システム稼働時に PROFIBUS マスターに提供される機器マスターファイル（GSD）に記載されています。また、ネットワーク構造にアイコンとして表示される機器ビットマップも統合できます。

プロファイル 3.02 機器マスターファイル（GSD）を使用すると、さまざまなメーカーが製造したフィールド機器を再設定せずに交換することが可能です。

一般的に、プロファイル 3.02 以降は 2 つの異なる GSD を使用可能：製造者固有 GSD およびプロファイル GSD。

-  設定する前に、ユーザーはシステム操作にどの GSD を使用するか決める必要があります。
- クラス 2 マスターを使用すると設定を変更できます。

9.2.1 製造者固有 GSD

この GSD は機器の無制限の機能性を保証します。そのため、機器固有のプロセスパラメータと機能が使用できます。

製造者固有 GSD	ID number (ID 番号)	ファイル名
PROFIBUS PA	0x156D	EH3x156D.gsd

製造者固有 GSD の使用

Ident number selector パラメータの **製造者** オプションで割当てを行います。



製造者固有 GSD の供給元：

- 内蔵の Web サーバーを介して機器から直接エクスポート：
データ管理 → ドキュメント → GSD ファイルのエクスポート
- 弊社ウェブサイトからダウンロード：
www.endress.com → ダウンロードエリア

9.2.2 プロファイル GSD

アナログ入力ブロック (AI) の数と測定値が異なります。システムをプロファイル GSD で設定した場合、さまざまなメーカーで製造した機器を交換することが可能です。ただし、周期的プロセス値の順序が正しいか確認する必要があります。

ID number (ID 番号)	対応ブロック	対応チャンネル
0x9740	■ 1 × アナログ入力 ■ 1 × 積算計	■ アナログ入力チャンネル：体積流量 ■ 積算計チャンネル：体積流量
0x9741	■ 2 × アナログ入力 ■ 1 × 積算計	■ アナログ入力 1 チャンネル：体積流量 ■ アナログ入力 2 チャンネル：質量流量 ■ 積算計チャンネル：体積流量
0x9742	■ 3 × アナログ入力 ■ 1 × 積算計	■ アナログ入力 1 チャンネル：体積流量 ■ アナログ入力 2 チャンネル：質量流量 ■ アナログ入力 3 チャンネル：基準体積流量 ■ 積算計チャンネル：体積流量

プロファイル GSD の使用

Ident number selector パラメータで割当てを行います。

- ID 番号 0x9740 : **1 AI, 1 Totalizer (0x9740)** オプション
- ID 番号 0x9741 : **2 AI, 1 Totalizer (0x9741)** オプション
- ID 番号 0x9742 : **Profile** オプション

9.3 旧型モデルとの互換性

機器を交換した場合、Promass 300 機器は旧型モデルとのサイクリックデータの互換性をサポートします。PROFIBUS ネットワークのエンジニアリングパラメータを Promass 300 GSD ファイルと調整する必要はありません。

旧型モデル：

- Promass 80 PROFIBUS PA
 - ID 番号：1528 (16 進)
 - 拡張 GSD ファイル：EH3x1528.gsd
 - 標準 GSD ファイル：EH3_1528.gsd
- Promass 83 PROFIBUS PA
 - ID 番号：152A (16 進)
 - 拡張 GSD ファイル：EH3x152A.gsd
 - 標準 GSD ファイル：EH3_152A.gsd

9.3.1 自動識別（初期設定）

Promass 300 PROFIBUS PA は、オートメーションシステムで設定された機器を自動的に認識して (Promass 80 PROFIBUS PA または Promass 83 PROFIBUS PA)、同じ入出力データと測定値ステータス情報を周期的データ交換で使用するようにします。

自動識別は、**Ident number selector** パラメータで **Automatic mode** オプション（初期設定）を使用して設定します。

9.3.2 手動設定

手動設定は、**Ident number selector** パラメータで **Promass 80 (0x1528)** オプション または **Promass 83 (0x152A)** オプション を使用して行われます。

その後、Promass 300 PROFIBUS PA によって同じ入出力データと測定値ステータス情報が周期的データ交換で使用可能になります。

- Promass 300 PROFIBUS PA が操作プログラム（クラス 2 マスタ）を介して非周期的に設定されている場合は、機器のブロック構造またはパラメータを介して直接アクセスできます。
- 交換する機器においてパラメータが変更された場合（Promass 80 PROFIBUS PA または Promass 83 PROFIBUS PA）（パラメータ設定が元の初期設定と一致しない）、新しい交換用 Promass 300 PROFIBUS PA において、操作プログラム（クラス 2 マスタ）を介してこのパラメータを適宜変更する必要があります。

例

現在操作されている Promass 80 PROFIBUS PA のローフローカットオフ設定が質量流量（初期設定）から基準体積流量に変更されました。この機器が、Promass 300 PROFIBUS PA に交換されます。

機器の交換後、機器が同じように動作することを保証するには、Promass 300 PROFIBUS PA のローフローカットオフの割当ても基準体積流量に手動で変更する必要があります。

9.3.3 GSD ファイルの変更またはコントローラの再起動なしでの機器の交換

以下に記載されている手順により、進行中の操作を中断せずに、またはコントローラを再起動せずに機器を交換することが可能です。ただし、この手順では機器を完全に統合することはできません。

1. 機器 Promass 80 PROFIBUS PA または Promass 83 PROFIBUS PA を Promass 300 PROFIBUS PA に交換します。
2. 機器アドレスの設定：Promass 80 または Promass 83 PROFIBUS PA に設定されたものと同じ機器アドレスを使用しなければなりません。

3. 機器 Promass 300 PROFIBUS PA を接続します。

交換する機器の初期設定が変更されたい場合（Promass 80 PROFIBUS PA または Promass 83 PROFIBUS PA）、以下の設定を変更する必要があります。

- 1. アプリケーション固有のパラメータの設定
- 2. アナログ入力または積算計機能ブロックの **Channel** パラメータ を介して伝送されるプロセス変数の選択
- 3. プロセス変数の単位の設定

9.4 旧型モデルの GSD モジュールの使用

互換モードでは、オートメーションシステムですでに設定されているすべてのモジュールは、通常、周期的なデータ伝送中にサポートされます。ただし、Promass 300 は、以下のモジュールに関して、さらなる処理を行いません。つまり、この機能は実行されません。

- DISPLAY_VALUE
- BATCHING_QUANTITY
- BATCHING_FIX_COMP_QUANTITY

機器を交換した場合、Promass 300 機器は旧型モデルとサイクリックデータの互換性をサポートします。PROFIBUS ネットワークのエンジニアリングパラメータを Promass 300 GSD ファイルと調整する必要はありません。

旧型モデルの GSD を使用して分散制御システムに送信される診断メッセージは、機器の診断メッセージとは異なる場合があります。機器の診断メッセージが重要になります。

9.4.1 旧型モデルの CONTROL_BLOCK モジュールの使用

旧型モデルで CONTROL_BLOCK モジュールを使用していた場合、関連する機能を Promass 300 に割り当てることができると、制御変数の処理がさらに行われます。

旧型モデルに応じて、機能は以下のようにサポートされます。

旧型モデル：Promass 80 PROFIBUS PA

制御変数	機能	対応
0 → 2	ポジティブゼロリターン：ON	あり
0 → 3	ポジティブゼロリターン：OFF	あり
0 → 4	ゼロ点調整：START（開始）	あり
0 → 8	測定モード：UNIDIRECTIONAL（一方向）	なし
0 → 9	測定モード：BIDIRECTIONAL（双方向）	原因： Profile 流量トランスデューサブロックはサポートされなくなりました。 機能を続けて使用する場合： 積算計機能ブロックの 積算計動作モード パラメータ を使用します。
0 → 24	UNIT TO BUS（単位からパス）	なし 原因： 単位が自動的に取り込まれるため、機能は不要になりました。

旧型モデル：Promass 83 PROFIBUS PA

制御変数	機能	対応
0 → 2	ポジティブゼロリターン：ON	あり
0 → 3	ポジティブゼロリターン：OFF	あり

制御変数	機能	対応
0 → 4	ゼロ点調整：開始	あり
0 → 8	測定モード：一方向	なし
0 → 9	測定モード：双方向	原因： Profile 流量トランスデューサブロックはサポートされなくなりました。 機能を続けて使用する場合： 積算計機能ブロックの 積算計動作モード パラメータ を使用します。
0 → 24	単位からバス	なし 原因： 単位が自動的に取り込まれるため、この機能は不要になりました。
0 → 25	高度な診断 - 警告モード：ON	なし
0 → 26	高度な診断 - 警告モード：OFF	機能を続けて使用する場合： この機能は「Heartbeat Technology」アプリケーションパッケージで提供されます。
0 → 70 ～ 78	追加機能：高度な診断	

9.5 サイクリックデータ伝送

機器マスタファイル（GSD）を使用する場合の周期的データ伝送

9.5.1 ブロックモデル

ブロックモデルは、機器によって周期的データ交換で使用可能になる入出力データを示します。サイクリックデータ交換は PROFIBUS マスタ（クラス 1）（例：制御システム）で行われます。

計測機器				制御システム
流量計 ブロック	アナログ入力ブロック 1 ~8	→ 79	出力値 AI	→
			出力値 TOTAL	→
	積算計ブロック 1~3	→ 80	コントローラ SETTOT	←
			設定 MODETOT	←
	アナログ出力ブロック 1 ~3	→ 82	入力値 AO	←
	ディסקリット入力ブロック 1~2	→ 83	出力値 DI	→
	ディスクリット出力ブロック 1~4	→ 84	入力値 DO	←
				PROFIBUS PA

モジュールの決められた順序

本機器はモジュール式の PROFIBUS スレーブとして機能します。コンパクト型スレーブとは対照的に、モジュール式スレーブにはさまざまな構成があり、複数の個別のモジュールから成ります。機器マスタファイル（GSD）には個別のモジュール（入出力データ） およびその個別の特性に関する記述が含まれています。

モジュールはスロットに恒久的に割り当てられています。したがって、モジュールを設定する場合は、モジュールの順序および配置に配慮する必要があります。

スロット	モジュール	機能ブロック
1~8	AI	アナログ入力ブロック 1~8
9	TOTAL または SETTOT_TOTAL または SETTOT_MODETOT_TOTAL	積算計ブロック 1
10		積算計ブロック 2
11		積算計ブロック 3
12~14	AO	アナログ出力ブロック 1~3
15~16	DI	ディスクリット入力ブロック 1~2
17~21	DO	ディスクリット出力ブロック 1~5
22~23	AO	アナログ出力ブロック 4~5

PROFIBUS ネットワークのスループット率を最適化するため、PROFIBUS マスタシステムで処理するモジュールのみを設定することを推奨します。これにより、設定したモジュール間に隙間が生じた場合は、この隙間に EMPTY_MODULE を割り当てる必要があります。

9.5.2 モジュールの説明

PROFIBUS マスタの観点からのデータ構造の説明：

- 入力データ：機器から PROFIBUS マスタに送信されます。
- 出力データ：PROFIBUS マスタから機器に送信されます。

AI モジュール（アナログ入力）

入力変数を機器から PROFIBUS マスタ（クラス 1）に伝送します。

AI モジュールを介して、選択された入力変数とそのステータスが PROFIBUS マスタ（クラス 1）に周期的に伝送されます。入力変数は、最初の 4 バイトが IEEE 754 規格に準拠する浮動小数点数という形で表されます。第 5 バイトには、入力変数に関する標準化されたステータス情報が含まれます。

8 つのアナログ入力ブロックがあります（スロット 1～8）。

選択：入力変数

入力変数
質量流量
体積流量
基準体積流量
密度
基準密度
温度
電子モジュール内温度
振動周波数 0
周波数変動 0
振動ダンピング 0
チューブダンピング変動 0
信号の非対称性
励磁電流 0
濃度 ¹⁾
固形分質量流量 ¹⁾
搬送液質量流量 ¹⁾
固形分体積流量 ¹⁾
搬送液体積流量 ¹⁾
固形分基準体積流量 ¹⁾
搬送液基準体積流量 ¹⁾
保護容器温度 ²⁾
振動周波数 1 ²⁾
振動振幅 0 ²⁾
振動振幅 1 ²⁾
周波数変動 1 ²⁾
振動ダンピング 1 ²⁾
チューブダンピングの変動 1 ²⁾
励磁電流 1 ²⁾
HBSI ²⁾
電流入力 1
電流入力 2
電流入力 3
代替基準密度 ³⁾
GSV 流量 ³⁾

入力変数
代替 GSV 流量 ³⁾
NSV 流量 ³⁾
代替 NSV 流量 ³⁾
S&W 体積流量 ³⁾
ウォーターカット割合 (%) ³⁾
オイル密度 ³⁾
水密度 ³⁾
オイルの質量流量 ³⁾
水の質量流量 ³⁾
オイルの体積流量 ³⁾
水の体積流量 ³⁾
オイルの基準体積流量 ³⁾
水の基準体積流量 ³⁾

- 1) 濃度アプリケーションパッケージの場合のみ使用可能
 2) Heartbeat 検証アプリケーションパッケージの場合のみ使用可能
 3) 石油アプリケーションパッケージの場合のみ使用可能

工場設定

機能ブロック	工場設定
AI 1	質量流量
AI 2	体積流量
AI 3	基準体積流量
AI 4	密度
AI 5	質量流量
AI 6	温度
AI 7	質量流量
AI 8	質量流量

データ構造

アナログ入力の入力データ

バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 4	バイト 5
測定値：浮動小数点数 (IEEE 754)				ステータス

積算モジュール

積算計の値を機器から PROFIBUS マスタ（クラス 1）に伝送します。

選択された積算計の値とステータスは、TOTAL（積算）モジュールを介して PROFIBUS マスタ（クラス 1）に周期的に伝送されます。積算計の値は、最初の 4 バイトが IEEE 754 規格に準拠する浮動小数点数という形で表されます。第 5 バイトには、積算計の値に関係する標準化されたステータス情報が含まれます。

3 つの積算計ブロックがあります（スロット 9～11）。

選択：積算計の値

入力変数
質量流量
体積流量
基準体積流量
固形分質量流量 ¹⁾
搬送液質量流量 ¹⁾

1) 「濃度」アプリケーションパッケージの場合のみ使用可能

初期設定

機能ブロック	初期設定：TOTAL
積算計 1、2、3	質量流量

データ構造

TOTAL の入力データ

バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 4	バイト 5
測定値：浮動小数点数 (IEEE 754)				ステータス

SETTOT_TOTAL モジュール

モジュールの組合せは、SETTOT および TOTAL 機能から成ります。

- SETTOT：PROFIBUS マスタを介して積算計をコントロールします。
- TOTAL：積算計の値（ステータスを含む）を PROFIBUS マスタに伝送します。

3 つの積算計ブロックがあります（スロット 9～11）。

選択：積算計のコントロール

SETTOT 値	積算計のコントロール
0	積算開始
1	リセット + ホールド
2	プリセット + ホールド

初期設定

機能ブロック	初期設定：SETTOT 値（意味）
積算計 1、2、3	0（積算）

データ構造

SETTOT の出力データ

バイト 1
制御変数 1

TOTAL の入力データ

バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 4	バイト 5
測定値：浮動小数点数 (IEEE 754)				ステータス

SETTOT_MODETOT_TOTAL モジュール

モジュールの組み合わせは、SETTOT、MODETOT および TOTAL 機能から成ります。

- SETTOT：PROFIBUS マスタを介して積算計をコントロールします。
- MODETOT：PROFIBUS マスタを介して積算計を設定します。
- TOTAL：積算計の値とステータスを PROFIBUS マスタに伝送します。

3 つの積算計ブロックがあります (スロット 9～11)。

選択：積算計の設定

MODETOT 値	積算計の設定
0	バランス調整
1	正の流れのバランス調整
2	負の流れのバランス調整
3	積算の停止

初期設定

機能ブロック	初期設定：MODETOT 値 (意味)
積算計 1、2、3	0 (バランス調整)

データ構造**SETTOT および MODETOT の出力データ**

バイト 1	バイト 2
制御変数 1：SETTOT	制御変数 2：MODETOT

TOTAL の入力データ

バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 4	バイト 5
測定値：浮動小数点数 (IEEE 754)				ステータス

AO モジュール (アナログ出力)

補償値を PROFIBUS マスタ (クラス 1) から機器に伝送します。

補償値 (ステータスを含む) は、AO モジュールを介して PROFIBUS マスタ (クラス 1) から機器に周期的に伝送されます。補償値は、最初の 4 バイトが IEEE 754 規格に準拠する浮動小数点数という形で表されます。第 5 バイトには、補償値に関する標準化されたステータス情報が含まれます。

5 つのアナログ出力ブロックがあります (スロット 12～14、22～23)。

補償値の割当て

補償値は個別のアナログ出力ブロックに恒久的に割り当てられています。

機能ブロック	補償値
AO 1	外部圧力 ¹⁾
AO 2	外部温度 ¹⁾
AO 3	外部基準密度
AO 4	外部 S&W 割合 (%) ²⁾
AO 5	外部ウォーターカット割合 (%) ²⁾

1) 補償値は SI 基本単位で機器に送信する必要があります。

2) 石油アプリケーションパッケージの場合のみ使用可能

 次を使用して選択します：エキスパート → センサ → 外部補正

データ構造

アナログ出力の出力データ

バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 4	バイト 5
測定値：浮動小数点数 (IEEE 754)				ステータス ¹⁾

1) ステータス符号化

DI モジュール（ディスクリート入力）

ディスクリート入力値を機器から PROFIBUS マスタ（クラス 1）に伝送します。機器はディスクリート入力値を使用して、機器機能のステータスを PROFIBUS マスタ（クラス 1）に伝送します。

DI モジュールはディスクリート入力値（ステータスを含む）を PROFIBUS マスタ（クラス 1）に周期的に伝送します。ディスクリート入力値は最初の 1 バイトで表されます。第 2 バイトには、入力値に関する標準化されたステータス情報が含まれます。

2 つのディスクリート入力ブロックがあります（スロット 15～16）。

選択：機器機能

機器機能	工場設定：ステータス（意味）
パイプ空検知	■ 0（機器機能がアクティブでない） ■ 1（機器機能がアクティブ）
ローフローカットオフ	
検証ステータス ¹⁾	■ ビット 0：検証ステータス - チェック未完了 ■ ビット 1：検証ステータス - エラー ■ ビット 2：検証ステータス - 進行中 ■ ビット 3：検証ステータス - 準備完了 ■ ビット 4：検証結果全体 - エラー ■ ビット 5：検証結果全体 - パス ■ ビット 6：検証結果全体 - チェック未完了 ■ ビット 7：未使用

1) Heartbeat 検証アプリケーションパッケージの場合のみ使用可能

工場設定

機能ブロック	工場設定
DI 1	パイプ空検知
DI 2	ローフローカットオフ

データ構造

ディスクリット入力の入力データ

バイト 1	バイト 2
ディスクリット	ステータス

DO モジュール（ディスクリット出力）

ディスクリット出力値を PROFIBUS マスタ（クラス 1）から機器に伝送します。PROFIBUS マスタ（クラス 1）はディスクリット出力値を使用して機器機能を有効/無効にします。

DO モジュールはディスクリット出力値（ステータスを含む）を機器に周期的に伝送します。ディスクリット出力値は最初の 1 バイトで表されます。第 2 バイトには、出力値に関する標準化されたステータス情報が含まれます。

5 つのディスクリット出力ブロックがあります（スロット 17～21）。

機器機能の割当て

機器機能は個別のディスクリット出力ブロックに恒久的に割り当てられています。

機能ブロック	機器機能	値：制御（意味）
DO 1	流量のオーバーライド	■ 0（機器機能の無効化） ■ 1（機器機能の有効化）
DO 2	ゼロ調整	
DO 3	検証の開始 ¹⁾	
DO 4	リレー出力	■ 0（非導通） ■ 1（導通）
DO 5	濃度 ²⁾	測定物タイプの割当て (下表を参照)

1) Heartbeat 検証アプリケーションパッケージの場合のみ使用可能

2) 濃度アプリケーションパッケージの場合のみ使用可能

測定物タイプの割当て：機能ブロック DO 5	
101	果糖水溶液
102	グルコース水溶液
104	過酸化水素水溶液
105	蔗糖水溶液
106	転化糖水溶液
107	硝酸
108	リン酸
109	水酸化カリウム
100	オフ
110	水酸化ナトリウム
111	エタノール水溶液

測定物タイプの割当て：機能ブロック DO 5	
112	メタノール水溶液
113	硝酸アンモニウム水溶液
114	塩化鉄（III）水溶液
115	HFCS42
116	HFCS55
117	HFCS90
118	原麦汁
119	質量%/ 体積%
121	係数セット 1
122	係数セット 2
123	係数セット 3
124	塩酸
125	硫酸

データ構造

ディסקリット出力の出力データ

バイト 1	バイト 2
ディスクリット	ステータス

EMPTY_MODULE モジュール

このモジュールは、スロットで使用されないモジュールによって生じる空きスペースを割り当てるために使用します。

本機器はモジュール式の PROFIBUS スレーブとして機能します。コンパクト型スレーブとは対照的に、モジュール式の PROFIBUS スレーブにはさまざまな構成があり、複数の個別のモジュールから成ります。GSD ファイルには、個別のモジュールの説明とその個別のプロパティが含まれています。

モジュールはスロットに恒久的に割り当てられています。モジュールを設定する場合は、モジュールの順序/配置を順守することが重要です。設定したモジュール間に隙間が生じた場合は、EMPTY_MODULE を割り当てる必要があります。

10 設定

10.1 設置状況および配線状況の確認

機器の設定前：

▶ 設置状況の確認および配線状況の確認が正常に行われたか確認してください。

■ 「設置状況の確認」のチェックリスト → ㉮ 29

■ 「配線状況の確認」のチェックリスト → ㉮ 44

10.2 機器の電源投入

▶ 設置状況の確認および配線状況の確認が正常に完了したら、機器の電源を入れます。

↳ スタートアップの終了後、現場表示器は自動的にスタートアップ表示から操作画面に切り替わります。

 現場表示器に何も表示されない、または診断メッセージが表示される場合は、「診断およびトラブルシューティング」セクションを参照してください → ㉮ 162。

10.3 FieldCare 経由の接続

■ FieldCare → ㉮ 67 接続用

■ FieldCare → ㉮ 70 を介した接続用

■ FieldCare → ㉮ 71 のユーザーインタフェース用

10.4 ソフトウェアによる機器アドレスの設定

「通信」サブメニューで、機器のアドレスを設定できます。

ナビゲーション

「設定」メニュー → 通信 → デバイスアドレス

10.4.1 PROFIBUS ネットワーク

工場出荷時の機器は以下の初期設定となっています。

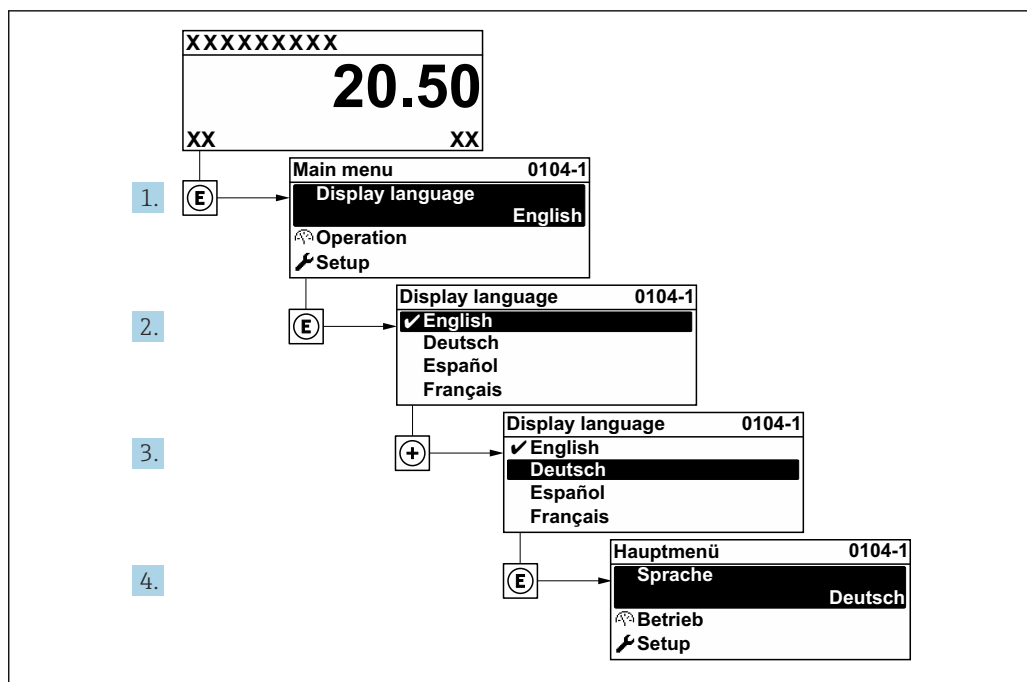
機器アドレス	126
--------	-----

 ■ 現在の機器アドレスを表示するため：デバイスアドレス パラメータ → ㉮ 93

■ ハードウェアアドレス指定が有効な場合、ソフトウェアアドレス指定はブロックされます → ㉮ 43。

10.5 操作言語の設定

初期設定：英語または注文した地域の言語

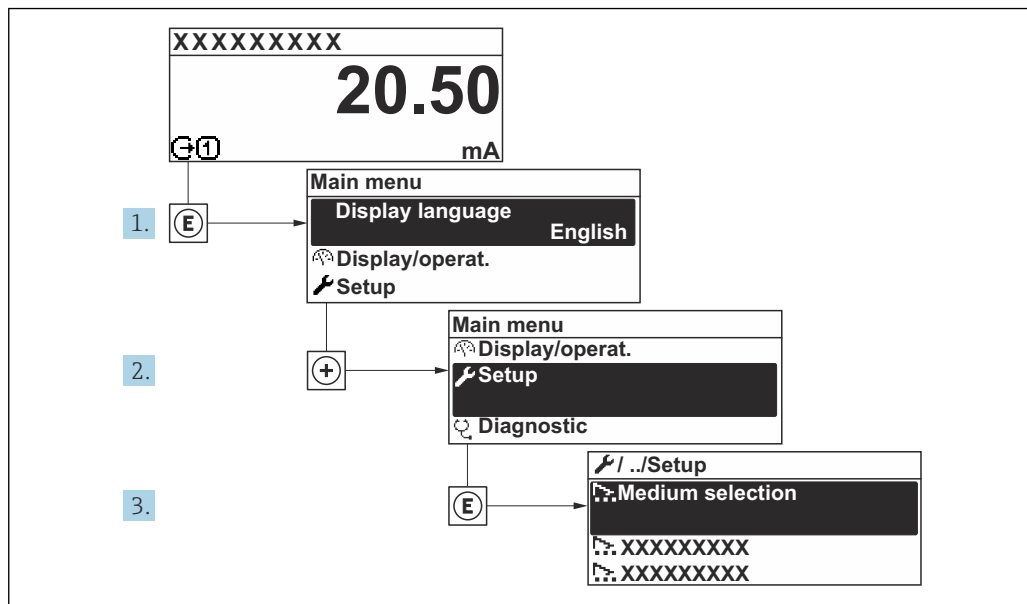


A0029420

図 28 現場表示器の表示例

10.6 計測機器の設定

設定 メニュー（ガイド付きウィザードあり）には、通常運転に必要なパラメータがすべて含まれています。



A0032222-JA

図 29 現場表示器を使用した「設定」メニューへのナビゲーション（例）

i サブメニューおよびパラメータの数は機器バージョンに応じて異なります。これらのサブメニューの一部のサブメニューおよびパラメータは取扱説明書に記載されていません。その代わりに機器の個別説明書に説明があります（「補足資料」セクションを参照）。

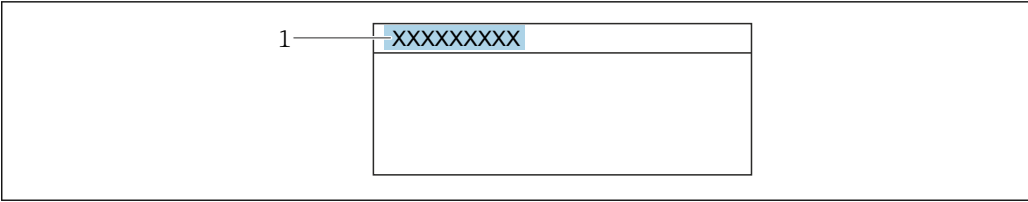
ナビゲーション

「設定」メニュー

🔧 設定		
デバイスのタグ		→ 89
▶ システムの単位		→ 89
▶ 流体の選択		→ 92
▶ 通信		→ 93
▶ Analog inputs		→ 95
▶ I/O 設定		→ 96
▶ 電流入力 1～n		→ 97
▶ ステータス入力 1～n		→ 98
▶ 電流出力 1～n		→ 99
▶ パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え 1～n		→ 102
▶ リレー出力 1～n		→ 109
▶ 表示		→ 112
▶ ローフローカットオフ		→ 115
▶ 非満管の検出		→ 116
▶ 高度な設定		→ 117

10.6.1 タグ名の設定

システム内で測定点を迅速に識別するために、**デバイスのタグ** パラメータを使用して一意の名称を入力し、工場設定を変更することができます。



A0029422

30 タグ番号を含む操作画面表示のヘッダー

1 タグ番号

 タグ番号を「FieldCare」操作ツールで入力します。→  71

ナビゲーション
「設定」メニュー→デバイスのタグ

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	ユーザー入力	工場出荷時設定
デバイスのタグ	測定ポイントの名称を入力。	最大 32 文字（英字、数字、または特殊文字（例：@, %, /）など）	Promass 300 PA

10.6.2 システムの単位の設定

システムの単位 サブメニュー で、すべての測定値の単位を設定できます。

 サブメニューおよびパラメータの数は機器バージョンに応じて異なります。これらのサブメニューの一部のサブメニューおよびパラメータは取扱説明書に記載されていません。その代わりに機器の個別説明書に説明があります（「補足資料」セクションを参照）。

ナビゲーション
「設定」メニュー→システムの単位

▶ システムの単位

質量流量単位	→  90
質量単位	→  90
体積流量単位	→  90
体積単位	→  90
基準体積流量単位	→  90
基準体積単位	→  90
密度単位	→  90
基準密度単位	→  90

温度の単位	→ 91
圧力単位	→ 91

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択	工場出荷時設定
質量流量単位	質量流量の単位を選択。 影響 選択した単位は以下に適用されます。 ■ 出力 ■ ローフローカットオフ ■ シミュレーションするプロセス変数	単位の選択リスト	国に応じて異なります： ■ kg/h ■ lb/min
質量単位	質量の単位を選択。	単位の選択リスト	国に応じて異なります： ■ kg ■ lb
体積流量単位	体積流量の単位を選択。 影響 選択した単位は以下に適用されます。 ■ 出力 ■ ローフローカットオフ ■ シミュレーションするプロセス変数	単位の選択リスト	国に応じて異なります： ■ l/h ■ gal/min (us)
体積単位	体積の単位を選択。	単位の選択リスト	国に応じて異なります： ■ l (呼び口径 > 150A (6") : m ³ オプション) ■ gal (us)
基準体積流量単位	基準体積流量の単位を選択。 影響 選択した単位は以下に適用されます。 基準体積流量 パラメータ (→ 91 144)	単位の選択リスト	国に応じて異なります： ■ NI/h ■ Sft ³ /min
基準体積単位	基準体積の単位を選択。	単位の選択リスト	国に応じて異なります： ■ NI ■ Sft ³
密度単位	密度単位を選択。 影響 選択した単位は以下に適用されます。 ■ 出力 ■ シミュレーションするプロセス変数 ■ 密度調整 (エキスパート メニュー)	単位の選択リスト	国に応じて異なります： ■ kg/l ■ lb/ft ³
基準密度単位	基準密度の単位を選択。	単位の選択リスト	国に応じて異なります： ■ kg/NI ■ lb/Sft ³
密度 2 の単位	2 番目の密度の単位を選択します。	単位の選択リスト	国に応じて異なります： ■ kg/l ■ lb/ft ³

パラメータ	説明	選択	工場出荷時設定
温度の単位	温度の単位を選択。 影響 選択した単位は以下に適用されます。 ■ 電気部内温度 パラメータ (6053) ■ 最大値 パラメータ (6051) ■ 最小値 パラメータ (6052) ■ 最大値 パラメータ (6108) ■ 最小値 パラメータ (6109) ■ 保護容器の温度 パラメータ (6027) ■ 最大値 パラメータ (6029) ■ 最小値 パラメータ (6030) ■ 基準温度 パラメータ (1816) ■ 温度 パラメータ	単位の選択リスト	国に応じて異なります： ■ °C ■ °F
圧力単位	プロセス圧力の単位を選択。 影響 単位は以下の設定が使用されます。 ■ 補正する圧力値 パラメータ (→ 93) ■ 外部圧力 パラメータ (→ 93) ■ 補正する圧力値	単位の選択リスト	国に応じて異なります： ■ bar a ■ psi a

10.6.3 測定物の選択および設定

測定物の選択 ウィザードサブメニューには、測定物の選択および設定のために必要なパラメータが含まれ、これを設定しなければなりません。

ナビゲーション
「設定」メニュー → 流体の選択

▶ 流体の選択		
測定物の選択		→ 92
気体の種類選択		→ 93
基準音速		→ 93
音速の温度係数		→ 93
圧力補正		→ 93
補正する圧力値		→ 93
外部圧力		→ 93

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザー入力/ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
Multi-frequency activation	-	マルチ周波数テクノロジーを有効/無効にして、測定物内にマイクロバブルが発生した場合の測定精度を向上させます。	- いいえ - はい	はい
測定物の選択	-	この機能を使用して、測定物の種類（「気体」または「液体」）を選択します。例外的に、測定物の特性を手動で入力する場合は（例：硫酸などの圧縮性の高い液体の場合）、「その他」オプションを選択します。	- 液体 - 気体	-

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザー入力/ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
気体の種類選択	流体の選択 サブメニューで、 気体 オプションが選択されていること。	測定する気体の種類を選択。	■ 空気 ■ アンモニア NH₃ ■ アルゴン Ar ■ 六フッ化硫黄 SF₆ ■ 酸素 O₂ ■ オゾン O₃ ■ 窒素酸化物 NO_x ■ 窒素 N₂ ■ 亜酸化窒素 N₂O ■ メタン CH₄ ■ 水素 H₂ ■ ヘリウム He ■ 塩化水素 HCl ■ 硫化水素 H₂S ■ エチレン C₂H₄ ■ 二酸化炭素 CO₂ ■ 一酸化炭素 CO ■ 塩素 Cl₂ ■ ブタン C₄H₁₀ ■ プロパン C₃H₈ ■ プロピレン C₃H₆ ■ エタン C₂H₆ ■ その他	–
基準音速	気体の種類選択 パラメータで、 その他 オプションが選択されていること。	0 °C (32 °F) の気体の音速を入力。	1~99 999.9999 m/s	–
基準音速	流体の種類を選択します パラメータで、 その他 オプションが選択されていること。	0 °C (32 °F) の気体の音速を入力。	符号付き浮動小数点数	–
音速の温度係数	気体の種類選択 パラメータで、 その他 オプションが選択されていること。	気体の音速の温度係数を入力。	正の浮動小数点数	–
音速の温度係数	流体の種類を選択します パラメータで、 その他 オプションが選択されていること。	気体の音速の温度係数を入力。	符号付き浮動小数点数	–
圧力補正	–	圧力補正タイプを選択。	■ オフ ■ 固定値 ■ 外部入力値 ■ 電流入力 1 *	–
補正する圧力値	圧力補正 パラメータで、 固定値 オプションが選択されていること。	圧力補正に使用するプロセス圧力を入力。	正の浮動小数点数	–
外部圧力	圧力補正 パラメータで、 外部入力値 オプションまたは 電流入力 1...n オプションが選択されていること。	外部入力のプロセス圧力値を示します。		–

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

10.6.4 通信インターフェイス設定

通信 サブメニューを使用すると、通信インターフェイスの選択および設定に必要なすべてのパラメータを体系的に設定できます。

ナビゲーション
「設定」メニュー → 通信

▶ 通信

デバイスアドレス

→ ⓘ 94

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	ユーザー入力
デバイスアドレス	機器アドレスの入力。	0～126

10.6.5 アナログ入力の設定

Analog inputs サブメニュー を使用すると、個々の **Analog input 1～n** サブメニュー を体系的に設定できます。ここから、個別のアナログ入力のパラメータに移動できます。

ナビゲーション

「設定」 メニュー → Analog inputs

▶ Analog inputs

▶ Analog input 1～n

Channel	→ 96
PV filter time	→ 96
Fail safe type	→ 96
Fail-safe value	→ 96

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザー入力
Channel	-	プロセス変数を選択します。	■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量* ■ 密度 ■ 基準密度* ■ 固形分質量流量* ■ 搬送液質量流量* ■ 濃度* ■ 固形分体積流量* ■ 搬送液体積流量* ■ 固形分基準体積流量* ■ 搬送液基準体積流量* ■ 温度 ■ 保護容器の温度* ■ 電気部内温度 ■ 振動周波数 0 ■ 周波数変動 0* ■ 振動ダンピング 0* ■ 振動ダンピングの変動 0* ■ 振動ダンピングの変動 1* ■ 信号の非対称性* ■ コイル電流 0* ■ 電流入力 1* ■ 基準密度代替* ■ GSV 流量* ■ GSV 流量代替* ■ NSV 流量* ■ NSV 流量代替* ■ S&W 体積流量* ■ オイル密度* ■ 水密度* ■ Water cut* ■ オイルの質量流量* ■ 水の質量流量* ■ オイルの体積流量* ■ 水の体積流量* ■ オイルの基準体積流量* ■ 水の基準体積流量*
PV filter time	-	信号ピークを抑制する時間を設定します。設定された時間の間、アナログ入力はプロセス変数の一貫性のない増加に対して反応しません。	正の浮動小数点数
Fail safe type	-	フェールセーフモードを選択します。	■ Fail-safe value ■ Fallback value ■ Off
Fail-safe value	Fail safe type パラメータで Fail-safe value オプションが選択されていること。	エラー発生時の出力値を設定します。	符号付き浮動小数点数

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

10.6.6 I/O 設定の表示

I/O 設定 サブメニューを使用すると、I/O モジュールの設定が表示されるすべてのパラメータを体系的に設定できます。

ナビゲーション

「設定」 メニュー → I/O 設定

▶ I/O 設定		
I/O モジュール 1～n の端子番号		→ 97
I/O モジュール 1～n の情報		→ 97
I/O モジュール 1～n のタイプ		→ 97
I/O の設定を適用		→ 97
コンバージョンコード		→ 97

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	ユーザーインターフェイス / 選択 / ユーザー入力
I/O モジュール 1～n の端子番号	I/O モジュールが使用している端子番号を表示。	■ 未使用 ■ 26-27 (I/O 1) ■ 24-25 (I/O 2)
I/O モジュール 1～n の情報	接続された I/O モジュールの情報を表示。	■ 接続されていない ■ 無効 ■ 設定不可 ■ 設定可能 ■ Profibus PA
I/O モジュール 1～n のタイプ	I/O モジュールのタイプを表示。	■ オフ ■ 電流出力* ■ 電流入力* ■ ステータス入力* ■ パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え* ■ ダブルパルス出力* ■ リレー出力*
I/O の設定を適用	自由に構成できる I/O モジュールの設定を適用する。	■ いいえ ■ はい
コンバージョンコード	I/O 構成を変更するためにコードを入力。	正の整数

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

10.6.7 電流入力の設定

「電流入力」ウィザードを使用すると、電流入力の設定に必要なすべてのパラメータを体系的に設定できます。

ナビゲーション

「設定」 メニュー → 電流入力

▶ 電流入力 1～n		
端子番号		→ 98

信号モード	→ 98
0/4mA の値	→ 98
20mA の値	→ 98
電流スパン	→ 98
フェールセーフモード	→ 98
フェールセーフの値	→ 98

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス / 選択 / ユーザー入力	工場出荷時設定
端子番号	-	電流入力モジュールが使用している端子番号を表示。	■ 未使用 ■ 24-25 (I/O 2)	-
信号モード	本機器は保護タイプ Ex-i の危険場所で使用するための認定を取得していません。	電流入力の信号モードを選択。	■ パッシブ ■ アクティブ*	アクティブ
0/4mA の値	-	4 mA の値を入力。	符号付き浮動小数点数	-
20mA の値	-	20 mA の値を入力。	符号付き浮動小数点数	国および呼び口径に応じて異なります。
電流スパン	-	プロセス値出力の電流範囲とアラーム信号の上限/下限レベルを選択。	■ 4...20 mA ■ 4...20 mA NAMUR ■ 4...20 mA US ■ 0...20 mA	国に応じて異なります： ■ 4...20 mA NAMUR ■ 4...20 mA US
フェールセーフモード	-	アラーム状態の時の入力値を定義します。	■ アラーム ■ 最後の有効値 ■ 決めた値	-
フェールセーフの値	フェールセーフモード パラメータで決めた値 オプションが選択されていること。	外部機器からの入力値がない場合に使用する値を入力してください。	符号付き浮動小数点数	-

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

10.6.8 ステータス入力の設定

ステータス入力 サブメニューを使用すると、ステータス入力の設定に必要なすべてのパラメータを体系的に設定できます。

ナビゲーション

「設定」 メニュー → ステータス入力 1～n

▶ ステータス入力 1～n	
ステータス入力の割り当て	→ 99
端子番号	→ 99

アクティブレベル	→ 99
端子番号	→ 99
ステータス入力の応答時間	→ 99
端子番号	→ 99

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択/ユーザーインターフェイス/ユーザー入力
ステータス入力の割り当て	ステータス入力に割り当てる機能を選択してください。	■ オフ ■ 積算計 1 のリセット ■ 積算計 2 のリセット ■ 積算計 3 のリセット ■ すべての積算計をリセット ■ 流量の強制ゼロ出力
端子番号	ステータス入力モジュールが使用している端子番号を表示。	■ 未使用 ■ 24-25 (I/O 2)
アクティブレベル	指定した機能がトリガされる入力信号のレベルを定義してください。	■ ハイ ■ ロー
ステータス入力の応答時間	選択した機能をトリガするまでに入力信号のレベルが維持されなければならない時間を定義。	5~200 ms

10.6.9 電流出力の設定

電流出力 ウィザードを使用すると、電流出力の設定に必要なすべてのパラメータを体系的に設定できます。

ナビゲーション

「設定」メニュー → 電流出力

▶ 電流出力 1~n	
端子番号	→ 100
信号モード	→ 100
電流出力 1~n の割り当て	→ 100
電流スパン	→ 101
0/4mA の値	→ 101
20mA の値	→ 101
固定電流値	→ 101
出力 1~n のダンピング	→ 101

フェールセーフモード	→ 101
故障時の電流値	→ 101

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス / 選択 / ユーザー入力	工場出荷時設定
端子番号	-	電流出力モジュールが使用している端子番号の表示。	■ 未使用 ■ 24-25 (I/O 2)	-
信号モード	-	電流出力の信号モードを選択。	■ パッシブ* ■ アクティブ*	アクティブ
電流出力 1～n の割り当て	-	電流出力に割り当てるプロセス変数を選択。	■ オフ* ■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量* ■ 固形分質量流量* ■ 搬送液質量流量* ■ 固形分体積流量* ■ 搬送液体積流量* ■ 固形分基準体積流量* ■ 搬送液基準体積流量* ■ 密度 ■ 基準密度* ■ 基準密度代替* ■ GSV 流量* ■ GSV 流量代替* ■ NSV 流量* ■ NSV 流量代替* ■ S&W 体積流量* ■ Water cut* ■ オイル密度* ■ 水密度* ■ オイルの質量流量* ■ 水の質量流量* ■ オイルの体積流量* ■ 水の体積流量* ■ オイルの基準体積流量* ■ 水の基準体積流量* ■ 濃度* ■ 温度 ■ 保護容器の温度* ■ 電気部内温度 ■ 振動周波数 0 ■ 振動振幅 0* ■ 周波数変動 0* ■ 振動ダンピング 0* ■ 振動ダンピングの変動 0* ■ 信号の非対称性* ■ コイル電流 0* ■ HBSI* ■ 圧力*	-

パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス/選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
電流スパン	–	プロセス値出力の電流範囲とアラーム信号の上限/下限レベルを選択。	■ 4...20 mA NAMUR ■ 4...20 mA US ■ 4...20 mA ■ 0...20 mA ■ 固定電流値	国に応じて異なります。 ■ 4...20 mA NAMUR ■ 4...20 mA US
0/4mA の値	電流スパン パラメータ (→ 101) で、以下のいずれかの選択項目が選択されていること。 ■ 4...20 mA NAMUR ■ 4...20 mA US ■ 4...20 mA ■ 0...20 mA	4 mA の値を入力。	符号付き浮動小数点数	国に応じて異なります。 ■ 0 kg/h ■ 0 lb/min
20mA の値	電流スパン パラメータ (→ 101) で、以下のいずれかの選択項目が選択されていること。 ■ 4...20 mA NAMUR ■ 4...20 mA US ■ 4...20 mA ■ 0...20 mA	20 mA の値を入力。	符号付き浮動小数点数	国および呼び口径に応じて異なります。
固定電流値	電流スパン パラメータ (→ 101) で 固定電流値 オプションが選択されていること。	電流出力固定値の設定。	0～22.5 mA	22.5 mA
出力 1～n のダンピング	電流出力の割り当て パラメータ (→ 100) でプロセス変数が選択されており、 電流スパン パラメータ (→ 101) で、以下の選択項目のいずれかが選択されていること。 ■ 4...20 mA NAMUR ■ 4...20 mA US ■ 4...20 mA ■ 0...20 mA	測定値の変動に対する電流出力信号の応答時間を設定。	0.0～999.9 秒	–
フェールセーフモード	電流出力の割り当て パラメータ (→ 100) でプロセス変数が選択されており、 電流スパン パラメータ (→ 101) で、以下の選択項目のいずれかが選択されていること。 ■ 4...20 mA NAMUR ■ 4...20 mA US ■ 4...20 mA ■ 0...20 mA	アラーム状態の時の出力動作の定義。	■ 最少 ■ 最大 ■ 最後の有効値 ■ 実際の値 ■ 決めた値	–
故障時の電流値	フェールセーフモード パラメータで 決めた値 オプションが選択されていること。	アラーム状態の電流出力値を設定。	0～22.5 mA	22.5 mA

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

10.6.10 パルス/周波数/スイッチ出力の設定

パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え ウィザードを使用すると、選択した出力タイプの設定に必要なすべてのパラメータを体系的に設定できます。

ナビゲーション

「設定」 メニュー → 高度な設定 → パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え

▶ パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え 1~n

動作モード

→ 102

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択
動作モード	出力をパルス、周波数またはスイッチ出力として定義。	■ パルス ■ 周波数 ■ スイッチ出力

パルス出力の設定

ナビゲーション

「設定」 メニュー → パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え

▶ パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え 1~n

動作モード

端子番号

信号モード

パルス出力 の割り当て

パルスの値

パルス幅

フェールセーフモード

出力信号の反転

→ 103

→ 103

→ 103

→ 103

→ 103

→ 103

→ 103

→ 103

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザーインターフェイス/ユーザー入力	工場出荷時設定
動作モード	–	出力をパルス、周波数またはスイッチ出力として定義。	■ パルス ■ 周波数 ■ スイッチ出力	–
端子番号	–	PFS (パルス/周波数/ステータス)出力モジュールが使用している端子番号を表示。	■ 未使用 ■ 24-25 (I/O 2)	–
信号モード	–	PFS 出力のために信号モードを選択して下さい。	■ パッシブ ■ アクティブ	–
パルス出力 1～n の割り当て	動作モード パラメータで パルス オプションが選択されていること。	パルス出力するプロセス変数の選択。	■ オフ ■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量* ■ 固形分質量流量* ■ 搬送液質量流量* ■ 固形分体積流量* ■ 搬送液体積流量* ■ 固形分基準体積流量* ■ 搬送液基準体積流量* ■ GSV 流量* ■ GSV 流量代替* ■ NSV 流量* ■ NSV 流量代替* ■ S&W 体積流量* ■ オイルの質量流量* ■ 水の質量流量* ■ オイルの体積流量* ■ 水の体積流量* ■ オイルの基準体積流量* ■ 水の基準体積流量*	–
パルスの値	動作モード パラメータ (→ 102) で パルス オプションが選択されており、 パルス出力の割り当て パラメータ (→ 103) でプロセス変数が選択されていること。	パルス出力する測定値の入力（パルス値）。	正の浮動小数点数	国および呼び口径に応じて異なります。
パルス幅	動作モード パラメータ (→ 102) で パルス オプションが選択されており、 パルス出力の割り当て パラメータ (→ 103) でプロセス変数が選択されていること。	パルス出力のパルス幅を定義。	0.05～2 000 ms	–
フェールセーフモード	動作モード パラメータ (→ 102) で パルス オプションが選択されており、 パルス出力の割り当て パラメータ (→ 103) でプロセス変数が選択されていること。	アラーム状態の時の出力動作の定義。	■ 実際の値 ■ パルスなし	–
出力信号の反転	–	出力信号の反転。	■ いいえ ■ はい	–

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

周波数出力の設定

ナビゲーション

「設定」メニュー → パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え

▶ パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え 1～n		
動作モード		→ ⓘ 104
端子番号		→ ⓘ 104
信号モード		→ ⓘ 104
周波数出力割り当て		→ ⓘ 105
周波数の最小値		→ ⓘ 105
周波数の最大値		→ ⓘ 105
最小周波数の時測定する値		→ ⓘ 105
最大周波数の時の値		→ ⓘ 106
フェールセーフモード		→ ⓘ 106
フェール時の周波数		→ ⓘ 106
出力信号の反転		→ ⓘ 106

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザーインターフェイス/ユーザー入力	工場出荷時設定
動作モード	-	出力をパルス、周波数またはスイッチ出力として定義。	■ パルス ■ 周波数 ■ スイッチ出力	-
端子番号	-	PFS (パルス/周波数/ステータス)出力モジュールが使用している端子番号を表示。	■ 未使用 ■ 24-25 (I/O 2)	-
信号モード	-	PFS 出力のために信号モードを選択して下さい。	■ パッシブ ■ アクティブ	-

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザーインターフェイス/ユーザー入力	工場出荷時設定
周波数出力割り当て	動作モード パラメータ (→ 102)で 周波数 オプションが選択されていること。	周波数出力するプロセス変数の選択。	■ オフ ■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量* ■ 密度 ■ 基準密度* ■ 温度 ■ 圧力 ■ GSV 流量* ■ GSV 流量代替* ■ NSV 流量* ■ NSV 流量代替* ■ S&W 体積流量* ■ 基準密度代替* ■ Water cut* ■ オイル密度* ■ 水密度* ■ オイルの質量流量* ■ 水の質量流量* ■ オイルの体積流量* ■ 水の体積流量* ■ オイルの基準体積流量* ■ 水の基準体積流量* ■ 濃度* ■ 固形分質量流量* ■ 搬送液質量流量* ■ 固形分体積流量* ■ 搬送液体積流量* ■ 固形分基準体積流量* ■ 搬送液基準体積流量* ■ HBSI* ■ コイル電流 0 ■ 振動ダンピング 0 ■ 振動ダンピングの変動 0* ■ 振動周波数 0 ■ 周波数変動 0* ■ 振動振幅 0* ■ 信号の非対称性 ■ 保護容器の温度* ■ 電気部内温度	—
周波数の最小値	動作モード パラメータ (→ 102)で 周波数 オプションが選択されており、 周波数出力割り当て パラメータ (→ 105)でプロセス変数が選択されていること。	最小周波数を入力。	0.0～10 000.0 Hz	—
周波数の最大値	動作モード パラメータ (→ 102)で 周波数 オプションが選択されており、 周波数出力割り当て パラメータ (→ 105)でプロセス変数が選択されていること。	最大周波数を入力。	0.0～10 000.0 Hz	—
最小周波数の時測定する値	動作モード パラメータ (→ 102)で 周波数 オプションが選択されており、 周波数出力割り当て パラメータ (→ 105)でプロセス変数が選択されていること。	最小周波数に対する測定値を入力。	符号付き浮動小数点数	国および呼び口径に応じて異なります。

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザーインターフェイス/ユーザー入力	工場出荷時設定
最大周波数の時の値	動作モード パラメータ (→ 102)で 周波数 オプションが選択されており、 周波数出力割り当て パラメータ (→ 105)でプロセス変数が選択されていること。	最大周波数に対する測定値を入力。	符号付き浮動小数点数	国および呼び口径に応じて異なります。
フェールセーフモード	動作モード パラメータ (→ 102)で 周波数 オプションが選択されており、 周波数出力割り当て パラメータ (→ 105)でプロセス変数が選択されていること。	アラーム状態の時の出力動作の定義。	■ 実際の値 ■ 決めた値 ■ 0 Hz	–
フェール時の周波数	動作モード パラメータ (→ 102)で 周波数 オプションが選択されていること、 周波数出力割り当て パラメータ (→ 105)でプロセス変数が選択されていること、および フェールセーフモード パラメータで 決めた値 オプションが選択されていること。	アラーム状態の時の周波数出力の値を入力。	0.0～12 500.0 Hz	–
出力信号の反転	–	出力信号の反転。	■ いいえ ■ はい	–

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

スイッチ出力の設定

ナビゲーション

「設定」メニュー → パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え

▶ パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え 1～n		
動作モード		→ 107
端子番号		→ 107
信号モード		→ 107
スイッチ出力機能		→ 108
診断動作の割り当て		→ 108
リミットの割り当て		→ 108
流れ方向チェックの割り当て		→ 108
ステータスの割り当て		→ 109
スイッチオンの値		→ 109
スイッチオフの値		→ 109
スイッチオンの遅延		→ 109
スイッチオフの遅延		→ 109
フェールセーフモード		→ 109
出力信号の反転		→ 109

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザーインターフェイス/ユーザー入力	工場出荷時設定
動作モード	–	出力をパルス、周波数またはスイッチ出力として定義。	■ パルス ■ 周波数 ■ スwitch出力	–
端子番号	–	PFS (パルス/周波数/ステータス)出力モジュールが使用している端子番号を表示。	■ 未使用 ■ 24-25 (I/O 2)	–
信号モード	–	PFS 出力のために信号モードを選択して下さい。	■ パッシブ ■ アクティブ	–

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザーインターフェイス/ユーザー入力	工場出荷時設定
スイッチ出力機能	動作モード パラメータで スイッチ出力 オプションが選択されていること。	スイッチ出力の機能を選択。	■ オフ ■ オン ■ 診断動作 ■ リミット ■ 流れ方向チェック ■ ステータス	–
診断動作の割り当て	■ 動作モード パラメータでスイッチ出力 オプションが選択されていること。 ■ スイッチ出力機能 パラメータで診断動作 オプションが選択されていること。	スイッチ出力の診断動作を選択。	■ アラーム ■ アラーム + 警告 ■ 警告	–
リミットの割り当て	■ 動作モード パラメータでスイッチ出力 オプションが選択されていること。 ■ スイッチ出力機能 パラメータでリミット オプションが選択されていること。	リミット機能のためのプロセス変数の選択。	■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量[*] ■ 固形分質量流量[*] ■ 搬送液質量流量[*] ■ 固形分体積流量[*] ■ 搬送液体積流量[*] ■ 固形分基準体積流量[*] ■ 搬送液基準体積流量[*] ■ 密度 ■ 基準密度[*] ■ 基準密度代替[*] ■ GSV 流量[*] ■ GSV 流量代替[*] ■ NSV 流量[*] ■ NSV 流量代替[*] ■ S&W 体積流量[*] ■ Water cut[*] ■ オイル密度[*] ■ 水密度[*] ■ オイルの質量流量[*] ■ 水の質量流量[*] ■ オイルの体積流量[*] ■ 水の体積流量[*] ■ オイルの基準体積流量[*] ■ 水の基準体積流量[*] ■ 濃度[*] ■ 温度 ■ 振動ダンピング ■ 圧力 ■ 積算計 1 ■ 積算計 2 ■ 積算計 3	–
流れ方向チェックの割り当て	■ 動作モード パラメータでスイッチ出力 オプションが選択されていること。 ■ スイッチ出力機能 パラメータで流れ方向チェック オプションが選択されていること。	流れ方向の監視のためのプロセス変数を選択。		–

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザーインターフェイス/ユーザー入力	工場出荷時設定
ステータスの割り当て	■ 動作モード パラメータでスイッチ出力 オプションが選択されていること。 ■ スイッチ出力機能 パラメータでステータス オプションが選択されていること。	スイッチ出力するデバイスステータスの選択。	■ 非満管の検出 ■ ローフローカット オフ ■ デジタル出力 4*	-
スイッチオンの値	■ 動作モード パラメータでスイッチ出力 オプションが選択されていること。 ■ スイッチ出力機能 パラメータでリミット オプションが選択されていること。	スイッチオンポイントの測定値を入力します。	符号付き浮動小数点数	国に応じて異なります。 ■ 0 kg/h ■ 0 lb/min
スイッチオフの値	■ 動作モード パラメータでスイッチ出力 オプションが選択されていること。 ■ スイッチ出力機能 パラメータでリミット オプションが選択されていること。	スイッチオフポイントの測定値を入力します。	符号付き浮動小数点数	国に応じて異なります。 ■ 0 kg/h ■ 0 lb/min
スイッチオンの遅延	■ 動作モード パラメータでスイッチ出力 オプションが選択されていること。 ■ スイッチ出力機能 パラメータでリミット オプションが選択されていること。	ステータス出力をスイッチオンする遅延時間を定義。	0.0～100.0 秒	-
スイッチオフの遅延	■ 動作モード パラメータでスイッチ出力 オプションが選択されていること。 ■ スイッチ出力機能 パラメータでリミット オプションが選択されていること。	ステータス出力をスイッチオフする遅延時間を定義。	0.0～100.0 秒	-
フェールセーフモード	-	アラーム状態の時の出力動作の定義。	■ 実際のステータス ■ オープン ■ クローズ	-
出力信号の反転	-	出力信号の反転。	■ いいえ ■ はい	-

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

10.6.11 リレー出力の設定

リレー出力 ウィザードを使用すると、リレー出力の設定に必要なすべてのパラメータを体系的に設定できます。

ナビゲーション

「設定」メニュー → リレー出力 1～n

▶ リレー出力 1～n

端子番号

→ 110

リレーの機能

→ 110

流れ方向チェックの割り当て

→ 110

リミットの割り当て	→ ⓘ 111
診断動作の割り当て	→ ⓘ 111
ステータスの割り当て	→ ⓘ 111
スイッチオフの値	→ ⓘ 111
スイッチオフの遅延	→ ⓘ 111
スイッチオンの値	→ ⓘ 111
スイッチオンの遅延	→ ⓘ 111
フェールセーフモード	→ ⓘ 112
スイッチの状態	→ ⓘ 112
電源オフの時のリレーの状態	→ ⓘ 112

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス/選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
端子番号	-	リレー出力モジュールが使用している端子番号を表示。	■ 未使用 ■ 24-25 (I/O 2)	-
リレーの機能	-	リレー出力の機能を選択。	■ クローズ ■ オープン ■ 診断動作 ■ リミット ■ 流れ方向チェック ■ デジタル出力	-
流れ方向チェックの割り当て	リレーの機能 パラメータで 流れ方向チェック オプションが選択されていること。	流れ方向の監視のためのプロセス変数を選択。		-

パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス / 選択 / ユーザー入力	工場出荷時設定
リミットの割り当て	リレーの機能 パラメータで リミット オプションが選択されていること。	リミット機能のためのプロセス変数の選択。	■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量* ■ 固形分質量流量* ■ 搬送液質量流量* ■ 固形分体積流量* ■ 搬送液体積流量* ■ 固形分基準体積流量* ■ 搬送液基準体積流量* ■ 密度 ■ 基準密度* ■ 基準密度代替* ■ GSV 流量* ■ GSV 流量代替* ■ NSV 流量* ■ NSV 流量代替* ■ S&W 体積流量* ■ Water cut* ■ オイル密度* ■ 水密度* ■ オイルの質量流量* ■ 水の質量流量* ■ オイルの体積流量* ■ 水の体積流量* ■ オイルの基準体積流量* ■ 水の基準体積流量* ■ 濃度* ■ 温度 ■ 振動ダンピング ■ 圧力 ■ 積算計 1 ■ 積算計 2 ■ 積算計 3	–
診断動作の割り当て	リレーの機能 パラメータで 診断動作 オプションが選択されていること。	スイッチ出力の診断動作を選択。	■ アラーム ■ アラーム + 警告 ■ 警告	–
ステータスの割り当て	リレーの機能 パラメータで デジタル出力 オプションが選択されていること。	スイッチ出力するデバイスステータスの選択。	■ 非満管の検出 ■ ローフローカットオフ ■ デジタル出力 4*	–
スイッチオフの値	リレーの機能 パラメータで リミット オプションが選択されていること。	スイッチオフポイントの測定値を入力します。	符号付き浮動小数点数	国に応じて異なります。 ■ 0 kg/h ■ 0 lb/min
スイッチオフの遅延	リレーの機能 パラメータで リミット オプションが選択されていること。	ステータス出力をスイッチオフする遅延時間を定義。	0.0～100.0 秒	–
スイッチオン値	リレーの機能 パラメータで リミット オプションが選択されていること。	スイッチオンポイントの測定値を入力します。	符号付き浮動小数点数	国に応じて異なります。 ■ 0 kg/h ■ 0 lb/min
スイッチオンの遅延	リレーの機能 パラメータで リミット オプションが選択されていること。	ステータス出力をスイッチオンする遅延時間を定義。	0.0～100.0 秒	–

パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス/選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
フェールセーフモード	-	アラーム状態の時の出力動作の定義。	■ 実際のステータス ■ オープン ■ クローズ	-
スイッチの状態	-	現在のリレーのスイッチ状態を表示。	■ オープン ■ クローズ	-
電源オフの時のリレーの状態	-		■ オープン ■ クローズ	-

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

10.6.12 現場表示器の設定

表示 ウィザードを使用すると、現場表示器の設定に必要なすべてのパラメータを体系的に設定できます。

ナビゲーション
「設定」メニュー → 表示

▶ 表示

表示形式

→ ⓘ 113

1 の値表示

→ ⓘ 113

バーグラフ 0%の値 1

→ ⓘ 114

バーグラフ 100%の値 1

→ ⓘ 114

2 の値表示

→ ⓘ 114

3 の値表示

→ ⓘ 114

バーグラフ 0%の値 3

→ ⓘ 114

バーグラフ 100%の値 3

→ ⓘ 114

4 の値表示

→ ⓘ 114

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
表示形式	現場表示器があること。	測定値のディスプレイへの表示方法を選択。	■ 1つの値、最大サイズ ■ 1つの値 + バーグラフ ■ 2つの値 ■ 1つの値はサイズ大 + 2つの値 ■ 4つの値	–
1 の値表示	現場表示器があること。	ローカル ディスプレイに表示する測定値を選択。	■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量* ■ 密度 ■ 基準密度* ■ 温度 ■ 電流出力 1* ■ 電流出力 2* ■ 電流出力 4* ■ 圧力 ■ 積算計 1 ■ 積算計 2 ■ 積算計 3 ■ GSV 流量* ■ GSV 流量代替* ■ NSV 流量* ■ NSV 流量代替* ■ S&W 体積流量* ■ 基準密度代替* ■ 加重密度平均* ■ 加重温度平均* ■ Water cut* ■ オイル密度* ■ 水密度* ■ オイルの質量流量* ■ 水の質量流量* ■ オイルの体積流量* ■ 水の体積流量* ■ オイルの基準体積流量* ■ 水の基準体積流量* ■ 濃度* ■ 固形分質量流量* ■ 搬送液質量流量* ■ 固形分体積流量* ■ 搬送液体積流量* ■ 固形分基準体積流量* ■ 搬送液基準体積流量* ■ HBSI* ■ コイル電流 0 ■ 振動ダンピング 0 ■ 振動ダンピングの変動 0* ■ 振動周波数 0 ■ 周波数変動 0* ■ 振動振幅 0* ■ 信号の非対称性 ■ 保護容器の温度* ■ 電気部内温度 ■ 電流出力 1* ■ 電流出力 2* ■ 電流出力 3*	–

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
バーグラフ 0%の値 1	現場表示器があること。	バーグラフ 0% の値を入力。	符号付き浮動小数点数	国に応じて異なります。 ■ 0 kg/h ■ 0 lb/min
バーグラフ 100%の値 1	現場表示器があること。	バーグラフ 100% の値を入力。	符号付き浮動小数点数	国および呼び口径に応じて異なります
2 の値表示	現場表示器があること。	ローカル ディスプレイに表示する測定値を選択。	選択リストについては、 1 の値表示 パラメータ (→ 113) を参照してください。	-
3 の値表示	現場表示器があること。	ローカル ディスプレイに表示する測定値を選択。	選択リストについては、 1 の値表示 パラメータ (→ 113) を参照してください。	-
バーグラフ 0%の値 3	3 の値表示 パラメータで測定値が選択されていること。	バーグラフ 0% の値を入力。	符号付き浮動小数点数	国に応じて異なります。 ■ 0 kg/h ■ 0 lb/min
バーグラフ 100%の値 3	3 の値表示 パラメータで選択していること。	バーグラフ 100% の値を入力。	符号付き浮動小数点数	-
4 の値表示	現場表示器があること。	ローカル ディスプレイに表示する測定値を選択。	選択リストについては、 1 の値表示 パラメータ (→ 113) を参照してください。	-
5 の値表示	現場表示器があること。	ローカル ディスプレイに表示する測定値を選択。	選択リストについては、 1 の値表示 パラメータ (→ 113) を参照してください。	-
6 の値表示	現場表示器があること。	ローカル ディスプレイに表示する測定値を選択。	選択リストについては、 1 の値表示 パラメータ (→ 113) を参照してください。	-
7 の値表示	現場表示器があること。	ローカル ディスプレイに表示する測定値を選択。	選択リストについては、 1 の値表示 パラメータ (→ 113) を参照してください。	-
8 の値表示	現場表示器があること。	ローカル ディスプレイに表示する測定値を選択。	選択リストについては、 1 の値表示 パラメータ (→ 113) を参照してください。	-

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

10.6.13 ローフローカットオフの設定

ローフローカットオフ ウィザードを使用すると、ローフローカットオフの設定に必要なすべてのパラメータを体系的に設定できます。

ナビゲーション

「設定」メニュー → ローフローカットオフ

▶ ローフローカットオフ	
プロセス変数の割り当て	→ 115
ローフローカットオフ オンの値	→ 115
ローフローカットオフ オフの値	→ 115
プレッシャショックの排除	→ 115

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
プロセス変数の割り当て	–	ロー フロー カット オフに割り当てるプロセス変数を選択。	■ オフ ■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量*	–
ローフローカットオフ オンの値	プロセス変数の割り当て パラメータ (→ 115) でプロセス変数が選択されていること。	ロー フロー カット オフがオンになる値を入力。	正の浮動小数点数	国および呼び口径に応じて異なります。
ローフローカットオフ オフの値	プロセス変数の割り当て パラメータ (→ 115) で、プロセス変数が選択されていること。	ロー フロー カット オフをオフにする値を入力。	0～100.0 %	–
プレッシャショックの排除	プロセス変数の割り当て パラメータ (→ 115) で、プロセス変数が選択されていること。	大きな圧力変動時の信号抑制 (= プレッシャショックさプレス) の期間を入力。	0～100 秒	–

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

10.6.14 非満管検出の設定

非満管検出ウィザードを使用すると、パイプの空検知の設定に必要なすべてのパラメータを体系的に設定できます。

ナビゲーション

「設定」メニュー → 非満管の検出

▶ 非満管の検出

プロセス変数の割り当て

→ ⓘ 116

非満管検出の下側の閾値

→ ⓘ 116

非満管検出の上側の閾値

→ ⓘ 116

非満管検出までの応答時間

→ ⓘ 116

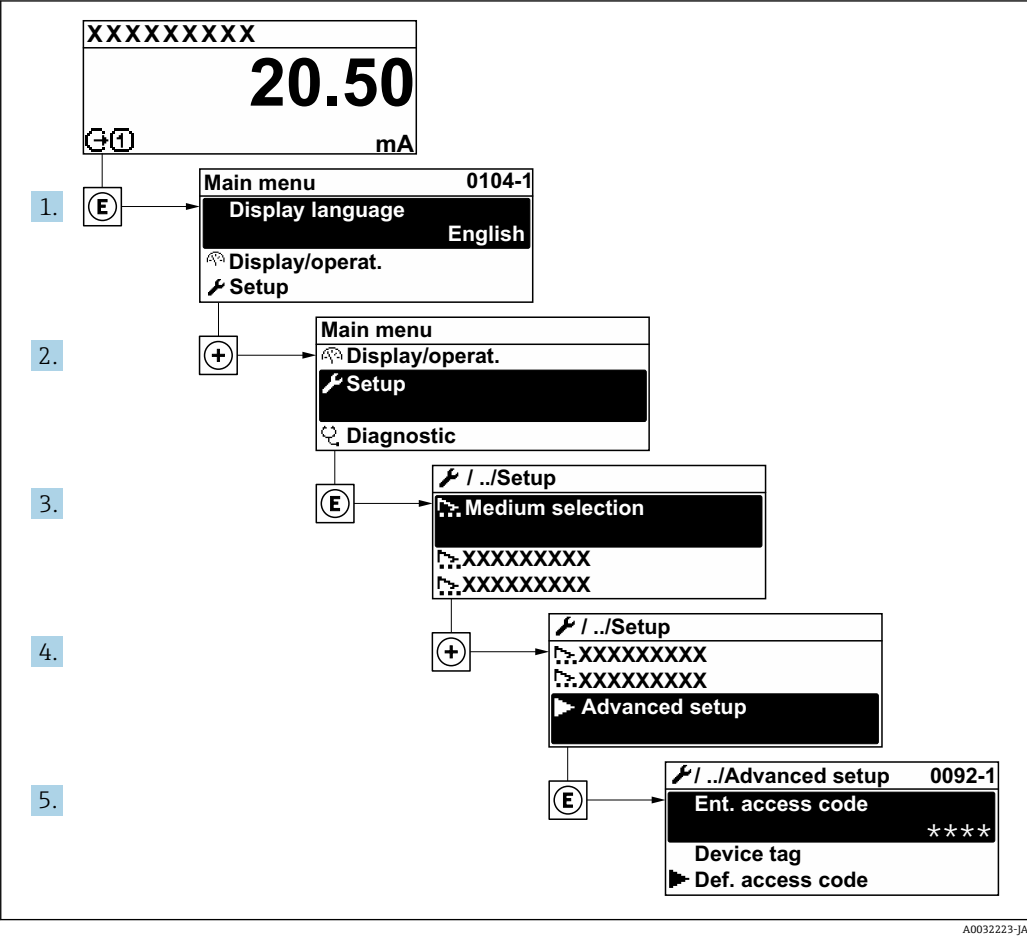
パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
プロセス変数の割り当て	-	部分的に充填されたパイプの検出に割り当てるプロセス変数を選択。	■ オフ ■ 密度 ■ 基準密度	密度
非満管検出の下側の閾値	プロセス変数の割り当て パラメータ (→ ⓘ 116)でプロセス変数が選択されていること。	部分的に充填されたパイプの検出を無効にする下限値を入力。	符号付き浮動小数点数	国に応じて異なります。 ■ 200 kg/m³ ■ 12.5 lb/ft³
非満管検出の上側の閾値	プロセス変数の割り当て パラメータ (→ ⓘ 116)でプロセス変数が選択されていること。	部分的に充填されたパイプの検出を無効にする上限値を入力。	符号付き浮動小数点数	国に応じて異なります。 ■ 6 000 kg/m³ ■ 374.6 lb/ft³
非満管検出までの応答時間	プロセス変数の割り当て パラメータ (→ ⓘ 116)で、プロセス変数が選択されていること。	この機能を使用して、測定管が非満管または空の場合に診断メッセージ S962 「非満管」を出力するまでの信号の最小継続時間（待機時間）を入力します。	0~100 秒	-

10.7 高度な設定

高度な設定 サブメニューとそのサブメニューには、特定の設定に必要なパラメータが含まれています。

「高度な設定」 サブメニューへのナビゲーション

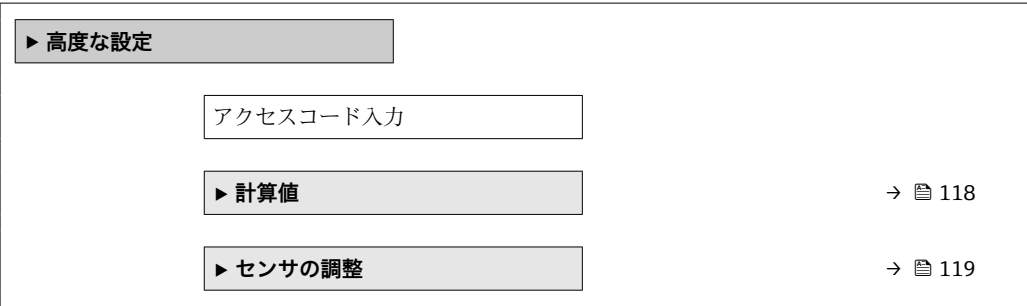


i サブメニューおよびパラメータの数は、機器バージョンおよび使用可能なアプリケーションパッケージに応じて異なります。これらのサブメニューおよびそのパラメータについては、取扱説明書ではなく機器の個別説明書を参照してください。

アプリケーションパッケージまたはカスタディトランスファーモードにおける操作に関するパラメータの詳細な説明については、機器の個別説明書を参照してください。→ 269

ナビゲーション

「設定」メニュー → 高度な設定



▶ 積算計 1～n	→ ⓘ 125
▶ 表示	→ ⓘ 127
▶ WLAN 設定	
▶ 濃度	
▶ Heartbeat 設定	
▶ 設定のバックアップ	→ ⓘ 132
▶ 管理	→ ⓘ 133

10.7.1 計算されたプロセス変数

計算値サブメニューには、基準体積流量の計算に必要なパラメータがすべて含まれています。

 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ「石油」の石油モードパラメータで、API 基準補正 オプション、Net oil & water cut オプション または ASTM D4311 オプション オプションのいずれかが選択されている場合、計算値 サブメニューは使用できません。

ナビゲーション

「設定」メニュー → 高度な設定 → 計算値

▶ 計算値	
▶ 基準体積流量の計算	→ ⓘ 118

「基準体積流量の計算」サブメニュー

ナビゲーション

「設定」メニュー → 高度な設定 → 計算値 → 基準体積流量の計算

▶ 基準体積流量の計算	
基準体積流量の計算 (1812)	→ ⓘ 119
外部入力 of 基準密度 (6198)	→ ⓘ 119
固定基準密度 (1814)	→ ⓘ 119
基準温度 (1816)	→ ⓘ 119
1 次熱膨張係数 (1817)	→ ⓘ 119
2 次熱膨脹係数 (1818)	→ ⓘ 119

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザーインターフェイス/ユーザー入力	工場出荷時設定
基準体積流量の計算	–	基準体積流量計算のための基準密度を選択。	■ 固定基準密度 ■ 算出基準密度 ■ 外部入力 of 基準密度 ■ 電流入力 1*	–
外部入力の基準密度	–	外部入力の基準密度を表示。	符号を含む浮動小数点数	–
固定基準密度	基準体積流量の計算 パラメータで 固定基準密度 オプションが選択されていること。	基準密度の固定値を入力。	正の浮動小数点数	–
基準温度	基準体積流量の計算 パラメータで 算出基準密度 オプションが選択されていること。	基準密度計算のための基準温度を入力。	–273.15～99999 °C	国に応じて異なります： ■ +20 °C ■ +68 °F
1 次熱膨張係数	基準体積流量の計算 パラメータで 算出基準密度 オプションが選択されていること。	基準密度計算のための被測定物固有の線膨張係数を入力。	符号付き浮動小数点数	–
2 次熱膨張係数	基準体積流量の計算 パラメータで 算出基準密度 オプションが選択されていること。	非線形膨張の場合: 基準密度計算のための被測定物固有の 2 次膨張係数を入力。	符号付き浮動小数点数	–

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

10.7.2 センサの調整の実施

センサの調整サブメニューには、センサの機能に関するパラメータが含まれます。

ナビゲーション

「設定」メニュー → 高度な設定 → センサの調整

▶ センサの調整	
設置方向	→ 120
設置のピッチ角	→ 120
設置のロール角	→ 120
▶ 密度調整	
▶ ゼロの検証	→ 123
▶ ゼロ調整	→ 124

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択/ユーザー入力
設置方向	センサ上の矢印の方向と一致する流れ方向の符号を設定。	■ 矢印方向の流れ ■ 矢印の反対方向の流れ
設置のピッチ角	設置した傾きの角度を度で入力する。	-90～+90°
設置のロール角	設置した傾きの角度を度で入力する。	-180～180°

密度調整

i 密度調整の場合、高いレベルの精度を達成できるのは、調整ポイントにおいて、密度と温度が対応する場合に限られます。しかし、密度調整の精度はそもそも、提供される基準測定データの品質と同程度にしかありません。そのため、これは高精度密度校正の代わりにはなりません。

密度調整の実行

- i** 調整を行う前に以下の点に注意してください。
- 動作条件の変動が小さく、密度調整を動作条件下で実施した場合にのみ、密度調整は有効です。
 - 密度調整はユーザー固有のスロープおよびオフセットを使用して内部で計算した密度値をスケールリングします。
 - 1点または2点密度調整を実行することが可能です。
 - 2点密度調整の場合は、2つのターゲット密度値の間に 0.2 kg/l 以上の差が必要です。
 - 基準測定物には気体が含まれないか、または、含まれる気体が圧縮されるように加圧しなければなりません。
 - 基準密度測定は、プロセス内の流体温度と同じ温度で実施しなければなりません。そうでない場合は、正確な密度調整になりません。
 - 密度調整に起因する補正は、**元に戻す** オプションで削除できます。

「1点調整」オプション

1. **密度調整モード** パラメータで **1点調整** オプションを選択し、確定します。
2. **密度調整 1 の値** パラメータで密度値を入力し、確定します。
↳ **密度調整の実行** パラメータ で以下のオプションが使用できるようになります。
Ok
密度 1 の測定中 オプション
元に戻す
3. **密度 1 の測定中** オプションを選択し、確定します。
4. ディスプレイの **進行中** パラメータ で 100% に達し、**密度調整の実行** パラメータ に **Ok** オプションが表示されたら、確定します。
↳ **密度調整の実行** パラメータ で以下のオプションが使用できるようになります。
Ok
計算
キャンセル
5. **計算** オプションを選択し、確定します。

調整が正常に完了すると、**密度調整係数** パラメータ、**密度調整のオフセット** パラメータ、および、これらから計算された値がディスプレイに表示されます。

「2点調整」オプション

1. **密度調整モード** パラメータで **2点調整** オプションを選択し、確定します。
2. **密度調整 1 の値** パラメータで密度値を入力し、確定します。

3. **密度調整 2 の値** パラメータで密度値を入力し、確定します。
 - ↳ **密度調整の実行** パラメータ で以下のオプションが使用できるようになります。
Ok
密度 1 の測定中
元に戻る
4. **密度 1 の測定中** オプションを選択し、確定します。
 - ↳ **密度調整の実行** パラメータ で以下のオプションが使用できるようになります。
Ok
密度 2 の測定中
元に戻る
5. **密度 2 の測定中** オプションを選択し、確定します。
 - ↳ **密度調整の実行** パラメータ で以下のオプションが使用できるようになります。
Ok
計算
キャンセル
6. **計算** オプションを選択し、確定します。

密度調整エラー オプションが**密度調整の実行** パラメータに表示された場合、このオプションを呼び出して**キャンセル** オプションを選択します。密度調整がキャンセルされ、繰り返すことが可能です。

調整が正常に完了すると、**密度調整係数** パラメータ、**密度調整のオフセット** パラメータ、および、これらから計算された値がディスプレイに表示されます。

ナビゲーション

「エキスパート」 メニュー → センサ → センサの調整 → 密度調整

▶ 密度調整		
密度調整モード	→	🔍 122
密度調整 1 の値	→	🔍 122
密度調整 2 の値	→	🔍 122
密度調整の実行	→	🔍 122
進行中	→	🔍 122
密度調整係数	→	🔍 122
密度調整のオフセット	→	🔍 122

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザー入力/ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
密度調整モード	-		■ 1点調整 ■ 2点調整	-
密度調整 1 の値	-		入力は、 密度単位 パラメータ (0555) で選択した単位に応じて異なります。	-
密度調整 2 の値	密度調整モード パラメータで、 2点調整 オプションが選択されていること。		入力は、 密度単位 パラメータ (0555) で選択した単位に応じて異なります。	-
密度調整の実行	-		■ キャンセル* ■ 進行中* ■ Ok* ■ 密度調整エラー* ■ 密度 1 の測定中* ■ 密度 2 の測定中* ■ 計算* ■ 元に戻す*	-
進行中	-	プロセスの進行状態を見る。	0~100 %	-
密度調整係数	-		符号付き浮動小数点数	-
密度調整のオフセット	-		符号付き浮動小数点数	-

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

ゼロ検証およびゼロ調整

すべての計測機器は、最新技術に従って校正が実施されています。校正は、基準条件下で行われています→ 248。そのため、現場でのゼロ調整は、通常は必要ありません。

ゼロ調整が推奨されるのは、次のような特別な場合のみです。

- 低流量でも最高の測定精度が要求される場合
- 過酷なプロセス条件または動作条件の場合（例：非常に高いプロセス温度、非常に高粘度の流体）
- 低圧のガスアプリケーションの場合

 低流量時に最高レベルの測定精度を得るには、運転中の機械的応力からセンサが保護されるように設置する必要があります。

代表的なゼロ点を取得するには、次の点を確認してください。

- 調整中に機器内に流れが生じないこと
- プロセス条件（例：圧力、温度）が代表的なものであり、安定していること

以下のプロセス条件下では、ゼロ検証およびゼロ調整を実行できません。

- 気泡
システムが媒体で十分に洗い流されていることを確認してください。繰り返し洗い流すと、気泡を取り除くことができます。
- 熱循環
温度差がある場合（例：計測チューブ入口と出口部分の間）、機器内の熱循環によりバルブが閉じていても誘起流が発生する可能性があります。
- バルブの漏れ
バルブに気密性がないと、ゼロ点を決定するときに流れを十分に防ぐことができません。

これらの条件が避けられない場合は、工場出荷時のゼロ点設定のままにしておくことを推奨します。

ゼロ点検証

ゼロ点は、**ゼロの検証** ウィザードで確認できます。

ナビゲーション

「設定」メニュー → 高度な設定 → センサの調整 → ゼロの検証

▶ ゼロの検証		
プロセスの状態		→ 123
進行中		→ 123
ステータス		→ 123
追加情報		→ 123
推奨:		→ 123
根本原因		→ 124
中止の原因		→ 123
測定したゼロ点		→ 124
ゼロ点の標準偏差		→ 124

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択/ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
プロセスの状態	次のようなプロセス条件を確保します。	- 計測チューブは満管 - プロセス圧力がかかっている - 流れがない状態(バルブ全閉) - プロセスと周囲温度が安定している	-
進行中	プロセスの進行状態を見る。	0～100 %	-
ゼロ点調整の状態		- 進行中 - ゼロ点調整エラー - Ok	-
追加情報	追加情報を表示するかどうかを示します。	- 非表示 - 表示	-
推奨:	調整が推奨されるかを示します。測定したゼロ点が現在のゼロ点から大きく離れている場合のみ推奨します。	- ゼロ点調整を行わない - ゼロ点を調整する	-
中止の原因	ウィザードが中止された理由を示します。	- プロセス状態を確認！ - 技術的な問題が発生	-

パラメータ	説明	選択/ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
根本原因	診断と対処を表示します。	■ ゼロ点が大きすぎる。流れが無いこと。 ■ ゼロ点が不安定。流れがないこと。 ■ 変動が大きい。2 相流体を避ける。	-
測定したゼロ点	調整のために測定したゼロ点を表示します。	符号付き浮動小数点数	-
ゼロ点の標準偏差	測定したゼロ点の標準偏差を表示します。	正の浮動小数点数	-

ゼロ調整

ゼロ点は、**ゼロ調整** ウィザードで調整できます。

- 
- ゼロ調整の前にゼロ点検証を実行する必要があります。
 - ゼロ点は手動で調整することも可能です。エキスパート → センサ → 校正

ナビゲーション

「設定」メニュー → 高度な設定 → センサの調整 → ゼロ調整

▶ ゼロ調整

プロセスの状態

→ ⓘ 125

進行中

→ ⓘ 125

ステータス

→ ⓘ 125

根本原因

→ ⓘ 125

中止の原因

→ ⓘ 125

根本原因

→ ⓘ 125

測定したゼロ点の信頼度

→ ⓘ 125

追加情報

→ ⓘ 125

測定したゼロ点の信頼度

→ ⓘ 125

測定したゼロ点

→ ⓘ 125

ゼロ点の標準偏差

→ ⓘ 125

動作を選択

→ ⓘ 125

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択/ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
プロセスの状態	次のようなプロセス条件を確保します。	- 計測チューブは満管 - プロセス圧力がかかっている - 流れがない状態(バルブ全閉) - プロセスと周囲温度が安定している	–
進行中	プロセスの進行状態を見る。	0～100 %	–
ゼロ点調整の状態		- 進行中 - ゼロ点調整エラー - Ok	–
中止の原因	ウィザードが中止された理由を示します。	- プロセス状態を確認！ - 技術的な問題が発生	–
根本原因	診断と対処を表示します。	- ゼロ点が大きすぎる。流れが無いこと。 - ゼロ点が不安定。流れがないこと。 - 変動が大きい。2 相流体を避ける。	–
測定したゼロ点の信頼度	測定したゼロ点の信頼度を示します。	- 未完了 - 良好 - 不確か	–
追加情報	追加情報を表示するかどうかを示します。	- 非表示 - 表示	–
測定したゼロ点	調整のために測定したゼロ点を表示します。	符号付き浮動小数点数	–
ゼロ点の標準偏差	測定したゼロ点の標準偏差を表示します。	正の浮動小数点数	–
動作を選択	適用するゼロ点の値を選択します。	- 現在のゼロ点を維持 - 測定したゼロ点を適用 - 工場のゼロ点を適用*	–

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

10.7.3 積算計の設定

「積算計 1～n」サブメニューで、特定の積算計を設定することができます。

ナビゲーション

「設定」メニュー → 高度な設定 → 積算計 1～n

▶ 積算計 1～n	
プロセス変数の割り当て	→ 126
積算計の単位	→ 126
積算計動作モード	→ 126
積算計 1～n のコントロール	→ 126
フェールセーフモード	→ 126

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択	工場出荷時設定
プロセス変数の割り当て	積算計のプロセス変数を選択。	■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量* ■ 固形分質量流量* ■ 搬送液質量流量* ■ 固形分体積流量* ■ 搬送液体積流量* ■ 固形分基準体積流量* ■ 搬送液基準体積流量* ■ GSV 流量* ■ GSV 流量代替* ■ NSV 流量* ■ NSV 流量代替* ■ S&W 体積流量* ■ オイルの質量流量* ■ 水の質量流量* ■ オイルの体積流量* ■ 水の体積流量* ■ オイルの基準体積流量* ■ 水の基準体積流量*	–
積算計の単位	積算計のプロセス変数の単位を選択。	単位の選択リスト	国に応じて異なります： ■ kg ■ lb
積算計 1～n のコントロール	積算計の値を制御します。	■ 積算開始 ■ リセット + ホールド ■ プリセット + ホールド	–
積算計動作モード	積算計の計算モードの選択。	■ 正味流量の積算 ■ 正方向流量の積算 ■ 逆方向流量の積算 ■ 最後の有効値	–
フェールセーフモード	機器アラームが発生した場合の積算計の挙動を設定します。	■ 停止 ■ 実際の値 ■ 最後の有効値	–

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

10.7.4 表示の追加設定

表示 サブメニューを使用して、現場表示器の設定に関するすべてのパラメータを設定できます。

ナビゲーション

「設定」メニュー → 高度な設定 → 表示

▶ 表示		
表示形式	→	📖 128
1 の値表示	→	📖 128
バーグラフ 0%の値 1	→	📖 129
バーグラフ 100%の値 1	→	📖 129
小数点桁数 1	→	📖 129
2 の値表示	→	📖 129
小数点桁数 2	→	📖 129
3 の値表示	→	📖 129
バーグラフ 0%の値 3	→	📖 129
バーグラフ 100%の値 3	→	📖 129
小数点桁数 3	→	📖 129
4 の値表示	→	📖 129
小数点桁数 4	→	📖 129
Display language	→	📖 130
表示間隔	→	📖 130
表示のダンピング	→	📖 130
ヘッダー	→	📖 130
ヘッダーテキスト	→	📖 130
区切り記号	→	📖 130
バックライト	→	📖 130

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	選択 / ユーザー入力	工場出荷時設定
表示形式	現場表示器があること。	測定値のディスプレイへの表示方法を選択。	■ 1つの値、最大サイズ ■ 1つの値 + バーグラフ ■ 2つの値 ■ 1つの値はサイズ大 + 2つの値 ■ 4つの値	–
1 の値表示	現場表示器があること。	ローカル ディスプレイに表示する測定値を選択。	■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量 * ■ 密度 ■ 基準密度 * ■ 温度 ■ 電流出力 1 * ■ 電流出力 2 * ■ 電流出力 4 * ■ 圧力 ■ 積算計 1 ■ 積算計 2 ■ 積算計 3 ■ GSV 流量 * ■ GSV 流量代替 * ■ NSV 流量 * ■ NSV 流量代替 * ■ S&W 体積流量 * ■ 基準密度代替 * ■ 加重密度平均 * ■ 加重温度平均 * ■ Water cut * ■ オイル密度 * ■ 水密度 * ■ オイルの質量流量 * ■ 水の質量流量 * ■ オイルの体積流量 * ■ 水の体積流量 * ■ オイルの基準体積流量 * ■ 水の基準体積流量 * ■ 濃度 * ■ 固形分質量流量 * ■ 搬送液質量流量 * ■ 固形分体積流量 * ■ 搬送液体積流量 * ■ 固形分基準体積流量 * ■ 搬送液基準体積流量 * ■ HBSI * ■ コイル電流 0 ■ 振動ダンピング 0 ■ 振動ダンピングの変動 0 * ■ 振動周波数 0 ■ 周波数変動 0 * ■ 振動振幅 0 * ■ 信号の非対称性 ■ 保護容器の温度 * ■ 電気部内温度 ■ 電流出力 1 * ■ 電流出力 2 * ■ 電流出力 3 *	–

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
バーグラフ 0%の値 1	現場表示器があること。	バーグラフ 0% の値を入力。	符号付き浮動小数点数	国に応じて異なります。 ■ 0 kg/h ■ 0 lb/min
バーグラフ 100%の値 1	現場表示器があること。	バーグラフ 100% の値を入力。	符号付き浮動小数点数	国および呼び口径に応じて異なります
小数点桁数 1	1 の値表示 パラメータで測定値が設定されていること。	表示値の小数点以下の桁数を選択。	■ x ■ x.x ■ x.xx ■ x.xxx ■ x.xxxx	-
2 の値表示	現場表示器があること。	ローカル ディスプレイに表示する測定値を選択。	選択リストについては、 1 の値表示 パラメータ (→ 113) を参照してください。	-
小数点桁数 2	2 の値表示 パラメータで測定値が設定されていること。	表示値の小数点以下の桁数を選択。	■ x ■ x.x ■ x.xx ■ x.xxx ■ x.xxxx	-
3 の値表示	現場表示器があること。	ローカル ディスプレイに表示する測定値を選択。	選択リストについては、 1 の値表示 パラメータ (→ 113) を参照してください。	-
バーグラフ 0%の値 3	3 の値表示 パラメータで測定値が選択されていること。	バーグラフ 0% の値を入力。	符号付き浮動小数点数	国に応じて異なります。 ■ 0 kg/h ■ 0 lb/min
バーグラフ 100%の値 3	3 の値表示 パラメータで選択していること。	バーグラフ 100% の値を入力。	符号付き浮動小数点数	-
小数点桁数 3	3 の値表示 パラメータで測定値が設定されていること。	表示値の小数点以下の桁数を選択。	■ x ■ x.x ■ x.xx ■ x.xxx ■ x.xxxx	-
4 の値表示	現場表示器があること。	ローカル ディスプレイに表示する測定値を選択。	選択リストについては、 1 の値表示 パラメータ (→ 113) を参照してください。	-
小数点桁数 4	4 の値表示 パラメータで測定値が設定されていること。	表示値の小数点以下の桁数を選択。	■ x ■ x.x ■ x.xx ■ x.xxx ■ x.xxxx	-

パラメータ	必須条件	説明	選択 / ユーザー入力	工場出荷時設定
Display language	現場表示器があること。	表示言語を設定。	■ English ■ Deutsch * ■ Français * ■ Español * ■ Italiano * ■ Nederlands * ■ Portuguesa * ■ Polski * ■ русский язык (Russian) * ■ Svenska * ■ Türkçe * ■ 中文 (Chinese) * ■ 日本語 (Japanese) * ■ 한국어 (Korean) * ■ tiếng Việt (Vietnamese) * ■ čeština (Czech) *	English (または、ご注文の言語を機器にプリセット)
表示間隔	現場表示器があること。	測定値の切り替え表示の時に測定値を表示する時間を設定。	1～10 秒	–
表示のダンピング	現場表示器があること。	測定値の変動に対する表示の応答時間を設定。	0.0～999.9 秒	–
ヘッダー	現場表示器があること。	ローカル ディスプレイのヘッダーの内容を選択。	■ デバイスのタグ ■ フリーテキスト	–
ヘッダーテキスト	ヘッダー パラメータで フリーテキスト オプションが選択されていること。	ディスプレイのヘッダーのテキストを入力。	最大 12 文字 (英字、数字、または特殊文字 (例: @, %, /) など)	–
区切り記号	現場表示器があること。	数値表示の桁区切り記号を選択。	■ . (点) ■ , (コンマ)	. (点)
バックライト	以下の条件の 1 つを満たしていること: ■ 「ディスプレイ ; 操作」のオーダーコード、オプション F 「4 行表示、バックライト ; タッチコントロール」 ■ 「ディスプレイ ; 操作」のオーダーコード、オプション G 「4 行表示、バックライト ; タッチコントロール +WLAN」 ■ 「ディスプレイ ; 操作」のオーダーコード、オプション O 「4 行表示分離ディスプレイ、バックライト ; 10m/30ft ケーブル ; タッチコントロール」	ローカル ディスプレイのバックライトのオンとオフを切り替え。	■ 無効 ■ 有効	–

* 表示はオーダーしたオプションや機器のセッティングにより異なります

10.7.5 WLAN 設定

WLAN Settings サブメニューを使用すると、WLAN の設定に必要なすべてのパラメータを体系的に設定できます。

ナビゲーション

「設定」 メニュー → 高度な設定 → WLAN 設定

▶ WLAN 設定	
WLAN IP アドレス	→ 131
セキュリティタイプ	→ 131
WLAN のパスワード	→ 131
SSID の設定	→ 131
SSID 名	→ 131
変更を適用する	→ 131

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	ユーザー入力/選択	工場出荷時設定
WLAN IP アドレス	–	機器の WLAN インタフェースの IP アドレスを入力。	4 オクテット：0～255 (特定のオクテットにおいて)	–
ネットワークセキュリティ	–	WLAN ネットワークのセキュリティタイプを選択。	■ 保護されない ■ WPA2-PSK ■ EAP-PEAP with MSCHAPv2 * ■ EAP-PEAP MSCHAPv2 no server authentic. * ■ EAP-TLS *	–
WLAN のパスワード	Security type パラメータで WPA2-PSK オプションが選択されていること。	ネットワークキー (8 から 32 文字)を入力。  機器とともに支給されたネットワークキーは、安全上の理由から設定中に変更する必要があります。	数字、英字、特殊文字からなる 8～32 桁の文字列（スペースなし）	機器のシリアル番号 (例：L100A802000)
SSID の設定	–	どの SSID 名を使用するか選択：デバイスタグまたはユーザ定義名。	■ デバイスのタグ ■ ユーザ定義	–
SSID 名	■ SSID の設定 パラメータで ユーザ定義 オプションが選択されていること。 ■ WLAN モード パラメータで WLAN アクセスポイント オプションが選択されていること。	ユーザ定義の SSID 名（最大 32 文字）を入力。  ユーザー設定された SSID 名称は 1 回しか割り当てることができません。SSID 名称を 1 回以上割り当てた場合、機器は相互に干渉する可能性があります。	数字、英字、特殊文字から成る最大 32 桁の文字列	EH_機器名称_シリアル番号の最後の 7 桁 (例：EH_Promass_300_A802000)
変更を適用する	–	変更した WLAN の設定を使用する。	■ キャンセル ■ Ok	–

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

10.7.6 設定管理

設定後、現在の機器設定の保存、または前の機器設定の復元を行うことが可能です。機器設定は、**設定管理** パラメータ で管理されます。

ナビゲーション

「設定」メニュー → 高度な設定 → 設定のバックアップ

▶ 設定のバックアップ		
稼働時間		→ ⓘ 132
最後のバックアップ		→ ⓘ 132
設定管理		→ ⓘ 132
バックアップのステータス		→ ⓘ 132
比較の結果		→ ⓘ 132

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	ユーザーインターフェイス / 選択
稼働時間	装置の稼働時間を示す。	日 (d)、時 (h)、分 (m)、秒 (s)
最後のバックアップ	最後のデータバックアップが組み込み HistoROM に保存された時を表示。	日 (d)、時 (h)、分 (m)、秒 (s)
設定管理	組み込み HistoROM の機器データの管理の動作を選択。	■ キャンセル ■ バックアップの実行 ■ 復元* ■ 比較* ■ バックアップデータの削除
バックアップのステータス	現在のデータセーブ、リストアの状態を示す。	■ なし ■ バックアップ中 ■ リストア中 ■ 削除処理進行中 ■ 比較進行中 ■ リストアの失敗 ■ バックアップの失敗
比較の結果	現在の機器データと組み込み HistoROM のバックアップとの比較。	■ 設定データは一致する ■ 設定データは一致しない ■ バックアップデータはありません ■ 保存データの破損 ■ チェック未完了 ■ データセット非互換

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

「設定管理」パラメータの機能範囲

オプション	説明
キャンセル	何も実行せずにこのパラメータを終了します。
バックアップの実行	現在の機器設定のバックアップコピーを、HistoROM バックアップから機器のメモリに保存します。バックアップコピーには機器の変換器データが含まれます。

オプション	説明
復元	機器設定の最後のバックアップコピーを、機器メモリから機器の HistoROM バックアップに復元します。バックアップコピーには機器の変換器データが含まれます。
比較	機器メモリに保存された機器設定と HistoROM バックアップの現在の機器設定とを比較します。
バックアップデータの削除	機器設定のバックアップコピーを、機器のメモリから削除します。



HistoROM バックアップ

HistoROM は、EEPROM タイプの不揮発性メモリです。



この操作の処理中は、現場表示器を介して設定を編集することはできません。また、処理ステータスを表すメッセージが表示されます。

10.7.7 機器管理のためのパラメータを使用

管理 サブメニューを使用すると、機器の管理のために必要なすべてのパラメータを体系的に使用できます。

ナビゲーション

「設定」メニュー → 高度な設定 → 管理

▶ 管理	
▶ アクセスコード設定	→ 133
▶ アクセスコードのリセット	→ 134
機器リセット	→ 134

アクセスコードの設定のためのパラメータを使用

ナビゲーション

「設定」メニュー → 高度な設定 → 管理 → アクセスコード設定

▶ アクセスコード設定	
アクセスコード設定	→ 133
アクセスコードの確認	→ 133

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	ユーザー入力
アクセスコード設定	設定の不用意な変更から機器を守るために書き込みアクセスを制限。	数字、英字、特殊文字から成る最大 16 桁の文字列
アクセスコードの確認	入力されたアクセスコードを確認してください。	数字、英字、特殊文字から成る最大 16 桁の文字列

アクセスコードのリセットのためのパラメータを使用

ナビゲーション

「設定」メニュー → 高度な設定 → 管理 → アクセスコードのリセット

▶ アクセスコードのリセット

稼働時間

→ ⓘ 134

アクセスコードのリセット

→ ⓘ 134

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	ユーザーインターフェイス/ユーザー入力
稼働時間	装置の稼働時間を示す。	日 (d)、時 (h)、分 (m)、秒 (s)
アクセスコードのリセット	アクセスコードを工場出荷値にリセットする。  リセットコードについては、弊社サービスにお問い合わせください。 リセットコードは、以下を介してのみ入力できます。 ■ ウェブブラウザ ■ DeviceCare、FieldCare (CDI-RJ45 サービスインターフェイス経由) ■ フィールドバス	数字、英字、特殊文字から成る文字列

機器のリセットのためのパラメータを使用

ナビゲーション

「設定」メニュー → 高度な設定 → 管理

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択
機器リセット	機器の設定をリセットします-全部または一部を-決められた状態に。	■ キャンセル ■ 納入時の状態に ■ 機器の再起動 ■ S-DAT のバックアップをリストア*

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

10.8 シミュレーション

シミュレーション サブメニュー により、プロセスおよび機器アラームモードにおける各種プロセス変数をシミュレーションして、下流側の信号接続（バルブの切り替えまたは閉制御ループ）を確認することが可能です。シミュレーションは、実際の測定を行わずに実行できます（機器内を流れる測定物なし）。

ナビゲーション

「診断」メニュー → シミュレーション

▶ シミュレーション

シミュレーションする測定パラメータ割り当て	→ 136
測定値	→ 136
ステータス入力のシミュレーション	→ 137
入力信号レベル	→ 137
電流入力 1～n のシミュレーション	→ 137
電流入力 1～n の値	→ 137
電流出力 1～n のシミュレーション	→ 136
電流出力 1～n の値	→ 136
周波数出力シミュレーション 1～n	→ 136
周波数の値 1～n	→ 136
パルス出力シミュレーション 1～n	→ 136
パルスの値 1～n	→ 136
シミュレーションスイッチ出力 1～n	→ 136
スイッチの状態 1～n	→ 136
リレー出力 1～n シミュレーション	→ 136
スイッチの状態 1～n	→ 137
機器アラームのシミュレーション	→ 137
診断イベントの種類	→ 137
診断イベントのシミュレーション	→ 137

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザー入力
シミュレーションする測定パラメータ割り当て	-	シミュレーションするプロセス変数を選択してください。	■ オフ ■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量* ■ 固形分質量流量* ■ 搬送液質量流量* ■ 固形分体積流量* ■ 搬送液体積流量* ■ 固形分基準体積流量* ■ 搬送液基準体積流量* ■ 密度 ■ 基準密度* ■ 基準密度代替* ■ GSV 流量* ■ GSV 流量代替* ■ NSV 流量* ■ NSV 流量代替* ■ S&W 体積流量* ■ Water cut* ■ オイル密度* ■ 水密度* ■ オイルの質量流量* ■ 水の質量流量* ■ オイルの体積流量* ■ 水の体積流量* ■ オイルの基準体積流量* ■ 水の基準体積流量* ■ 加重密度平均* ■ 加重温度平均* ■ 温度 ■ 濃度*
測定値	シミュレーションする測定パラメータ割り当て パラメータ (→ 136) でプロセス変数が選択されていること。	選択したプロセス変数をシミュレーションする値を入力してください。	選択したプロセス変数に応じて異なります。
電流出力 1～n のシミュレーション	-	電流出力のシミュレーションをオン、オフします。	■ オフ ■ オン
電流出力 1～n の値	電流出力 1～n のシミュレーション パラメータで、オン オプションが選択されていること。	シミュレーションする電流の値を入力してください。	3.59～22.5 mA
周波数出力シミュレーション 1～n	動作モード パラメータで周波数 オプションが選択されていること。	周波数出力のシミュレーションをオン、オフしてください。	■ オフ ■ オン
周波数の値 1～n	周波数出力シミュレーション 1～n パラメータでオン オプションが選択されていること。	シミュレーションする周波数の値を入力してください。	0.0～12 500.0 Hz
パルス出力シミュレーション 1～n	動作モード パラメータでパルス オプションが選択されていること。	設定しパルス出力のシミュレーションをオフしてください。  固定値 オプションの場合：パルス幅 パラメータ (→ 103) によりパルス出力のパルス幅が設定されます。	■ オフ ■ 固定値 ■ カウントダウンする値
パルスの値 1～n	パルス出力シミュレーション 1～n パラメータでカウントダウンする値 オプションが選択されていること。	シミュレーションするパルスの数を入力してください。	0～65 535
シミュレーションスイッチ出力 1～n	動作モード パラメータでスイッチ出力 オプションが選択されていること。	スイッチ出力のシミュレーションをオン、オフします。	■ オフ ■ オン
スイッチの状態 1～n	-	ステータス出力をシミュレーションするためのステータスを選択します。	■ オープン ■ クローズ
リレー出力 1～n シミュレーション	-	リレー出力のシミュレーションのオンとオフの切り替え。	■ オフ ■ オン

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザー入力
スイッチの状態 1~n	シミュレーションスイッチ出力 1~n パラメータで オン オプションが選択 されていること。	リレー出力の状態をシミュレーシ ョンのために選択する。	■ オープン ■ クローズ
機器アラームのシミュレーション	-	デバイスアラームのシミュレーシ ョンをオン、オフします。	■ オフ ■ オン
診断イベントの種類	-	診断イベントカテゴリを選択。	■ センサ ■ エレクトロニクス ■ 設定 ■ プロセス
診断イベントのシミュレーション	-	このイベントをシミュレーションす る診断イベントの選択。	■ オフ ■ 診断イベント選択リス ト (選択したカテゴリに 応じて)
電流入力 1~n のシミュレーシ ョン	-	電流入力シミュレーションのオン/オ フ。	■ オフ ■ オン
電流入力 1~n の値	電流入力 1~n のシミュレーション パ ラメータで オン オプションが選択さ れていること。	シミュレーションの電流値を入力。	0~22.5 mA
ステータス入力のシミュレーシ ョン	-	ステータス入力のシミュレーション をオン、オフ切り替え。	■ オフ ■ オン
入力信号レベル	ステータス入力のシミュレーション パラメータで オン オプションが選択 されていること。	ステータス入力をシミュレーション する信号レベルを選択してください。	■ ハイ ■ ロー

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

10.9 不正アクセスからの設定の保護

以下の書き込み保護オプションにより、意図せずに機器の設定が変更されないよう保護することが可能です。

- アクセスコードによるパラメータのアクセス保護 → 137
- キーロックによる現場操作のアクセス保護 → 60
- 書き込み保護スイッチによる機器のアクセス保護 → 139

10.9.1 アクセスコードによる書き込み保護

ユーザー固有のアクセスコードは以下の効果をもたらします。

- 機器設定用パラメータは書き込み保護となり、現場操作を介してその値を変更することはできなくなります。
- ウェブブラウザを介した機器アクセスを防止し、機器設定用パラメータを保護します。
- FieldCare または DeviceCare (CDI-RJ45 サービスインターフェイス経由) を介した機器アクセスを防止し、機器設定用パラメータを保護します。

現場表示器によるアクセスコードの設定

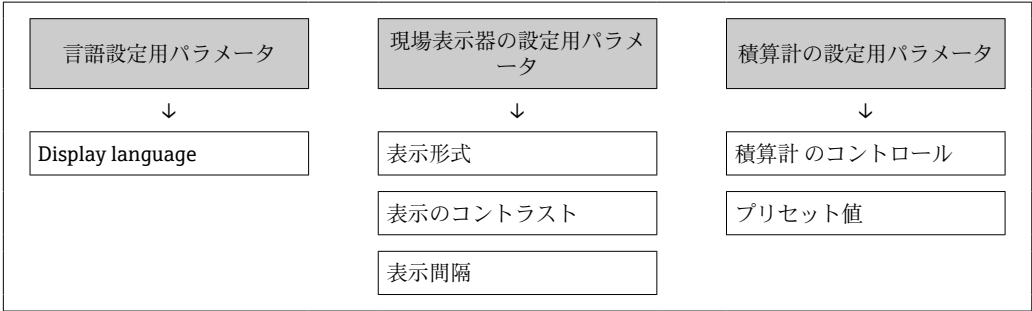
1. **アクセスコード設定** パラメータ (→ 133)に移動します。
2. アクセスコードとして数字、英字、特殊文字から成る最大 16 桁の文字列を設定します。

3. 再度アクセスコードを **アクセスコードの確認** パラメータ (→ 𠂆 133) に入力して、確定します。
↳ すべての書き込み保護パラメータの前に、𠂆 シンボルが表示されます。
- 𠂆

- アクセスコードによるパラメータ書き込み保護の無効化 → 𠂆 59
 - アクセスコードを紛失してしまった場合：アクセスコードのリセット → 𠂆 138
 - 現在ログインしているユーザーの役割が**アクセスステータス** パラメータに表示されます。
 - ナビゲーションパス：操作 → アクセスステータス
 - ユーザーの役割とそのアクセス権 → 𠂆 59
- ナビゲーション、編集画面で 10 分以上キーを押さなかった場合、機器は自動的に書き込み保護パラメータを再度ロックします。
 - ナビゲーション、編集画面から操作画面表示モードに戻すと、機器は自動的に書き込み保護パラメータを 60 秒後にロックします。

現場表示器で随時変更可能なパラメータ

測定に影響を及ぼさない特定のパラメータは、現場表示器によるパラメータ書き込み保護から除外されます。ユーザー固有のアクセスコードにもかかわらず、これは、他のパラメータがロックされている場合も常に変更可能です。



ウェブブラウザによるアクセスコードの設定

1. **アクセスコード設定** パラメータ (→ 𠂆 133)に移動します。
2. アクセスコードとして 16 桁（最大）の数値コードを設定します。
3. 再度アクセスコードを **アクセスコードの確認** パラメータ (→ 𠂆 133) に入力して、確定します。
↳ ウェブブラウザがログイン画面に切り替わります。
- 𠂆

- アクセスコードによるパラメータ書き込み保護の無効化 → 𠂆 59
 - アクセスコードを紛失してしまった場合：アクセスコードのリセット → 𠂆 138
 - **アクセスステータス** パラメータには、現在ログインしているユーザーの役割が表示されます。
 - ナビゲーションパス：操作 → アクセスステータス
 - ユーザーの役割とそのアクセス権 → 𠂆 59

10 分間何も操作されなかった場合、ウェブブラウザは自動的にログイン画面に戻ります。

アクセスコードのリセット

ユーザー固有のアクセスコードを間違えた場合は、工場設定のコードにリセットできません。このためには、リセットコードを入力しなければなりません。ユーザー固有のアクセスコードはその後、再び設定することが可能です。

ウェブブラウザ、FieldCare、DeviceCare (CDI-RJ45 サービスインタフェース経由)、フィールドバスを使用

i リセットコードを取得するには、お近くの Endress+Hauser サービス部にお問い合わせいただく必要があります。機器ごとに固有のコードを作成する必要があります。

1. 機器のシリアル番号を書き留めます。
2. **稼働時間** パラメータを読み取ります。
3. お近くの Endress+Hauser サービス部に連絡し、シリアル番号と稼働時間を伝えます。
↳ 作成されたりセットコードを取得します。
4. **アクセスコードのリセット** パラメータ (→ 134) にリセットコードを入力します。
↳ アクセスコードは工場設定 **0000** にリセットされます。これは、再設定することが可能です→ 137。

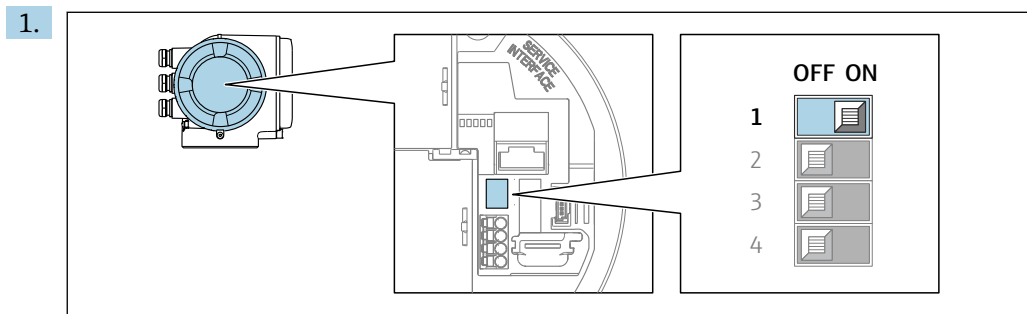
i ITセキュリティ上の理由から、作成されたりセットコードは、指定のシリアル番号に対して指定の稼働時間から 96 時間のみ有効です。96 時間以内に機器をリセットできない場合は、読み出した稼働時間に数日を加算するか、または機器をオフにする必要があります。

10.9.2 書き込み保護スイッチによる書き込み保護

ユーザー固有のアクセスコードによるパラメータ書き込み保護とは異なり、この書き込み保護では、すべての操作メニューに対する書き込みアクセスをロックできます (**「表示のコントラスト」** パラメータを除く)。

これによりパラメータ値は読み取り専用となり、編集できなくなります (**「表示のコントラスト」** パラメータを除く)。

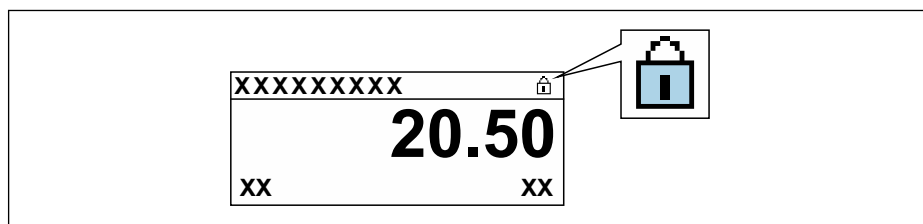
- 現場表示器を使用
- PROFIBUS PA プロトコル経由



A0029630

メイン電子モジュールの書き込み保護 (WP) スイッチを **ON** 位置に設定すると、ハードウェア書き込み保護が有効になります。

- ↳ **ロック状態** パラメータに**ハードウェア書き込みロック** オプションが表示されます→ 141。さらに、現場表示器の操作画面表示のヘッダーとナビゲーション画面のパラメータの前に  シンボルが表示されます。



A0029425

2. メイン電子モジュールの書き込み保護 (WP) スイッチを **OFF** 位置 (工場設定) に設定すると、ハードウェア書き込み保護が無効になります。
 - ↳ **ロック状態** パラメータに表示されるオプションはありません→ 141。現場表示器の操作画面表示のヘッダーとナビゲーション画面のパラメータの前に表示されていた  シンボルは消えます。

11 操作

11.1 機器ロック状態の読取り

機器の有効な書き込み保護：ロック状態 パラメータ

操作 → ロック状態

「ロック状態」パラメータの機能範囲

選択項目	説明
なし	アクセスステータス パラメータに表示されるアクセス権が適用されます → 図 59。現場表示器にのみ表示されます。
ハードウェア書き込みロック	PCB 基板のハードウェア書き込みロック用 DIP スイッチが有効になっています。これにより、(現場表示器や操作ツールを使用した) パラメータへの書き込みアクセスがロックされます → 図 139。
一時ロック	機器の内部処理 (例：データアップロード/ダウンロード、リセットなど) を実行中のため、パラメータへの書き込みアクセスが一時的にロックされます。内部処理が完了すると、再びパラメータを変更することが可能です。

11.2 操作言語の設定



詳細情報：

- 操作言語の設定 → 図 86
- 機器が対応する操作言語の情報 → 図 259

11.3 表示部の設定

詳細情報：

- 現場表示器の基本設定 → 図 112
- 現場表示器の高度な設定 → 図 127

11.4 測定値の読み取り

測定値 サブメニューを使用して、すべての測定値を読み取ることが可能です。

ナビゲーション

「診断」メニュー → 測定値

▶ 測定値	
▶ 測定した変数	→ 図 142
▶ 入力値	→ 図 154
▶ 出力値	→ 図 155
▶ 積算計 1～n	→ 図 125

11.4.1 「測定した変数」サブメニュー

測定した変数 サブメニューには、各プロセス変数の現在の測定値を表示させるために必要なパラメータがすべて含まれています。

ナビゲーション

「診断」メニュー → 測定値 → 測定した変数

▶ 測定した変数		
質量流量	→	📖 144
体積流量	→	📖 144
基準体積流量	→	📖 144
密度	→	📖 144
基準密度	→	📖 144
温度	→	📖 144
圧力	→	📖 144
濃度	→	📖 144
固形分質量流量	→	📖 145
搬送液質量流量	→	📖 145
固形分基準体積流量	→	📖 145
搬送液基準体積流量	→	📖 145
固形分体積流量	→	📖 146
搬送液体積流量	→	📖 146
CTL	→	📖 146
CPL	→	📖 146
CTPL	→	📖 147
S&W 体積流量	→	📖 147
S&W 補正值	→	📖 147
基準密度代替	→	📖 147

GSV 流量	→  147
GSV 流量代替	→  148
NSV 流量	→  148
NSV 流量代替	→  148
オイル CTL	→  148
オイル CPL	→  148
オイル CTPL	→  149
水 CTL	→  149
CTL 代替え	→  149
CPL 代替え	→  149
CTPL 代替え	→  149
オイル基準密度	→  150
水の基準密度	→  150
オイル密度	→  150
水密度	→  150
密度 2	→  151
Water cut	→  151
オイルの体積流量	→  151
オイルの基準体積流量	→  151
オイルの質量流量	→  151
水の体積流量	→  152
水の基準体積流量	→  152
水の質量流量	→  152
加重密度平均	→  152
加重温度平均	→  152

周期信号 (TPS)	→ 153
周期信号(TPS)の周波数	→ 153

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
質量流量	–	現在測定されている質量流量を表示します。 依存関係 質量流量単位 パラメータ (→ 90)で選択した単位が使用されます。	符号付き浮動小数点数	–
体積流量	–	現在計算されている体積流量を表示します。 依存関係 体積流量単位 パラメータ (→ 90)の設定が単位として使用されます。	符号付き浮動小数点数	–
基準体積流量	–	現在計算されている基準体積流量を表示します。 依存関係 基準体積流量単位 パラメータ (→ 90)で選択した単位が使用されます。	符号付き浮動小数点数	–
密度	–	密度の現在の測定値を表示。 依存関係 密度単位 パラメータ (→ 90)の設定が単位として使用されます。	符号付き浮動小数点数	–
基準密度	–	現在計算されている基準密度を表示します。 依存関係 基準密度単位 パラメータ (→ 90)で選択した単位が使用されます。	符号付き浮動小数点数	–
温度	–	現在測定している流体の温度。 依存関係 温度の単位 パラメータ (→ 91)で選択した単位が使用されます。	符号付き浮動小数点数	–
補正する圧力値	–	固定または外部の圧力値を表示します。 依存関係 単位は 圧力単位 パラメータ (→ 91)の設定が用いられます。	符号付き浮動小数点数	–
濃度	次のオーダーコードの場合： 「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション ED 「濃度」  現在有効なソフトウェアオプションが、 有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	現在計算されている濃度を表示します。 依存関係 単位は 濃度の単位 パラメータの設定が用いられます。	符号付き浮動小数点数	–

パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
固形分質量流量	以下の条件を満たしていること。 「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション ED「濃度」  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	現在測定されているターゲット測定物の質量流量を表示します。 依存関係 質量流量単位 パラメータ (→ 90)で選択した単位が使用されます。	符号付き浮動小数点数	–
搬送液質量流量	以下の条件を満たしていること。 「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション ED「濃度」  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	現在測定されている搬送媒体の質量流量を表示します。 依存関係 質量流量単位 パラメータ (→ 90)で選択した単位が使用されます。	符号付き浮動小数点数	–
固形分基準体積流量	以下の条件を満たしていること。 「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション ED「濃度」 液体の種類を選択 パラメータで エタノール水溶液 オプション または %質量 / %体積 オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	現在測定されている固形分の基準体積流量を表示します。 依存関係 単位は体積流量単位 パラメータ (→ 90)の設定が用いられます。	符号付き浮動小数点数	–
搬送液基準体積流量	以下の条件を満たしていること。 「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション ED「濃度」 液体の種類を選択 パラメータで エタノール水溶液 オプションまたは%質量 / %体積 オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	現在測定されている搬送液の基準体積流量を表示します。 依存関係 単位は体積流量単位 パラメータ (→ 90)の設定が用いられます。	符号付き浮動小数点数	–

パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
固形分体積流量	以下の条件を満たしていること。 ■ 「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション ED 「濃度」 ■ 液体の種類を選択 パラメータで エタノール水溶液 オプションまたは %質量 / %体積 オプションが選択されていること。 ■ 濃度の単位 パラメータで %vol オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	現在測定されている固形分の体積流量を表示します。 依存関係 単位は体積流量単位 パラメータ (→  90) の設定が用いられます。	符号付き浮動小数点数	–
搬送液体体積流量	以下の条件を満たしていること。 ■ 「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション ED 「濃度」 ■ 液体の種類を選択 パラメータで エタノール水溶液 オプションまたは %質量 / %体積 オプションが選択されていること。 ■ 濃度の単位 パラメータで %vol オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	現在測定されている搬送液の体積流量を表示します。 依存関係 単位は体積流量単位 パラメータ (→  90) の設定が用いられます。	符号付き浮動小数点数	–
CTL	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 石油モード パラメータで API 基準補正 オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	流体への温度の影響を示す校正ファクタを表示します。これは、測定体積流量と測定密度を基準温度時の値に換算するために使用されます。	正の浮動小数点数	–
CPL	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 石油モード パラメータで API 基準補正 オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	流体への圧力の影響を示す校正ファクタを表示します。これは、測定体積流量と測定密度を基準圧力時の値に換算するために使用されます。	正の浮動小数点数	–

パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
CTPL	次のオーダーコードの場合： 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ「石油」 石油モード パラメータで API 基準補正 オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、 有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	流体への温度と圧力の影響を示す複合校正ファクタを表示します。これは、測定体積流量と測定密度を基準温度/基準圧力時の値に換算するために使用されます。	正の浮動小数点数	–
S&W 体積流量	次のオーダーコードの場合： 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ「石油」 石油モード パラメータで API 基準補正 オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、 有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	S&W 体積流量を表示します。これは測定総体積流量から正味体積流量を減算した値です。 依存関係 体積流量単位 パラメータで選択した単位が使用されます。	符号付き浮動小数点数	–
S&W 補正值	次のオーダーコードの場合： 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ「石油」 S&W 入力モード パラメータで 外部入力値 オプションまたは 電流入力 1...n オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、 有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	沈殿物と水分の補正值を示す。	正の浮動小数点数	–
基準密度代替	次のオーダーコードの場合： 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ「石油」 石油モード パラメータで、API 基準補正 オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、 有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	別の基準温度での流体密度を表示します。 依存関係 単位は 基準密度単位 パラメータの設定が用いられます。	符号付き浮動小数点数	–
GSV 流量	次のオーダーコードの場合： 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ「石油」 石油モード パラメータで API 基準補正 オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、 有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	基準温度と基準圧力に基づいて補正された測定総体積流量を表示します。 依存関係 基準体積流量単位 パラメータで選択した単位が使用されます。	符号付き浮動小数点数	–

パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
GSV 流量代替	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 石油モード パラメータで、API 基準補正 オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	別の基準温度と別の基準圧力で補正された総体積流量の測定値を表示します。 依存関係 単位は基準体積流量単位 パラメータの設定が用いられます。	符号付き浮動小数点数	–
NSV 流量	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 石油モード パラメータで API 基準補正 オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	正味体積流量を表示します。これは測定総体積流量から沈殿物と水の値を減算し、さらにそこから収縮量を減算した値です。 依存関係 基準体積流量単位 パラメータで選択した単位が使用されます。	符号付き浮動小数点数	–
NSV 流量代替	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 石油モード パラメータで、API 基準補正 オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	測定された別の総体積から沈殿物と水の値、ならびに収縮分を差し引いて計算された正味体積流量を表示します。 依存関係 単位は基準体積流量単位 パラメータの設定が用いられます。	符号付き浮動小数点数	–
オイル CTL	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 石油モード パラメータで、Net oil & water cut オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	油に対する温度の影響を表す補正係数を表示します。これは、油の体積流量および密度の測定値を基準温度での値に変換するために使用されます。	正の浮動小数点数	–
オイル CPL	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 石油モード パラメータで、Net oil & water cut オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	油に対する圧力の影響を表す補正係数を表示します。これは、油の体積流量および密度の測定値を基準圧力での値に変換するために使用されます。	正の浮動小数点数	–

パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
オイル CTPL	次のオーダーコードの場合： ■「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ「石油」 ■ 石油モード パラメータで、Net oil & water cut オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	油に対する温度と圧力の影響を表す複合補正係数を表示します。これは、油の体積流量および密度の測定値を基準温度と基準圧力での値に変換するために使用されます。	正の浮動小数点数	–
水 CTL	次のオーダーコードの場合： ■「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ「石油」 ■ 石油モード パラメータで、Net oil & water cut オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	水に対する温度の影響を表す補正係数を表示します。これは、水の体積流量および密度の測定値を基準温度での値に変換するために使用されます。	正の浮動小数点数	–
CTL 代替え	次のオーダーコードの場合： ■「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ「石油」 ■ 石油モード パラメータで、API 基準補正 オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	流体に対する温度の影響を表す補正係数を表示します。これは、体積流量および密度の測定値を別の基準温度での値に変換するために使用されます。	正の浮動小数点数	–
CPL 代替え	次のオーダーコードの場合： ■「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ「石油」 ■ 石油モード パラメータで、API 基準補正 オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	流体に対する圧力の影響を表す補正係数を表示します。これは、体積流量および密度の測定値を別の基準圧力での値に変換するために使用されます。	正の浮動小数点数	–
CTPL 代替え	次のオーダーコードの場合： ■「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ「石油」 ■ 石油モード パラメータで、API 基準補正 オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	流体に対する温度と圧力の影響を表す複合補正係数を表示します。これは、体積流量および密度の測定値を別の基準温度と別の基準圧力での値に変換するために使用されます。	正の浮動小数点数	–

パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
オイル基準密度	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 石油モード パラメータで、Net oil & water cut オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、 有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。		符号付き浮動小数点数	–
水の基準密度	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 石油モード パラメータで、Net oil & water cut オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、 有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。		符号付き浮動小数点数	–
オイル密度	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 石油モード パラメータで、Net oil & water cut オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、 有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	現在の油の測定密度を表示します。	符号付き浮動小数点数	–
水密度	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 石油モード パラメータで、Net oil & water cut オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、 有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	現在の水の測定密度を表示します。	符号付き浮動小数点数	–

パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
密度 2	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EH 「拡張密度機能」 ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EI 「プレミアム密度」  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	指定された 2 番目の密度単位で現在測定した密度を表示します。	符号付き浮動小数点数	—
Water cut	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 石油モード パラメータで、API 基準補正 オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	流体の総体積流量に対する水の体積流量の割合を表示します。	0～100 %	—
オイルの体積流量	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 石油モード パラメータで、Net oil & water cut オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	現在計算されている油の体積流量を表示します。 依存関係： ■ Water cut パラメータの表示値に基づく ■ 単位は体積流量単位 パラメータの設定が用いられます。	符号付き浮動小数点数	—
オイルの基準体積流量	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 石油モード パラメータで、Net oil & water cut オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	現在計算されている油の体積流量（基準温度と基準圧力での値に計算）を表示します。 依存関係： ■ Water cut パラメータの表示値に基づく ■ 単位は基準体積流量単位 パラメータの設定が用いられます。	符号付き浮動小数点数	—
オイルの質量流量	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 石油モード パラメータで、Net oil & water cut オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	現在計算されている油の質量流量を表示します。 依存関係： ■ Water cut パラメータの表示値に基づく ■ 単位は質量流量単位 パラメータの設定が用いられます。	符号付き浮動小数点数	—

パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
水の体積流量	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 石油モード パラメータで、Net oil & water cut オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	現在計算されている水の体積流量を表示します。 依存関係： ■ Water cut パラメータの表示値に基づく ■ 単位は体積流量単位 パラメータの設定が用いられます。	符号付き浮動小数点数	–
水の基準体積流量	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 石油モード パラメータで、Net oil & water cut オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	現在計算されている水の体積流量（基準温度と基準圧力での値に計算）を表示します。 依存関係： ■ Water cut パラメータの表示値に基づく ■ 単位は基準体積流量単位 パラメータの設定が用いられます。	符号付き浮動小数点数	–
水の質量流量	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 石油モード パラメータで、Net oil & water cut オプションが選択されていること。  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	現在計算されている水の質量流量を表示します。 依存関係： ■ Water cut パラメータの表示値に基づく ■ 単位は質量流量単位 パラメータの設定が用いられます。	符号付き浮動小数点数	–
加重密度平均	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EM 「石油 + ロック機能」  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	前回の密度平均リセット以降の加重密度平均を表示します。 依存関係： ■ 密度単位 パラメータで選択した単位が使用されます。 ■ 加重平均のリセット パラメータを使用すると、値は NaN（非数値）にリセットされます。	符号付き浮動小数点数	–
加重温度平均	次のオーダーコードの場合： ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EJ 「石油」 ■ 「アプリケーションパッケージ」、オプション EM 「石油 + ロック機能」  現在有効なソフトウェアオプションが、有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	前回の温度平均リセット以降の加重温度平均を表示します。 依存関係： ■ 温度の単位 パラメータで選択した単位が使用されます。 ■ 加重平均のリセット パラメータを使用すると、値は NaN（非数値）にリセットされます。	符号付き浮動小数点数	–

パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
周期信号 (TPS)	次のオーダーコードの場合： ■「アプリケーションパッケージ」、オプション EH「拡張密度機能」 ■「アプリケーションパッケージ」、オプション EI「プレミアム密度」  現在有効なソフトウェアオプションが、 有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	現在計算されている周期信号 (TPS)を表示します。測定した密度に対応しています。	正の浮動小数点数	–
周期信号 (TPS)の周波数	次のオーダーコードの場合： ■「アプリケーションパッケージ」、オプション EH「拡張密度機能」 ■「アプリケーションパッケージ」、オプション EI「プレミアム密度」  現在有効なソフトウェアオプションが、 有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	現在計算されている周期信号 (TPS)の周波数を表示します。測定した密度に対応しています。	0～10 000 Hz	–

11.4.2 積算計

積算計 サブメニューには、各積算計の現在の測定値を表示させるために必要なパラメータがすべて含まれています。

ナビゲーション

「診断」メニュー → 測定値 → 積算計

▶ 積算計

プロセス変数の割り当て 1～n

積算計 1～n の値

計算計 1～n ステータス

積算計 1～n ステータス (Hex)

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザー入力/ユーザーインターフェイス
プロセス変数の割り当て	-	積算計のプロセス変数を選択。	■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量* ■ 固形分質量流量* ■ 搬送液質量流量* ■ 固形分体積流量* ■ 搬送液体積流量* ■ 固形分基準体積流量* ■ 搬送液基準体積流量* ■ GSV 流量* ■ GSV 流量代替* ■ NSV 流量* ■ NSV 流量代替* ■ S&W 体積流量* ■ オイルの質量流量* ■ 水の質量流量* ■ オイルの体積流量* ■ 水の体積流量* ■ オイルの基準体積流量* ■ 水の基準体積流量*
積算計の値 1～n	プロセス変数の割り当て パラメータで、以下の選択項目のいずれかが選択されていること。 ■ 体積流量 ■ 質量流量 ■ 基準体積流量 ■ 総質量流量 ■ 凝縮水の質量流量 ■ エネルギー流量 ■ 熱量の差	現在の積算計カウンタ値を表示。	符号付き浮動小数点数
積算計ステータス 1～n	-	現在の積算計ステータスを表示。	■ Good ■ Uncertain ■ Bad
積算計ステータス 1～n	Target mode パラメータで Auto オプションが選択されていること。	積算計の現在のステータス値（16 進数）を表示します。	0～0xFF

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

11.4.3 「入力値」サブメニュー

入力値 サブメニュー を使用すると、個別の入力値を体系的に表示できます。

ナビゲーション

「診断」メニュー → 測定値 → 入力値

▶ 入力値

▶ 電流入力 1～n

→ ⓘ 154

▶ ステータス入力 1～n

→ ⓘ 155

電流入力の入力値

電流入力 1～n サブメニューには、各電流入力の現在の測定値を表示させるために必要なパラメータがすべて含まれています。

ナビゲーション

「診断」 メニュー → 測定値 → 入力値 → 電流入力 1～n

▶ 電流入力 1～n

測定値 1～n

→ ⓘ 155

測定した電流 1～n

→ ⓘ 155

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	ユーザーインターフェイス
測定値 1～n	現在の電流入力値を表示します。	符号付き浮動小数点数
測定した電流 1～n	電流入力の現在値を表示します。	0～22.5 mA

ステータス入力の入力値

ステータス入力 1～n サブメニューには、各ステータス入力の現在の測定値を表示させるために必要なパラメータがすべて含まれています。

ナビゲーション

「診断」 メニュー → 測定値 → 入力値 → ステータス入力 1～n

▶ ステータス入力 1～n

ステータス入力の値

→ ⓘ 155

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	ユーザーインターフェイス
ステータス入力の値	現在の入力の信号のレベルを表示。	■ ハイ ■ ロー

11.4.4 出力値

出力値 サブメニューには、各出力の現在の測定値を表示させるために必要なパラメータがすべて含まれています。

ナビゲーション

「診断」 メニュー → 測定値 → 出力値

▶ 出力値

▶ 電流出力 1～n

→ ⓘ 156

▶ パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え 1～n

→ ⓘ 156

▶ リレー出力 1～n

→ ⓘ 157

電流出力の出力値

電流出力の値 サブメニューには、各電流出力の現在の測定値を表示させるために必要なパラメータがすべて含まれています。

ナビゲーション

「診断」メニュー → 測定値 → 出力値 → 電流出力 1～n の値

▶ 電流出力 1～n

出力電流 1～n

→ ⓘ 156

測定した電流 1～n

→ ⓘ 156

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	ユーザーインターフェイス
出力電流 1	現在計算されている電流出力の電流値を表示します。	3.59～22.5 mA
測定した電流	電流出力の現在測定されている電流値を表示。	0～30 mA

パルス/周波数/スイッチ出力の出力値

パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え 1～n サブメニューには、各パルス/周波数/スイッチ出力の現在の測定値を表示させるために必要なパラメータがすべて含まれています。

ナビゲーション

「診断」メニュー → 測定値 → 出力値 → パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え 1～n

▶ パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え 1～n

出力周波数 1～n

→ ⓘ 157

パルス出力 1～n

→ ⓘ 157

スイッチの状態 1～n

→ ⓘ 157

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス
出力周波数 1～n	動作モード パラメータで 周波数 オプションが選択されていること。	周波数出力の現在測定されている値を表示。	0.0～12 500.0 Hz
パルス出力 1～n	動作モード パラメータで パルス オプションが選択されていること。	現在出力されているパルス周波数を表示。	正の浮動小数点数
スイッチの状態 1～n	動作モード パラメータで スイッチ出力 オプションが選択されていること。	現在のスイッチ出力ステータスを表示。	■ オープン ■ クローズ

リレー出力の出力値

リレー出力 1～n サブメニューには、各リレー出力の現在の測定値を表示させるために必要なパラメータがすべて含まれています。

ナビゲーション

「診断」メニュー → 測定値 → 出力値 → リレー出力 1～n

▶ リレー出力 1～n		
スイッチの状態		→ 𐀀 157
スイッチ周期		→ 𐀀 157
最大スイッチサイクル数		→ 𐀀 157

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	ユーザーインターフェイス
スイッチの状態	現在のリレーのスイッチ状態を表示。	■ オープン ■ クローズ
スイッチ周期	すべての実行されたスイッチサイクルの数を表示。	正の整数
最大スイッチサイクル数	保証されたスイッチサイクルの最大数を表示。	正の整数

11.5 プロセス条件への機器の適合

プロセス条件に適合させるために、以下の機能があります。

- **設定** メニュー (→ 𐀀 87) を使用した基本設定
- **高度な設定** サブメニュー (→ 𐀀 117) を使用した高度な設定

11.6 積算計リセットの実行

操作 サブメニューで積算計をリセットします。
積算計のコントロール

「積算計 のコントロール」 パラメータの機能範囲

選択項目	説明
積算開始	積算計が開始されます。
リセット + ホールド	積算処理が停止し、積算計が 0 にリセットされます。
プリセット + ホールド	積算処理が停止し、積算計がプリセット値 1～n パラメータ で設定した開始値に設定されます。

ナビゲーション

「操作」 メニュー → 積算計の処理

▶ 積算計の処理	
積算計 1～n のコントロール	→ 158
プリセット値 1～n	→ 158
すべての積算計をリセット	→ 158

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	選択 / ユーザー入力
積算計 1～n のコントロール	-	積算計の値を制御します。	■ 積算開始 ■ リセット + ホールド ■ プリセット + ホールド
プリセット値 1～n	プロセス変数の割り当て パラメータで、以下の選択項目のいずれかが選択されていること。 ■ 体積流量 ■ 質量流量 ■ 基準体積流量 ■ 総質量流量 ■ 凝縮水の質量流量 ■ エネルギー流量 ■ 熱量の差	積算計の開始値を設定。	符号付き浮動小数点数
すべての積算計をリセット	-	すべての積算計を 0 にリセットして積算の開始。	■ キャンセル ■ リセット + 積算開始

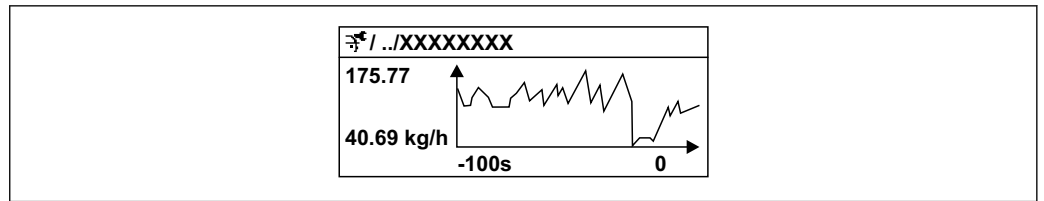
11.7 測定値の履歴を表示

データのログ サブメニューを表示するには、機器の拡張 HistoROM アプリケーションパッケージを有効にする必要があります（注文オプション）。これには、測定値履歴に関するすべてのパラメータが含まれています。

-  データロギングは以下を介しても使用可能：
- プラントアセットマネジメントツール FieldCare → 70
 - ウェブブラウザ

機能範囲

- 合計 1000 個の測定値を保存できます。
- 4 × ロギングチャンネル
- データのロギングの時間間隔は調整可能です。
- 各ロギングチャンネルの測定値トレンドをチャート形式で表示します。



A0016357

図 31 測定値トレンドのチャート

- x 軸：選択されたチャンネル数に応じて 250～1000 個のプロセス変数の測定値を示します。
- y 軸：常に測定中の値に合わせて、大体の測定値スパンを示します。

i ログイングの時間間隔の長さ、またはチャンネルのプロセス変数の割り当てを変更すると、データのログ内容は削除されます。

ナビゲーション

「診断」メニュー → データのログ

▶ データのログ	
チャンネル 1 の割り当て	→ 160
チャンネル 2 の割り当て	→ 160
チャンネル 3 の割り当て	→ 160
チャンネル 4 の割り当て	→ 161
ログイングの時間間隔	→ 161
すべてのログをリセット	→ 161
データログイング	→ 161
ログイングの遅延	→ 161
データログイングのコントロール	→ 161
データログイングステータス	→ 161
全ログイング期間	→ 161
▶ チャンネル 1 表示	
▶ チャンネル 2 表示	
▶ チャンネル 3 表示	
▶ チャンネル 4 表示	

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザー入力/ユーザーインターフェイス
チャンネル 1 の割り当て	拡張 HistoROM アプリケーションパッケージが有効。	ロギングチャンネルにプロセス変数を割り当てます。	■ オフ ■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量* ■ 密度 ■ 基準密度* ■ 温度 ■ 振動振幅* ■ 電流出力 1* ■ 電流出力 2* ■ 電流出力 3* ■ 電流出力 4* ■ 圧力 ■ GSV 流量* ■ GSV 流量代替* ■ NSV 流量* ■ NSV 流量代替* ■ S&W 体積流量* ■ 基準密度代替* ■ Water cut* ■ オイル密度* ■ 水密度* ■ オイルの質量流量* ■ 水の質量流量* ■ オイルの体積流量* ■ 水の体積流量* ■ オイルの基準体積流量* ■ 水の基準体積流量* ■ 濃度* ■ 固形分質量流量* ■ 搬送液質量流量* ■ 固形分体積流量* ■ 搬送液体積流量* ■ 固形分基準体積流量* ■ 搬送液基準体積流量* ■ 振動振幅* ■ HBSI* ■ コイル電流 0 ■ 振動ダンピング 0 ■ 振動ダンピングの変動 0* ■ 振動周波数 0 ■ 振動振幅* ■ 周波数変動 0* ■ 振動振幅 1* ■ 信号の非対称性 ■ 保護容器の温度* ■ 電気部内温度
チャンネル 2 の割り当て	拡張 HistoROM アプリケーションパッケージが使用できます。  現在有効なソフトウェアオプションが、 有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	ロギングチャンネルへのプロセス変数の割り当て。	選択リストについては、 チャンネル 1 の割り当て パラメータ (→ 160) を参照してください。
チャンネル 3 の割り当て	拡張 HistoROM アプリケーションパッケージが使用できます。  現在有効なソフトウェアオプションが、 有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	ロギングチャンネルへのプロセス変数の割り当て。	選択リストについては、 チャンネル 1 の割り当て パラメータ (→ 160) を参照してください。

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザー入力/ユーザーインターフェイス
チャンネル 4 の割り当て	拡張 HistoROM アプリケーションパッケージが使用できます。  現在有効なソフトウェアオプションが、 有効なソフトウェアオプションの概要 パラメータに表示されます。	ロギングチャンネルへのプロセス変数の割り当て。	選択リストについては、 チャンネル 1 の割り当て パラメータ (→ 160) を参照してください。
ロギングの時間間隔	拡張 HistoROM アプリケーションパッケージが使用できます。	データのロギングの時間間隔は設定します。この値は、メモリ内の個々のデータポイント間の時間間隔を決定します。	0.1～3 600.0 秒
すべてのログをリセット	拡張 HistoROM アプリケーションパッケージが使用できます。	すべてのログデータを削除します。	■ キャンセル ■ データ削除
データロギング	–	データロギングのタイプを選択します。	■ 上書きする ■ 上書きしない
ロギングの遅延	データロギング パラメータで、 上書きしない オプションが選択されていること。	測定値ロギングの遅延時間を入力します。	0～999 h
データロギングのコントロール	データロギング パラメータで、 上書きしない オプションが選択されていること。	測定値ロギングを開始または停止します。	■ なし ■ 削除 + スタート ■ 停止
データロギングステータス	データロギング パラメータで、 上書きしない オプションが選択されていること。	測定値ロギングステータスを表示します。	■ 完了 ■ 遅延が有効 ■ アクティブ ■ 停止
全ロギング期間	データロギング パラメータで、 上書きしない オプションが選択されていること。	全ロギング期間を表示します。	正の浮動小数点数

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

12 診断およびトラブルシューティング

12.1 一般トラブルシューティング

現場表示器用

エラー	考えられる原因	対処法
現場表示器が暗いが、信号出力は有効な範囲内にある	表示モジュールのケーブルが正しく差し込まれていない	メイン電子モジュールおよび表示モジュールにプラグを正しく挿入する。
現場表示器が暗く、出力信号がない	電源電圧が銘板に明記された電圧と異なる	正しい電源電圧を印加する。→ 図 36
現場表示器が暗く、出力信号がない	電源電圧の極性が正しくない	電源電圧の極性を逆にする。
現場表示器が暗く、出力信号がない	接続ケーブルと端子の接続が確立されない	ケーブルと端子の電氣的接続を確実にを行う。
現場表示器が暗く、出力信号がない	- 端子が I/O 電子モジュールに正しく差し込まれていない - 端子がメイン電子モジュールに正しく差し込まれていない	端子を確認する。
現場表示器が暗く、出力信号がない	- I/O 電子モジュールの故障 - メイン電子モジュールの故障	スペアパーツを注文する。→ 図 233
現場表示器を読み取ることができないが、信号出力は有効な範囲内にある	表示部の設定が明るすぎる/暗すぎる	☐ + ☐ を同時に押して、表示を明るくする。 ☐ + ☐ を同時に押して、表示を暗くする。
現場表示器が暗いが、信号出力は有効な範囲内にある	表示モジュールの故障	スペアパーツを注文する。→ 図 233
現場表示器のバックライトが赤い	診断動作が「アラーム」の診断イベントが発生している	対策を講じる。→ 図 173
現場表示器のテキストが理解できない言語で表示される	選択された操作言語を理解できない	☐ + ☐ を 2 秒 押す（「ホーム画面」）。 ☐ を押す。 Display language パラメータ (→ 図 130) で必要な言語を設定する。
現場表示器のメッセージ： 「通信エラー」 「電子モジュールの確認」	表示モジュールと電子モジュール間の通信が中断された	- メイン電子モジュールと表示モジュール間のケーブルとコネクタを確認する。 - スペアパーツを注文する。→ 図 233

出力信号用

エラー	考えられる原因	対処法
信号出力が有効な範囲を超えている	メイン電子モジュールの故障	スペアパーツを注文する→ 図 233。
現場表示器に正しい値が表示されるが、信号出力が正しくない（有効な範囲内にはある）	パラメータ設定エラー	パラメータ設定を確認し、修正する。
機器の測定が正しくない	設定エラーまたは機器が用途範囲外で使用されている	- 正しいパラメータ設定を確認する。 「技術データ」に明記されたりミット値に従う。

アクセス用

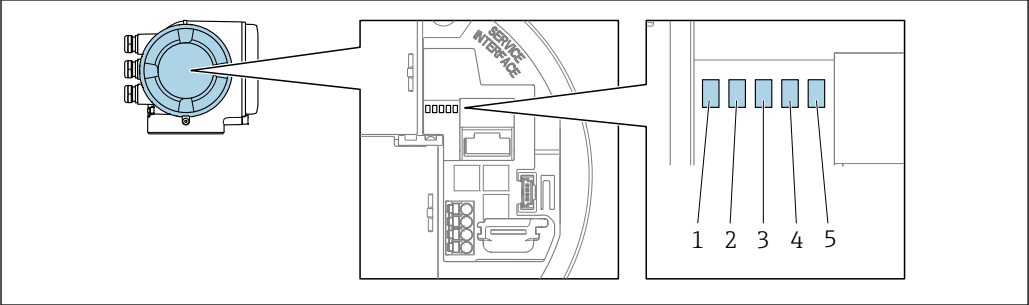
エラー	考えられる原因	対処法
パラメータへの書き込みアクセスを実行できない	ハードウェア書き込み保護が有効になっている	メイン電子モジュールの書き込み保護スイッチを OFF 位置に設定する。→ 図 139
パラメータへの書き込みアクセスを実行できない	現在のユーザーの役割ではアクセス権が制限されている	- ユーザーの役割を確認する→ 図 59。 - 正しいユーザー固有のアクセスコードを入力する→ 図 59。
PROFIBUS PA 経由で接続できない	機器プラグが正しく接続されていない	機器プラグのピンの割当てを確認する。.
PROFIBUS PA 経由で接続できない	PROFIBUS PA ケーブルが正しく終端処理されていない。	終端抵抗を確認する。.

エラー	考えられる原因	対処法
Web サーバーに接続できない	Web サーバーが無効になっている	「FieldCare」または「DeviceCare」操作ツールを使用して機器の Web サーバーが有効かどうかを確認し、必要に応じて有効にする → 図 66。
	PC のイーサネットインタフェースの設定が正しくない	▶ インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティを確認する。→ 図 62 ▶ IT マネージャを使用してネットワーク設定を確認する。
Web サーバーに接続できない	PC の IP アドレスの設定が正しくない	IP アドレス (192.168.1.212) を確認する。→ 図 62
Web サーバーに接続できない	WLAN 接続データが正しくない	■ WLAN ネットワークの状態を確認する。 ■ WLAN 接続データを使用して機器に再度ログインする。 ■ 計測機器および操作ユニットで WLAN が有効になっていることを確認する → 図 62。
	WLAN 通信が無効になっている	–
Web サーバー、FieldCare、または DeviceCare に接続できない	WLAN ネットワークが使用できない	■ WLAN 受信があるか確認する: 表示モジュールの LED が青色で点灯 ■ WLAN 接続が有効か確認する: 表示モジュールの LED が青色で点滅 ■ 機器機能を ON にする。
ネットワーク接続が存在しない、または不安定	WLAN ネットワークが弱い	■ 操作ユニットが受信範囲外にある: 操作ユニットのネットワークの状態を確認する。 ■ ネットワーク性能を向上させるために、外部の WLAN アンテナを使用する。
	WLAN およびイーサネット通信が同時進行	■ ネットワーク設定を確認する。 ■ 一時的に WLAN のみをインタフェースとして有効にする。
ウェブブラウザがフリーズし、操作できない	データ転送中	データ転送または現在の動作が完了するまで待ってください。
	接続が失われた	▶ ケーブル接続と電源を確認する。 ▶ ウェブブラウザを再読み込みし、必要に応じて再起動する。
表示されるウェブブラウザの内容が読めない、または不完全	使用されているウェブブラウザのバージョンが最適ではない	▶ 適切なウェブブラウザバージョンを使用する。→ 図 61 ▶ ウェブブラウザのキャッシュを消去する。 ▶ ウェブブラウザを再起動する。
	不適切な表示設定	ウェブブラウザのフォントサイズ/表示比率を変更する。
ウェブブラウザの内容が不完全、または表示されない	■ JavaScript が有効になっていない ■ JavaScript を有効にできない	▶ JavaScript を有効にする。 ▶ IP アドレスとして <code>http://XXX.XXX.X.X.XX/servlet/basic.html</code> を入力する。
CDI-RJ45 (ポート 8000) サービスインタフェース経由での FieldCare または DeviceCare による操作ができない	PC またはネットワークのファイアウォールが通信をブロックしている	PC またはネットワークで使用するファイアウォールの設定に応じて、FieldCare/DeviceCare アクセスを可能にするためにファイアウォールを適合または無効にする必要がある。
CDI-RJ45 (ポート 8000 または TFTP ポート) サービスインタフェース経由での FieldCare または DeviceCare によるファームウェアの更新ができない	PC またはネットワークのファイアウォールが通信をブロックしている	PC またはネットワークで使用するファイアウォールの設定に応じて、FieldCare/DeviceCare アクセスを可能にするためにファイアウォールを適合または無効にする必要がある。

12.2 発光ダイオードによる診断情報

12.2.1 変換器

変換器の各種 LED により機器ステータスに関する情報が提供されます。



A0029629

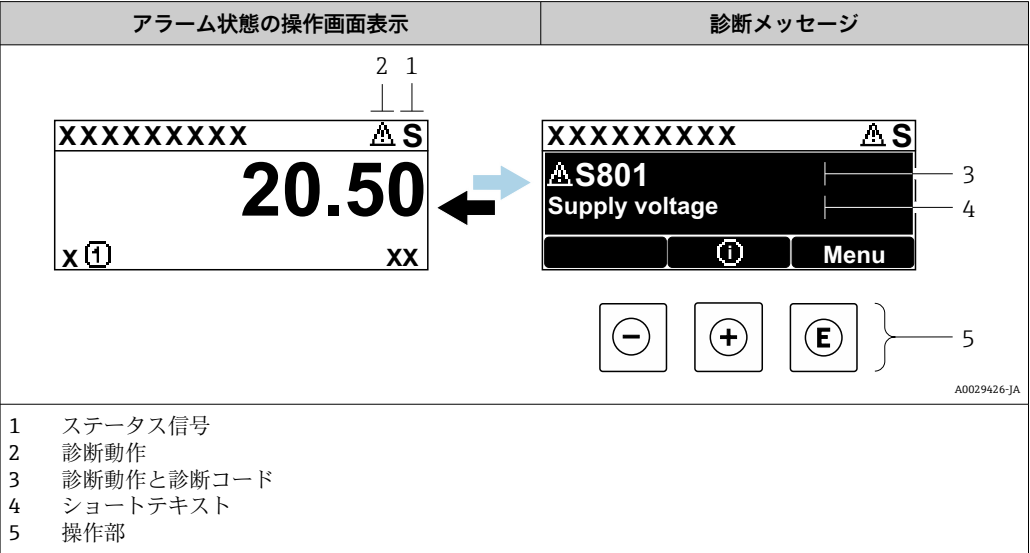
- 1 電源電圧
- 2 機器ステータス
- 3 未使用
- 4 通信
- 5 サービスインタフェース (CDI) アクティブ、Ethernet リンク/アクティビティ

LED	色	意味
1 電源電圧	消灯	電源オフまたは供給電圧不足
	緑色	電源 OK
2 機器ステータス (通常の操作)	消灯	ファームウェアエラー
	緑色	機器ステータス OK
	緑色点滅	機器が設定されていない
	赤色	診断動作「アラーム」の診断イベントが発生
	赤色点滅	診断動作「警告」の診断イベントが発生
	赤色または緑色点滅	機器の再起動
2 機器ステータス (スタートアップ中)	赤色の低速点滅	> 30 秒の場合：ブートローダーの問題
	赤色の高速点滅	> 30 秒の場合：ファームウェア読み込み中に互換性の問題
3 未使用	-	-
4 通信	消灯	機器が Profibus データを受信しない
	白色	機器が Profibus データを受信する
5 サービスインタフェース (CDI)、Ethernet リンク/アクティビティ	消灯	接続なし、または接続が確立されていない
	黄色	接続中、および接続が確立されている
	黄色点滅	サービスインタフェース アクティブ

12.3 現場表示器の診断情報

12.3.1 診断メッセージ

機器の自己監視システムで検出されたエラーが、操作画面表示と交互に診断メッセージとして表示されます。



2 つまたはそれ以上の診断イベントが同時に発生している場合は、最優先に処理する必要のある診断イベントのメッセージのみが表示されます。

- i** 発生したその他の診断イベントは **診断** メニュー に表示されます。
- パラメータを使用 → 225
 - サブメニューを使用 → 225

ステータス信号

ステータス信号は、診断情報（診断イベント）の原因を分類することにより、機器の状態および信頼性に関する情報を提供します。

- i** ステータス信号は VDI/VDE 2650 および NAMUR 推奨 NE 107 に準拠して分類されます。F = 故障、C = 機能チェック、S = 仕様範囲外、M = メンテナンスが必要

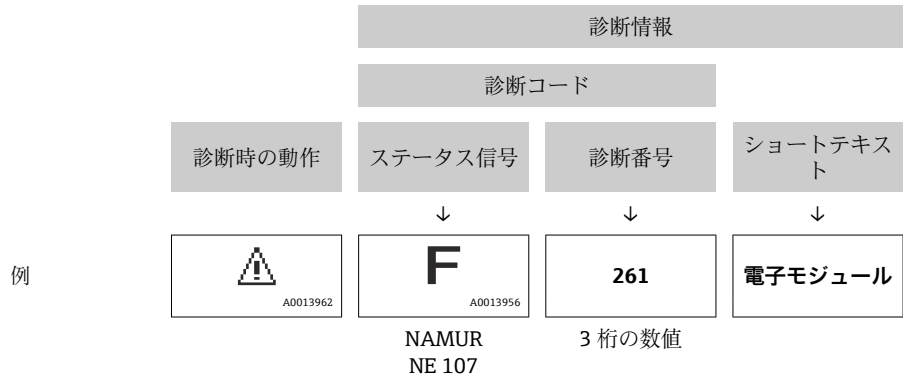
シンボル	意味
F	故障 機器エラーが発生。測定値は無効。
C	機能チェック 機器はサービスモード（例：シミュレーション中）
S	仕様範囲外 機器は作動中： 技術仕様の範囲外（例：許容プロセス温度の範囲外）
M	メンテナンスが必要 メンテナンスが必要。測定値は依然として有効。

診断時の動作

シンボル	意味
	アラーム - 測定が中断します。 - 信号出力と積算計が設定されたアラーム状態になります。 - 診断メッセージが生成されます。
	警告 - 測定が再開します。 - 信号出力と積算計は影響を受けません。 - 診断メッセージが生成されます。

診断情報

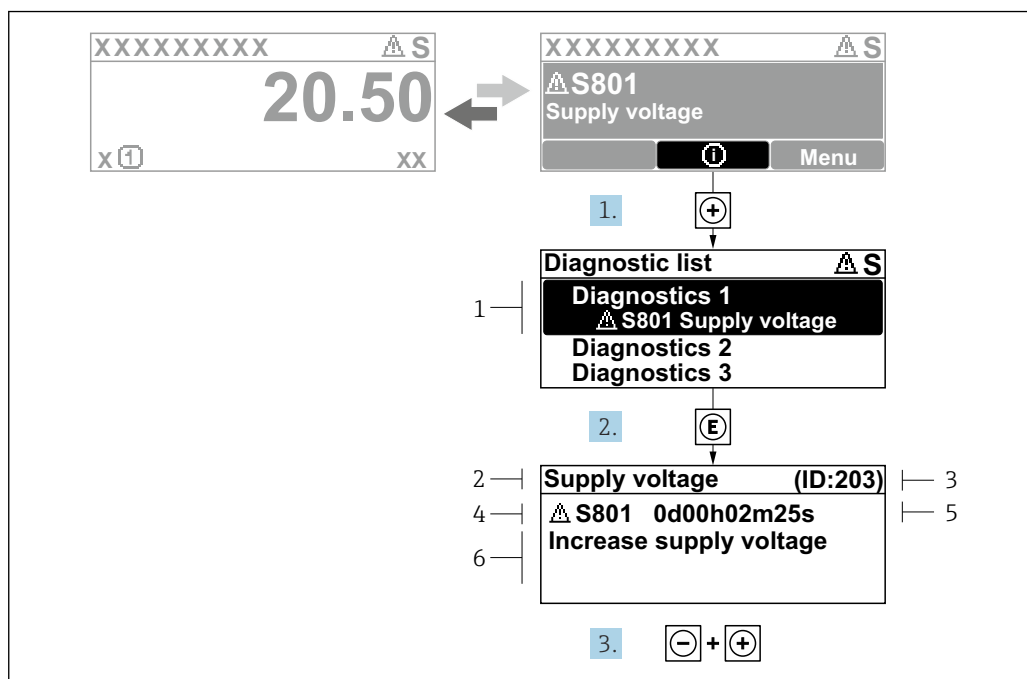
診断情報を使用してエラーを特定することが可能です。ショートテキストにより、エラーに関する情報が提供されます。さらに、診断動作に対応するシンボルが現場表示器の診断情報の前に表示されます。



操作部

操作キー	意味
	+ キー メニュー、サブメニュー内 対処法に関するメッセージを開きます。
	Enter キー メニュー、サブメニュー内 操作メニューを開きます。

12.3.2 対処法の呼び出し



A0029431-JA

図 32 対処法のメッセージ

- 1 診断情報
- 2 ショートテキスト
- 3 サービス ID
- 4 診断動作と診断コード
- 5 エラー発生時の稼働時間
- 6 対処法

1. 診断メッセージを表示します。
 ➡ ➡ を押します (① シンボル)。
 ↳ **診断リスト** サブメニュー が開きます。
2. ➡ または ➡ を使用して必要な診断イベントを選択し、 ➡ を押します。
 ↳ 対処法に関するメッセージが開きます。
3. ➡ + ➡ を同時に押します。
 ↳ 対処法に関するメッセージが閉じます。

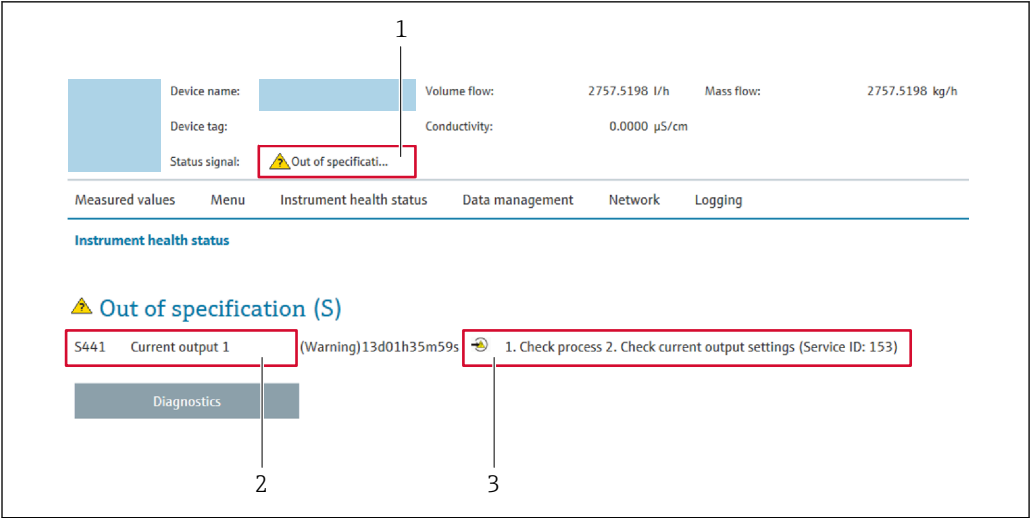
診断 メニュー 内の診断イベントの入力項目に移動します (例: **診断リスト** サブメニュー または **前回の診断結果** パラメータ)。

1. ➡ を押します。
 ↳ 選択した診断イベントの対処法に関するメッセージが開きます。
2. ➡ + ➡ を同時に押します。
 ↳ 対処法に関するメッセージが閉じます。

12.4 ウェブブラウザの診断情報

12.4.1 診断オプション

機器が検知したエラーは、ユーザーがログインするとウェブブラウザのホームページに表示されます。



A0031056

- 1 ステータスエリアとステータス信号
- 2 診断情報
- 3 対処法（サービス ID）

i また、発生した診断イベントは **診断** メニュー に表示されます。

- パラメータを使用 → 225
- サブメニューを使用 → 225

ステータス信号

ステータス信号は、診断情報（診断イベント）の原因を分類することにより、機器の状態および信頼性に関する情報を提供します。

シンボル	意味
	故障 機器エラーが発生。測定値は無効。
	機能チェック 機器はサービスモード（例：シミュレーション中）
	仕様範囲外 機器は作動中： 技術仕様の範囲外（例：許容プロセス温度の範囲外）
	メンテナンスが必要 メンテナンスが必要。測定値は依然として有効。

i ステータス信号は VDI/VDE 2650 および NAMUR 推奨 NE 107 に準拠して分類されます。

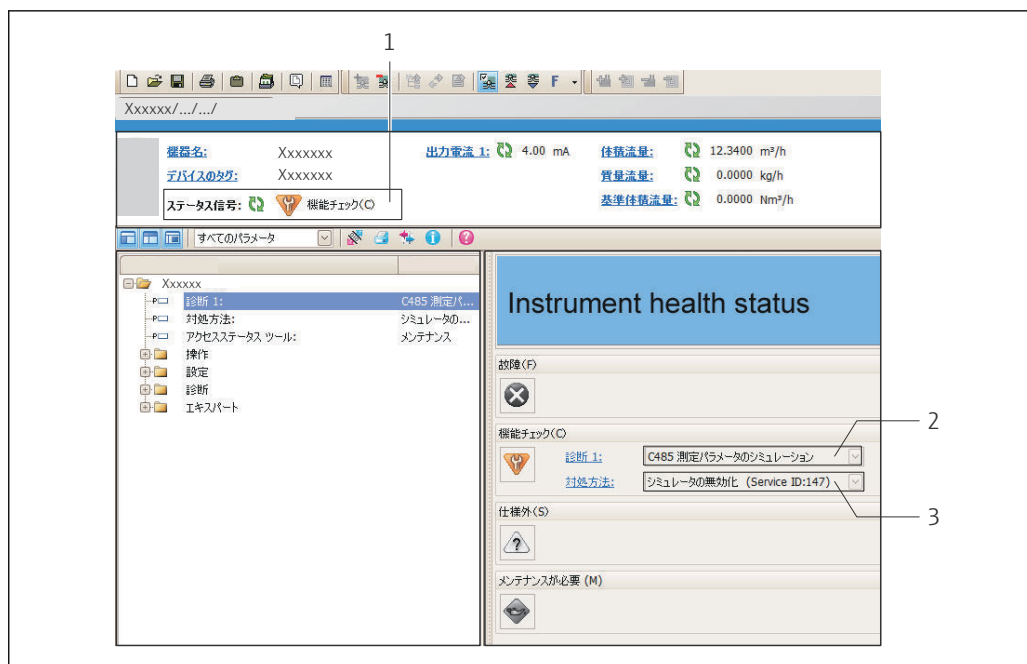
12.4.2 対策情報の呼び出し

問題を迅速に是正できるよう、各診断イベントに対して対策情報が提供されます。これらの対策は、診断イベントおよび関連する診断情報とともに赤で表示されます。

12.5 FieldCare または DeviceCare の診断情報

12.5.1 診断オプション

機器が検知したエラーは、接続が確立されると操作ツールのホームページに表示されます。



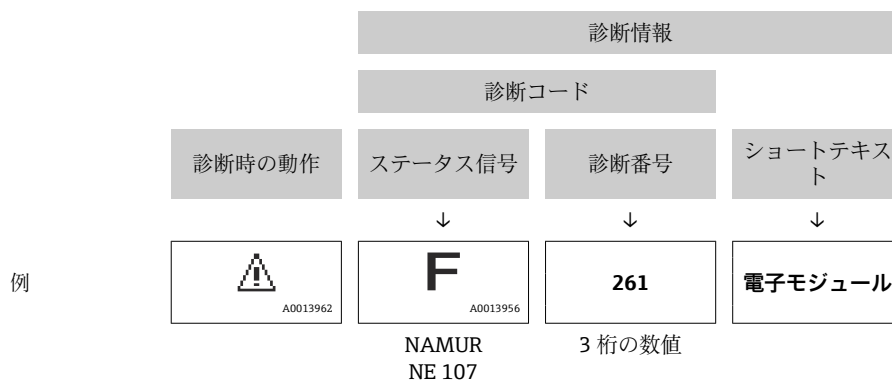
A0021799-JA

- 1 ステータスエリアとステータス信号 → 図 165
- 2 診断情報 → 図 166
- 3 対処法とサービス ID

- i** また、発生した診断イベントは **診断** メニュー に表示されます。
- パラメータを使用 → 図 225
 - サブメニューを使用 → 図 225

診断情報

診断情報を使用してエラーを特定することが可能です。ショートテキストにより、エラーに関する情報が提供されます。さらに、診断動作に対応するシンボルが現場表示器の診断情報の前に表示されます。



12.5.2 対策情報の呼び出し

問題を迅速に是正できるよう、各診断イベントに対して対策情報が提供されます。

- ホームページ上
対策情報は、診断情報の下の別個フィールドに表示されます。
- **診断** メニュー 内
対策情報はユーザーインターフェイスの作業エリアに呼び出すことが可能です。

診断 メニュー に移動します。

1. 必要なパラメータを呼び出します。

2. 作業エリアの右側で、パラメータの上にマウスポインタを移動させます。
→ 診断イベントに対する対策情報のヒントが表示されます。

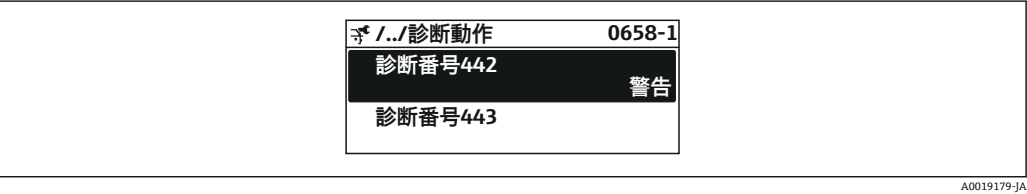
12.6 診断情報の適応

12.6.1 診断動作の適応

診断情報の各項目には、工場出荷時に特定の診断動作が割り当てられています。特定の診断情報については、ユーザーがこの割り当てを**診断時の動作** サブメニューで変更できます。

 PROFIBUS PA プロファイル 3.02 仕様（簡約ステータス）に準拠する診断動作。

エキスパート → システム → 診断イベントの処理 → 診断時の動作



A0019179-JA

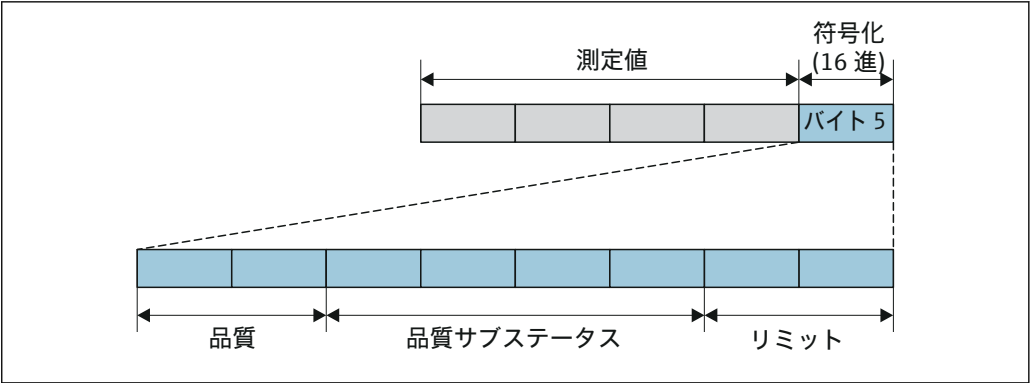
使用可能な診断動作

以下の診断動作を割り当てることが可能です。

診断時の動作	説明
アラーム	機器が測定を停止します。積算計が設定されたアラーム状態になります。診断メッセージが生成されます。
警告	機器は測定を継続します。PROFIBUS を介した測定値出力および積算計は影響を受けません。診断メッセージが生成されます。
ログブック入力のみ	機器は測定を継続します。診断メッセージは イベントログブック サブメニュー（ イベントリスト サブメニュー）にのみ表示され、操作画面と交互に表示されることはありません。
オフ	診断イベントは無視され、診断メッセージの生成または入力が行なわれません。

測定値ステータスの表示

アナログ入力、デジタル入力、積算計の各機能ブロックが周期的にデータ伝送するように設定されている場合、機器ステータスは PROFIBUS PA プロファイル仕様 3.02 に準拠して符号化され、符号化バイト（バイト 5）を介して測定値とともに PROFIBUS マスター（クラス 1）に伝送されます。符号化バイトは 3 つのセグメントに分割されます：品質、品質サブステータス、リミット。



A0032228-JA

図 33 符号化バイトの構造

符号化バイトの内容は、各機能ブロックのフェールセーフモードの設定に応じて異なります。フェールセーフモードの設定に応じて、PROFINET PA プロファイル仕様 4 に準拠したステータス情報が、符号化バイトのステータス情報を使用して、PROFIBUS マスタ（クラス 1）に伝送されます。

診断動作による測定値ステータスおよび機器ステータスの特定

診断動作が割り当てられている場合、これによって診断情報の測定値ステータスと機器ステータスも変わります。測定値ステータスと機器ステータスは、診断動作の選択と診断情報が所在するグループに応じます。

診断情報は以下のようにグループ化されています。

- センサに関する診断情報：診断番号 000～199 → 図 171
- 電子モジュールに関する診断情報：診断番号 200～399 → 図 172
- 設定に関する診断情報：診断番号 400～599 → 図 172
- プロセスに関する診断情報：診断番号 800～999 → 図 173

診断情報が所在するグループに応じて、以下の測定値ステータスと機器ステータスは特定の診断動作に固定的に割り当てられています。

センサに関する診断情報：診断番号 000～199

診断時の動作 (設定可能)	測定値のステータス（固定割当て）				機器診断 (固定割当て)
	品質	品質 サブステータス	コード (16 進数)	カテゴリ (NE107)	
アラーム	不良 (BAD)	メンテナンス アラーム	0x24～0x27	F (故障)	メンテナンス アラーム
警告	良 (GOOD)	メンテナンス 要求	0xA8～0xAB	M (メンテナンス)	メンテナンス 要求
ログブック入力のみ オフ	良 (GOOD)	OK	0x80～0x8E	-	-

電子モジュールに関する診断情報：診断番号 200～399

診断番号 200～301、303～399

診断動作 (設定可能)	測定値のステータス (固定割当て)				機器診断 (固定割当て)
	品質	品質 サブステータ ス	コード (16 進数)	カテゴリ (NE107)	
アラーム	不良 (BAD)	メンテナンス アラーム	0x24～0x27	F (故障)	メンテナンス アラーム
警告					
ログブック入力のみ	良 (GOOD)	OK	0x80～0x8E	-	-
オフ					

診断情報 302

診断動作 (設定可能)	測定値のステータス (固定割当て)				機器診断 (固定割当て)
	品質	品質 サブステータ ス	コード (16 進数)	カテゴリ (NE107)	
アラーム	不良 (BAD)	機能チェック、 ローカルオー バーライド	0x24～0x27	C	機能チェック
警告	良 (GOOD)	機能チェック	0xBC～0xBF	-	-

Heartbeat Verification が開始されてもデータのロギングは継続されます。信号出力と積算計は影響を受けません。

- 信号ステータス：機能チェック
- 診断動作の選択と：アラームまたは警告 (工場設定)

Heartbeat Verification が開始されるとデータのログ出力は中断し、最後の有効な測定値が出力されて積算計カウンタが停止します。

設定に関する診断情報：診断番号 400～599

診断時の動作 (設定可能)	測定値のステータス (固定割当て)				機器診断 (固定割当て)
	品質	品質 サブステータ ス	コード (16 進数)	カテゴリ (NE107)	
アラーム	不良 (BAD)	プロセス 関連	0x28～0x2B	F (故障)	無効なプロセス 条件
警告	不定 (UNCERT AIN)	プロセス 関連	0x78～0x7B	S (仕様範囲外)	無効なプロセス 条件
ログブック入力のみ	良 (GOOD)	OK	0x80～0x8E	-	-
オフ					

プロセスに関する診断情報：診断番号 800～999

診断時の動作 (設定可能)	測定値のステータス (固定割当て)				機器診断 (固定割当て)
	品質	品質 サブステータス	コード (16 進数)	カテゴリ (NE107)	
アラーム	不良 (BAD)	プロセス 関連	0x28～0x2B	F (故障)	無効なプロセス 条件
警告	不定 (UNCERTAIN)	プロセス 関連	0x78～0x7B	S (仕様範囲外)	無効なプロセス 条件
ログブック入力のみ	良 (GOOD)	OK	0x80～0x8E	-	-
オフ					

12.7 診断情報の概要



- 機器に 1 つ以上のアプリケーションパッケージがある場合は、診断情報および関係する測定変数の数は増加します。
- すべての Promass 機器ファミリーに関する全測定変数は、常に「関係する測定変数」に表示されています。問題の機器に使用可能な測定変数は、機器のバージョンに応じて異なります。機器の機能（個別の出力など）に測定変数を割り当てる場合は、問題の機器バージョンに使用可能な測定変数をすべて選択できます。



診断情報の一部の項目では、診断動作を変更することが可能です。診断情報の適合
→ 170

12.7.1 センサの診断

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
022	温度センサの故障	2. もしあれば：センサと変換器間のケーブルの接続をチェックして下さい。 3. センサを交換してください。 1. センサ電子モジュール (ISEM) をチェックまたは交換してください。
	測定変数のステータス	
	Quality Bad	
	Quality substatus Maintenance alarm	
	Coding (hex) 0x24～0x27	
	ステータス信号 F	
	診断動作 Alarm	
	影響される測定変数	
	- 振動振幅 1 - 振動振幅 2 - 信号の非対称性 - 搬送液質量流量 - 保護容器の温度 - 固形分基準体積流量 - 搬送液基準体積流量 - 濃度 - 振動ダンピング 1 - 振動ダンピング 2 - 密度 - オイル密度 - 水密度 - 静粘度 - センサ電子部 (ISEM) の温度 - 空検知 オプション - GSV 流量 - GSV 流量代替 - 動粘度 - ローフローカットオフ オプション - 質量流量 - オイルの質量流量 - 水の質量流量 - HBSI - NSV 流量 - NSV 流量代替 - 外部圧力 - コイル電流 1 - コイル電流 2 - 振動周波数 1 - 振動周波数 2 - S&W 体積流量 - 基準密度 - 基準密度代替 - 基準体積流量 - オイルの基準体積流量 - 水の基準体積流量 - 振動ダンピングの変動 1 - 振動ダンピングの変動 2 - 周波数変動 1 - 周波数変動 2 - 固形分質量流量 - 搬送液体積流量 - 固形分体積流量 - 温度補正後の静粘度 - 温度補正後の動粘度 - 温度 - ステータス - 体積流量 - オイルの体積流量 - 水の体積流量 - Water cut	

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
046	センサの規定値を越えています	
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾	
	Quality	Good
	Quality substatus	Maintenance demanded
	Coding (hex)	0xA8～0xAB
	ステータス信号	S
	診断動作	Warning
	影響される測定変数	
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut		

1) 診断動作を変更できます。 これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

番号	診断情報 ショートテキスト	修理
062	センサ接続不良 測定変数のステータス Quality Bad Quality substatus Maintenance alarm Coding (hex) 0x24～0x27 ステータス信号 F 診断動作 Alarm	2. もしあれば：センサと変換器間のケーブルの接続をチェックして下さい。 3. センサを交換してください。 1. センサ電子モジュール (ISEM) をチェックまたは交換してください。
	影響される測定変数 ■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替	■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
063	励磁電流が不十分	2. もしあれば：センサと変換器間のケーブルの接続をチェックして下さい。 3. センサを交換してください。 1. センサ電子モジュール (ISEM) をチェックまたは交換してください。
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替	
	■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量	
	■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut	

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
082	データストレージ	1. モジュールの接続をチェック 2. 弊社サービスへ連絡	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
影響される測定変数			
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
083	電子メモリ内容	1. 機器を再起動する。 2. HistoROM S-DAT のバックアップをリストアする (‘機器のリセット`パラメータ’) 3. HistoROM S-DAT を交換する。	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24〜0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
	影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
140	センサ信号が不均整	2. もしあれば：センサと変換器間のケーブルの接続をチェックして下さい。 3. センサを交換してください。 1. センサ電子モジュール (ISEM) をチェックまたは交換してください。	
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		S
	診断動作		Alarm
影響される測定変数			
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
144	過大な計測エラー	1. センサをチェックするか交換してください。 2. プロセス状態を確認してください。	
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
	影響される測定変数		
	■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut		

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

12.7.2 電子部の診断

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
201	機器の故障	1. 機器を再起動して下さい。 2. 弊社サービスへ連絡して下さい。	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
影響される測定変数			
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
242	ソフトウェアの互換性なし	1. ソフトウェアをチェックして下さい。 2. メイン電子モジュールのフラッシュまたは交換をして下さい。	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
影響される測定変数			
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
252	モジュールの互換性なし	
	測定変数のステータス	
	Quality	Bad
	Quality substatus	Maintenance alarm
	Coding (hex)	0x24～0x27
	ステータス信号	F
	診断動作	Alarm
	影響される測定変数	
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut		

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
252	モジュールの互換性なし	1. 正しい電子モジュールが使われているか確認する 2. 電子モジュールを交換する	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
	影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ HBSI ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ 基準密度 ■ 基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量			

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
262	センサ電子部接続不良	1. センサ電子モジュール (ISEM)とメイン電子基板間の接続ケーブルを確認または交換。 2. ISEM またはメイン電子基板を確認または交換。	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24〜0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
	影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
270	メイン電子モジュール故障	メイン電子モジュールの変更	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
影響される測定変数			
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
271	メイン電子モジュール故障	1. 機器を再起動して下さい。 2. メイン電子モジュールを交換して下さい。	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
	影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
272	メイン電子モジュール故障	1. 機器を再起動して下さい。 2. 弊社サービスへ連絡して下さい。	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
影響される測定変数			
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
273	メイン電子モジュール故障	電子基板を交換
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション	
	■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量	
	■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut	

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
275	I/O モジュール 1～n 故障	I/O モジュールの変更
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度	
	■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ HBSI ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2	
	■ 基準密度 ■ 基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量	

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
276	I/O モジュール 1～n 誤り	1. 機器を再起動して下さい。 2. IO モジュールを交換して下さい。	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
	影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ HBSI ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ 基準密度 ■ 基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量			

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
283	電子メモリ内容	1. 機器をリセット 2. 弊社サービスへ連絡	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
	影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
302	機器の検証がアクティブ	機器の検証がアクティブです、お待ちください。
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション	
	■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量	
	■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut	

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
303	I/O 1～n 構成変更	1. I/O モジュールの構成を適用する。(パラメータ I/O 構成の適用) 2. その後、DD を再読み込みして配線を確認する。
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	–	

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
311	電子モジュール故障	1. 機器をリセットしないでください 2. 弊社サービスへ連絡	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		M
	診断動作		Warning
影響される測定変数			
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
332	組み込み HistoROM への書き込み失敗	ユーザインタフェースボードを交換してください 防爆：変換器を交換	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
影響される測定変数			
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
361	I/O モジュール 1～n 誤り	
	測定変数のステータス	
	Quality	Bad
	Quality substatus	Maintenance alarm
	Coding (hex)	0x24～0x27
	ステータス信号	F
	診断動作	Alarm
	影響される測定変数	
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ HBSI ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ 基準密度 ■ 基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量		

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
372	センサ電子部 (ISEM)故障	1. 機器を再起動する。 2. 故障が再発するか確認する。 3. センサ電子モジュール(ISEM)を交換する。	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
	影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
373	センサ電子部 (ISEM)故障	1. データの転送または機器のリセットをして下さい。 2. 弊社サービスへ連絡して下さい。
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション		■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量
		■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
374	センサ電子部 (ISEM)故障	1. 機器を再起動する。 2. 故障が再発するか確認する。 3. センサ電子モジュール (ISEM) を交換する。
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 濃度 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度		■ 空検知 オプション ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ HBSI ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ 基準密度
		■ 基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
375	I/O- 1～n 通信異常	1. 機器を再起動する。 2. 故障が再発するか確認する。 3. 電子モジュールを含むモジュールラックを交換する。	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
	影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量			

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
382	データストレージ	1. T-DAT を挿入する。 2. T-DAT を交換する。
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Bad	
	Quality substatus	
	Maintenance alarm	
	Coding (hex)	
	0x24～0x27	
	ステータス信号	
	F	
	診断動作	
	Alarm	
影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション		■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量
		■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
383	電子メモリ内容	1. 機器を再起動する。 2. `機器のリセット'パラメータから T-DAT を削除する。 3. T-DAT を交換する。	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
影響される測定変数			
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量			

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
387	HistoROM へのバックアップの失敗	弊社サービスにご連絡ください
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	- 振動振幅 1 - 振動振幅 2 - 信号の非対称性 - 搬送液質量流量 - 保護容器の温度 - 固形分基準体積流量 - 搬送液基準体積流量 - 濃度 - 測定値 1 - 測定値 2 - 測定値 3 - 振動ダンピング 1 - 振動ダンピング 2 - 密度 - オイル密度 - 水密度 - 静粘度 - センサ電子部 (ISEM) の温度 - 空検知 オプション	
	- GSV 流量 - GSV 流量代替 - 動粘度 - ローフローカットオフ オプション - 質量流量 - オイルの質量流量 - 水の質量流量 - HBSI - NSV 流量 - NSV 流量代替 - 外部圧力 - コイル電流 1 - コイル電流 2 - 振動周波数 1 - 振動周波数 2 - S&W 体積流量 - 基準密度 - 基準密度代替 - 基準体積流量	
	- オイルの基準体積流量 - 水の基準体積流量 - 振動ダンピングの変動 1 - 振動ダンピングの変動 2 - 周波数変動 1 - 周波数変動 2 - 固形分質量流量 - 搬送液体積流量 - 固形分体積流量 - 温度補正後の静粘度 - 温度補正後の動粘度 - 温度 - ステータス - 体積流量 - オイルの体積流量 - 水の体積流量 - Water cut	

12.7.3 設定の診断

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
330	フラッシュファイルが無効	1. 機器のファームウェアをアップデートする。 2. 機器を再起動する。
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	- 振動振幅 1 - 振動振幅 2 - 信号の非対称性 - 搬送液質量流量 - 保護容器の温度 - 濃度 - 測定値 1 - 測定値 2 - 測定値 3 - 振動ダンピング 1 - 振動ダンピング 2 - 密度	
	- 静粘度 - センサ電子部 (ISEM) の温度 - 空検知 オプション - 動粘度 - ローフローカットオフ オプション - 質量流量 - HBSI - 外部圧力 - コイル電流 1 - コイル電流 2 - 振動周波数 1 - 振動周波数 2	
	- 基準密度 - 基準体積流量 - 振動ダンピングの変動 1 - 振動ダンピングの変動 2 - 周波数変動 1 - 周波数変動 2 - 固形分質量流量 - 温度補正後の静粘度 - 温度補正後の動粘度 - 温度 - ステータス - 体積流量	

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
331	ファームウェアアップデート失敗	1. 機器のファームウェアをアップデートする。 2. 機器を再起動する。	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Warning
	影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
410	データ転送	1. 接続をチェックして下さい。 2. データ転送を再試行して下さい。	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
	影響される測定変数		
	■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut		

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
412	ダウンロード中	ダウンロード中です。しばらくお待ち下さい。
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	- 振動振幅 1 - 振動振幅 2 - 信号の非対称性 - 搬送液質量流量 - 保護容器の温度 - 固形分基準体積流量 - 搬送液基準体積流量 - 濃度 - 測定値 1 - 測定値 2 - 測定値 3 - 振動ダンピング 1 - 振動ダンピング 2 - 密度 - オイル密度 - 水密度 - 静粘度 - センサ電子部 (ISEM) の温度 - 空検知 オプション	
	- GSV 流量 - GSV 流量代替 - 動粘度 - ローフローカットオフ オプション - 質量流量 - オイルの質量流量 - 水の質量流量 - HBSI - NSV 流量 - NSV 流量代替 - 外部圧力 - コイル電流 1 - コイル電流 2 - 振動周波数 1 - 振動周波数 2 - S&W 体積流量 - 基準密度 - 基準密度代替 - 基準体積流量	
	- オイルの基準体積流量 - 水の基準体積流量 - 振動ダンピングの変動 1 - 振動ダンピングの変動 2 - 周波数変動 1 - 周波数変動 2 - 固形分質量流量 - 搬送液体積流量 - 固形分体積流量 - 温度補正後の静粘度 - 温度補正後の動粘度 - 温度 - ステータス - 体積流量 - オイルの体積流量 - 水の体積流量 - Water cut	

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
431	トリム 1～n	調整の実行
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	-	

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
437	設定の互換性なし	1. 機器を再起動して下さい。 2. 弊社サービスへ連絡して下さい。	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
	影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
438	データセット	1. データセットファイルのチェック 2. 機器設定のチェック 3. 新規設定のアップロード/ダウンロード	
	測定変数のステータス		
	Quality		Uncertain
	Quality substatus		Maintenance demanded
	Coding (hex)		0x68～0x6B
	ステータス信号		M
	診断動作		Warning
	影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

診断情報			修理
番号	ショートテキスト		
441	電流出力 1～n		1. プロセスの状態をチェックして下さい。 2. 電流出力の設定をチェックして下さい。
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾		
	Quality	Good	
	Quality substatus	Function check	
	Coding (hex)	0xBC～0xBF	
	ステータス信号	S	
	診断動作	Warning	
	影響される測定変数		
	-		

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

診断情報			修理
番号	ショートテキスト		
442	周波数出力 1～n		1. プロセスの状態をチェックして下さい。 2. 周波数出力の設定をチェックして下さい。
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾		
	Quality	Good	
	Quality substatus	Function check	
	Coding (hex)	0xBC～0xBF	
	ステータス信号	S	
	診断動作	Warning	
	影響される測定変数		
	-		

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
443	パルス出力 1～n	1. プロセスの状態をチェックして下さい。 2. パルス出力の設定をチェックして下さい。	
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾		
	Quality		Good
	Quality substatus		Function check
	Coding (hex)		0xBC～0xBF
	ステータス信号		S
	診断動作		Warning
	影響される測定変数		
	-		

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

診断情報			修理
番号	ショートテキスト		
444	電流入力 1～n		1. プロセスを確認。 2. 電流入力の設定を確認。
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾		
	Quality	Good	
	Quality substatus	Function check	
	Coding (hex)	0xBC～0xBF	
	ステータス信号	S	
	診断動作	Warning	
	影響される測定変数		
	■ 測定値 1		
	■ 測定値 2		
■ 測定値 3			

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
453	流量の強制ゼロ出力	流量オーバーライドの無効化
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替	
	■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量	
	■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut	

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
463	アナログ入力 1～n 選択が無効	1. モジュール/チャネルの構成を確認 2. I/O モジュールの構成を確認
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3	

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
482	FB not Auto/Cas	ブロックを AUTO モードへ設定
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	-	

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
484	エラーモードのシミュレーション	シミュレータの無効化
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替		■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量
		■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
485	測定値のシミュレーション	シミュレータの無効化
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替	
	■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量	
	■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut	

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
486	電流入力 1～n のシミュレーション	シミュレータの無効化
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3	

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
491	電流出力 1～n のシミュレーション	シミュレータの無効化
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	-	

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
492	周波数出力のシミュレーション 1～n	シミュレーション周波数出力を無効にする。
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	-	

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
493	パルス出力のシミュレーション 1～n	シミュレーションパルス出力を無効にする
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	-	

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
494	シミュレーションスイッチ出力 1～n	シミュレーションスイッチ出力を無効にする。
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	–	

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
495	診断イベントのシミュレーション	シミュレータの無効化
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	–	

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
496	ステータス入力のシミュレーション	ステータス入力のシミュレーションを止める。
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	–	

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
497	ブロック出力シミュレーション	シミュレーションを無効にする
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	-	

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
520	I/O 1～n ハードウェア構成無効	1. I/O ハードの構成を確認 2. 問題のある I/O モジュールを交換 3. 正しいスロットにダブルパルスモジュールを挿入
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	-	

診断情報			修理
番号	ショートテキスト		
528	濃度設定が不適切		1. 濃度設定を確認 2. 入力値を確認
	測定変数のステータス		
	Quality	Bad	
	Quality substatus	Function check	
	Coding (hex)	0x3C～0x3F	
	ステータス信号	S	
	診断動作	Alarm	
	影響される測定変数		
	■ 搬送液質量流量 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 密度 ■ 質量流量 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 体積流量		

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
529	濃度設定が不適切	1. 濃度設定を確認 2. 入力値を確認
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
■ 搬送液質量流量 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 密度 ■ 質量流量 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 体積流量		

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
537	設定	1. IP アドレスの確認 2. IP アドレスの変更
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
-		

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
594	リレー出力 シミュレーション	シミュレーションスイッチ出力を無効にする。
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
-		

12.7.4 プロセスの診断

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
803	電流ループ	1. 配線のチェックをして下さい。 2. IO モジュールを交換して下さい。
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	-	

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
830	センサ温度が高すぎます	センサハウジングの周囲温度を下げて下さい。
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut	

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
831	センサ温度が低すぎます	センサハウジングの周囲温度を上げて下さい。
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾	
	Quality Uncertain	
	Quality substatus Process related	
	Coding (hex) 0x78~0x7B	
	ステータス信号 S	
	診断動作 Warning	
影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替		■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量
		■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
832	基板温度が高すぎます	周囲温度を下げてください。	
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Process related
	Coding (hex)		0x28～0x2B
	ステータス信号		S
	診断動作		Warning
影響される測定変数			
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
833	基板温度が低すぎます	周囲温度を上げて下さい。	
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Process related
	Coding (hex)		0x28～0x2B
	ステータス信号		S
	診断動作		Warning
	影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
834	プロセス温度が高すぎます	プロセス温度を下げて下さい。
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾	
	Quality	
	Uncertain	
	Quality substatus	
	Process related	
	Coding (hex)	
	0x78~0x7B	
	ステータス信号	
	S	
	診断動作	
	Warning	
影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替		■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
835	プロセス温度が低すぎます	プロセス温度を上げてください。	
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾		
	Quality		Uncertain
	Quality substatus		Process related
	Coding (hex)		0x78～0x7B
	ステータス信号		S
	診断動作		Warning
	影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
842	プロセスのリミット値	ローフローカットオフ有効! 1. ローフローカットオフの設定を確認してください。
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	Uncertain	
影響される測定変数		
- 振動振幅 1 - 振動振幅 2 - 信号の非対称性 - 搬送液質量流量 - 保護容器の温度 - 固形分基準体積流量 - 搬送液基準体積流量 - 濃度 - 振動ダンピング 1 - 振動ダンピング 2 - 密度 - オイル密度 - 水密度 - 静粘度 - センサ電子部 (ISEM) の温度 - 空検知 オプション - GSV 流量 - GSV 流量代替		- 動粘度 - ローフローカットオフ オプション - 質量流量 - オイルの質量流量 - 水の質量流量 - HBSI - NSV 流量 - NSV 流量代替 - 外部圧力 - コイル電流 1 - コイル電流 2 - 振動周波数 1 - 振動周波数 2 - S&W 体積流量 - 基準密度 - 基準密度代替 - 基準体積流量 - オイルの基準体積流量
		- 水の基準体積流量 - 振動ダンピングの変動 1 - 振動ダンピングの変動 2 - 周波数変動 1 - 周波数変動 2 - 固形分質量流量 - 搬送液体積流量 - 固形分体積流量 - 温度補正後の静粘度 - 温度補正後の動粘度 - 温度 - ステータス - 体積流量 - オイルの体積流量 - 水の体積流量 - Water cut

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
862	計測チューブが非満管	1. プロセス中の気泡を確認してください。 2. 検出限界を調整してください。
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	Bad	
影響される測定変数		
- 搬送液質量流量 - 固形分基準体積流量 - 搬送液基準体積流量 - 濃度 - 密度 - オイル密度 - 水密度 - 静粘度 - 空検知 オプション - GSV 流量 - GSV 流量代替 - 動粘度 - ローフローカットオフ オプション		- 質量流量 - オイルの質量流量 - 水の質量流量 - HBSI - NSV 流量 - NSV 流量代替 - 外部圧力 - S&W 体積流量 - 基準密度 - 基準密度代替 - 基準体積流量 - オイルの基準体積流量 - 水の基準体積流量
		- 固形分質量流量 - 搬送液体積流量 - 固形分体積流量 - 温度補正後の静粘度 - 温度補正後の動粘度 - 温度 - ステータス - 体積流量 - オイルの体積流量 - 水の体積流量 - Water cut

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
882	入力信号	1. 入力設定をチェック 2. 圧力センサまたはプロセス状態をチェック	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
	影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 測定値 1 ■ 測定値 2 ■ 測定値 3 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部（ISEM）の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
910	計測チューブ振動しない	1. 電子部のチェック 2. センサの検査	
	測定変数のステータス		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		F
	診断動作		Alarm
	影響される測定変数		
	■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut		

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
912	流体が不均一	1. プロセスの状態をチェックして下さい。 2. プロセス圧力を上げてください。
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替		■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量
		■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
913	流体が適していない	1. プロセスの状態を確認 2. 電子モジュールまたはセンサの確認	
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾		
	Quality		Uncertain
	Quality substatus		Process related
	Coding (hex)		0x78～0x7B
	ステータス信号		S
	診断動作		Warning
	影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

診断情報			修理
番号	ショートテキスト		
941	API 温度が仕様外		1. プロセス温度を選択した API コモディティグループと確認 2. API 関連パラメータを確認
	測定変数のステータス		
	Quality	Bad	
	Quality substatus	Maintenance alarm	
	Coding (hex)	0x24～0x27	
	ステータス信号	S	
	診断動作	Alarm	
	影響される測定変数		
	■ オイル密度 ■ 水密度 ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut		

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
942	API 密度仕様外	1. プロセス密度を選択した API のコモディティグループと確認 2. API 関連のパラメータを確認
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	質量流量	

診断情報		修理
番号	ショートテキスト	
943	API 圧力が仕様外	1. プロセス圧力を API コモディティグループと確認 2. API 関連パラメータを確認
	測定変数のステータス	
	Quality	
	Quality substatus	
	Coding (hex)	
	ステータス信号	
	診断動作	
	影響される測定変数	
	■ オイル密度 ■ 水密度 ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut	

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
944	モニタリングのフェール	Heartbeat モニタリングのプロセス状態のチェック	
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾		
	Quality		Bad
	Quality substatus		Maintenance alarm
	Coding (hex)		0x24～0x27
	ステータス信号		S
	診断動作		Warning
	影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 濃度 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ HBSI ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ 基準密度 ■ 基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量			

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

診断情報		修理	
番号	ショートテキスト		
948	振動ダンピングが過大	プロセスの状態をチェックして下さい。	
	測定変数のステータス [工場出荷時] ¹⁾		
	Quality		Uncertain
	Quality substatus		Process related
	Coding (hex)		0x78～0x7B
	ステータス信号		S
	診断動作		Warning
	影響される測定変数		
■ 振動振幅 1 ■ 振動振幅 2 ■ 信号の非対称性 ■ 搬送液質量流量 ■ 保護容器の温度 ■ 固形分基準体積流量 ■ 搬送液基準体積流量 ■ 濃度 ■ 振動ダンピング 1 ■ 振動ダンピング 2 ■ 密度 ■ オイル密度 ■ 水密度 ■ 静粘度 ■ センサ電子部 (ISEM) の温度 ■ 空検知 オプション ■ GSV 流量 ■ GSV 流量代替 ■ 動粘度 ■ ローフローカットオフ オプション ■ 質量流量 ■ オイルの質量流量 ■ 水の質量流量 ■ HBSI ■ NSV 流量 ■ NSV 流量代替 ■ 外部圧力 ■ コイル電流 1 ■ コイル電流 2 ■ 振動周波数 1 ■ 振動周波数 2 ■ S&W 体積流量 ■ 基準密度 ■ 基準密度代替 ■ 基準体積流量 ■ オイルの基準体積流量 ■ 水の基準体積流量 ■ 振動ダンピングの変動 1 ■ 振動ダンピングの変動 2 ■ 周波数変動 1 ■ 周波数変動 2 ■ 固形分質量流量 ■ 搬送液体積流量 ■ 固形分体積流量 ■ 温度補正後の静粘度 ■ 温度補正後の動粘度 ■ 温度 ■ ステータス ■ 体積流量 ■ オイルの体積流量 ■ 水の体積流量 ■ Water cut			

1) 診断動作を変更できます。これにより、測定変数の全体ステータスが変更されます。

12.8 未処理の診断イベント

診断 メニューを使用すると、現在の診断イベントおよび前回の診断イベントを個別に表示させることが可能です。

-  診断イベントの対処法を呼び出す方法：
- 現場表示器を使用→  167
 - ウェブブラウザを使用→  168
 - 「FieldCare」操作ツールを使用→  169
 - 「DeviceCare」操作ツールを使用→  169

 その他の未処理の診断イベントは**診断リスト** サブメニュー→  225 に表示されます。

ナビゲーション
「診断」メニュー

 診断	
現在の診断結果	→  225
前回の診断結果	→  225
再起動からの稼働時間	→  225
稼働時間	→  225

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス
現在の診断結果	1つの診断イベントが発生していること。	診断情報に加えて現在発生している診断イベントを表示。  2つあるいはそれ以上のメッセージが同時に発生した場合は、最優先に処理する必要のあるメッセージが表示されます。	診断動作のシンボル、診断コード、ショートメッセージ
前回の診断結果	すでに2つの診断イベントが発生していること。	診断情報に加えて以前に発生した現在の診断イベントを表示。	診断動作のシンボル、診断コード、ショートメッセージ
再起動からの稼働時間	–	最後に機器が再起動してからの機器の運転時間を表示。	日 (d)、時 (h)、分 (m)、秒 (s)
稼働時間	–	装置の稼働時間を示す。	日 (d)、時 (h)、分 (m)、秒 (s)

12.9 診断リスト

現在未処理の診断イベントを最大5件まで関連する診断情報とともに **診断リスト** サブメニューに表示できます。5件以上の診断イベントが未処理の場合は、最優先に処理する必要のあるイベントが表示部に示されます。

ナビゲーションパス
診断 → 診断リスト



A0014006-JA

図 34 現場表示器の使用例

- i** 診断イベントの対処法を呼び出す方法：
- 現場表示器を使用→ 図 167
 - ウェブブラウザを使用→ 図 168
 - 「FieldCare」操作ツールを使用→ 図 169
 - 「DeviceCare」操作ツールを使用→ 図 169

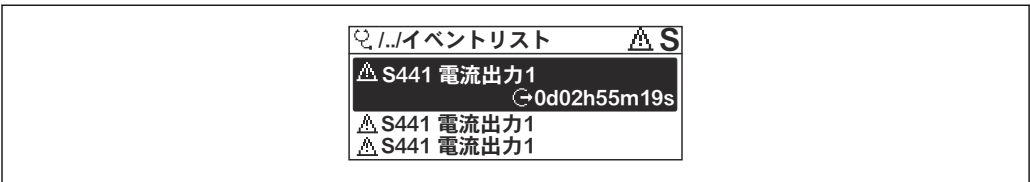
12.10 イベントログブック

12.10.1 イベントログの読み出し

イベントリストサブメニューでは、発生したイベントメッセージの一覧を時系列に表示できます。

ナビゲーションパス

診断 メニュー→**イベントログブック** サブメニュー→**イベントリスト**



A0014008-JA

図 35 現場表示器の使用例

- 最大 20 件のイベントメッセージを時系列に表示できます。
- **拡張 HistoROM** アプリケーションパッケージ（注文オプション）が有効な場合、イベントリストには最大 100 件までストア可能です。

イベント履歴には、次の入力項目が含まれます。

- 診断イベント→ 図 173
- 情報イベント→ 図 227

各イベントの発生時間に加えて、そのイベントの発生または終了を示すシンボルも割り当てられます。

- 診断イベント
 - ⊖：イベントの発生
 - ⊕：イベントの終了
- 情報イベント
 - ⊖：イベントの発生

- i** 診断イベントの対処法を呼び出す方法：
- 現場表示器を使用→ 図 167
 - ウェブブラウザを使用→ 図 168
 - 「FieldCare」操作ツールを使用→ 図 169
 - 「DeviceCare」操作ツールを使用→ 図 169
- i** 表示されたイベントメッセージのフィルタリング→ 図 227

12.10.2 イベントログブックのフィルタリング

フィルタオプション パラメータを使用すると、**イベントリスト**サブメニューに表示するイベントメッセージのカテゴリを設定できます。

ナビゲーションパス

診断 → イベントログブック → フィルタオプション

フィルタカテゴリー

- すべて
- 故障 (F)
- 機能チェック (C)
- 仕様範囲外 (S)
- メンテナンスが必要 (M)
- 情報 (I)

12.10.3 診断イベントの概要

診断イベントとは異なり、情報イベントは診断リストには表示されず、イベントログブックにのみ表示されます。

情報番号	情報名
I1000	----- (装置 OK)
I1079	センサが交換されました。
I1089	電源オン
I1090	設定のリセット
I1091	設定変更済
I1092	HistoROM のバックアップ削除
I1111	密度調整エラー
I1137	電子部が交換されました
I1151	履歴のリセット
I1155	電子部内温度のリセット
I1156	メモリエラー トレンド
I1157	メモリエラー イベントリスト
I1184	ディスプレイが接続されています
I1209	密度調整 OK
I1221	ゼロ点調整エラー
I1222	ゼロ点調整 OK
I1256	表示: アクセスステータス変更
I1278	I/O モジュールのリセットを検出
I1335	ファームウェアの変更
I1361	Web サーバ:ログイン失敗
I1397	フィールドバス: アクセスステータス変更
I1398	CDI: アクセスステータス変更
I1444	機器の検証パス
I1445	機器の検証のフェール
I1447	基準データとして記録する
I1448	アプリケーションの基準データを記録する
I1449	アプリケーションの基準データの記録失敗
I1450	モニタリング オフ

情報番号	情報名
I1451	モニタリング オン
I1457	フェール：測定エラー検証
I1459	フェール：I/O モジュールの検証
I1460	センサの健全性(HBSI)検証失敗
I1461	フェール：センサの検証
I1462	フェール：センサの電子機器モジュールの検証
I1512	ダウンロードを開始しました
I1513	ダウンロード終了
I1514	アップロード開始
I1515	アップロード完了
I1618	I/O モジュール 2 交換
I1619	I/O モジュール 3 交換
I1621	I/O モジュール 4 交換
I1622	校正の変更
I1624	すべての積算計をリセット
I1625	書き込み保護有効
I1626	書き込み禁止無効
I1627	Web サーバ:ログイン成功
I1628	ディスプレイ:ログイン成功
I1629	CDI: ログイン成功
I1631	Web サーバアクセス変更
I1632	ディスプレイ:ログイン失敗
I1633	CDI: ログインの失敗
I1634	工場初期値にリセット
I1635	出荷時設定にリセット
I1636	フィールドバスのアドレスをリセット
I1639	最大のスイッチサイクル数へ到達
I1649	ハードウェアの書き込み保護が有効
I1650	ハードウェアの書き込み保護は無効
I1712	新しいフラッシュファイルを受領
I1725	センサ電子部モジュール (ISEM) 交換
I1726	設定のバックアップ失敗

12.11 機器のリセット

機器リセット パラメータ (→ 図 134) を使用して、機器の全設定または一部の設定を所定の状態にリセットできます。

12.11.1 「機器リセット」パラメータの機能範囲

選択項目	説明
キャンセル	何も実行せずにこのパラメータを終了します。
納入時の状態に	ユーザー固有の初期設定で注文されたすべてのパラメータをユーザー固有の値にリセットします。その他のパラメータはすべて、工場出荷時の設定にリセットされます。
機器の再起動	再起動により、揮発性メモリ (RAM) に保存されているデータをもつすべてのパラメータが工場設定にリセットされます (例: 測定値データ)。機器設定に変更はありません。
S-DAT のバックアップをリストア	S-DAT に保存されているデータを復元します。追加情報: この機能はメモリの "083 メモリ内容が不整合" を解決するためまたは、新しい S-DAT を取り付けたときに S-DAT のデータを復元するために使用できます。  このオプションはアラーム状態でのみ表示されます。

12.12 機器情報

機器情報 サブメニューには、機器の識別に必要な各種情報を表示するパラメータがすべて含まれています。

ナビゲーション

「診断」メニュー → 機器情報

► 機器情報	
デバイスのタグ	→ ⓘ 230
シリアル番号	→ ⓘ 230
ファームウェアのバージョン	→ ⓘ 230
機器名	→ ⓘ 230
オーダーコード	→ ⓘ 230
拡張オーダーコード 1	→ ⓘ 230
拡張オーダーコード 2	→ ⓘ 230
拡張オーダーコード 3	→ ⓘ 230
ENP バージョン	→ ⓘ 230
PROFIBUS ident number	→ ⓘ 230
Status PROFIBUS Master Config	→ ⓘ 230

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
デバイスのタグ	機器のタグを表示します。	最大 32 文字（英字、数字、または特殊文字（例：@, %, /）など）	Promass 300 PA
シリアル番号	機器のシリアル番号の表示。	最大 11 文字の英字および数字	–
ファームウェアのバージョン	ファームウェアバージョンの表示。	形式 xx.yy.zz の文字列	–
機器名	変換器の名称の表示。  名称は変換器の銘板に明記されています。	Promass 300/500	–
オーダーコード	機器のオーダーコードの表示。  オーダーコードはセンサおよび変換器の銘板の「オーダーコード」欄に明記されています。	英字、数字、特定の句読点（/ など）で構成される文字列	–
拡張オーダーコード 1	拡張オーダーコードの 1 番目の部分を表示。  拡張オーダーコードもセンサおよび変換器の銘板の「拡張オーダーコード」欄に明記されています。	文字列	–
拡張オーダーコード 2	拡張オーダーコードの 2 番目の部分を表示。  拡張オーダーコードもセンサおよび変換器の銘板の「拡張オーダーコード」欄に明記されています。	文字列	–
拡張オーダーコード 3	拡張オーダーコードの 3 番目の部分を表示。  拡張オーダーコードもセンサおよび変換器の銘板の「拡張オーダーコード」欄に明記されています。	文字列	–
ENP バージョン	電子ネームプレート (ENP) のバージョンを表示。	文字列	–
PROFIBUS ident number	PROFIBUS 識別番号を表示します。	0~FFFF	0x156D
Status PROFIBUS Master Config	PROFIBUS マスタ設定の状態を表示します。	■ アクティブ ■ 無効	–

12.13 ファームウェアの履歴

リリース 日付	ファームウ ェアのバー ジョン	「ファーム ウェアのバ ージョン」 のオーダー コード	ファームウェア 変更	資料の種類	関連資料
2016 年 8 月	01.00.zz	オプション 72	オリジナルファーム ウェア	取扱説明書	BA01512D/06/EN/01.16
2018 年 11 月	01.01.zz	オプション 68	■ 石油新規 濃度更新 ■ 現場表示器 - 性能 向上およびテキス トエディタによる データ入力 ■ 現場表示器のキー パッドロックを最 適化 ■ Web サーバー機能 更新 ■ トレンドデータ 機能のサポート ■ 詳細結果を含め るために強化さ れた Heartbeat 機能 (レポートの 3/4 ページ) ■ 機器設定 PDF (パ ラメータログ、 FDT 印刷と同様 に) ■ Ethernet (サービ ス) インターフェイ スのネットワーク 機能 ■ 包括的な Heartbeat 機能更新 ■ 現場表示器 - WLAN インフラモ ードのサポート ■ リセットコードの 実装	取扱説明書	BA01512D/06/EN/02.18

 サービスインタフェース (CDI) を使用してファームウェアを現行バージョンまたは旧バージョンに書き換えることができます。

 ファームウェアのバージョンと以前のバージョン、インストールされた DD ファイルおよび操作ツールとの互換性については、メーカー情報資料の機器情報を参照してください。

 メーカー情報は、以下から入手できます。

- 当社ウェブサイトのダウンロードエリアより：www.endress.com → Download
- 次の詳細を指定します。
 - 製品ルートコード：例、8Q3B
製品ルートコードはオーダーコードの最初の部分：機器の銘板を参照
 - テキスト検索：メーカー情報
 - メディアタイプ：ドキュメント - 技術資料

13 メンテナンス

13.1 メンテナンス作業

特別なメンテナンス作業は不要です。

13.1.1 外部洗浄

機器の外部を洗浄する場合は、必ずハウジングまたはシールの表面に傷をつけない洗浄剤を使用してください。

13.2 測定機器およびテスト機器

Endress+Hauser は、Netilion やテスト機器など、さまざまな測定機器やテスト機器を提供しています。

 サービスの詳細については、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

一部の測定機器およびテスト機器のリスト：→  236

13.3 当社サービス

Endress+Hauser では、再校正、メンテナンスサービス、機器テストなど、メンテナンスに関する幅広いサービスを提供しています。

 サービスの詳細については、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

14 修理

14.1 一般的注意事項

14.1.1 修理および変更コンセプト

Endress+Hauser の修理および変更コンセプトでは、次のことが考慮されています。

- 機器はモジュール式の構造となっています。
- スペアパーツは合理的なキットに分類され、関連する取付指示が付属します。
- 修理は、Endress+Hauser サービス担当または適切な訓練を受けたユーザーが実施します。
- 認証を取得した機器は、Endress+Hauser サービス担当または工場でのみ別の認証取得機器に交換できます。

14.1.2 修理および変更に関する注意事項

機器の修理および変更を行う場合は、以下の点に注意してください。

- ▶ 当社純正スペアパーツのみを使用してください。
- ▶ 取付指示に従って修理してください。
- ▶ 適用される規格、各地域/各国の規定、防爆資料 (XA)、認証を遵守してください。
- ▶ すべての修理/変更作業を文書化し、Netilion Analytics に詳細情報を入力してください。

14.2 スペアパーツ

デバイスビューワー (www.endress.com/deviceviewer) :

機器のスペアパーツがすべてオーダーコードとともにリストされており、注文することが可能です。関連する設置要領書がある場合は、これをダウンロードすることもできます。

 機器シリアル番号 :

- 機器の銘板に明記されています。
- **機器情報** サブメニュー 内の **シリアル番号** パラメータ (→  230) を使用して読み出せます。

14.3 Endress+Hauser サービス

Endress+Hauser は、さまざまなサービスを提供しています。

 サービスの詳細については、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

14.4 返却

機器の安全な返却要件は、機器の種類と各国の法によって異なります。

1. ウェブページの情報を参照してください。
<https://www.endress.com/support/return-material>
↳ 地域を選択します。
2. 機器を返却する場合、機器が衝撃や外部の影響から確実に保護されるように梱包してください。納入時の梱包材を使用すると、最適な保護効果が得られます。

14.5 廃棄

 電子・電気機器廃棄物（WEEE）に関する指令 2012/19/EU により必要とされる場合、分別されていない一般廃棄物として処理する WEEE を最小限に抑えるため、製品には絵文字シンボルが付いています。このマークが付いている製品は、分別しない一般ゴミとしては廃棄しないでください。代わりに、適切な条件下で廃棄するために製造者へご返送ください。

14.5.1 機器の取外し

1. 機器の電源をオフにします。

警告

プロセス条件によっては、危険が及ぶ可能性があります。

- ▶ 機器内の圧力、高温、腐食性測定物を使用するなど、危険なプロセス条件の場合は注意してください。

2. 「機器の取付け」および「機器の接続」セクションに明記された取付けおよび接続手順と逆の手順を実施してください。安全上の注意事項に従ってください。

14.5.2 機器の廃棄

警告

健康に有害な流体によって、人体や環境に危険が及ぶ可能性があります。

- ▶ 隙間に入り込んだ、またはプラスチックから拡散した物質など、健康または環境に有害な残留物を、機器および隙間の溝からすべて確実に除去してください。

廃棄する際には、以下の点に注意してください。

- ▶ 適用される各地域/ 各国の規定を遵守してください。
- ▶ 機器コンポーネントを適切に分別および再利用してください。

15 アクセサリ

変換器およびセンサには、アクセサリも多数用意されています。詳細については、最寄りの弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。オーダーコードに関する詳細は、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせいただくか、弊社ウェブサイトの製品ページをご覧ください：www.endress.com。

15.1 機器固有のアクセサリ

15.1.1 変換器用

アクセサリ	説明
Proline 300 変換器	交換用あるいは在庫用変換器。オーダーコードを使用して以下の仕様を指定します。 ■ 認証 ■ 出力 ■ 入力 ■ 表示/操作 ■ハウジング ■ ソフトウェア  オーダーコード：8X3BXX  設置要領書 EA01200D
リモートディスプレイと操作モジュール DKX001	■ 機器と一緒に注文する場合： 「ディスプレイ；操作」のオーダーコード、オプション O「リモートディスプレイ 4 行表示、バックライト；10 m (30 ft) ケーブル；タッチコントロール」 ■ 別途注文する場合： ■ 機器：「ディスプレイ；操作」のオーダーコード、オプション M「なし、リモートディスプレイ用に準備」 ■ DKX001：別個の製品構成 DKX001 を使用 ■ 後で注文する場合： DKX001：別個の製品構成 DKX001 を使用 DKX001 の取付ブラケット ■ 一緒に注文する場合：「同梱アクセサリ」のオーダーコード、オプション RA「取付ブラケット、1/2" 配管」 ■ 後で注文する場合：オーダー番号：71340960 接続ケーブル（交換用ケーブル） 別個の製品構成 DKX002 を使用  分離ディスプレイと操作モジュール DKX001 の詳細については、こちらを参照してください → 260。  個別説明書 SD01763D
外部の WLAN アンテナ	外部の WLAN アンテナ、接続ケーブル 1.5 m (59.1 in) と 2 つのアンクル金具付き。「同梱アクセサリ」のオーダーコード、オプション P8「広域ワイヤレスアンテナ」 ■ 外部の WLAN アンテナは、サニタリアプリケーションでの使用には適していません。 ■ WLAN インタフェースに関する追加情報 → 68。  オーダー番号：71351317  設置要領書 EA01238D
日除けカバー	天候（例：雨水、直射日光による過熱）の影響から機器を保護するために使用します。  オーダー番号：71343505  設置要領書 EA01160D

15.1.2 センサ用

アクセサリ	説明
スチームジャケット	センサ内の流体温度を一定に保つために使用します。流体として使用できるのは、水、蒸気、その他の非腐食性液体です。  測定物としてオイルを使用する場合は、Endress+Hauser にお問い合わせください。 製品ルート DK8003 付きのオーダーコードを使用します。  個別説明書 SD02161D

15.2 サービス関連のアクセサリ

アクセサリ	説明
Applicator	Endress+Hauser 製計測機器のセレクション/サイジング用ソフトウェア。 - 産業要件に応じた計測機器の選定 - 最適な流量計を選定するために必要なあらゆるデータの計算（例：呼び口径、圧力損失、流速、測定精度） - 計算結果のグラフィック表示 - プロジェクトの全期間中、部分オーダーコードの確認、あらゆるプロジェクト関連データおよびパラメータの管理、文書化、アクセスが可能です。 Applicator は以下から入手可能： インターネット経由：https://portal.endress.com/webapp/applicator
Netilion	IIoT エコシステム：いつでもどこでも必要な情報を取得できます。 Endress+Hauser の Netilion IIoT エコシステムにより、プラント性能の最適化、ワークフローのデジタル化、知識の共有、コラボレーションの強化を実現できます。 Endress+Hauser は、長年にわたるプロセスオートメーションでの経験を活かして、プロセス産業に IIoT エコシステムを構築し、提供されるデータから有益な知識や情報を容易に取得できるようにします。その情報を活用してプロセスを最適化できるため、プラントの可用性、効率、信頼性が向上し、最終的にはプラントの収益向上につながります。 www.netilion.endress.com
FieldCare	Endress+Hauser の FDT ベースのプラントアセット管理ツールです。 システム内のすべてのインテリジェントフィールド機器を設定できるため、フィールド機器の管理に役立ちます。ステータス情報を使用することにより、各機器のステータスと状態を容易かつ効果的にチェックできます。  取扱説明書 BA00027S / BA00059S
DeviceCare	Endress+Hauser 製フィールド機器の接続および設定用ツール。  イノベーションカタログ IN01047S

15.3 システムコンポーネント

アクセサリ	説明
Memograph M グラフィックデータマネージャ	Memograph M グラフィックデータマネージャには、関連する測定変数の情報がすべて表示されます。測定値を正確に記録し、リミット値の監視、測定点の解析を行います。これらのデータは 256 MB の内部メモリに保存されます。また、SD カードや USB メモリにも保存できます。  技術仕様書 TI00133R  取扱説明書 BA00247R
Cerabar M	気体、蒸気、液体の絶対圧およびゲージ圧測定用の圧力伝送器です。プロセス圧力値の読み込みに使用できます。  技術仕様書 TI00426P / TI00436P  取扱説明書 BA00200P / BA00382P

アクセサリ	説明
Cerabar S	気体、蒸気、液体の絶対圧およびゲージ圧測定用の圧力伝送器です。プロセス圧力値の読込みに使用できます。  ■ 技術仕様書 TI00383P ■ 取扱説明書 BA00271P
iTEMP	あらゆるアプリケーションに使用でき、気体、蒸気、液体の測定に最適な温度伝送器です。流体温度の読込みに使用できます。  「活用分野」資料 FA00006T

16 技術データ

16.1 アプリケーション

本機器は、液体および気体の流量測定にのみ使用することを目的としたものです。
注文したバージョンに応じて、本機器は爆発性、可燃性、毒性、酸化性の測定物も測定できます。
機器が耐用年数にわたって適切な動作条件を維持することを保証するため、接液部材質が十分に耐性のある測定物にのみ使用してください。

16.2 機能とシステム構成

測定原理	コリオリの原理に基づく質量流量測定
計測システム	本機器は変換器とセンサから構成されます。 本機器は一体型です。 変換器とセンサが機械的に一体になっています。 計測機器の構成に関する情報 →  13

16.3 入力

測定変数

直接測定するプロセス変数

- 質量流量
- 密度
- 温度

計算される測定変数

- 体積流量
- 基準体積流量
- 基準密度

測定範囲

液体の測定範囲

呼び口径 計測機器		呼び口径 適合する配管直径		測定範囲フルスケール値 $\dot{m}_{\min(F)} \sim \dot{m}_{\max(F)}$	
[mm]	[in]	[mm]	[in]	[kg/h]	[lb/min]
25	1	25/40	1/1½	0～20 000	0～735
50	2	50/80	2/3	0～80 000	0～2 940
80	3	80/100	3/4	0～200 000	0～7 350
100	4	100/150	4/6	0～550 000	0～20 210

気体の測定範囲

測定範囲は、使用する気体の密度および音速に応じて異なり、以下の計算式を使用して算出できます。

$$\dot{m}_{\max(G)} = (\rho_G \cdot (c_G/m) \cdot d_i^2 \cdot (\pi/4) \cdot 3600 \cdot n)$$

$\dot{m}_{\max(G)}$	気体の最大測定範囲 [kg/h]
ρ_G	動作条件下での気体密度 [kg/m³]
c_G	音速（気体） [m/s]
d_i	計測チューブ内径 [m]
π	Pi
$n = 2$	呼び口径 25～100 (1～4 ") の計測チューブの数
$n = 4$	呼び口径 150～250 (6～10 ") の計測チューブの数
$m = 2$	純 H2 ガスおよび純 He ガスを除くすべての気体の場合
$m = 3$	純 H2 ガスおよび純 He ガスの場合

推奨の測定範囲

 流量制限 →  255

計測可能流量範囲

1000 : 1 以上。

設定されたフルスケール値を流量が超えても電子モジュールはオーバーライドされず、積算値が正確に測定されます。

入力信号

外部測定値

 Endress+Hauser では各種の圧力伝送器と温度計を用意しています。「アクセサリ」セクションを参照してください。→  236

基準体積流量を計算するために外部測定値を読み込むことを推奨します。

電流入力

電流入力を介して測定値がオートメーションシステムから機器に書き込まれます
→  240。

デジタル通信

PROFIBUS PA を介して、測定値がオートメーションシステムから書き込まれます。

電流入力 0/4～20 mA

電流入力	0/4～20 mA (アクティブ/パッシブ)
電流スパン	4～20 mA (アクティブ) 0/4～20 mA (パッシブ)
分解能	1 µA
電圧降下	通常：0.6～2 V、3.6～22 mA の場合 (パッシブ)
最大入力電圧	≤ 30 V (パッシブ)
開回路電圧	≤ 28.8 V (アクティブ)
可能な入力変数	- 圧力 - 温度 - 密度

ステータス入力

最大入力値	- DC -3～30 V - ステータス入力 that アクティブ (オン) な場合：$R_i > 3 \text{ k}\Omega$
応答時間	設定可能：5～200 ms
入力信号レベル	- ローレベル：DC -3～+5 V - ハイレベル：DC 12～30 V
割り当て可能な機能	- オフ - 各積算計を個別にリセット - すべての積算計をリセット - 流量の強制ゼロ出力

16.4 出力

出力信号

PROFIBUS PA

PROFIBUS PA	EN 50170 vol.2、IEC 61158-2 (MBP) に準拠、電氣的に絶縁
データ伝送	31.25 kbit/s
消費電流	10 mA
許容電源電圧	9～32 V
バス接続	逆極性保護内蔵

電流出力 4～20 mA

信号モード	可能な設定 : ■ アクティブ ■ パッシブ
電流範囲	可能な設定 : ■ 4～20 mA NAMUR ■ 4～20 mA US ■ 4～20 mA ■ 0～20 mA (信号モードが有効な場合のみ) ■ 固定電流値
最大出力値	22.5 mA
開回路電圧	DC 28.8 V (アクティブ)
最大入力電圧	DC 30 V (パッシブ)
負荷	0～700 Ω
分解能	0.38 μA
ダンピング	設定可能 : 0～999.9 秒
割当て可能な測定変数	■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量 ■ 密度 ■ 基準密度 ■ 温度 ■ 電子モジュール内温度 ■ 振動周波数 0 ■ 振動ダンピング 0 ■ 信号の非対称性 ■ 励磁電流 0  機器に 1 つ以上のアプリケーションパッケージがある場合、オプションの範囲が広がります。

電流出力 4～20 mA Ex i パッシブ

オーダーコード	「出力 ; 入力 2」 (21)、「出力 ; 入力 3」 (022) : オプション C : 電流出力 4～20 mA Ex i パッシブ
信号モード	パッシブ
電流範囲	可能な設定 : ■ 4～20 mA NAMUR ■ 4～20 mA US ■ 4～20 mA ■ 固定電流値
最大出力値	22.5 mA
最大入力電圧	DC 30 V

負荷	0～700 Ω
分解能	0.38 μA
ダンピング	設定可能：0～999 秒
割当て可能な測定変数	■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量 ■ 密度 ■ 基準密度 ■ 温度 ■ 電子モジュール内温度 ■ 振動周波数 0 ■ 振動ダンピング 0 ■ 信号の非対称性 ■ 励磁電流 0  機器に 1 つ以上のアプリケーションパッケージがある場合、オプションの範囲が広がります。

パルス/周波数/スイッチ出力

機能	パルス、周波数、またはスイッチ出力として設定可能
バージョン	オープンコレクタ 可能な設定： ■ アクティブ ■ パッシブ ■ パッシブ NAMUR  Ex-i、パッシブ
最大入力値	DC 30 V、250 mA (パッシブ)
開回路電圧	DC 28.8 V (アクティブ)
電圧降下	22.5 mA の場合：≤ DC 2 V
パルス出力	
最大入力値	DC 30 V、250 mA (パッシブ)
最大出力電流	22.5 mA (アクティブ)
開回路電圧	DC 28.8 V (アクティブ)
パルス幅	設定可能：0.05～2 000 ms
最大パルスレート	10 000 Impulse/s
パルス値	設定可能
割当て可能な測定変数	■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量  機器に 1 つ以上のアプリケーションパッケージがある場合、オプションの範囲が広がります。
周波数出力	
最大入力値	DC 30 V、250 mA (パッシブ)
最大出力電流	22.5 mA (アクティブ)
開回路電圧	DC 28.8 V (アクティブ)
出力周波数	設定可能：周波数終了値 2～10 000 Hz ($f_{\max} = 12\,500$ Hz)
ダンピング	設定可能：0～999.9 秒
ハイ/ロー	1:1

割当て可能な測定変数	■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量 ■ 密度 ■ 基準密度 ■ 温度 ■ 電子モジュール内温度 ■ 振動周波数 0 ■ 振動ダンピング 0 ■ 信号の非対称性 ■ 励磁コイル電流 0  機器に 1 つ以上のアプリケーションパッケージがある場合、オプションの範囲が広がります。
スイッチ出力	
最大入力値	DC 30 V、250 mA (パッシブ)
開回路電圧	DC 28.8 V (アクティブ)
スイッチング動作	バイナリ、導通または非導通
スイッチング遅延	設定可能：0～100 秒
スイッチング回数	無制限
割当て可能な機能	■ 無効 ■ オン ■ 診断時の動作 ■ リミット ■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量 ■ 密度 ■ 基準密度 ■ 温度 ■ 積算計 1～3 ■ 流れ方向監視 ■ ステータス ■ 非満管の検出 ■ ローフローカットオフ  機器に 1 つ以上のアプリケーションパッケージがある場合、オプションの範囲が広がります。

リレー出力

機能	スイッチ出力
バージョン	リレー出力、電氣的に絶縁
スイッチング動作	可能な設定： ■ NO (ノーマルオープン)、工場設定 ■ NC (ノーマルクローズ)

最大スイッチング容量（パッシブ）	■ DC 30 V、0.1 A ■ AC 30 V、0.5 A
割当て可能な機能	■ 無効 ■ オン ■ 診断時の動作 ■ リミット ■ 質量流量 ■ 体積流量 ■ 基準体積流量 ■ 密度 ■ 基準密度 ■ 温度 ■ 積算計 1～3 ■ 流れ方向監視 ■ ステータス ■ 非満管の検出 ■ ローフローカットオフ  機器に 1 つ以上のアプリケーションパッケージがある場合、オプションの範囲が広がります。

ユーザー設定可能な入力/出力

機器設定中に特定の入力または出力の **1 つ** がユーザー設定可能な入力/出力（設定可能な I/O）に割り当てられます。

以下の入力および出力の割り当てが可能です。

- 電流出力の選択：4 ～ 20 mA（アクティブ）、0/4 ～ 20 mA（パッシブ）
- パルス/周波数/スイッチ出力
- 電流入力の選択：4 ～ 20 mA（アクティブ）、0/4 ～ 20 mA（パッシブ）
- ステータス入力

アラーム時の信号

インターフェイスに応じて、以下のようにエラー情報が表示されます。

PROFIBUS PA

ステータスおよびアラームメッセージ	PROFIBUS PA プロファイルバージョン 3.02 に準拠した診断
エラー電流 FDE (Fault Disconnection Electronic)	0 mA

電流出力 0/4～20 mA

4～20 mA

フェールセーフモード	以下から選択： ■ 4～20 mA、NAMUR 推奨 NE 43 に準拠 ■ 4～20 mA、US に準拠 ■ 最小値：3.59 mA ■ 最大値：22.5 mA ■ 設定可能な値範囲：3.59～22.5 mA ■ 実際の値 ■ 最後の有効値
------------	---

0～20 mA

フェールセーフモード	以下から選択： ■ 最大アラーム：22 mA ■ 設定可能な値範囲：0～20.5 mA
------------	--

パルス/周波数/スイッチ出力

パルス出力	
エラーモード	以下から選択 : ■ 実際の値 ■ パルスなし
周波数出力	
エラーモード	以下から選択 : ■ 実際の値 ■ 0 Hz ■ 設定可能な値範囲 : 2~12 500 Hz
スイッチ出力	
エラーモード	以下から選択 : ■ 現在のステータス ■ オープン ■ クローズ

リレー出力

フェールセーフモード	以下から選択 : ■ 現在のステータス ■ オープン ■ クローズ
------------	--

現場表示器

ブレンテキスト表示	原因と対処法に関する情報
バックライト	赤色は機器エラーを示します。

 NAMUR 推奨 NE 107 に準拠するステータス信号

インタフェース/プロトコル

- デジタル通信経由 :
PROFIBUS PA
- サービスインタフェース経由
 - CDI-RJ45 サービスインタフェース
 - WLAN インタフェース

ブレンテキスト表示	原因と対処法に関する情報
-----------	--------------

ウェブブラウザ

ブレンテキスト表示	原因と対処法に関する情報
-----------	--------------

発光ダイオード (LED)

ステータス情報	各種 LED でステータスを示します。 機器バージョンに応じて以下の情報が表示されます。 ■ 電源電圧がアクティブ ■ データ伝送がアクティブ ■ 機器アラーム/エラーが発生  発光ダイオードによる診断情報 → 164
---------	---

ローフローカットオフ ローフローカットオフ値はユーザーが任意に設定可能

電氣的絶縁 出力は、以下から電氣的に絶縁されています。

- 電源から
- 相互に
- 電位平衡 (PE) 端子から

プロトコル固有のデータ

製造者 ID	0x11
識別番号	0x156D
プロファイルバージョン	3.02
DD ファイル (GSD、DTM、DD)	情報およびファイルは以下から入手できます。 ■ https://www.endress.com/download 機器の製品ページ：製品 → 製品ファインダ → 機器のリンク ■ https://www.profibus.com
サポートされる機能	■ 識別およびメンテナンス 制御システムおよび銘板の機器 ID による容易な識別 ■ PROFIBUS アップロード/ダウンロード PROFIBUS アップロード/ダウンロードによりパラメータの読取りと書込みの速度が最大 10 倍に向上 ■ コンデンスステータス 発生した診断メッセージの分類による簡潔でわかりやすい診断情報
機器アドレスの設定	■ I/O 電子モジュール上の DIP スイッチ ■ 現場表示器 ■ 操作ツールを使用 (例：FieldCare)
旧型モデルとの互換性	機器を交換した場合、Promass 300 機器は旧型モデルとのサイクリックデータの互換性をサポートします。PROFIBUS ネットワークのエンジニアリングパラメータを Promass 300 GSD ファイルと調整する必要はありません。 旧型モデル： ■ Promass 80 PROFIBUS PA ■ ID 番号：1528 (16 進) ■ 拡張 GSD ファイル：EH3x1528.gsd ■ 標準 GSD ファイル：EH3_1528.gsd ■ Promass 83 PROFIBUS PA ■ ID 番号：152A (16 進) ■ 拡張 GSD ファイル：EH3x152A.gsd ■ 標準 GSD ファイル：EH3_152A.gsd
システム統合	システム統合に関する情報 → 78 ■ サイクリックデータ伝送 ■ ブロックモデル ■ モジュールの説明

16.5 電源

端子の割当て → 34

使用可能な機器プラグ → 34

使用可能な機器プラグ → 34

電源電圧	オーダーコード 「電源」	端子電圧		周波数範囲
	オプション D	DC 24 V	±20%	–
	オプション E	AC100～240 V	–15...+10%	50/60 Hz
	オプション I	DC 24 V	±20%	–
AC100～240 V		–15...+10%	50/60 Hz	

消費電力	変換器
	最大 10 W（有効電力）
	電源投入時の突入電流：最大 36 A（< 5 ms）、NAMUR 推奨 NE 21 に準拠

消費電流	変換器
	■ 最大 400 mA（24 V） ■ 最大 200 mA（110 V、50/60 Hz；230 V、50/60 Hz）

電源故障時/停電時	■ 積算計は測定された最後の有効値で停止します。 ■ 機器バージョンに応じて、設定は機器メモリまたは取り外し可能なデータメモリ（HistoROM DAT）に保持されます。 ■ エラーメッセージ（総稼働時間を含む）が保存されます。
-----------	--

過電流保護エレメント	機器本体には ON/OFF スイッチがないため、本機器は専用のブレーカと組み合わせて操作する必要があります。 ■ ブレーカは手の届きやすい場所に配置し、適切なラベルを貼付してください。 ■ ブレーカの許容公称電流：2 A、最大 10 A
------------	--

電気接続	→ 図 36
------	--------

電位平衡	→ 図 39
------	--------

端子	スプリング端子：より線およびスリーブ付きより線に最適 導体断面積 0.2～2.5 mm ² (24～12 AWG)
----	---

電線管接続口	■ ケーブルグラウンド：M20 × 1.5 使用ケーブル Ø 6～12 mm (0.24～0.47 in) ■ 電線管接続口用ねじ： ■ NPT ½" ■ G ½" ■ M20 ■ デジタル通信用の機器プラグ：M12
--------	---

ケーブル仕様	→ 図 31
--------	--------

過電圧保護	電源電圧変動	→ 図 247
	過電圧カテゴリー	過電圧カテゴリー II
	短期的、一時的な過電圧	ケーブルと接地間：最大 1200 V（最大 5 秒間）
	長期的、一時的な過電圧	ケーブルと接地間：最大 500 V

16.6 性能特性

基準動作条件

- ISO 11631 に基づくエラーリミット
 - 水
 - +15～+45 °C (+59～+113 °F)
 - 0.2～0.6 MPa (29～87 psi)
 - データは校正プロトコルに示す通り
 - ISO 17025 に準拠した認定校正装置に基づく精度
-  測定誤差を確認するには、Applicator サイジング用ツールを使用してください。
→  236

最大測定誤差

o.r. = 読み値、 $1 \text{ g/cm}^3 = 1 \text{ kg/l}$ 、T = 流体温度

基準精度

 「精度の考え方」参照 →  252

質量流量および体積流量（液体）

- $\pm 0.05 \%$ o.r. (オプション)
- $\pm 0.10 \%$ o.r. (標準)

質量流量（気体）

$\pm 0.25 \%$ o.r.

質量流量（-100 °C (-148 °F) 以下の低温液体および気体）

$\pm 0.35 \%$ o.r. (「計測チューブの材質」のオーダーコード、オプション LA)

密度（液体）

標準密度

- $\pm 0.2 \text{ kg/m}^3$ ($\pm 0.0002 \text{ g/cm}^3$)
- 有効な密度範囲：0～2 000 kg/m^3

プレミアム密度（呼び口径 25A (1")；「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション EI)

- $\pm 0.1 \text{ kg/m}^3$
- 有効な密度範囲：0～3 000 kg/m^3

詳細については、高度な密度機能に関する個別説明書を参照してください。→  269

高精度の密度測定を実施するには、ピッチとロールの角度および圧力補正を設定する必要があります。

高精度の密度測定を行うには、設置に起因する引張応力を回避し、呼び口径内の流速が 0.1 m/s (0.33 ft/s) 以上になるようにしてください。

密度（-100 °C (-148 °F) 以下の低温液体および気体）

$\pm 0.03 \text{ g/cm}^3$ (「計測チューブの材質」のオーダーコード、オプション LA)

温度

$\pm 0.1 \text{ °C} \pm 0.003 \cdot T \text{ °C}$ ($\pm 0.18 \text{ °F} \pm 0.003 \cdot (T - 32) \text{ °F}$)

ゼロ点の安定度

呼び口径		ゼロ点の安定度	
[mm]	[in]	[kg/h]	[lb/min]
25	1	0.36	0.013
50	2	1.3	0.048
80	3	4.4	0.162
100	4	11.5	0.42

流量値

ターンダウンパラメータとしての流量値は呼び口径に依存します。

SI 単位

呼び口径 [mm]	1:1	1:10	1:20	1:50	1:100	1:500
	[kg/h]	[kg/h]	[kg/h]	[kg/h]	[kg/h]	[kg/h]
25	20 000	2 000	1 000	400	200	40
50	80 000	8 000	4 000	1 600	800	160
80	200 000	20 000	10 000	4 000	2 000	400
100	550 000	55 000	27 500	11 000	5 500	1 100

US 単位

呼び口径 [inch]	1:1	1:10	1:20	1:50	1:100	1:500
	[lb/min]	[lb/min]	[lb/min]	[lb/min]	[lb/min]	[lb/min]
1	735	73	37	15	7	1
2	2939	294	147	59	29	6
3	7349	735	367	147	73	15
4	20209	2021	1010	404	202	40

出力の精度

出力の基準精度は、以下の通りです。

電流出力

精度	±5 µA
----	-------

パルス/周波数出力

o.r. = 読み値

精度	最高 ±50 ppm o.r. (全周囲温度範囲に対して)
----	-------------------------------

繰返し性

o.r. = 読み値 ; 1 g/cm³ = 1 kg/l、T = 流体温度

基準の繰返し性

 「精度の考え方」参照 → 252

質量流量および体積流量（液体）

±0.025 % o.r.

質量流量（気体）

±0.20 % o.r.

質量流量（-100 °C (-148 °F) 以下の低温液体および気体）

±0.175 % o.r.（「計測チューブの材質」のオーダーコード、オプション LA）

密度（液体）

- ±0.1 kg/m³ / ±0.0001 g/cm³
- 高精度密度：±0.02 kg/m³ / ±0.00002 g/cm³

密度（-100 °C (-148 °F) 以下の低温液体および気体）

±0.015 g/cm³（「計測チューブの材質」のオーダーコード、オプション LA）

温度

±0.05 °C ± 0.0025 · T °C (±0.09 °F ± 0.0015 · (T-32) °F)

応答時間	応答時間は設定に応じて異なります（ダンピング）。
------	--------------------------

周囲温度の影響	電流出力
---------	------

温度係数	最大 1 µA/°C
------	------------

パルス/周波数出力

温度係数	付加的影響はありません。精度に含まれます。
------	-----------------------

測定物温度の影響	質量流量
----------	------

o.f.s. = 対フルスケール値

ゼロ調整時の温度とプロセス温度に差異がある場合、センサに付加される標準的な測定誤差は次のようになります。

呼び口径 25A (1") : ±0.0001 % o.f.s./°C (±0.00005 % o.f.s./°F)

呼び口径 50～250 (2～10 ") mm : ±0.00015 % o.f.s./°C (±0.000075 % o.f.s./°F)

プロセス温度でゼロ調整を実施すると、この影響は減少します。

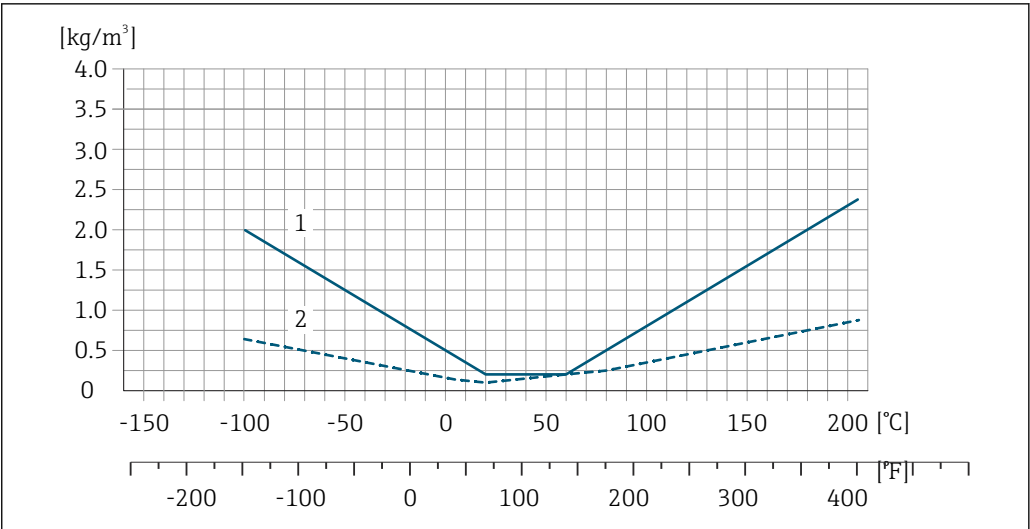
密度

密度校正温度とプロセス温度に差異がある場合、センサの標準的な測定誤差は ±0.015 kg/m³/°C (±0.0075 kg/m³/°F) となります（+20～+60 °C (+68～+140 °F) の範囲外の場合）。

プレミアム密度（「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション EI）

基準温度 20°C とプロセス温度に差異がある場合、センサに付加される標準的な最大測定誤差は温度校正範囲内で ±0.0025 kg/m³/°C (±0.00139 kg/m³/°F) となります。

校正温度範囲外では、プロセス温度の標準的な影響は ±0.005 kg/m³/°C (±0.00278 kg/m³/°F) となります。



A0046818

- 1 標準密度
- 2 高精度密度

温度

$$\pm 0.005 \cdot T \text{ }^{\circ}\text{C} (\pm 0.005 \cdot (T - 32) \text{ }^{\circ}\text{F})$$

プロセス圧力の影響

以下は、プロセス圧力（ゲージ圧）が質量流量および密度の精度に与える影響を示しています。

o.r. = 読み値



以下により、影響を補正することが可能です。

- 電流入力またはデジタル入力を介して現在の圧力測定値を読み込む
- 機器パラメータで圧力の固定値を設定する



取扱説明書。

質量流量

呼び口径		[% o.r./bar] ±0.0005	[% o.r./psi] ±0.00003
[mm]	[in]		
25	1	-0.0040	-0.000276
50	2	-0.0025	-0.000172
80	3	-0.0050	-0.000345
100	4	-0.0040	-0.000276

密度

呼び口径		[% o.r./bar] ±0.0006 ±0.0003 ¹⁾	[% o.r./psi] ±0.00004 ±0.00002 ¹⁾
[mm]	[in]		
25	1	-0.0029	-0.000200
50	2	-0.0034	-0.000234

呼び口径		[% o.r./bar] ±0.0006 ±0.0003 ¹⁾	[% o.r./psi] ±0.00004 ±0.00002 ¹⁾
[mm]	[in]		
80	3	-0.0024	-0.000166
100	4	-0.0006	-0.000041

1) 高精度密度

 プロセス圧力の影響の値は、水の密度に基づいています。

精度の考え方

o.r. = 読み値、o.f.s. = 対フルスケール値
BaseAccu = 基準精度 (% o.r.)、BaseRepeat = 基準の繰返し性 (% o.r.)
MeasValue = 測定値 ; ZeroPoint = ゼロ点の安定度

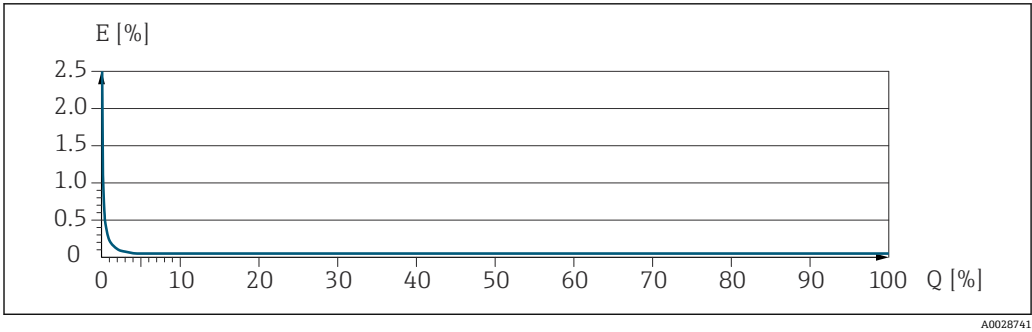
流量に応じた最大測定誤差の計算

流量	最大測定誤差 (%) o.r.
$\geq \frac{\text{ZeroPoint}}{\text{BaseAccu}} \cdot 100$ A0021332	$\pm \text{BaseAccu}$ A0021339
$< \frac{\text{ZeroPoint}}{\text{BaseAccu}} \cdot 100$ A0021333	$\pm \frac{\text{ZeroPoint}}{\text{MeasValue}} \cdot 100$ A0021334

流量に応じた最大繰返し性の計算

流量	最大繰返し性 (% o.r.)
$\geq \frac{1}{2} \cdot \frac{\text{ZeroPoint}}{\text{BaseRepeat}} \cdot 100$ A0021335	$\pm \text{BaseRepeat}$ A0021340
$< \frac{1}{2} \cdot \frac{\text{ZeroPoint}}{\text{BaseRepeat}} \cdot 100$ A0021336	$\pm \frac{1}{2} \cdot \frac{\text{ZeroPoint}}{\text{MeasValue}} \cdot 100$ A0021337

最大測定誤差の例



E 最大測定誤差 (% o.r.) (プレミアム校正の例)
Q 最大測定範囲の流量 (%)

16.7 取付け

16.8 環境

周囲温度範囲 → 22

温度テーブル



危険場所で本機器を使用する場合は、許容される周囲温度と流体温度の間の相互依存性に注意してください。



温度表の詳細については、別冊の機器の「安全上の注意事項」(XA) を参照してください。

保管温度

気候クラス

DIN EN 60068-2-38 (試験 Z/AD)

相対湿度

本機器は、相対湿度 4～95 % での屋外/屋内使用に適しています。

使用高さ

EN 61010-1 に準拠

- ≤ 2 000 m (6 562 ft)
- > 2 000 m (6 562 ft)、追加の過電圧保護がある場合（例：Endress+Hauser HAW シリーズ）

保護等級

変換器

- IP66/67、Type 4X エンクロージャ、汚染度 4 に適合
- ハウジングが開いている場合：IP20、Type 1 エンクロージャ、汚染度 2 に適合
- 表示モジュール：IP20、Type 1 エンクロージャ、汚染度 2 に適合

オプション

呼び口径 25～100 mm：「センサオプション」のオーダーコード、オプション CM「IP69」

外部の WLAN アンテナ

IP67

耐衝撃振動性

正弦波振動、IEC 60068-2-6 に準拠

- 2～8.4 Hz、3.5 mm ピーク
- 8.4～2 000 Hz、1 g ピーク

広帯域不規則振動、IEC 60068-2-64 に準拠

- 10～200 Hz, 0.003 g²/Hz
- 200～2 000 Hz, 0.001 g²/Hz
- 合計：1.54 g rms

正弦半波衝撃、IEC 60068-2-27 に準拠

6 ms 30 g

乱暴な取扱いによる衝撃、IEC 60068-2-31 に準拠

内部洗浄

- CIP 洗浄
- SIP 洗浄

オプション

- 接液部のオイル/グリースフリーバージョン、適合宣言なし
「サービス」のオーダーコード、オプション HA³⁾
- IEC/TR 60877-2.0 および BOC 50000810-4 に準拠する接液部のオイル/グリースフリーバージョン、適合宣言付き
「サービス」のオーダーコード、オプション HB³⁾

機械的負荷	変換器ハウジング： ■ 衝撃や衝突などの機械的な影響から保護してください。 ■ 踏み台や足場として使用しないでください。
電磁適合性（EMC）	■ IEC/EN 61326 および NAMUR 推奨 21（NE 21）に準拠 ■ IEC/EN 61000-6-2 および IEC/EN 61000-6-4 に準拠  詳細については、適合宣言を参照してください。  本機器は、居住環境での使用向けではないため、居住環境での無線受信に対する適切な保護を保証することはできません。

16.9 プロセス

流体温度範囲

標準バージョン	-50～+205 °C (-58～+401 °F)	「計測チューブの材質、接液部表面」のオーダーコード、オプション SA、SB
低温バージョン	-196～+150 °C (-320～+302 °F) 注記 過度な温度差により材料疲労が発生します。 ▶ 使用される測定物の最大温度差：300 K	「計測チューブの材質、接液部表面」のオーダーコード、オプション LA

P-T レイティング	 プロセス接続の P-T レイティングの概要については、技術仕様書を参照してください。
------------	---

センサハウジング	センサハウジングにはヘリウムが充填されており、内部の電子部品や機械部品が保護されます。  計測チューブが故障した場合（例：腐食性または研磨性のある流体などのプロセス特性に起因）、流体は最初にセンサハウジングに溜まります。 計測チューブが故障した場合、センサハウジング内の圧力レベルは使用プロセス圧力に依じて上昇します。センサハウジングの破裂圧力では十分な安全マージンを確保できないとユーザーが判断した場合は、機器に破裂板を取り付けることが可能です。これにより、センサハウジング内が過度に高圧になることを防止できます。そのため、気体圧力が高くなるアプリケーションや、特に、プロセス圧力がセンサハウジング破裂圧力の 2/3 より大きくなるアプリケーションでは、破裂板の使用が強く推奨されます。 漏れた測定物を排出機器に排出する必要がある場合は、センサに破裂板を取り付けなければなりません。排出部を追加のネジ込み接続に接続します。
----------	---

3) 洗浄は、計測機器のみの洗浄であり、付属のアクセサリは洗浄されません。

センサをガスでパージする必要がある場合は（ガス検出）、パージ接続を取り付けなければなりません。

 センサハウジングに不活性ガスを充填するとき以外は、パージ接続を開けないようにしてください。パージには、ヘリウムを低圧で使用することを推奨します。

最大圧力：0.05 MPa (7.3 psi)

センサハウジング破裂圧力

以下のセンサハウジングの破裂圧力は、標準機器および/または密閉されたパージ接続付きの機器（開けていない/納品時の状態）にのみ適用されます。

パージ接続付きの機器（「センサオプション」のオーダーコード、オプション CH「パージ接続」）をパージシステムに接続した場合、パージシステム自体または機器のうち、圧力区分が低い方のコンポーネントに応じて、最大圧力は決まります。

破裂板付きの機器（「センサオプション」のオーダーコード、オプション CA「破裂板」）の場合、破裂板の破裂圧力が重要になります。

センサハウジングの破裂圧力は、センサハウジングが機械的に故障する前に到達する標準的な内圧に相当し、これは型式試験中に確認されます。対応する型式試験適合宣言は、機器と一緒に注文できます（「追加認証」のオーダーコード、オプション LN「センサハウジング破裂圧力、型式試験」）。

呼び口径		センサハウジング破裂圧力	
[mm]	[in]	[bar]	[psi]
25	1	220	3 191
50	2	160	2 320
80	3	150	2 175
100	4	120	1 740

 寸法については、技術仕様書の「構造」セクションを参照してください。

破裂板

安全レベルを高めるために、破裂圧力が 1~1.5 MPa (145~217.5 psi) の破裂板を装備した機器バージョンを使用できます（「センサオプション」のオーダーコード、オプション「破裂板」）。

 破裂板の寸法については、技術仕様書の「構造」セクションを参照してください。

流量制限

最も適したセンサ呼び口径は、測定範囲と許容圧力損失を考慮して選択してください。

 測定範囲のフルスケール値の概要については、「測定範囲」セクションを参照してください。→ 239

- 推奨最小フルスケール値は、最大測定範囲の約 1/20 です。
- ほとんどのアプリケーションにおいて、最大測定範囲の 20~50 % の間が最適な測定範囲となります。
- 研磨性のある測定物（固形分が混入した液体など）の場合は、低いフルスケール値を選択する必要があります。流速 < 1 m/s (< 3 ft/s)

 流量制限を計算するには、Applicator サイジング用ツールを使用してください。→ 236

圧力損失

 圧力損失を計算するには、Applicator サイジング用ツールを使用してください。→ 236

使用圧力 → 22

16.10 構造

外形寸法  機器の外形寸法および取付寸法については、技術仕様書の「構造」セクションを参照してください。

質量

すべての値（梱包材を含まない質量）は、EN/DIN PN 40 フランジ付き機器の値です。「ハウジング」のオーダーコード、オプション A「アルミニウム、コーティング」に準拠する変換器を含む質量仕様。

変換器バージョンに応じて異なる値：

- 危険場所用の変換器バージョン
（「ハウジング」のオーダーコード、オプション A「アルミニウム、コーティング」、Ex d）：+2 kg (+4.4 lbs)
- 鋳造変換器バージョン、ステンレス
（「ハウジング」のオーダーコード、オプション L「鋳物、ステンレス」）：+6 kg (+13 lbs)
- サニタリ場所用の変換器バージョン
（「ハウジング」のオーダーコード、オプション B「ステンレス、サニタリ」）：+0.2 kg (+0.44 lbs)

質量（SI 単位）

呼び口径 [mm]	質量 [kg]
25	11
50	33
80	60
100	149

質量（US 単位）

呼び口径 [in]	質量 [lbs]
1	24
2	73
3	132
4	329

材質

変換器ハウジング

「ハウジング」のオーダーコード：

- オプション A「アルミニウム、コーティング」：アルミニウム、AlSi10Mg、コーティング
- オプション B「ステンレス、サニタリ」：ステンレス 1.4404 (SUS 316L 相当)
- オプション L「鋳造、ステンレス」：鋳造、ステンレス 1.4409 (CF3M)、SUS 316L 相当

ウィンドウ材質

「ハウジング」のオーダーコード：

- オプション **A** 「アルミニウム、コーティング」：ガラス
- オプション **B** 「ステンレス、サニタリ」：ポリカーボネート
- オプション **L** 「鋳造、ステンレス」：ガラス

シール

「ハウジング」のオーダーコード：

オプション **B** 「ステンレス、サニタリ」：EPDM およびシリコン

電線管接続口/ケーブルグランド**「ハウジング」のオーダーコード、オプション A 「アルミニウム、コーティング」**

各種の電線管接続口は危険場所および非危険場所用に適しています。

電線管接続口/ケーブルグランド	材質
コンプレッションフィッティング M20 × 1.5	非防爆：プラスチック
	Z2、D2、Ex d/de：真ちゅうおよびプラスチック
電線管接続口用アダプタ（雌ねじ G ½"）	ニッケルメッキ真ちゅう
電線管接続口用アダプタ（雌ねじ NPT ½"）	

「ハウジング」のオーダーコード、オプション B 「ステンレス、サニタリ」

各種の電線管接続口は危険場所および非危険場所用に適しています。

電線管接続口/ケーブルグランド	材質
ケーブルグランド M20 × 1.5	プラスチック
電線管接続口用アダプタ（雌ねじ G ½"）	ニッケルメッキ真ちゅう
電線管接続口用アダプタ（雌ねじ NPT ½"）	

「ハウジング」のオーダーコード、オプション L 「鋳造、ステンレス」

各種の電線管接続口は危険場所および非危険場所用に適しています。

電線管接続口/ケーブルグランド	材質
ケーブルグランド M20 × 1.5	ステンレス 1.4404（SUS 316L 相当）
電線管接続口用アダプタ（雌ねじ G ½"）	
電線管接続口用アダプタ（雌ねじ NPT ½"）	

機器プラグ

電気接続	材質
プラグ M12x1	■ ソケット：ステンレス 1.4404（SUS 316L 相当） ■ コンタクトハウジング：ポリアミド ■ コンタクト：金メッキ真ちゅう

センサハウジング

- 耐酸、耐アルカリの表面
- ステンレス 1.4404（SUS 316L 相当）

計測チューブ

ステンレス 1.4404 (SUS 316 または 316L 相当) ; マニホールド : ステンレス 1.4404 (SUS 316 または 316L 相当)

プロセス接続

EN 1092-1 (DIN 2501) / ASME B16.5 / JIS B2220 準拠のフランジ接続 :
ステンレス 1.4404 (SUS F316 または F316L 相当)

 使用可能なプロセス接続 →  258

シール

溶接されているプロセス接続は内部シール材不使用

アクセサリ

保護カバー

ステンレス 1.4404 (SUS 316L 相当)

外部の WLAN アンテナ

- アンテナ : ASA プラスチック (アクリロニトリルスチレンアクリレート) およびニッケルめっき真鍮
- アダプタ : ステンレスおよびニッケルめっき真鍮
- ケーブル : ポリエチレン
- プラグ : ニッケルめっき真鍮
- アングルブラケット : ステンレス

プロセス接続

固定フランジ接続 :

- EN 1092-1 (DIN 2501) フランジ
- EN 1092-1 (DIN 2512N) フランジ
- ASME B16.5 フランジ
- JIS B2220 フランジ

 プロセス接続の材質 →  258

表面粗さ

すべて接液部のデータです。

以下の表面粗さカテゴリを注文できます。

カテゴリ	方式	オプションオーダーコード 「計測チューブ材質、接液部表面」
研磨なし	-	SA、LA
Ra ≤ 0.76 µm (30 µin) ¹⁾	機械研磨 ²⁾	SB
Ra ≤ 0.76 µm (30 µin) ¹⁾	機械研磨 ²⁾ 、溶接部分は溶接したままの状態	SJ

1) ISO 21920 準拠の Ra
2) 配管とマニホールドの間のアクセスできない溶接部分を除く

16.11 操作性

言語

以下の言語で操作できます。

- 現場操作を経由
英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、オランダ語、ポルトガル語、ポーランド語、ロシア語、トルコ語、中国語、日本語、韓国語、ベトナム語、チェコ語、スウェーデン語
- ウェブブラウザを経由
英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、オランダ語、ポルトガル語、ポーランド語、ロシア語、トルコ語、中国語、日本語、ベトナム語、チェコ語、スウェーデン語
- 「FieldCare」、「DeviceCare」操作ツールを経由：英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、中国語、日本語

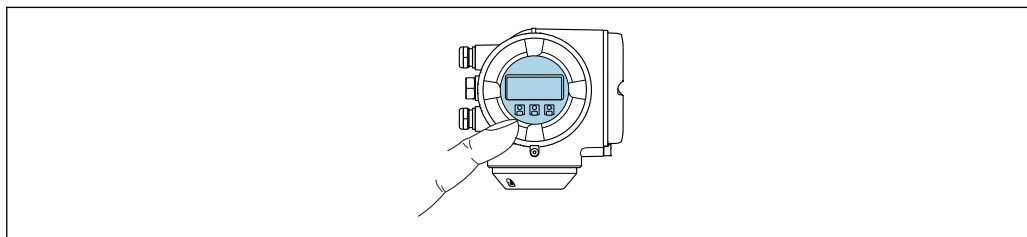
現場操作

表示モジュール経由

機能：

- 「ディスプレイ；操作」のオーダーコード、オプション F 「4 行表示、バックライト、グラフィック表示；タッチコントロール」
- 「ディスプレイ；操作」のオーダーコード、オプション G 「4 行表示、バックライト、グラフィック表示；タッチコントロール + WLAN」

 WLAN インタフェースに関する情報 →  68



A0026785

 36 タッチコントロールによる操作

表示部

- 4 行表示、バックライト、グラフィック表示
- 白色バックライト；機器エラー発生時は赤に変化
- 測定変数およびステータス変数の表示形式は個別に設定可能

操作部

- ハウジングを開けずにタッチコントロール（3 つの光学式キー）による外部操作：
、、
- 危険場所の各種区域でも操作部にアクセス可能

リモートディスプレイと操作モジュール DKX001 を使用

-  リモートディスプレイと操作モジュール DKX001 がオプションとして用意されています。→ 図 235..
- 分離ディスプレイと操作モジュール DKX001 は、次のハウジングの種類でのみ使用可能：「ハウジング」のオーダーコード：
 - オプション A「アルミニウム、コーティング」
 - オプション L「鋳物、ステンレス」
 - リモートディスプレイと操作モジュール DKX001 を機器と同時に注文する場合、機器は必ずダミーカバー付きで納入されます。この場合は、変換器での表示または操作はできません。
 - 後から注文した場合、リモートディスプレイと操作モジュール DKX001 は、既存の機器表示モジュールと同時に接続することはできません。1 つのディスプレイまたは操作ユニットしか同時に変換器に接続できません。

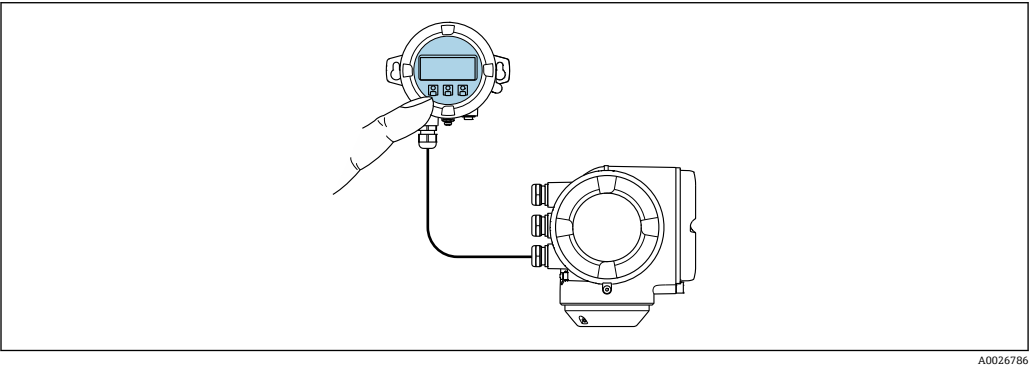


図 37 リモートディスプレイと操作モジュール DKX001 を使用した操作

表示部および操作部

表示部と操作部は、表示モジュールの表示部および操作部と同じです → 図 259。

ハウジング材質：

ディスプレイと操作モジュール DKX001 のハウジング材質は、変換器ハウジング材質の選択に応じて異なります。

変換器ハウジング		リモートディスプレイと操作モジュール
「ハウジング」のオーダーコード	材質	材質
オプション A「アルミダイカスト、塗装」	AlSi10Mg、塗装	AlSi10Mg、塗装
オプション L「鋳造、ステンレス」	鋳造ステンレス 1.4409 (CF3M)、SUS 316L 相当	1.4409 (CF3M)

電線口

変換器ハウジングの選択、「電気接続」のオーダーコードに対応します。

接続ケーブル

→ 図 32

寸法

-  寸法に関する情報：
技術仕様書の「構造」セクションを参照してください。

サービスインターフェイス → 図 67

サポートされる操作ツール 現場または遠隔で機器にアクセスするために、各種の操作ツールを使用できます。使用する操作ツールに応じて、さまざまな操作部を使用し、多様なインターフェイスを介してアクセスすることが可能です。

サポートされる操作ツール	操作ユニット	インタフェース	追加情報
ウェブブラウザ	ウェブブラウザ搭載のノートパソコン、PC、またはタブレット端末	■ CDI-RJ45 サービスインタフェース ■ WLAN インタフェース	機器の個別説明書 → 図 269
DeviceCare SFE100	Microsoft Windows システム搭載のノートパソコン、PC、またはタブレット端末	■ CDI-RJ45 サービスインタフェース ■ WLAN インタフェース ■ フィールドバスプロトコル	→ 図 236
FieldCare SFE500	Microsoft Windows システム搭載のノートパソコン、PC、またはタブレット端末	■ CDI-RJ45 サービスインタフェース ■ WLAN インタフェース ■ フィールドバスプロトコル	→ 図 236
Field Xpert	SMT70/77/50	■ すべてのフィールドバスプロトコル ■ WLAN インタフェース ■ Bluetooth ■ CDI-RJ45 サービスインタフェース	取扱説明書 BA01202S DD ファイル： ハンドヘルドターミナルの更新機能を使用
SmartBlue アプリ	iOS または Android 搭載スマートフォンまたはタブレット端末	WLAN	→ 図 236

 DTM/iDTM または DD/EDD などのデバイスドライバを備えた、FDT 技術に基づく他の操作ツールを使用して機器を操作できます。これらの操作ツールは、各メーカーから入手可能です。特に、以下の操作ツールへの統合がサポートされます。

- Rockwell Automation 製 FactoryTalk AssetCentre (FTAC) → www.rockwellautomation.com
- Siemens 製 Process Device Manager (PDM) → www.siemens.com
- Honeywell 製 Field Device Manager (FDM) → www.process.honeywell.com
- Yokogawa 製 FieldMate → www.yokogawa.com
- PACTWare → www.pactware.com

関連する DD ファイルは次から入手可能：www.endress.com → ダウンロードエリア

Web サーバー

Web サーバーが内蔵されているため、ウェブブラウザサービスインタフェース (CDI-RJ45) または WLAN インタフェースを介して機器の操作および設定を行うことが可能です。操作メニューの構造は現場表示器と同じです。測定値に加え、機器のステータス情報も表示されるため、機器の状態を監視するために使用できます。また、機器データの管理およびネットワークパラメータの設定が可能です。

WLAN 接続の場合は WLAN インタフェース (オプションとして注文可能) 付きの機器が必要：「ディスプレイ；操作」のオーダーコード、オプション G「4 行表示、バックライト；タッチコントロール + WLAN」。機器はアクセスポイントとして機能し、コンピュータまたは携帯型ハンドヘルドターミナルによる通信を可能にします。

- サポートされる機能
操作ユニット（たとえば、ノートパソコンなど）と計測機器間のデータ交換：
- 計測機器からの設定のアップロード（XML 形式、設定のバックアップ）
 - 計測機器への設定の保存（XML 形式、設定の復元）
 - イベントリストのエクスポート（.csv ファイル）
 - パラメータ設定のエクスポート（.csv ファイルまたは PDF ファイル、測定点設定の記録）
 - Heartbeat Technology 検証レポートのエクスポート（PDF ファイル、**Heartbeat Verification** → 266 アプリケーションパッケージの場合のみ使用可能）
 - たとえば、機器ファームウェアアップグレードのためのファームウェアバージョンの更新
 - システム統合用のドライバのダウンロード
 - 保存された測定値の表示（最大 1000 個）（**拡張 HistoROM** アプリケーションパッケージの場合のみ使用可能 → 266）

HistoROM データ管理

機器には HistoROM データ管理機能があります。HistoROM データ管理には、重要な機器データおよびプロセスデータの保存とインポート/エクスポートの両方の機能があり、操作やサービス作業の信頼性、安全性、効率が大幅に向上します。

 機器の納入時には、設定データの工場設定は機器メモリにバックアップとして保存されています。このメモリは、たとえば、設定後に最新のデータ記録を使用して上書きできます。

データの保存コンセプトに関する追加情報

各種タイプのデータ記憶装置があります。これに機器データを保存して、機器で使うことが可能です。

	HistoROM バックアップ	T-DAT	S-DAT
使用可能なデータ	■ イベントログブック（例：診断イベント） ■ パラメータ記録データバックアップ ■ 機器ファームウェアパッケージ ■ Web サーバー経由でエクスポートするためのシステム統合用ドライバ。例：GSD、PROFIBUS PA 用	■ 測定値記録（「拡張 HistoROM」注文オプション） ■ 現在のパラメータ記録データ（実行時にファームウェアが使用） ■ 表示（最小値/最大値） ■ 積算計の値	■ センサデータ（例：呼び口径） ■ シリアル番号 ■ 校正データ ■ 機器設定（例：SW オプション、固定 I/O またはマルチ I/O）
保存場所	端子部のユーザーインタフェース PC ボードに固定	端子部のユーザーインタフェース PC ボードに接続可能	変換器ネック部分のセンサプラグ内

データバックアップ

- 自動**
- 最も重要な機器データ（センサおよび変換器）は自動的に DAT モジュールに保存されます。
 - 変換器または機器を交換した場合：以前の機器データが保存された T-DAT を交換した場合、新しい機器はエラーなしで再び直ちに操作できる状態になります。
 - 電子モジュール（例：I/O 電子モジュール）を交換した場合：電子モジュールを交換すると、モジュールのソフトウェアと現在の機器ファームウェアが比較されます。必要に応じて、モジュールソフトウェアはアップデートまたはダウングレードされます。その後、電子モジュールは直ちに使用することが可能であり、互換性の問題は発生しません。
- 手動**
- 以下のための、統合された機器メモリ HistoROM バックアップの追加のパラメータ記録データ（パラメータ設定一式）：
- データバックアップ機能
機器メモリ HistoROM バックアップの機器設定のバックアップおよびその後の復元
 - データ比較機能
現在の機器設定と機器メモリ HistoROM バックアップに保存された機器設定の比較

データ伝送

手動

- 特定の操作ツール（例：FieldCare、DeviceCare、または Web サーバー）のエクスポート機能を使用して機器設定を別の機器に伝送：設定の複製またはアーカイブに保存するため（例：バックアップ目的）
- Web サーバーを介したシステム統合用ドライバの伝送。例：
GSD、PROFIBUS PA 用

イベントリスト

自動

- イベントリストのイベントメッセージ（最大 20 件）の時系列表示
- 拡張 **HistoROM** アプリケーションパッケージ（注文オプション）が有効な場合：最大 100 件のイベントメッセージがタイムスタンプ、プレーンテキスト説明、対処法とともにイベントリストに表示されます。
- イベントリストは各種のインターフェイスや操作ツール（例：DeviceCare、FieldCare、または Web サーバー）を介してエクスポートして表示することが可能です。

データのログ

手動

拡張 **HistoROM** アプリケーションパッケージ（注文オプション）が有効な場合：

- 1～4 チャンネルまで最大 1000 個の測定値を記録（各チャンネルの測定値は最大 250 個）
- ユーザー設定可能な記録間隔
- 各種のインターフェイスや操作ツール（例：FieldCare、DeviceCare、または Web サーバー）を介して測定値ログのエクスポート

16.12 合格証と認証

本製品に対する最新の認証と認定は、www.endress.com の関連する製品ページから入手できます。

1. フィルタおよび検索フィールドを使用して製品を選択します。
2. 製品ページを開きます。
3. 「ダウンロード」を選択します。

CE マーク

本機器は、適用される EU 指令の法的要件を満たしています。これらの要求事項は、適用される規格とともに EU 適合宣言に明記されています。

Endress+Hauser は本製品が試験に合格したことを、CE マークの貼付により保証いたします。

UKCA マーク

本機器は、適用される UK 規制（英国規則）の法的要件を満たします。これらの要求事項は、指定された規格とともに UKCA 適合宣言に明記されています。UKCA マークの注文オプションが選択されている場合、Endress+Hauser は機器に UKCA マークを貼付することにより、本機器が評価と試験に合格したことを保証します。

連絡先 Endress+Hauser 英国：

Endress+Hauser Ltd.
Floats Road
Manchester M23 9NF
英国
www.uk.endress.com

RCM マーク	本計測システムは、「Australian Communications and Media Authority (ACMA)」の EMC 要件を満たしています。
サニタリ適合性	■ 3-A 認証 ■ 「追加認証」のオーダーコード、オプション LP「3A」の計測機器のみ 3-A 認証を取得しています。 ■ 3-A 認証は計測機器に対する認証です。 ■ 計測機器を設置する場合、液体が計測機器の外側に集まらないようにしてください。 分離型表示モジュールは、3-A 規格に準拠して設置する必要があります。 ■ アクセサリ（スチームジャケット、日除けカバー、壁取付ホルダなど）は、3-A 規格に準拠して設置する必要があります。 各アクセサリは洗浄することができます。一部の環境では、分解が必要な場合があります。 ■ EHEDG テスト合格 「追加認証」のオーダーコード、オプション LT「EHEDG」の機器のみテストが実施され、EHEDG の要件を満たしています。 EHEDG 認証の要件を満たすためには、「Easy cleanable Pipe couplings and Process connections（洗浄性の高い配管継手およびプロセス接続）」(www.ehedg.org) と題された EHEDG ガイドラインに準拠するプロセス接続と組み合わせて機器を使用する必要があります。 EHEDG 認証の要件を満たすためには、排水性を確保できる位置に機器を設置する必要があります。 ■ FDA ■ 食品接触材規則 (EC) 1935/2004  特別な設置方法に従ってください。
認定 PROFIBUS 適合	PROFIBUS インターフェイス 本機器は、PNO (PROFIBUS Nutzerorganisation e.V./PROFIBUS User Organization) の認定と登録を受けています。計測システムは、以下のすべての仕様要件を満たしています。 ■ PA Profile 3.02 認証取得 ■ 本機器は、認証を取得した他メーカーの機器と組み合わせて動作させることもできます（相互運用性）。
欧州圧力機器指令	■ a) PED/G1/x (x = カテゴリー) または b) PESR/G1/x (x = カテゴリー) 上記マークがセンサ銘板に付いている場合、Endress+Hauser は以下に記載されている「必須安全要求事項」に適合していることを承認します。 a) 欧州圧力機器指令 2014/68/EU 付録 I、または b) 行政委任立法 (Statutory Instruments) 2016 No. 1105 付則 2 ■ PED または PESR マークがない機器は、「SEP (Sound Engineering Practice)」に従って設計・製造されています。この機器は、以下の要件を満たしています。 a) 欧州圧力機器指令 2014/68/EU 第 4 章 3 項、または b) 行政委任立法 (Statutory Instruments) 2016 No. 1105 第 8 項パート 1 用途範囲は、以下に記載されています。 a) 欧州圧力機器指令 2014/68/EU 付録 II の図 6～9、または b) 行政委任立法 (Statutory Instruments) 2016 No. 1105 第 2 項付則 3
無線認証	本機器は無線認証を取得しています。  無線認証の詳細については、個別説明書を参照してください。→ 269

その他の認定

CRN 認定

一部の機器バージョンは CRN 認定を取得しています。CRN 認定機器の場合は、CSA 認定を受けた CRN 認定プロセス接続部を注文する必要があります。

試験および証明書

- ISO 23277 ZG2x (PT) + ISO 10675-1 ZG1 (RT) 計測配管 (PT) + プロセス接続 (RT) 溶接シーム、Heartbeat Technology 検証レポート
- 浸透探傷検査 + 放射線検査 ASME B31.3 NFS (RT)、計測配管 (PT) + プロセス接続 (RT) 溶接シーム、Heartbeat Technology 検証レポート
- 浸透探傷検査 + 放射線検査 ASME VIII Div.1 (RT) 計測配管 (PT) + プロセス接続 (RT) 溶接シーム、Heartbeat Technology 検証レポート
- 目視検査 + 浸透探傷検査 + 放射線検査 NORSOK M-601 (RT) 計測配管 (VT+PT) + プロセス接続 (VT+RT) 溶接シーム、Heartbeat Technology 検証レポート
- ISO 23277 ZG2x (PT) + ISO 10675-1 ZG1 (DR) 計測配管 (PT) + プロセス接続 (DR) 溶接シーム、Heartbeat Technology 検証レポート
- 浸透探傷検査 + 放射線検査 ASME B31.3 NFS (DR)、計測配管 (PT) + プロセス接続 (DR) 溶接シーム、Heartbeat Technology 検証レポート
- 浸透探傷検査 + 放射線検査 ASME VIII Div.1 (DR) 計測配管 (PT) + プロセス接続 (DR) 溶接シーム、Heartbeat Technology 検証レポート
- 目視検査 + 浸透探傷検査 + 放射線検査 NORSOK M-601 (DR) 計測配管 (VT+PT) + プロセス接続 (VT+DR) 溶接シーム、Heartbeat Technology 検証レポート

溶接接続の試験

オプション	テスト基準				コンポーネント	
	ISO 23277 AL2x (PT) ISO 10675-1 AL1 (RT, DR)	ASME B31.3 NFS	ASME VIII Div.1 Appx. 4+8	NORSOK M -601	計測配管	プロセス接続
KF	x				PT	RT
KK		x			PT	RT
KP			x		PT	RT
KR				x	VT, PT	VT, RT
K1	x				PT	DR
K2		x			PT	DR
K3			x		PT	DR
K4				x	VT, PT	VT, DR
PT = 浸透探傷検査、RT = 放射線検査、VT = 目視検査、DR = デジタル X 線撮影法 すべてのオプションは試験報告書付き						

外部の基準およびガイドライン

- EN 60529
ハウジング保護等級 (IP コード)
- IEC/EN 60068-2-6
環境影響：試験手順 - 試験 Fc：振動（正弦波）
- IEC/EN 60068-2-31
環境影響：試験手順 - 試験 Ec：乱暴な取扱いによる衝撃、主に機器用
- EN 61010-1
測定、制御、実験用電気機器の安全要件 - 一般要求事項
- EN 61326-1/-2-3
測定、制御、実験用電気機器の EMC 要件
- NAMUR NE 21
工業用プロセスおよび試験機器の電磁適合性 (EMC)
- NAMUR NE 32
マイクロプロセッサ付きフィールド機器および制御機器の電源異常時のデータ保持

- NAMUR NE 43
アナログ出力信号を有するデジタル変換器の故障情報信号レベルの標準化
- NAMUR NE 53
デジタル電子部品を備えたフィールド機器と信号処理機器のソフトウェア
- NAMUR NE 80
プロセス制御機器に関する欧州圧力機器指令の適用
- NAMUR NE 105
フィールド機器用エンジニアリングツールにフィールドバス機器を統合するための仕様
- NAMUR NE 107
フィールド機器の自己監視および診断
- NAMUR NE 131
標準アプリケーション用フィールド機器の要件
- NAMUR NE 132
コリオリ質量流量計
- ETSI EN 300 328
2.4 GHz 帯の無線機器用ガイドライン
- EN 301489
電磁適合性および無線スペクトル事項 (ERM)

16.13 アプリケーションパッケージ

機器の機能を拡張するために、各種のアプリケーションパッケージが用意されています。これらのパッケージは、安全面や特定のアプリケーション要件を満たすのに必要とされます。

アプリケーションパッケージは、Endress+Hauser 社に機器と一緒に注文するか、または後から追加注文できます。オーダーコードに関する詳細は、お近くの弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせいただくか、弊社ウェブサイトの製品ページをご覧ください：www.endress.com。

 アプリケーションパッケージの詳細情報：
個別説明書 → 269

診断機能

「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション EA「拡張 HistoROM」イベントログおよび測定値メモリのアクティベーションに関する拡張機能が含まれます。

イベントログ：

メッセージ数 20（標準バージョン）から 100 にメモリ容量が増えます。

データロギング（ラインレコーダ）：

- 最大 1000 個の測定値までのメモリ容量を有効化。
- 4 つあるメモリチャンネルのそれぞれから、250 個の測定値を出力可能。記録間隔は、ユーザーが定義/設定できます。
- 現場表示器または操作ツール（例：FieldCare、DeviceCare、または Web サーバー）を介して測定値ログにアクセスできます。

 詳細については、機器の取扱説明書を参照してください。

Heartbeat Technology

「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション EB「Heartbeat Verification + Monitoring」

Heartbeat Verification

DIN ISO 9001: 2008、7.6 a) 章「監視および測定機器の制御」に準拠する、トレーサビリティが確保された検証のための要件を満たします。

- プロセスを中断せずに設置された状態での機能試験
- 必要に応じて、トレーサビリティが確保された検証が可能（レポートを含む）
- 現場操作またはその他の操作インターフェースを介した簡単な試験プロセス
- 製造者仕様の枠内で試験範囲が広く、明確な測定点の評価（合格/不合格）
- 事業者のリスク評価に応じた校正間隔の延長

Heartbeat Monitoring

測定原理固有のデータを予防保全またはプロセス分析のために外部状態監視システムに連続的に供給します。このデータにより、事業者は以下のことが可能になります。

- 時間とともに測定性能に及ぼすプロセスの影響（腐食、摩耗、付着物など）について、結論を引き出す（これらのデータとその他の情報を使用して）。
- 適切なサービスのスケジュールを立てる。
- プロセスまたは製品の品質、気泡などを監視する。

 詳細については、機器の個別説明書を参照してください。

濃度測定

「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション ED「濃度」

流体濃度の計算および出力

測定密度は、「濃度」アプリケーションパッケージを使用して、二元混合物の物質濃度に換算されます。

- 事前に設定された流体（例：各種の糖溶液、酸、アルカリ、塩、エタノールなど）の選択
- 標準アプリケーション用の一般的な、またはユーザー定義の単位（°Brix、°Plato、% 質量、% 体積、mol/l など）
- ユーザー定義された表からの濃度計算

 詳細については、機器の個別説明書を参照してください。

高度な密度機能

「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション EH「高度な密度機能」

密度測定用の高度なソフトウェア機能：

- 統合された時間周期信号（TPS）により、既存の密度アプリケーションに組み込むことが容易
- 現場表示器に 2 つの密度値を同時に表示
- 最適な再校正のための高度な密度係数

 詳細については、機器の個別説明書を参照してください。

プレミアム密度および拡張密度機能

「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション EI「プレミアム密度、 $\pm 0.1 \text{ kg/m}^3$ + 拡張密度機能」

プレミアム密度校正および密度測定用の拡張ソフトウェア機能による最高の密度測定精度：

- 統合された時間周期信号（TPS）により、既存の密度アプリケーションに組み込むことが容易
- 現場表示器に 2 つの密度値を同時に表示
- 最適な再校正のための高度な密度係数

 詳細については、機器の個別説明書を参照してください。

石油

「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション EJ「石油」

このアプリケーションパッケージを使用して、石油/ガス産業向けの最も重要なパラメータの計算および表示を行うことが可能です。

- 「API Manual of Petroleum Measurement Standards, Chapter 11.1」に準拠する基準体積流量および算出基準密度
 - 密度測定に基づく含水量
 - 密度および温度の加重平均
-  詳細については、機器の個別説明書を参照してください。

石油 & ロック機能

「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション EM 「石油 & ロック機能」

このアプリケーションパッケージを使用して、石油/ガス産業向けの最も重要なパラメータの計算および表示を行うことが可能です。設定をロックすることも可能です。

- 「API Manual of Petroleum Measurement Standards, Chapter 11.1」に準拠する基準体積流量および算出基準密度
- 密度測定に基づく含水量
- 密度および温度の加重平均

 詳細については、機器の個別説明書を参照してください。

16.14 アクセサリ

 注文可能なアクセサリの概要 →  235

16.15 補足資料

-  関連する技術資料の概要については、以下を参照してください。
- デバイスビューワー (www.endress.com/deviceviewer) : 銘板のシリアル番号を入力します。
 - Endress+Hauser Operations アプリ : 銘板のシリアル番号を入力するか、銘板のマトリクスコードをスキャンしてください。

標準資料 簡易取扱説明書

センサの簡易取扱説明書

計測機器	資料番号
Proline Promass Q	KA01262D

変換器の簡易取扱説明書

機器	資料番号
Proline 300	KA01227D

技術仕様書

機器	資料番号
Promass Q 300	TI01277D

機能説明書

機器	資料番号							PROFINET (Ethernet- APL 対応)
	HART	FOUNDATION N フィールド バス	PROFIBUS PA	PROFIBUS DP	Modbus RS485	EtherNet/IP	PROFINET	
Promass 300	GP01057D	GP01094D	GP01058D	GP01134D	GP01059D	GP01114D	GP01115D	GP01168D

機器関連の補足資料

安全上の注意事項

危険場所で使用する電気機器に関する安全上の注意事項

内容	資料番号
ATEX/IECEX Ex d/Ex de	XA01405D
ATEX/IECEX Ex ec	XA01439D
cCSAus XP	XA01373D
cCSAus Ex d/ Ex de	XA01372D
cCSAus Ex nA	XA01507D
INMETRO Ex d/Ex de	XA01468D
INMETRO Ex ec	XA01470D
NEPSI Ex d/Ex de	XA01469D
NEPSI Ex nA	XA01471D
EAC Ex d/Ex de	XA01656D
EAC Ex nA	XA01657D
JPN Ex d	XA01778D

分離ディスプレイと操作モジュール DKX001

内容	資料番号
ATEX/IECEX Ex i	XA01494D
ATEX/IECEX Ex ec	XA01498D
cCSAus IS	XA01499D
cCSAus Ex nA	XA01513D
INMETRO Ex i	XA01500D
INMETRO Ex ec	XA01501D
NEPSI Ex i	XA01502D
NEPSI Ex nA	XA01503D

個別説明書

内容	資料番号
欧州圧力機器指令に関する情報	SD01614D
リモートディスプレイと操作モジュール DKX001	SD01763D
表示モジュール A309/A310 の WLAN インタフェースに関する無線認証	SD01793D
Web サーバー	SD01664D
Heartbeat Technology	SD01698D
濃度測定	SD01708D

内容	資料番号
石油	SD02291D
オーバーラン測定	SD02342D

設置要領書

内容	注記
スペアパーツセットおよびアクセサリの設置要領書	■ デバイスビューワーを使用して、選択可能なすべてのスペアパーツセットの概要にアクセス → 図 233 ■ 注文可能な設置要領書付きのアクセサリ → 図 235

索引

記号

機器	
構成	13
返却	233

0～9

3-A 認証	264
--------	-----

A

Applicator	239
------------	-----

C

CE マーク	10, 263
CIP 洗浄	253

D

DD ファイル	73
DeviceCare	71
DD ファイル	73
DIP スイッチ	
書き込み保護スイッチを参照	

E

EHEDG テスト合格	264
EMPTY_MODULE モジュール	85
Endress+Hauser サービス	
修理	233

F

FDA	264
FieldCare	70
DD ファイル	73
機能	70
接続の確立	70
ユーザインタフェース	71

H

HistoROM	132
----------	-----

N

Netilion	232
----------	-----

P

P-T レイティング	254
PROFIBUS 認定	264

R

RCM マーク	264
---------	-----

S

SETTOT_MODETOT_TOTAL モジュール	82
SETTOT_TOTAL モジュール	81
SIMATIC PDM	72
機能	72
SIP 洗浄	253

U

UKCA マーク	263
----------	-----

W

W@M デバイスビューワー	14
WLAN 設定	130

ア

アクセスコード	59
不正な入力	59
アクセスコードの設定	137, 138
圧力損失	255
アナログ出力モジュール	82
アナログ入力モジュール	79
アプリケーション	238
アプリケーションパッケージ	266
アラーム時の信号	244
安全	9

イ

イベントリスト	226
イベントログブック	226
イベントログブックのフィルタリング	227

ウ

ウィザード	
WLAN 設定	130
アクセスコード設定	133
ステータス入力 1～n	98
ゼロの検証	123
ゼロ調整	124
パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え	102, 104, 107
リレー出力 1～n	109
ローフローカットオフ	115
電流出力	99
電流入力	97
非満管の検出	116
表示	112
密度調整	120
流体の選択	92
受入検査	14

エ

影響	
周囲温度	250
測定物温度	250
プロセス圧力	251
エラーメッセージ	
診断メッセージを参照	

オ

欧州圧力機器指令	264
応答時間	250
オーダーコード	15, 16
温度範囲	
ディスプレイの周囲温度範囲	259
保管温度	18
流体温度	254

力

外部洗浄	232
書き込みアクセス	59
書き込み保護	
アクセスコードによる	137
書き込み保護スイッチを使用	139
書き込み保護スイッチ	139
書き込み保護の無効化	137
書き込み保護の有効化	137
拡張オーダーコード	
センサ	16
変換器	15
下流側直管長	22

キ

キーパッドロックの有効化/無効化	60
機械的負荷	254
機器	
修理	233
センサの取付け	28
電気配線の準備	35
電源投入	86
取外し	234
廃棄	234
変更	233
機器コンポーネント	13
機器修理	233
機器設定の管理	132
機器タイプ ID	73
機器の運搬	18
機器の修理	233
機器の用途	
不適切な用途	9
不明な場合	9
機器マスターファイル	
GSD	73
機器名	
センサ	16
変換器	15
機器ロック状態	141
気候クラス	253
技術データ、概要	238
基準およびガイドライン	265
基準動作条件	248
機能	
パラメータを参照	
機能範囲	
SIMATIC PDM	72
旧型モデルとの互換性	73

ク

繰返し性	249
------	-----

ケ

計測可能流量範囲	239
計測機器	
設定	87
取付けの準備	28
計測機器の識別	14

計測機器の接続	36
計測機器の用途	
指定用途を参照	
計測システム	238
言語、操作オプション	259
検査	
接続	44
設置	29
納入品	14
現場表示器	259
アラーム状態を参照	
診断メッセージを参照	
数値エディタ	53
操作画面表示を参照	
テキストエディタ	53
ナビゲーション画面	51

コ

合格証	263
交換	
機器コンポーネント	233
工具	
電気接続	31
取付け用	27
輸送	18
構成	
操作メニュー	47
機器	13
コンテキストメニュー	
終了	55
説明	55
呼び出し	55
梱包材の廃棄	19

サ

サイクリックデータ伝送	78
再校正	232
材質	256
最大測定誤差	248
サニタリ適合性	264
サブメニュー	
Analog inputs	95
I/O 設定	96
Web サーバ	66
アクセスコードのリセット	134
イベントリスト	226
概要	48
システムの単位	89
シミュレーション	134
ステータス入力 1~n	155
センサの調整	119
データのログ	158
パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え 1~n	156
プロセス変数	118
リレー出力 1~n	157
管理	133, 134
基準体積流量の計算	118
機器情報	229
計算値	118

高度な設定	117	発光ダイオード	164
出力値	155	診断動作の適応	170
積算計	153	診断メッセージ	165
積算計 1～n	125	診断リスト	225
積算計の処理	157	振動	23
設定のバックアップ	132	シンボル	
測定した変数	142	ウィザード用	51
測定値	141	現場表示器のステータスエリア内	49
通信	86, 93	サブメニュー用	51
電流出力 1～n の値	156	診断動作用	49
電流入力 1～n	154	ステータス信号用	49
入力値	154	操作部	53
表示	127	測定チャンネル番号用	50
シ		測定変数用	50
試験および証明書	265	通信用	49
システム構成		データ入力値の管理	54
機器構成を参照		入力画面	54
システムデザイン		パラメータ用	51
計測システム	238	メニュー用	51
システム統合	73	ロック用	49
質量		ス	
SI 単位	256	垂直配管	20
US 単位	256	スイッチ出力	243
運搬 (注意事項)	18	数値エディタ	53
指定用途	9	ステータスエリア	
周囲温度		操作画面表示用	49
影響	250	ナビゲーション画面内	51
周囲温度範囲	253	ステータス信号	165, 168
周囲条件		スペアパーツ	233
機械的負荷	254	セ	
使用高さ	253	静圧	22
相対湿度	253	製造者 ID	73
耐衝撃振動性	253	製造日	15, 16
保管温度	253	精度の考え方	
修理	233	繰返し性	252
注意事項	233	測定誤差	252
出力信号	241	性能特性	248
出力変数	241	製品の安全性	10
使用高さ	253	積算計	
消費電流	247	設定	125
消費電力	247	操作	157
上流側直管長	22	プロセス変数の割当て	153
食品接触材規則	264	リセット	157
シリアル番号	15, 16	積算モジュール	80
信号ケーブルの接続	36	接続	
診断		電気接続を参照	
シンボル	165	接続ケーブル	31, 32
診断時の動作		接続工具	31
シンボル	166	接続の準備	35
説明	166	設置状況の確認	86
診断情報		設置状況の確認 (チェックリスト)	29
DeviceCare	168	設置場所	20
FieldCare	168	設定	86
ウェブブラウザ	167	I/O 設定	96
概要	173	WLAN	130
現場表示器	165	アナログ入力	95
構成、説明	166, 169	管理	133
対処法	173		

機器設定の管理	132
機器のリセット	228
計測機器の設定	87
現場表示器	112
高度な設定	117
高度な表示の設定	127
システムの単位	89
シミュレーション	134
スイッチ出力	107
ステータス入力	98
積算計	125
積算計のリセット	157
積算計リセット	157
センサの調整	119
操作言語	86
測定物	92
タグ名	88
通信インターフェイス	93
電流出力	99
電流入力	97
パルス/周波数/スイッチ出力	102, 104
パルス出力	102
非満管の検出	116
プロセス条件への機器の適合	157
リレー出力	109
ローフローカットオフ	115
説明書	
シンボル	6
センサ	
設置	28
センサハウジング	254
センサヒーティング	23
洗浄	
外部洗浄	232
ソ	
操作	141
操作オプション	46
操作画面表示	49
操作キー	
操作部を参照	
操作言語の設定	86
操作指針	48
操作上の安全性	10
操作部	55, 166
操作メニュー	
構成	47
サブメニューおよびユーザーの役割	48
メニュー、サブメニュー	47
測定機器およびテスト機器	232
測定原理	238
測定精度	248
測定値の読み取り	141
測定値の履歴を表示	158
測定範囲	
液体の	239
気体の	239
測定範囲、推奨	255

測定物温度	
影響	250
測定変数	
プロセス変数を参照	
その他の認定	265
タ	
耐衝撃振動性	253
対処法	
終了	167
呼び出し	167
端子	247
端子の割当て	34
断熱	22
チ	
チェックリスト	
設置状況の確認	29
配線状況の確認	44
直接アクセス	57
ツ	
ツールヒント	
ヘルプテキストを参照	
テ	
ディスクリット出力モジュール	84
ディスクリット入力モジュール	83
ディスプレイと操作モジュール DKX001	260
適合宣言	10
テキストエディタ	53
適用分野	
残存リスク	10
デバイスビューワー	233
電位平衡	39
電気接続	
Web サーバー	67
WLAN インタフェース	68
計測機器	31
操作ツール	
PROFIBUS PA ネットワーク経由	67
WLAN インタフェース経由	68
サービスインタフェース (CDI-RJ45) 経由	67
保護等級	44
電氣的絶縁	246
電源ケーブルの接続	36
電源故障時/停電時	247
電源電圧	247
電磁適合性	254
電子部ハウジングの回転	
変換器ハウジングの回転を参照	
電子モジュール	13
電線管接続口	
技術データ	247
電線口	
保護等級	44
ト	
当社サービス	
メンテナンス	232

登録商標	8
特別な接続方法	40
特別な取付方法	
サニタリ適合性	24
トラブルシューティング	
一般	162
取付け	20
取付工具	27
取付寸法	22
取付寸法を参照	
取付けの準備	28
取付方向 (垂直方向、水平方向)	21
取付要件	
上流側/下流側直管長	22
振動	23
垂直配管	20
静圧	22
設置場所	20
センサヒーティング	23
断熱	22
取付寸法	22
取付方向	21
破裂板	24

ナ

内部洗浄	253
流れ方向	21, 28
ナビゲーション画面	
ウィザードの場合	51
サブメニューの場合	51
ナビゲーションパス (ナビゲーション画面)	51

ニ

入力変数	239
認証	263

ハ

ハードウェア書き込み保護	139
廃棄	234
配線状況の確認	86
配線状況の確認 (チェックリスト)	44
パラメータ	
値またはテキストの入力	58
変更	58
パラメータ設定	
I/O 設定	96
ステータス入力	98
電流出力	99
電流入力	97
パルス/周波数/スイッチ出力	102
リレー出力	109
パラメータ設定の保護	137
パラメータのアクセス権	
書き込みアクセス	59
読み取りアクセス	59
パラメータ設定	
Analog inputs (サブメニュー)	95
I/O 設定 (サブメニュー)	96
Web サーバ (サブメニュー)	66

WLAN 設定 (ウィザード)	130
アクセスコードのリセット (サブメニュー)	134
アクセスコード設定 (ウィザード)	133
システムの単位 (サブメニュー)	89
シミュレーション (サブメニュー)	134
ステータス入力 1~n (ウィザード)	98
ステータス入力 1~n (サブメニュー)	155
ゼロの検証 (ウィザード)	123
ゼロ調整 (ウィザード)	124
センサの調整 (サブメニュー)	119
データのログ (サブメニュー)	158
パルス-周波数-スイッチ出力の切り替え (ウィザード)	102, 104, 107
パルス-周波数-スイッチ出力の切り替え 1~n (サブメニュー)	156
リレー出力 1~n (ウィザード)	109
リレー出力 1~n (サブメニュー)	157
ローフローカットオフ (ウィザード)	115
管理 (サブメニュー)	134
基準体積流量の計算 (サブメニュー)	118
機器情報 (サブメニュー)	229
診断 (メニュー)	225
積算計 (サブメニュー)	153
積算計 1~n (サブメニュー)	125
積算計の処理 (サブメニュー)	157
設定 (メニュー)	88
設定のバックアップ (サブメニュー)	132
測定した変数 (サブメニュー)	142
通信 (サブメニュー)	93
電流出力 (ウィザード)	99
電流出力 1~n の値 (サブメニュー)	156
電流入力 (ウィザード)	97
電流入力 1~n (サブメニュー)	154
非満管の検出 (ウィザード)	116
表示 (ウィザード)	112
表示 (サブメニュー)	127
密度調整 (ウィザード)	120
流体の選択 (ウィザード)	92
破裂板	
安全上の注意事項	24
破裂圧力	255

ヒ

表示	
現在の診断イベント	225
現場表示器を参照	
前回の診断イベント	225
表示エリア	
操作画面表示用	50
ナビゲーション画面内	51
表示値	
ロック状態用	141
表示モジュールの回転	29
表面粗さ	258

フ

ファームウェア	
バージョン	73
リリース日付	73

ファームウェアの履歴	231
プロセス圧力	
影響	251
プロセス接続	258
プロセス変数	
計算	239
測定	239
プロファイルバージョン	73

ヘ

ヘルプテキスト	
終了	58
説明	58
呼び出し	58
変換器	
ハウジングの回転	28
表示モジュールの回転	29
変換器ハウジングの回転	28
編集画面	53
操作部の使用方法	53, 54
入力画面	54

ホ

保管温度	18
保管温度範囲	253
保管条件	18
保護等級	44, 253
保存コンセプト	262
本説明書に関する情報	6
本文	
目的	6
本文の目的	6

ミ

密度調整	120
密度調整の実行	120

ム

無線認証	264
------------	-----

メ

銘板	
センサ	16
変換器	15
メイン電子モジュール	13
メニュー	
計測機器の設定用	87
特定の設定用	117
診断	225
設定	87, 88
メンテナンス作業	232

モ

モジュール	
EMPTY_MODULE	85
アナログ出力	82
アナログ入力	79
積算計	
SETTOT_MODETOT_TOTAL	82
SETTOT_TOTAL	81

TOTAL	80
ディスクリット入力	83
ディスクリット出力	84

ユ

ユーザーの役割	48
---------------	----

ヨ

要員の要件	9
読み取りアクセス	59

ラ

ラインレコーダ	158
---------------	-----

リ

リモート操作	260
流量制限	255

ロ

労働安全	10
ローフローカットオフ	246



71681463

www.addresses.endress.com
